

いきいき安心プランⅦまつど

(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)

策定のためのアンケート調査

報告書

(事業所等アンケート調査 単純集計編)

本報告書の対象調査

介護従事者調査 (介護事業所・施設)
介護従事者調査 (従事者)
介護従事者調査 (介護支援専門員)
町会・自治会等調査
特別養護老人ホーム入所待機者調査

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査実施の概要	3
1 介護従事者調査	3
2 町会・自治会等調査、特別養護老人ホーム入所待機者調査	4
3. 調査結果の表示方法	4
4. 標本誤差について	5
第2章 調査の結果	7
1. 介護事業所・施設アンケート調査	9
1. 回答者属性について	9
2. 事業所・施設の人材や業務に関することについて	10
3. 介護サービスに関することについて	32
4. 地域連携について	34
5. 松戸市への要望について	40
2. 従事者アンケート調査	41
1. 基本的事項及び就労状況や就労意識について	41
2. 介護サービスについて	65
3. 地域連携について	66
4. 松戸市への要望について	67
3. 介護支援専門員アンケート調査	68
1. 基本的事項及び就労状況や就労意識について	68
2. 介護支援専門員業務全般について	77
3. ケアプランの作成状況等について	83
4. 居宅サービス事業者等との関わりについて	92
5. 地域連携について	94
6. 松戸市への要望について	101

4. 町会・自治会アンケート調査	102
1. 回答者属性について	102
2. 町会等の基本情報について	103
3. 地域づくり等について	106
4. その他町会等の活動について	110
5. 町会等内の「通いの場」について	112
6. 災害避難について	116
5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査	119
1. 回答者属性について	119
2. ご本人（入所予定者）や家族の状況について	119
3. 特別養護老人ホームの入所申込み等について	127
4. 特別養護老人ホーム入所の優先順位について	135
5. 今後の生活や介護保険のサービスについて	136

巻末資料 アンケート調査票	139
----------------------	------------

介護事業所・施設調査 調査票	141
従事者調査 調査票	147
介護支援専門員調査 調査票	155
町会・自治会調査 調査票	163
特別養護老人ホーム入所待機者調査 調査票	168



第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和3年度から5年度までの3年間を計画期間とした「いきいき安心プランⅦまつど（第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画）」策定に向けて、本市の介護従事者（介護事業所・施設、介護従事者、介護支援専門員）及び町会・自治会等の介護に対する意識や考え方、特別養護老人ホーム入所待機者の生活状況等を把握し、地域における高齢者施策の総合的な推進を図るための基礎資料として活用することを目的に実施しました。

2. 調査実施の概要

本調査の調査対象者、調査方法、実施期間及び回収状況は以下の通りです。

1 介護従事者調査

	介護従事者調査 (介護事業所・施設)	介護従事者調査 (従事者)	介護従事者調査 (介護支援専門員)
対象	介護事業所の経営者・管理者	介護従事者	介護支援専門員
母集団	484人	—	632人
標本数	484人	—	632人
抽出方法	事前調査により把握できた対象者への悉皆調査		
調査期間	令和2年4月1日から 令和2年4月23日 (緊急事態宣言発令の影響により回収については7/13まで有効。督促状1回送付)	令和2年6月23日から 令和2年7月13日	令和2年4月1日から 令和2年4月23日 (緊急事態宣言発令の影響により回収については7/13まで有効。)
調査方法	郵送配布・郵送回収		
配布数	484通	10,249通	632通
回収数	327通	2,693通	454通
有効回収数	327通	2,693通	454通
有効回収率	67.6%	26.3%	71.8%

2 町会・自治会等調査、特別養護老人ホーム入所待機者調査

	町会・自治会等調査	特別養護老人ホーム 入所待機者調査
対象	町会長、自治会長、 マンション管理組合長等	特別養護老人ホーム 入所待機者
母集団	983人	965人
標本数	983人	965人
抽出方法	悉皆調査	
調査期間	令和2年6月23日から令和2年7月13日	
調査方法	郵送配布・郵送回収	
配布数	983通	965通
回収数	433通	404通
有効回収数	433通	404通
有効回収率	44.1%	41.9%

3. 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計しています。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 選択肢「その他」の回答割合が10%を超えているものについては、代表的な意見や内容を記しています。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していません。

4. 標本誤差について

調査結果の比率から母集団（各調査属性を備えた対象者全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要があります。各回答比率での標本誤差は次の早見表の通りとなります。

例えば有効回答数が2,693人である介護従事者調査（従事者）の場合、ある質問の回答が50%となったとき、介護従事者調査（従事者）のこの質問に対する回答は、48.4%～51.6%の間にあると考えてよいこととなります。一方、有効回答数が327人である介護従事者調査（介護事業所・施設）場合は、ある質問の回答が50%となったとき、46.9%～53.1%の間にあると考えてよいこととなり、対象となる有効回答数が少なくなるほど標本誤差が大きくなります。

- ・ 標本誤差の算出式（ただし、信頼度を95%とする。）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left(\begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{有効回答数} \\ P = \text{回答比率} \end{array} \right)$

各回答比率における標本誤差早見表

有効回答数 (n)	回答比率 (P)	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
	介護従事者調査 (介護事業所・施設) (n=327)		±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%
介護従事者調査 (従事者) (n=2,693)		±1.0%	±1.3%	±1.5%	±1.6%	±1.6%
介護従事者調査 (介護支援専門員調査) (n=454)		±1.5%	±2.0%	±2.2%	±2.4%	±2.4%
町会・自治会等調査 (n=433)		±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
入所待機者調査 (n=404)		±2.2%	±3.0%	±3.4%	±3.6%	±3.7%

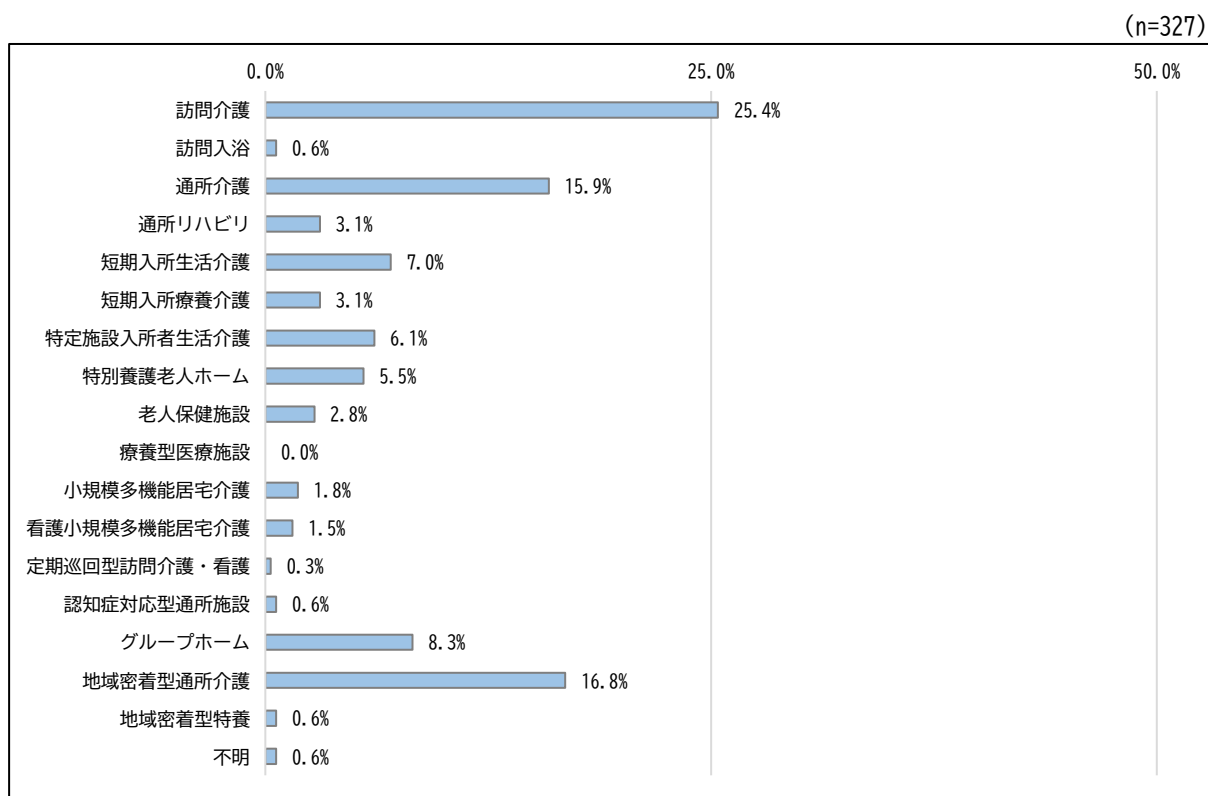
第 2 章 調査の結果

1. 介護事業所・施設アンケート調査

1. 回答者属性について

(1) 回答者サービス種別

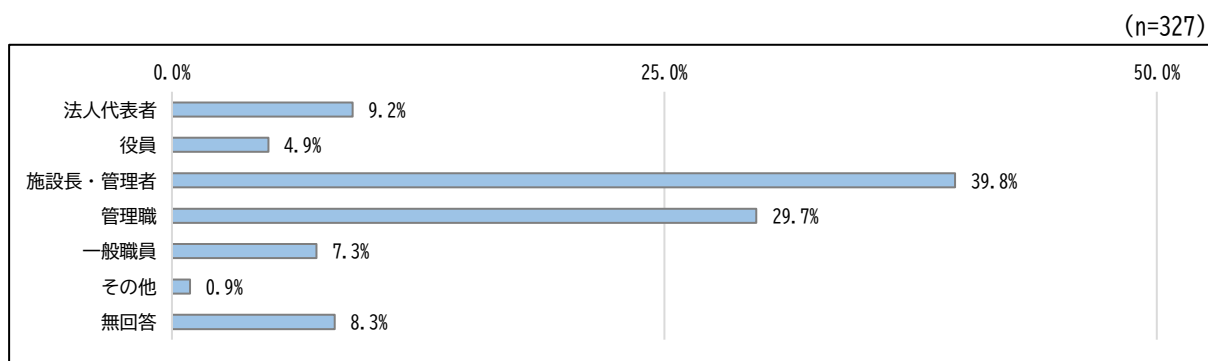
回答者におけるサービス種別割合は次の通りとなっています。なお、サービス種別については予め調査票に付した記号にて集計しています。



(2) 調査票記入者

この調査票を記入される方の役職をお答えください。(1つの番号に○)

調査票記入者の役職は次の通りとなっています。



2. 事業所・施設の人材や業務に関することについて

(1) 雇用形態別・性別・年齢別構成

令和2年4月1日時点における貴事業所・施設の従業員数を雇用形態別・性別・年齢別にご記入ください。(数字を記入)

① 全体

事業所・施設の「正規職員」「非正規職員」における平均人数について、「正規職員」は10.8人、「非正規職員」は10.9人となっています。

(n=327)

雇用形態	平均人数
正規職員	10.8人
非正規職員	10.9人
合計	21.7人

また、事業所・施設の男女別における平均人数について、「男性」は6.0人、「女性」は15.7人となっています。

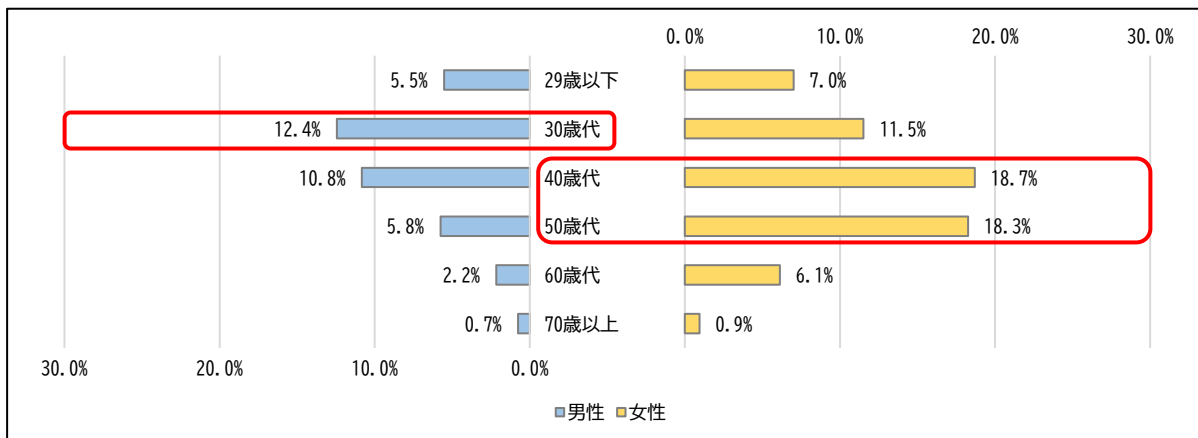
(n=327)

性別	平均人数
男性	6.0人
女性	15.7人
合計	21.7人

② 正社員 男女別年齢割合

事業所・施設の「正規職員」における男女別年齢構成について、「男性」では30歳代が最も多く12.4%となっており、「女性」では40歳代が最も多く18.7%、次いで50歳代が18.3%となっています。

(n=327)



また、事業所・施設の「正規職員」における男女別平均人数について、「男性」は4.1人、「女性」は6.8人となっています。

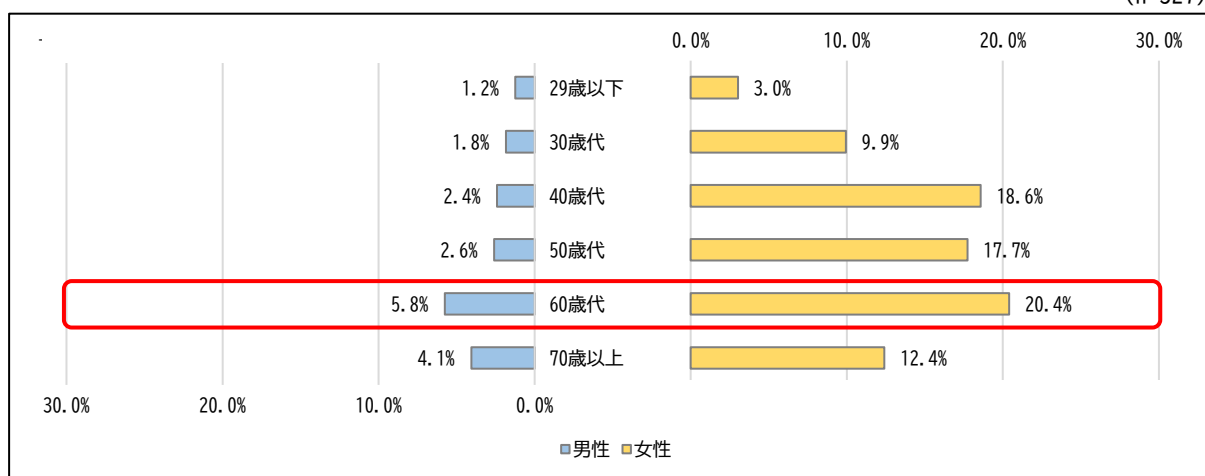
(n=327)

性別	平均人数
男性	4.1人
女性	6.8人

③ 非正規職員 男女別年齢割合

事業所・施設の「非正規職員」における男女別年齢構成について、「男性」では60歳代が最も多く5.8%となっており、「女性」でも60歳代が最も多く20.4%となっています。

(n=327)



また、事業所・施設の「非正規職員」における男女別平均人数について、「男性」は2.0人、「女性」は9.0人となっています。

(n=327)

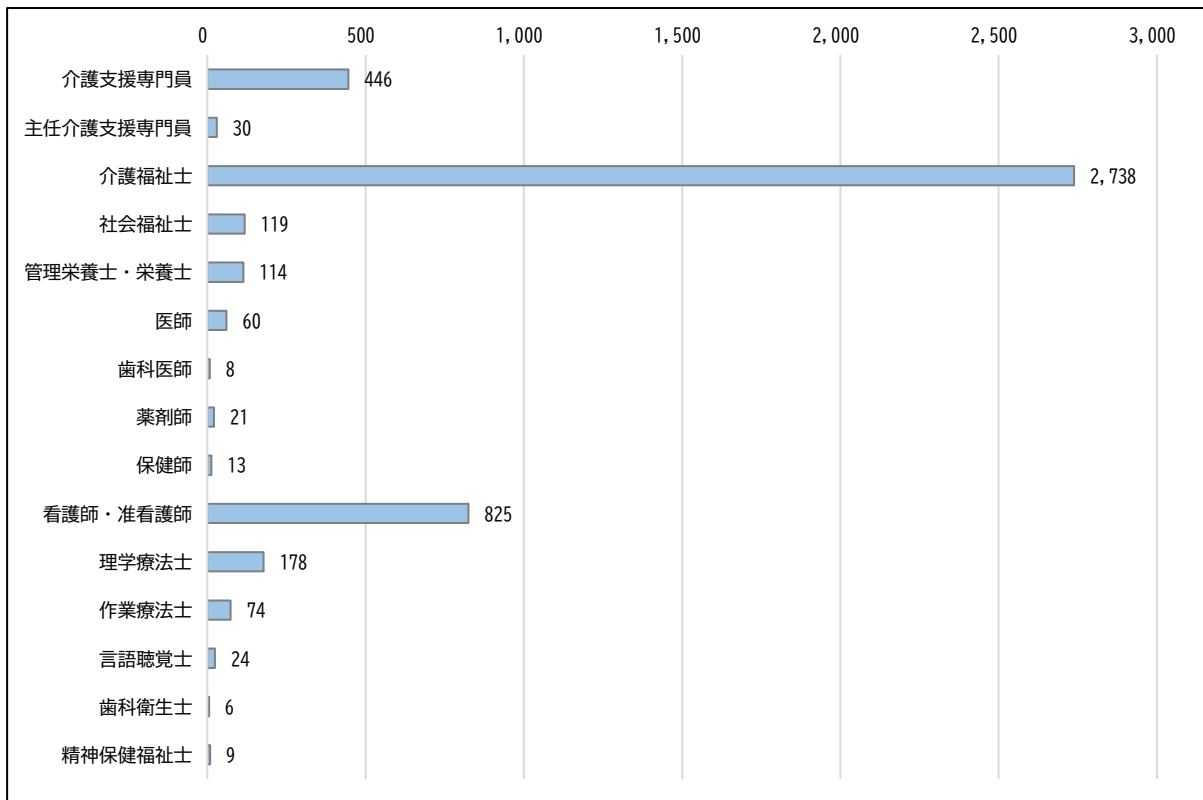
性別	平均人数
男性	2.0人
女性	9.0人

(2) 保健医療福祉関係の 保有資格者数

令和2年4月1日時点における貴事業所・施設従業員の保健医療福祉関係の保有資格者数をご記入ください。複数資格を持っている方も、それぞれの資格ごとに1人としてカウントしてください。(数字を記入)

保健医療福祉関係の保有資格者数について、「介護福祉士」が最も多く 2,738 人となり、次いで「看護師・准看護師」が 825 人となっています。

(参考：327の事業所・施設からの回答、平均職員数21.7人とした場合、全体的な職員数として概算7,096人となる。)



(3) 入退職状況

平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設に入職された方の人数をご記入ください。(数字を記入)

平成31年4月～令和2年3月の1年間における事業所・施設に入職した人数について、「正規職員」では平均2.6人、「非正規職員」では3.2人となり、それぞれ正規職員数、非正規職員数で割った入職率については、「正規職員」では平均26.0%人、「非正規職員」では36.4%人となっています。

(n=327)

雇用形態	平均入職人数
① 正規職員	2.6人
② 非正規職員	3.2人

(n=327)

雇用形態	平均入職率
① 正規職員	26.0%
② 非正規職員	36.4%

※ ① 正規職員 平均入職率：1年間正規職員入職人数 / 正規職員数 (平成31年4月時点)

※ ② 非正規職員 平均入職率：1年間非正規職員入職人数 / 非正規職員数 (平成31年4月時点)

平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設を退職された方の人数をご記入ください。(数字を記入)

平成31年4月～令和2年3月の1年間における事業所・施設を退職した人数について、「正規職員」では平均2.1人、「非正規職員」では2.5人となり、それぞれ正規職員数、非正規職員数で割った離職率については、「正規職員」では平均17.6%人、「非正規職員」では21.9%人となっています。

入職率と離職率を比較すると、入職率のほうが「正規職員」では8.4%、「非正規職員」では14.5%上回っています。

(n=327)

雇用形態	平均退職人数
① 正規職員	2.1人
② 非正規職員	2.5人

(n=327)

雇用形態	平均退職率
① 正規職員	17.6%
② 非正規職員	21.9%

※ ① 正規職員 平均離職率：1年間正規職員退職人数 / 正規職員数 (平成31年4月時点)

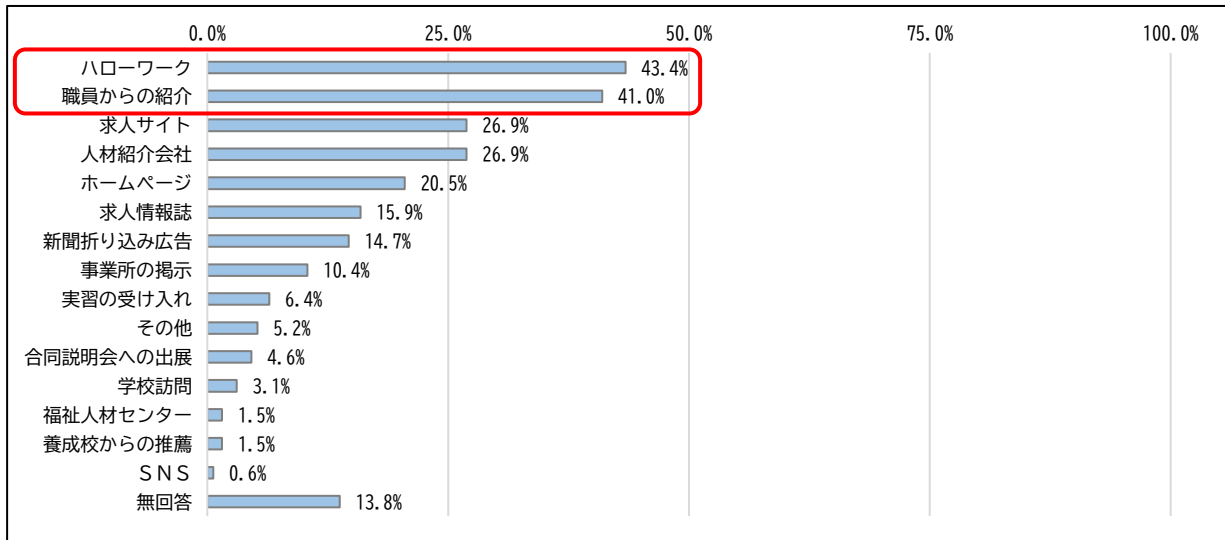
※ ② 非正規職員 平均離職率：1年間非正規職員退職人数 / 非正規職員数 (平成31年4月時点)

第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

入職された方の主な採用ルートはどれですか。(あてはまるすべての番号に○)

入職された方の主な採用ルートとして、「ハローワーク」が最も多く 43.4%となる一方、「職員からの紹介」も 41.0%と多くなっています。

(n=327)



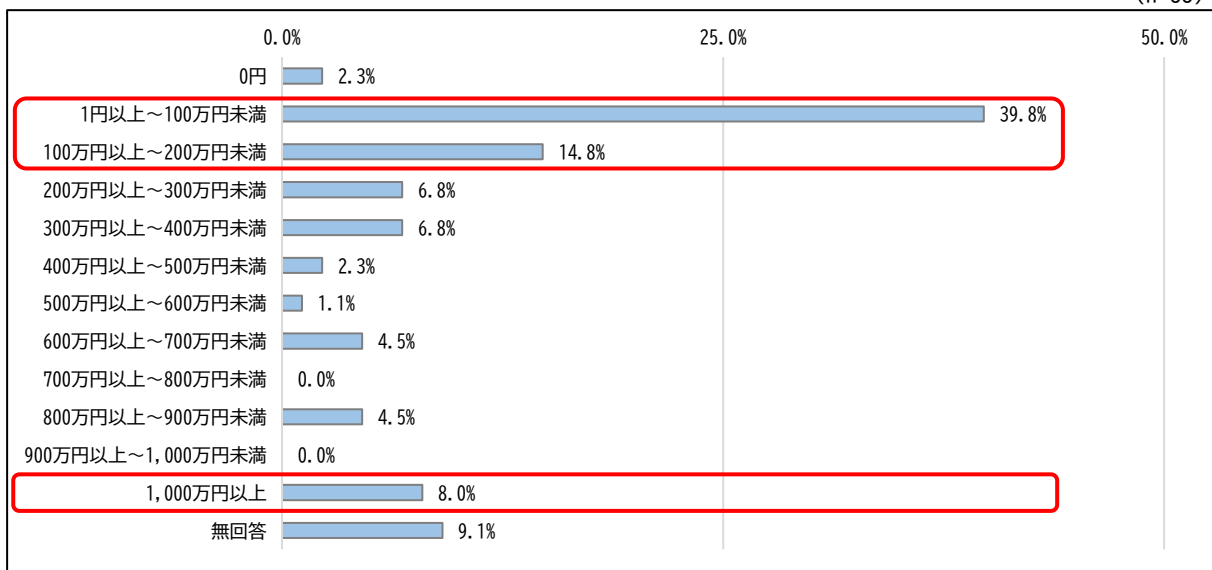
入職された方の主な採用ルートとして「人材紹介会社」と回答した方のみ、お答えください。過去1年の間で紹介料として負担した金額をお答えください。(数字を記入)

人材紹介会社から採用を行った事業所が、過去1年間に紹介料として負担した金額は平均283万円となり、割合としては「1円以上100万未満」が最も多くなる一方、「100万円以上200万未満」、また「1,000万以上」も多くなっています。

(n=88)

	平均負担金額
人材紹介会社 紹介料負担額	2,832,428円

(n=88)



第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

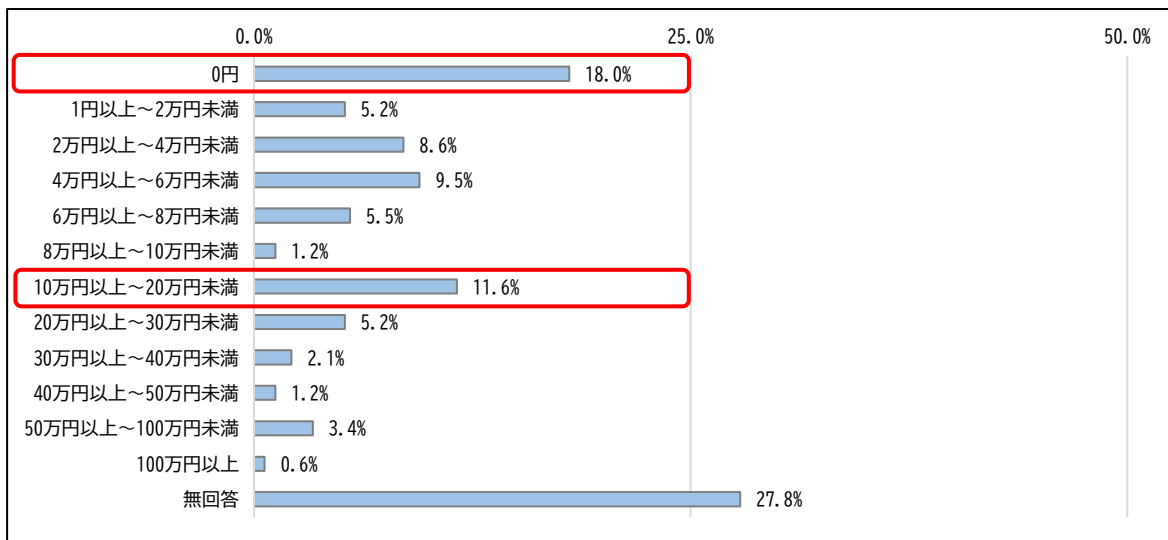
採用に係る費用負担（月額）についてお答えください。（数字を記入）

採用に係る費用として負担した月額の平均金額は約10万円となり、割合としては「0円」が最も多くなる一方、「10万円20万未満」と回答した割合も多くなっており、事業所によりばらつきがみられています。

(n=327)

	金額
平均採用費用負担額（月額）	104,655円

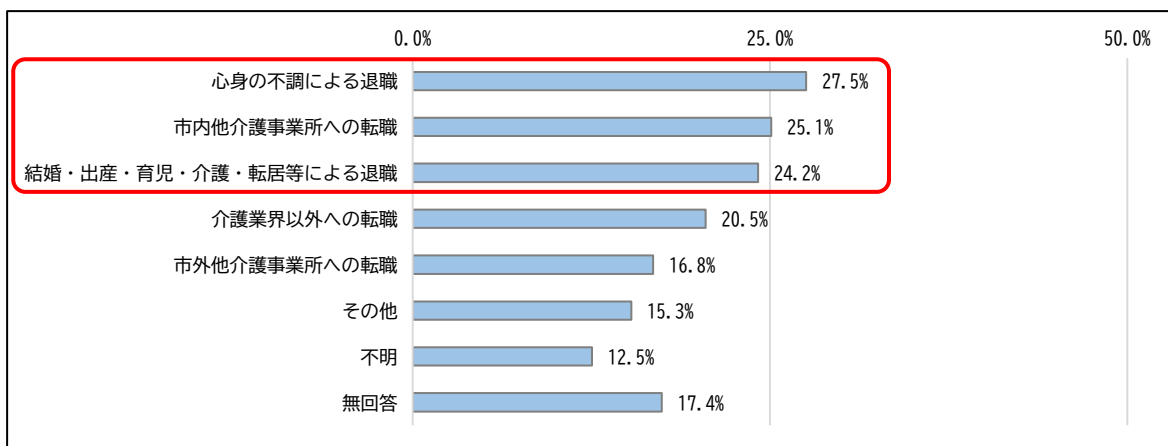
(n=327)



退職された方の主な退職理由はどれですか。（主なもの2つの番号に○）

退職された方の理由として、「心身の不調による退職」が最も多く27.5%となっており、次いで「市内他介護事業所への転職」が25.1%となっています。一方、「結婚・出産・育児・介護・転居等による退職」について24.2%となっており、育児や介護にて離職するケースも1/4近くとなっています。

(n=327)

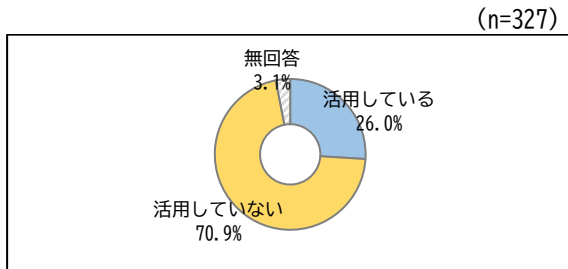


その他・・・高齢のため、定年など

(4) 派遣職員活用状況

貴事業所・施設では派遣職員を活用していますか。(どちらかの番号に○)

事業所・施設において、派遣職員を「活用している」と回答した割合は26.0%と約1/4となっています。



派遣職員を「活用している」と回答した方のみ、お答えください。

令和2年4月1日時点における貴事業所・施設の派遣職員数、平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設にて新たに受け入れた派遣職員数をご記入ください。(数字を記入)

派遣職員を活用していると回答した事業所・施設において、令和2年4月1日時点での平均在籍派遣職員数は2.5人となり、平成31年4月～令和2年3月の一年間で受け入れた派遣職員の平均人数は4.2人となっています。

(n=85)

令和2年4月1日時点	在籍平均人数
派遣職員在籍数	2.5人

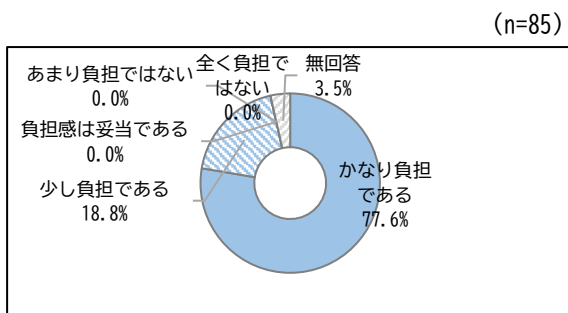
(n=85)

平成31年4月～令和2年3月(1年間)	受入平均人数
受け入れ派遣職員数	4.2人

派遣職員を「活用している」と回答した方のみ、お答えください。

派遣職員に関する費用負担はどう感じていますか。(1つの番号に○)

派遣職員に関する費用負担について「かなり負担である」と回答した割合は77.6%と高く、「少し負担である」と回答した割合を含めると96.4%となり負担感が高くなっています。

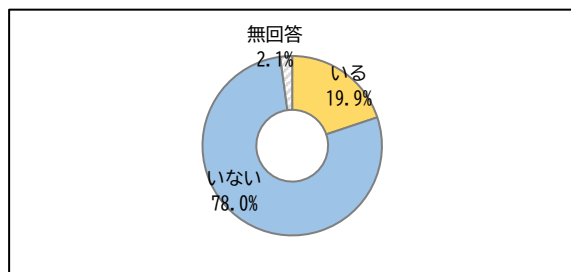


(5) 外国籍職員状況

貴事業所・施設において、外国籍の職員はいますか。(どちらかの番号に○)

事業所・施設において、外国籍の職員が「いる」と回答した割合は19.9%と約2割となっています。

(n=327)



事業所・施設において、外国籍の職員がいると回答した方のみ、お答えください。

外国籍の職員について、下記の受け入れの枠組み毎に人数をご記入ください。(数字を記入)

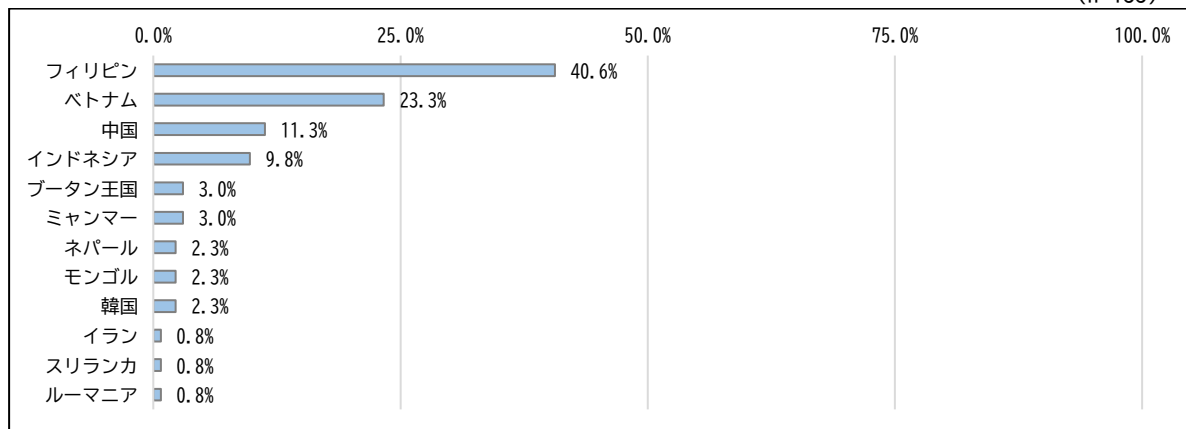
外国籍の職員における受け入れの枠組み毎の平均人数について、「日本人の配偶者・永住者・定住者」が最も多く平均1.5人となっており、「EPA介護福祉士」「外国人留学生」「外国人技能実習生」についても平均1.1人となっています。

(n=65)

受け入れ枠組み	平均人数
EPA介護福祉士として	1.2人
外国人留学生 在留資格「介護」として	1.1人
外国人技能実習生として	1.1人
在留資格「特定技能」として	0.4人
日本人の配偶者・永住者・定住者	1.5人
その他 人数	0.8人

なお、国籍別受け入れ人数の割合について、「フィリピン」が最も多く40.6%、次いで「ベトナム」が23.3%となっています。

(n=133)

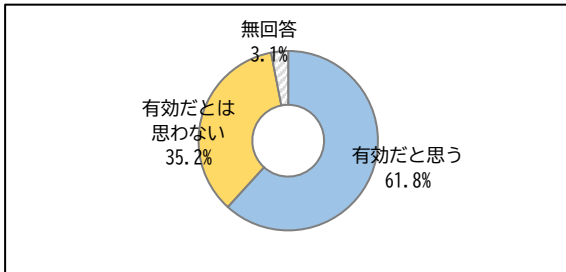


(6) 介護助手採用状況

補助的な介護を行う「介護助手」について有効だと思いますか。(どちらかの番号に○)

介護助手について「有効だと思う」と回答した割合は61.8%となり、6割以上の事業所・施設で有効であると回答しています。

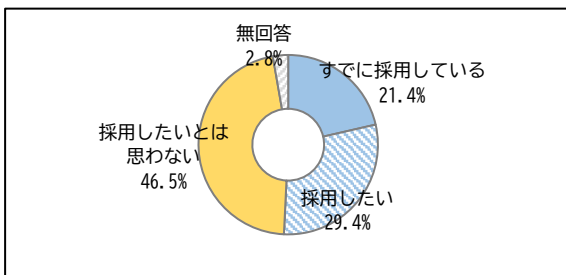
(n=327)



「介護助手」を採用したいと思いますか。(1つの番号に○)

介護助手について「既に採用している」と回答した割合は21.4%となり、2割以上の事業所・施設で既に介護助手を採用しています。また、「採用したい」と回答した割合は29.4%となり、「すでに採用している」と回答した割合を含めると50.8%となり、半数以上の事業所・施設で介護助手の採用意向を示しています。

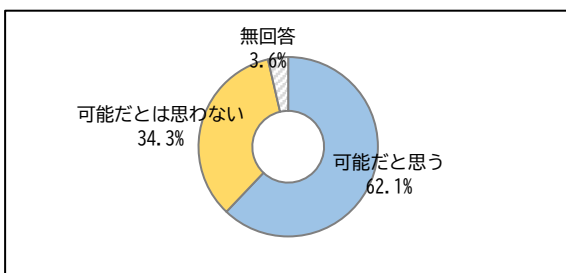
(n=327)



「介護助手」を採用したい、採用したいとは思わないと回答した方のみ、お答えください。ボランティアでの受入れは可能だと思いますか。(どちらかの番号に○)

介護助手について「採用したい」「採用したいとは思わない」と回答した事業所・施設において、介護助手をボランティアで受入れることについて、「可能である」と回答した割合は62.1%となっており、ボランティアによる介護助手の受け入れの可能性が高いことが示されています。

(n=248)

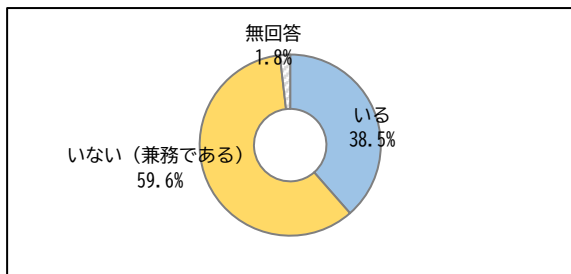


(7) 事務職員専任状況

内部事務（請求・労務管理等）のみを行う専任の職員はいますか。（どちらかの番号に○）

内部事務（請求・労務管理等）のみを行う専任の職員が「いる」と回答した事業所・施設は38.5%となっており、約4割となっています。

(n=327)

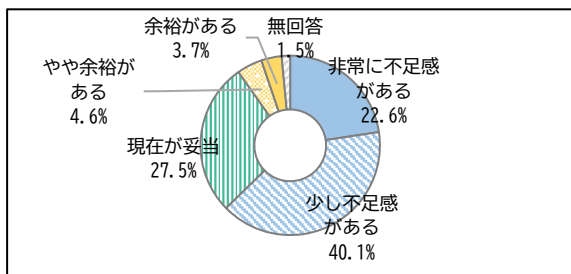


(8) 介護職員配置 過不足状況

貴事業所・施設における、介護職員配置の過不足状況はどうか。（1つの番号に○）

介護職員配置の過不足状況について「非常に不足感がある」と回答した割合は22.6%となっており、「少し不足感がある」と回答した割合を含めると、不足感を感じている事業所・施設は62.7%となっています。

(n=327)

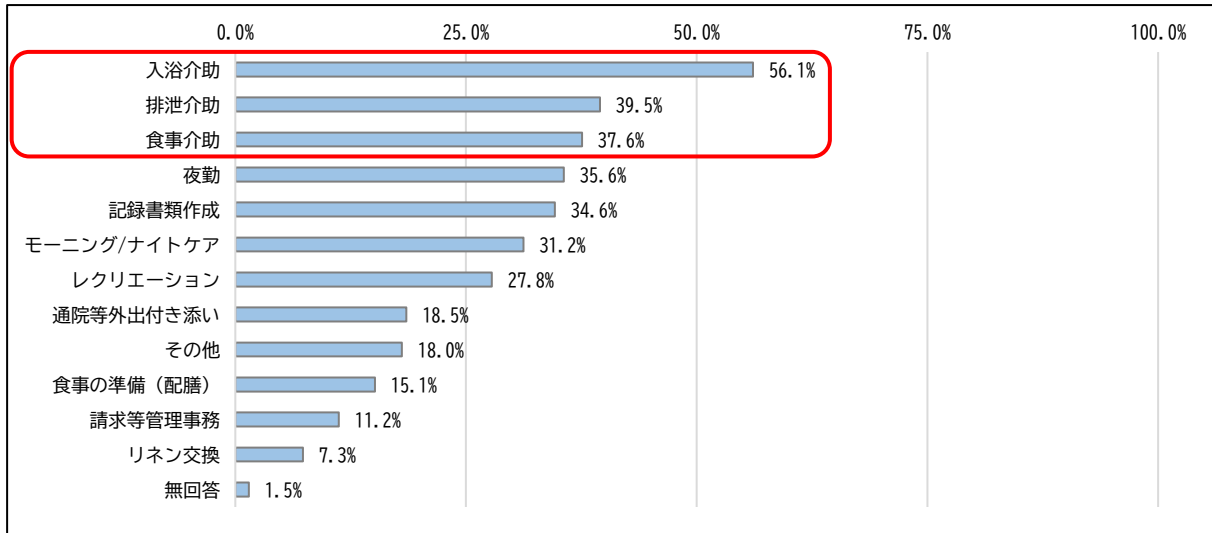


第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

介護職員配置について「不足感がある」と回答した方のみ、お答えください。
不足感を感じる業務は何ですか。

介護職員配置について不足感を感じる業務として「入浴介助」が最も多く 56.1%となっており、次いで「排泄介助」「食事介助」となるなど、基本介護の部分で不足感を感じている事業所・施設が多くなっています。

(n=205)

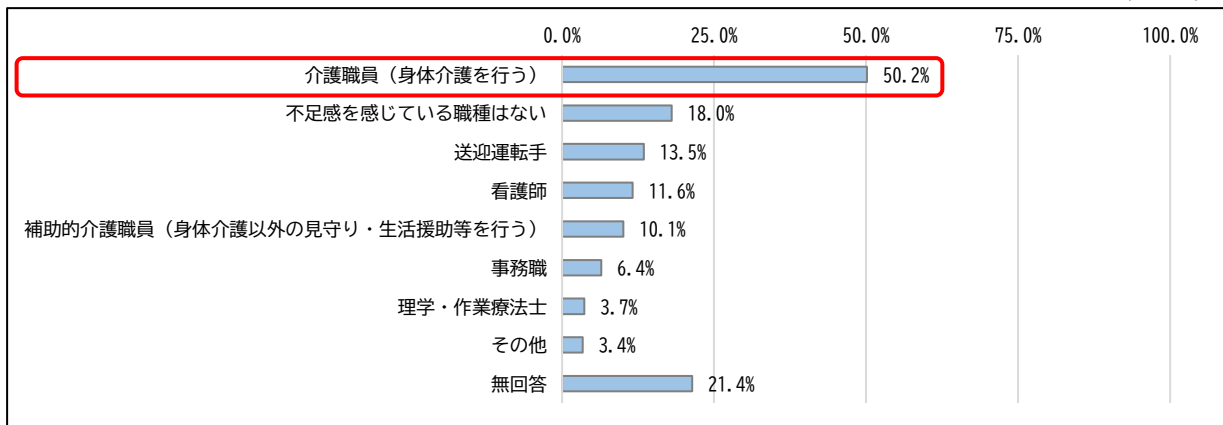


その他・・・送迎、訪問介護

不足感を感じる職種は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

不足感を感じる職種として「介護職員」と回答した割合が最も高く 50.2%となっており、約半数の事業所・施設において介護職員の不足感を感じています。

(n=327)



不足感を感じている職種について、不足している人数をそれぞれお答えください。(数字を記入)

不足感を感じている職種それぞれの不足人数については以下のとおりとなっており、介護職員では平均2.7人となっています。

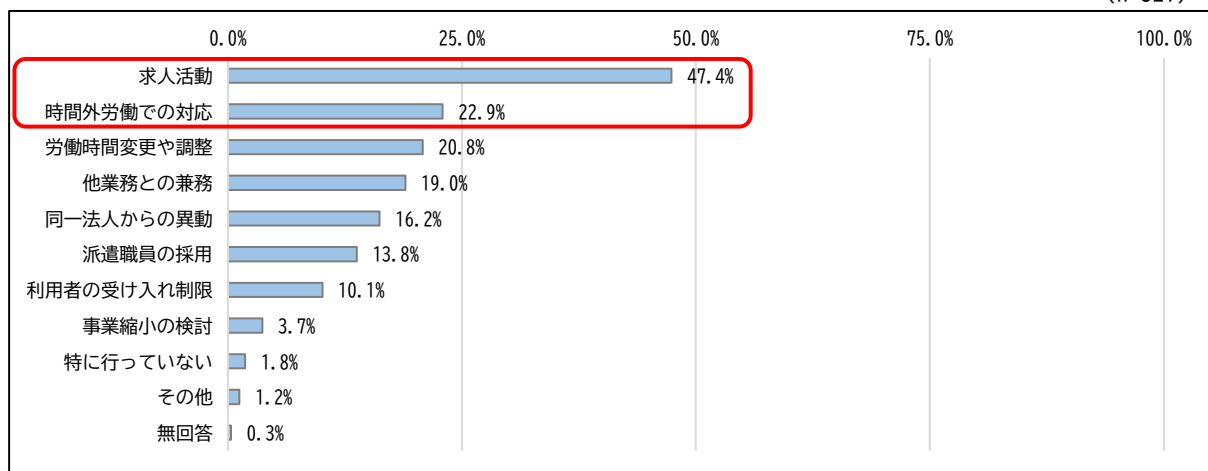
(n=327)

職種	平均不足人数
介護職員（身体介護を行う）	2.7人
補助的介護職員	1.9人
事務職	1.0人
送迎運転手	1.4人
看護師	1.5人
理学・作業療法士	1.0人

不足感を感じる業務や職種に対してどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

不足感を感じる業務や職種に対する取り組みとして「求人活動」が最も多く47.4%となる一方、「時間外労働での対応」について22.9%となっています。

(n=327)

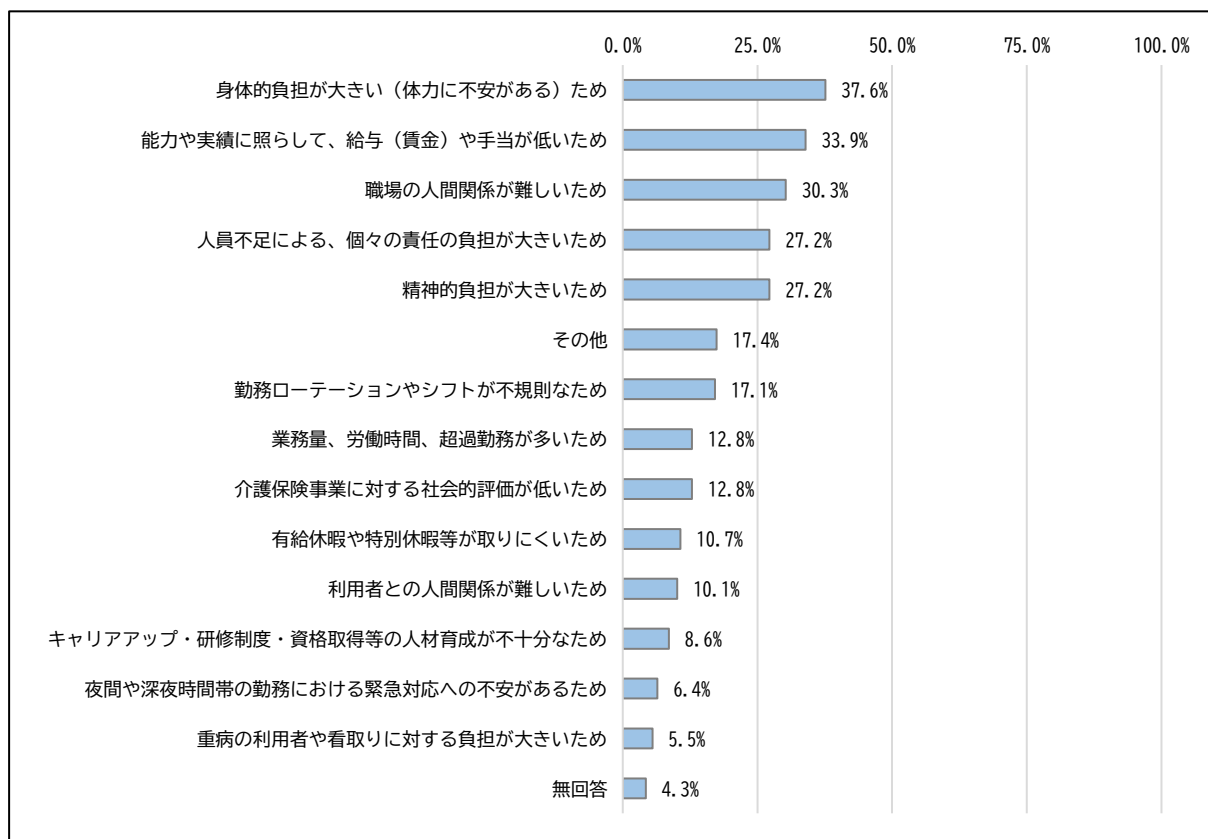


(9) 介護職員離職状況

貴事業所・施設から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。(あてはまるすべての番号に○)

事業所・施設から離職する理由として「身体的負担が大きい」が最も多く37.6%となっており、次いで「能力や実績に照らして、給与や手当が低い」となっています。

(n=327)

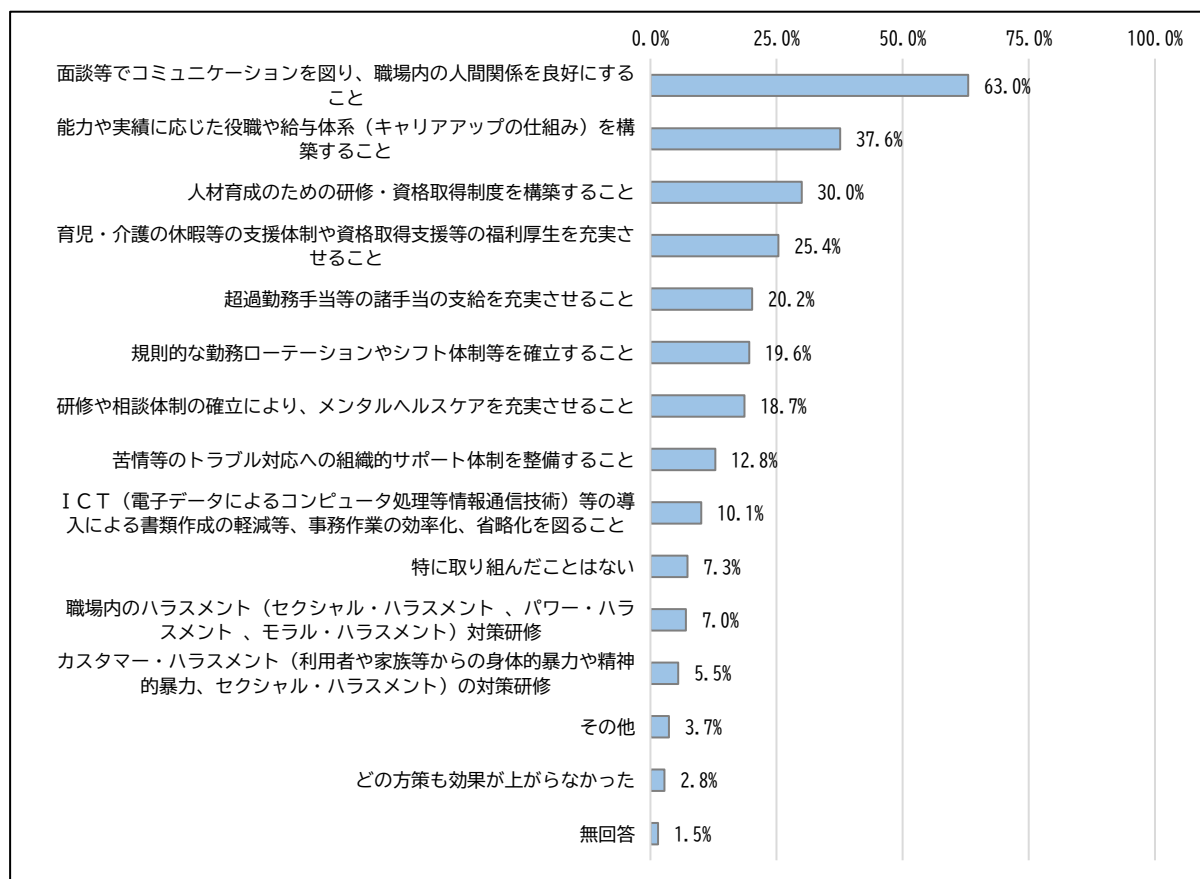


その他・・・本人の都合、家庭の事情、常勤になれないため

貴事業所・施設において、これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものはどれですか。（3つまでの番号に○）

これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策のうち、特に効果が高かったものとして「面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること」が最も多く63.0%となっている一方、離職理由として多くなっている「能力や実績に照らして、給与や手当が低いため」に対する方策である「能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること」については37.6%に留まっています。

(n=327)

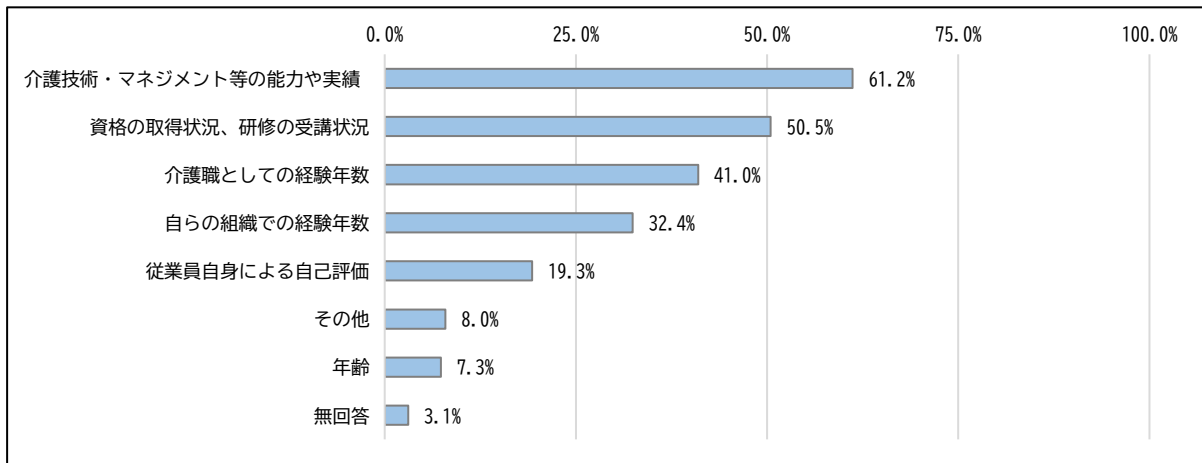


(10) 人事評価・人材育成状況

人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

人事評価や役職・給与の決定について、「介護技術・マネジメント等の能力や実績」が最も多く61.2%、次いで「資格の取得状況、研修の受講状況」が50.5%となっています。

(n=327)

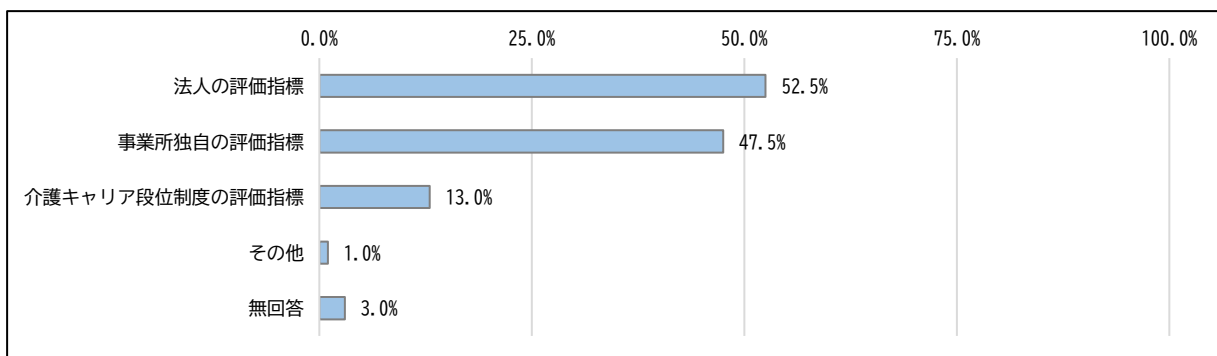


人事評価や役職・給与の決定を「介護技術・マネジメント等の能力や実績」に基づいて行っていると回答した方のみ、お答えください。

どのような指標で評価していますか。(あてはまるすべての番号に○)

人事評価や役職・給与の決定に関する評価指標について「法人の評価指標」が52.5%、「事業所独自の評価指標」47.5%となっています。

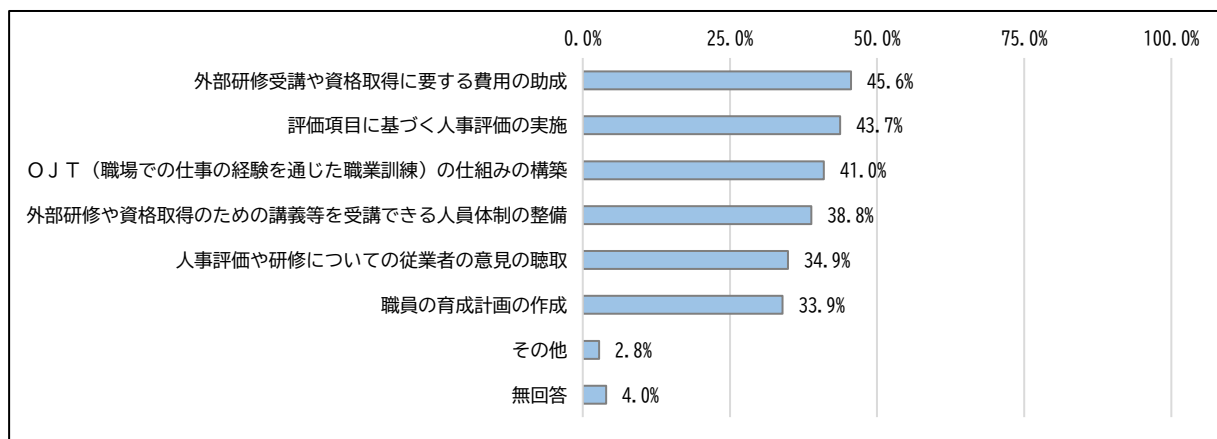
(n=200)



人材育成のために、どのような取組みを行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

人材育成のための取組みについて、「外部研修受講や資格取得に要する費用の助成」が最も多く 45.6%となっており、「評価項目に基づく人事評価の実施」「OJTの仕組みの構築」についても40%を超えています。

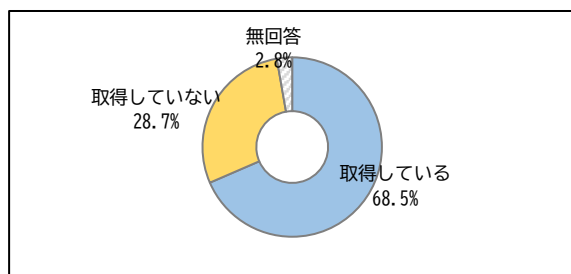
(n=327)



特定処遇改善加算（令和元年10月～）について取得していますか。(どちらかの番号に○)

特定処遇改善加算の取得について、68.5%の事業所施設が「取得している」と回答しています。

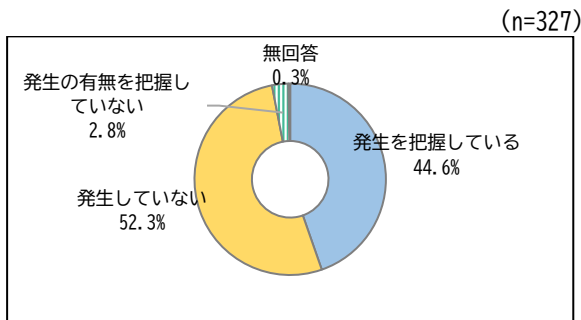
(n=327)



(10) ハラスメント発生・対応状況

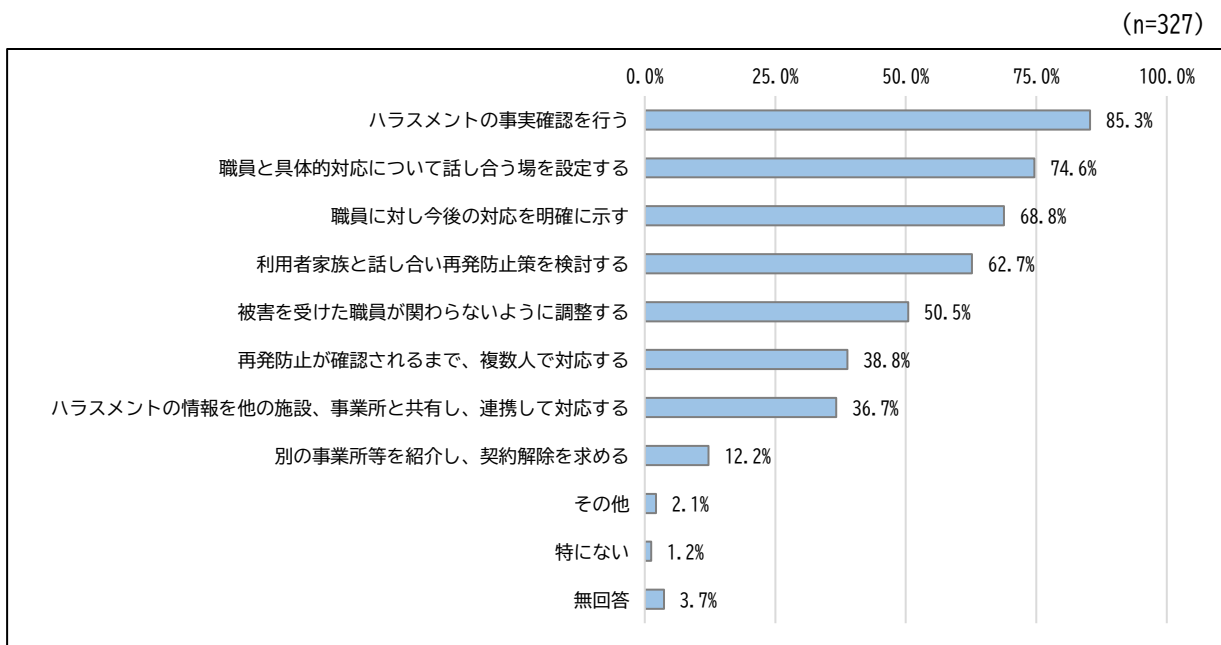
貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為（セクシャル・パワー・カスタマー）を把握していますか。（1つの番号に○）

利用者又は家族等からのハラスメント行為（セクシャル・パワー・カスタマー）について、「発生を把握している」と回答した割合は 44.6%となっており 4 割以上の事業所施設において利用者又は家族等からのハラスメントが発生している状況となっています。



貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時どのように対応します（しています）か。（あてはまる番号すべてに○）

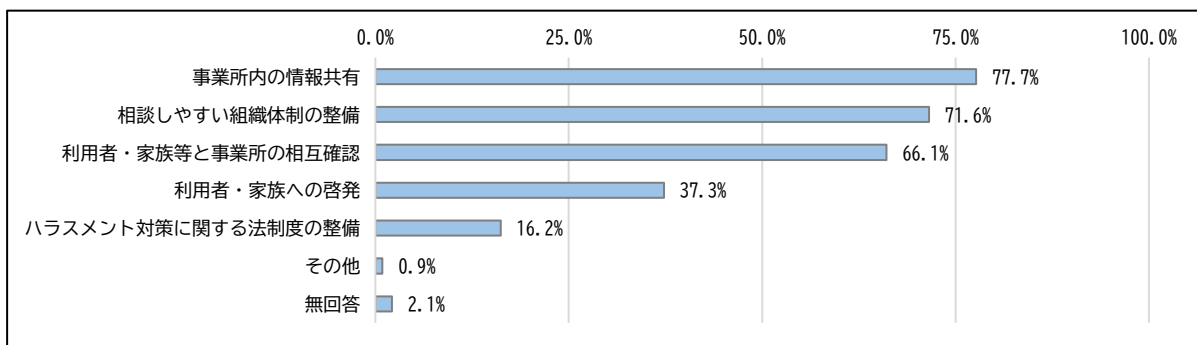
利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時の対応について、「ハラスメントの事実確認を行う」が最も多く 85.3%、次いで「職員と具体的対応について話し合う場を設定する」が 74.6%となっています。



ハラスメントの防止に必要な取り組みはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

ハラスメント防止の取り組みについて、「事業所内の情報共有」「相談しやすい組織体制の整備」が必要であると回答した割合はいずれも7割を超えています。

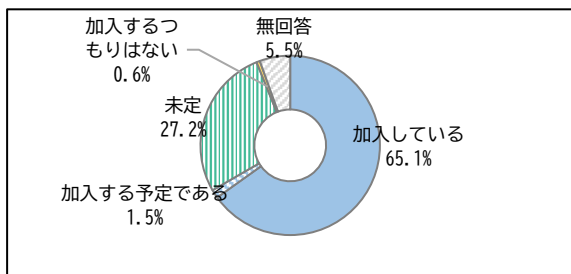
(n=327)



従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険に加入していますか。(1つの番号に○)

従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険の加入状況について、「加入している」と回答した割合は65.1%となっており、約2/3の事業所・施設が加入しています。

(n=327)

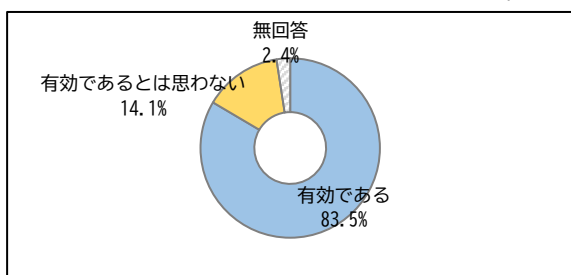


(11) 事務効率化状況

行政提出書類の簡素化は人材確保対策に有効だと思いますか。(どちらかの番号に○)

行政提出書類の簡素化が人材確保対策に「有効である」と回答した割合は83.5%と高くなっています。

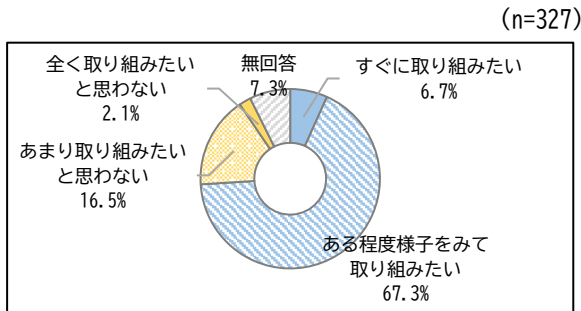
(n=327)



第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

人材育成、事務処理の協同化など事業者間連携（事業者組合）について取り組みたいと考えていますか。（1つの番号に○）

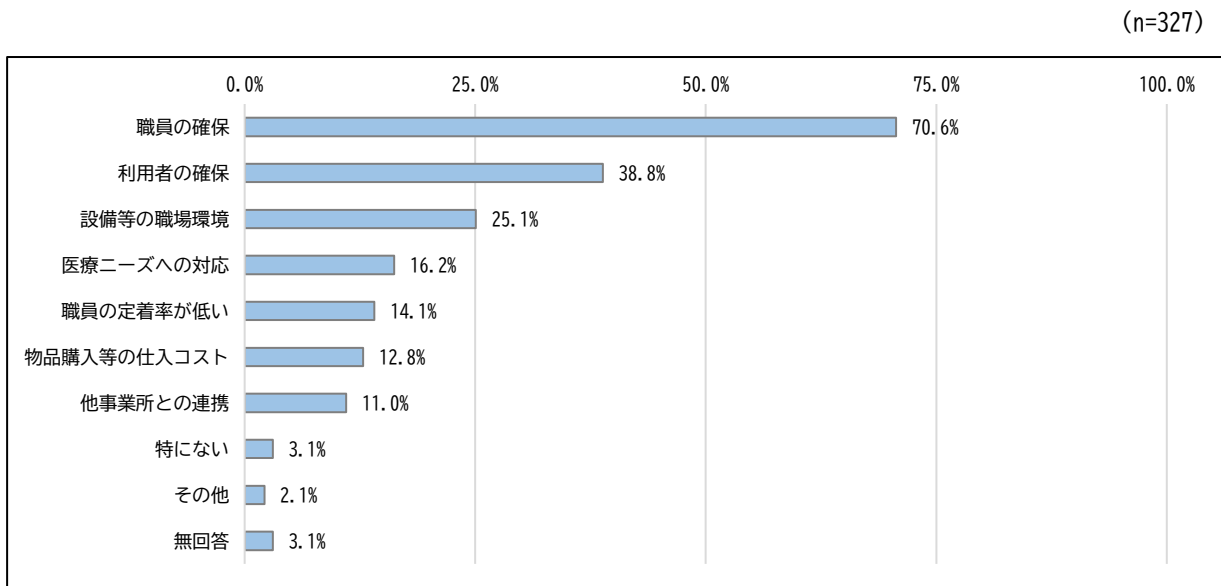
人材育成、事務処理の協同化など事業者間連携（事業者組合）について「すぐに取り組みたい」と考えている事業所・施設は6.7%、「ある程度様子を見て取り組みたい」と考えている事業所・施設は67.3%となり、事業者間連携の取り組みの意向を申請している事業所・施設は約3/4となっています。



(12) 事業運営課題状況

貴事業所・施設における、運営上の課題はどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

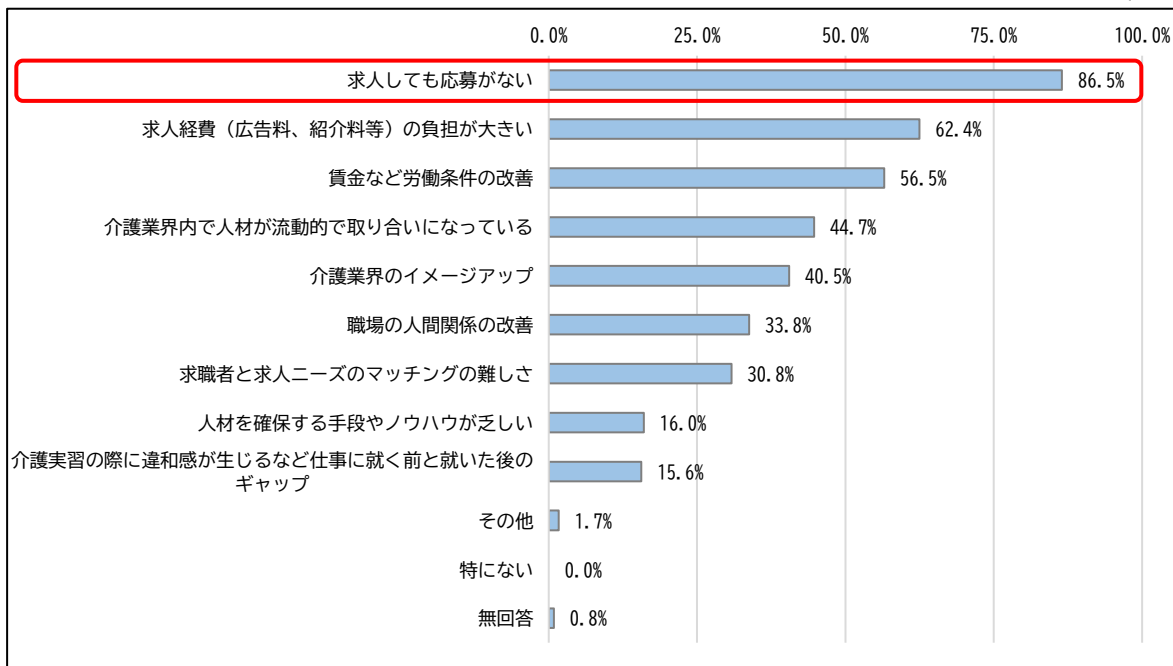
事業所・施設における、運営上の課題について、「職員の確保」が最も多く70.6%となっている一方、「利用者の確保」については38.8%となっており、運営上では人材確保が喫緊の課題となっていることが示されています。



運営上の課題として職員の確保、職員の定着率が低いと回答した方のみ、お答えください。
 人材確保や職員の定着率を高めるうえで、課題と感じているのはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

人材確保や職員の定着率を高めるうえでの課題について、「求人しても応募が無い」ことが86.5%と、他と比較して非常に高くなっています。

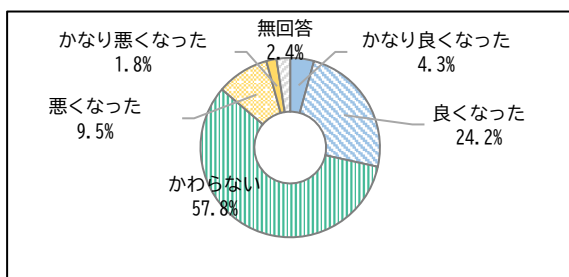
(n=237)



介護職のイメージについて3年前（平成29年）頃と比較して変わったと思いますか。（1つの番号に○）

3年前頃と比較して介護職のイメージについて「かなり良くなった」「良くなった」と回答した割合は28.5%と約3割となっており、「かわらない」と回答した割合は57.8%となるなど、3年前よりイメージが悪くなっている割合は少なくなっています。

(n=327)



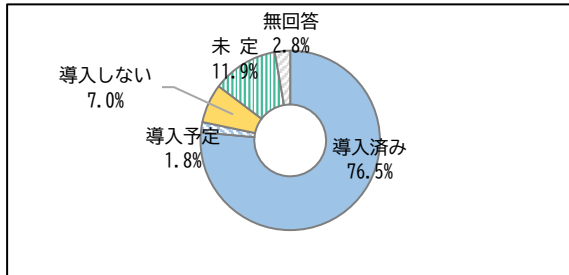
(13) ICT・介護ロボット導入状況

貴事業所・施設における、以下のICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）・介護ロボットの導入状況についてお答えください。

事業所・施設における、ICT・介護ロボットの導入状況については以下の通りとなっています。

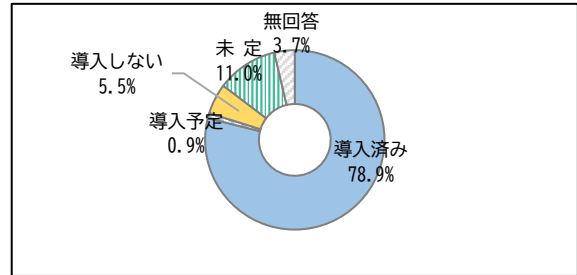
① 会計システム（利用者請求）

(n=327)



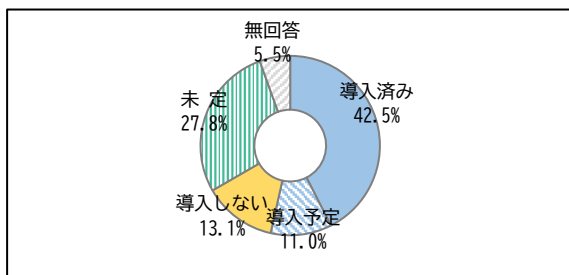
② 給付費請求システム

(n=327)



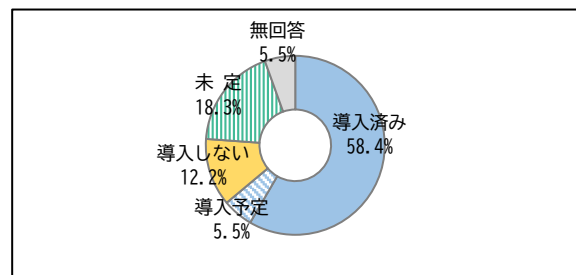
③ 介護・記録管理システム

(n=327)



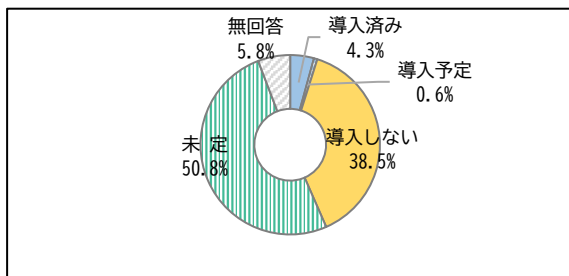
④ 給与計算・勤怠管理システム

(n=327)



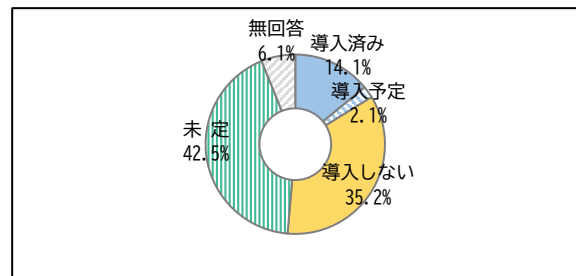
⑤ 身体装着型パワースーツ

(n=327)



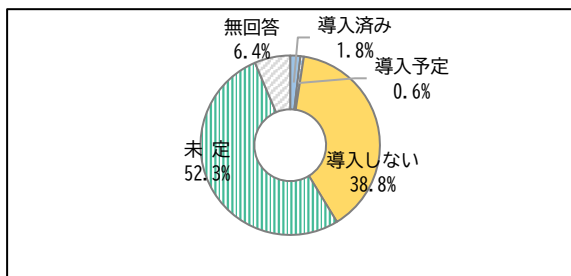
⑥ 見守りセンサー（ロボット）

(n=327)



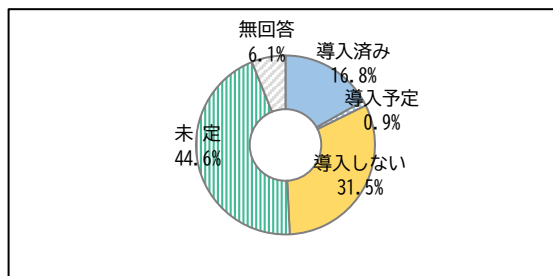
⑦ 排せつ支援機器

(n=327)



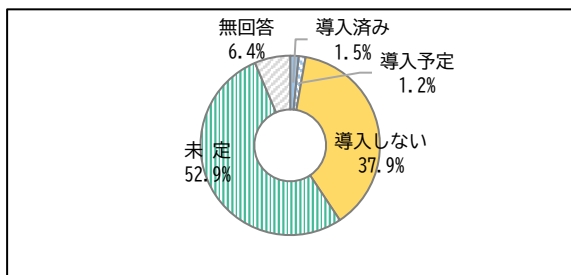
⑧ 入浴支援機器

(n=327)



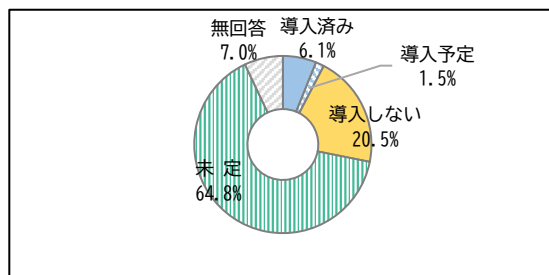
⑨ コミュニケーションロボット

(n=327)



⑩ 医療介護連携システム

(n=327)



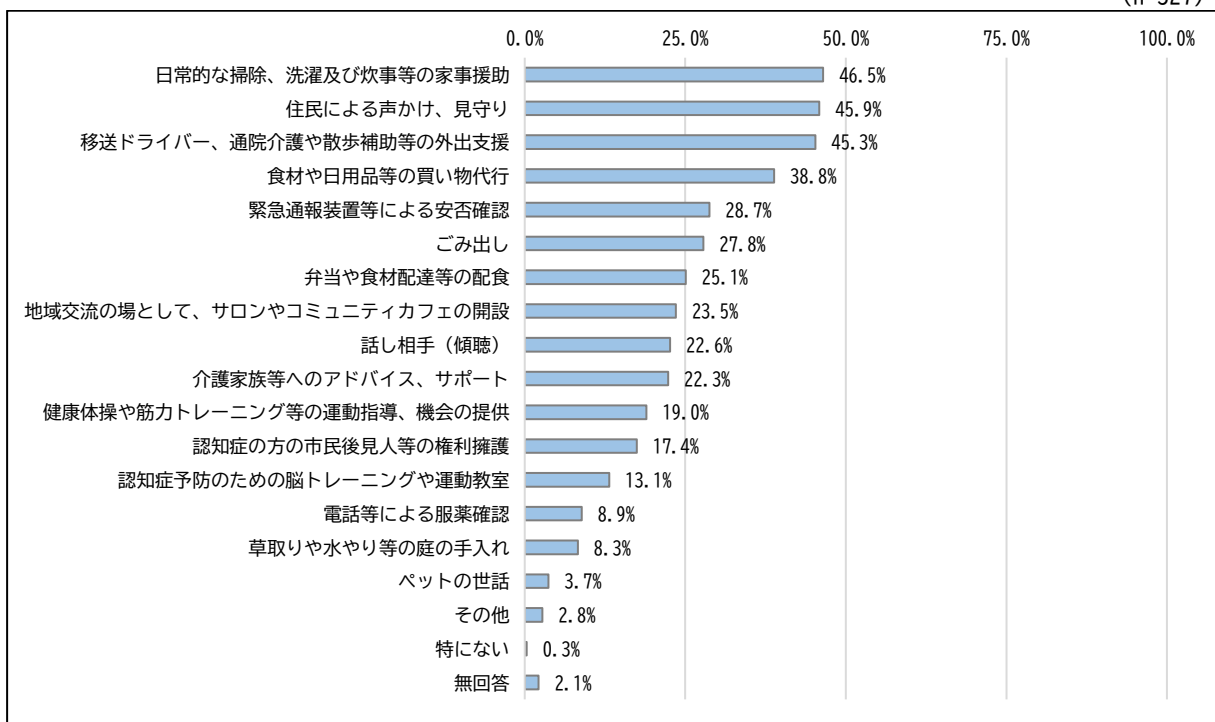
3. 介護サービスに関することについて

(1) 自立支援・重度化防止等の取り組み状況

今後、高齢になっても住み慣れた地域（住宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。（4つまで番号に○）

高齢になっても住み慣れた地域で生活を続けるために必要な生活支援として「日常的な掃除、洗濯及び炊事等の家事援助」「住民による声かけ、見守り」「移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援」が多く、いずれも約45%が必要であると思うと回答しています。

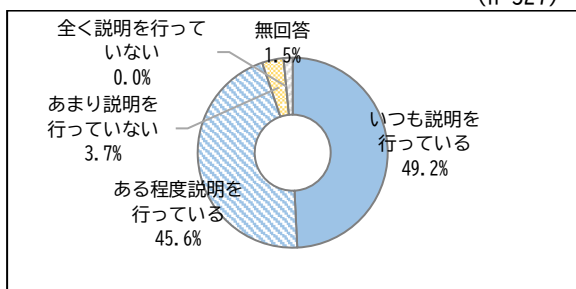
(n=327)



貴事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、そのための介護を行うことについて説明を行っていますか。（1つの番号に○）

日常生活の自立に向けた介護を行うことについて「いつも説明を行っている」と回答した割合は49.2%と約半数となっています。また、「ある程度説明を行っている」を含めると94.8%となり、ほとんどの事業所・施設で日常生活の自立に向けた介護を行うことについて説明を行っています。

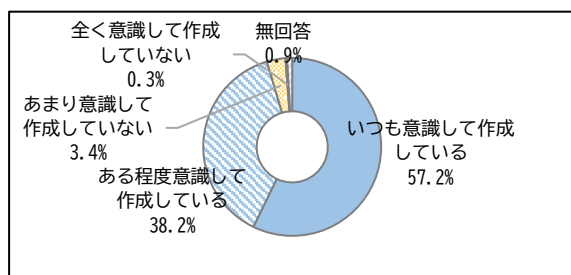
(n=327)



貴事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標等、自立支援・重度化防止を意識した個別介護計画を作成していますか。(1つの番号に○)

個別介護計画の策定の際、日常生活の自立に向けた自立支援・重度化防止を「いつも意識して作成している」と回答した割合は57.2%と約6割となっています。また、「ある程度意識して作成している」を含めると95.4%となり、ほとんどの事業所・施設で自立支援・重度化防止を意識して個別介護計画を作成しています。

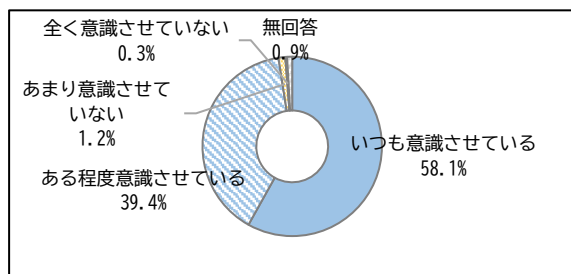
(n=327)



自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うよう職員に意識させていますか。(1つの番号に○)

自立支援・重度化防止を意識したケアを行うよう「いつも意識させている」と回答した割合は58.1%と約6割となっています。また、「ある程度意識させている」を含めると97.5%となり、ほとんどの事業所・施設で自立支援・重度化防止を意識したケアを行うよう意識させています。

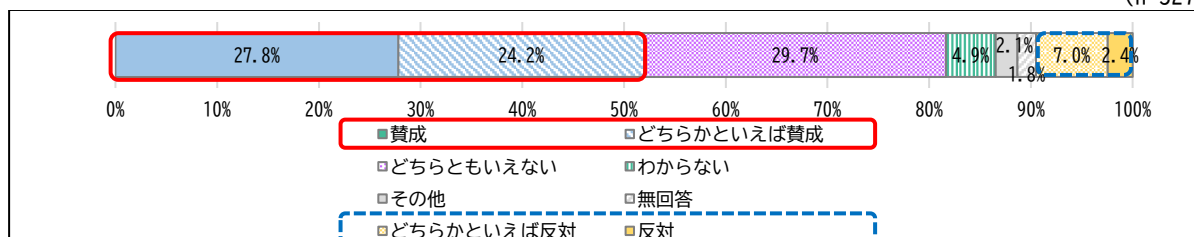
(n=327)



自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに関してどのように考えますか。(1つの番号に○)

自立支援・重度化防止の取り組みに対する事業者へのインセンティブ付与について、「賛成」「どちらかといえば賛成」が52.0%となり、「反対」「どちらかといえば反対」の9.4%を大きく上回っています。

(n=327)



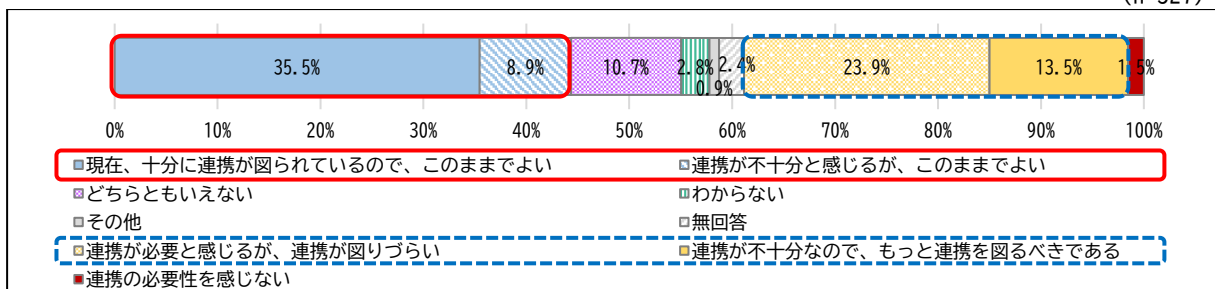
4. 地域連携について

(1) 地域包括支援センターとの連携状況

地域包括支援センターとの連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

地域包括支援センターとの連携について「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は35.5%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は44.4%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は23.9%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は37.4%となっています。

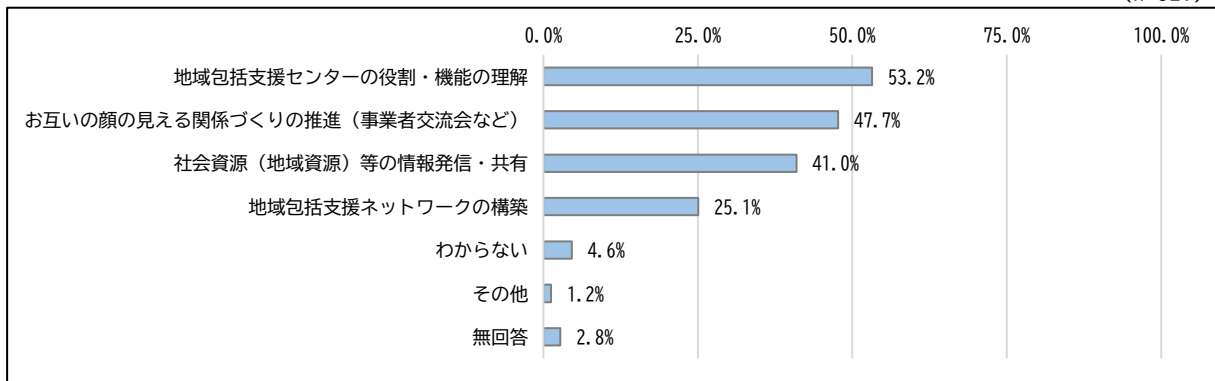
(n=327)



地域包括支援センターとの連携を図るためには、特に何が必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

地域包括支援センターとの連携を図るために特に必要なこととして「地域包括支援センターの役割・機能の理解」が最も多く53.2%となっています。

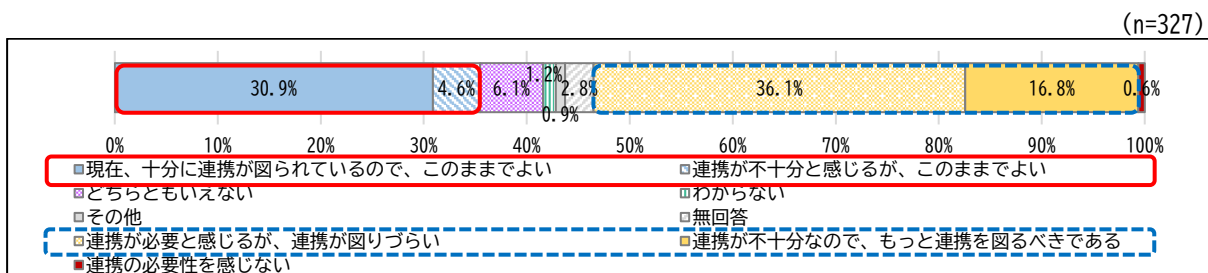
(n=327)



(2) 医療と介護の連携状況

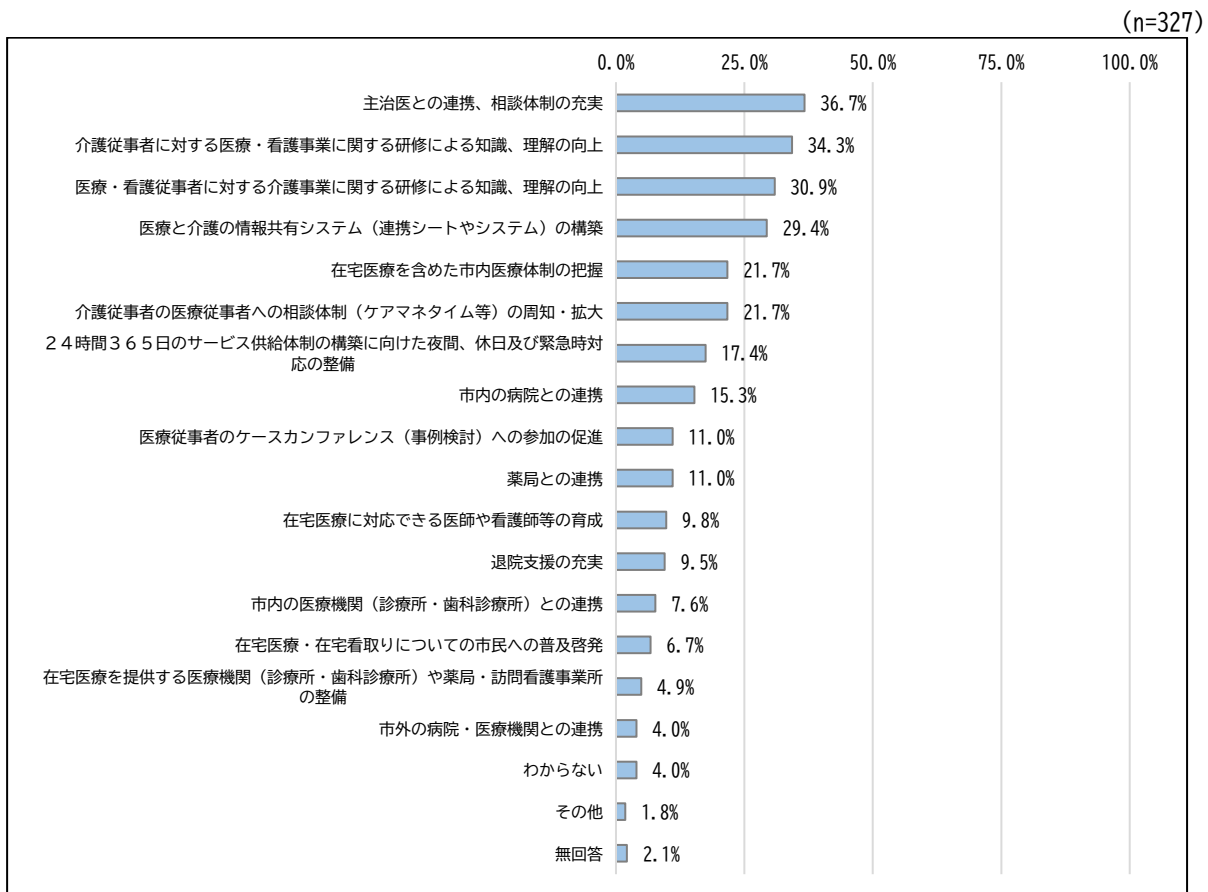
医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

医療と介護の連携について「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は30.9%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は35.5%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は36.1%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は52.9%と半数を超えています。



医療と介護の連携を図るために、課題と感じていることは何ですか。(3つまで番号に○)

医療と介護の連携を図るために課題と感じていることとして、「主治医との連携、相談体制の充実」が最も多く36.7%となっています。また、「介護従事者に対する医療・看護事業に関する研修による知識、理解の向上」についても34.3%が課題としています。

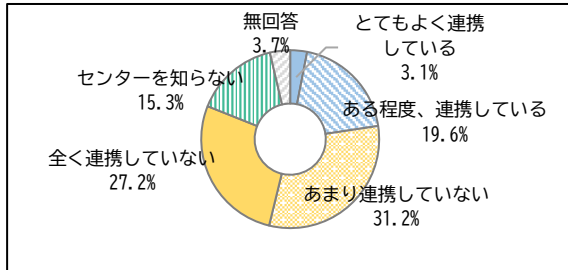


第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

松戸市在宅医療・介護連携支援センターと連携を図っていますか。(1つの番号に○)

松戸市在宅医療・介護連携支援センターとの連携について、「とてもよく連携している」「ある程度連携している」と回答した割合は22.7%となる一方、「センターを知らない」と回答した割合が15.3%となっています。

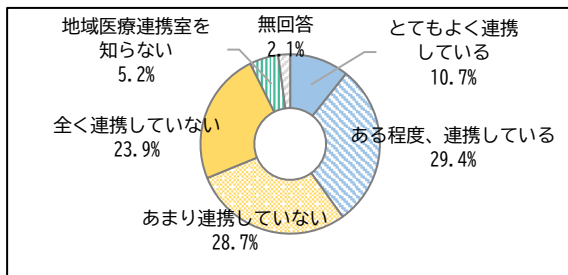
(n=327)



医療機関にある地域医療連携室と連携を図っていますか。(1つの番号に○)

医療機関にある地域医療連携室との連携について、「とてもよく連携している」「ある程度連携している」と回答した割合は40.1%となっています。

(n=327)

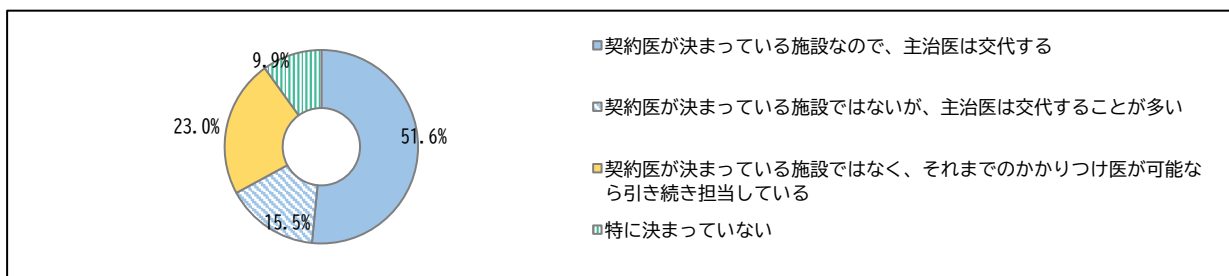


入所施設の方のみご回答ください。

かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後に担当する主治医について、どのような体制をとっていますか。(1つの番号に○)

入所施設において、かかりつけ医のいる方が入所された場合、「契約医が決まっている施設なので、主治医は交代する」と回答した割合が最も多く51.6%となっています。また、「契約医が決まっている施設ではないが、主治医は交代することが多い」を含めると67.1%と約7割が主治医を交代することとしています。

(n=161)

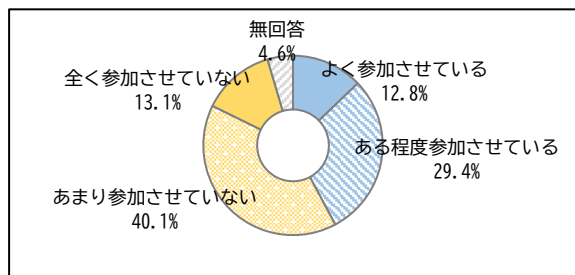


(3) 他職種・他機関の連携状況

職員に対して自身の職種の集まりだけではなく、医療職やリハ職等、他の専門職員の集まり（会議・研修）に参加させていますか。

他の専門職員の集まりへの職員の参加について、「よく参加させている」「ある程度参加させている」と回答した割合は42.2%となっています。

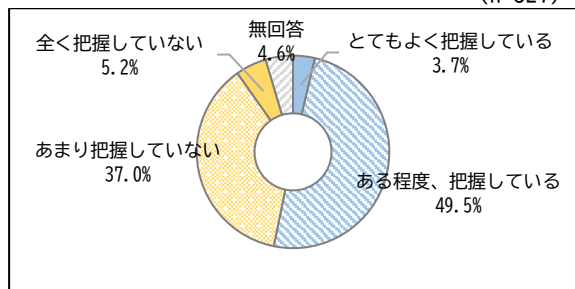
(n=327)



地域のお機関（施設）にどのような専門職がいるか把握していますか。（1つの番号に○）

地域のお機関における専門職の把握について、「とてもよく把握している」「ある程度把握している」と回答した割合は53.2%となっています。

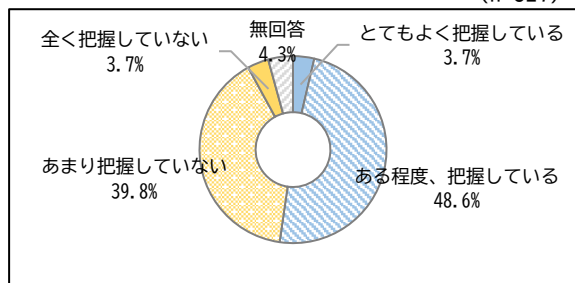
(n=327)



地域にどのような活用可能な社会資源があるか把握していますか。（1つの番号に○）

地域の活用可能な社会資源の把握について、「とてもよく把握している」「ある程度把握している」と回答した割合は52.3%となっています。

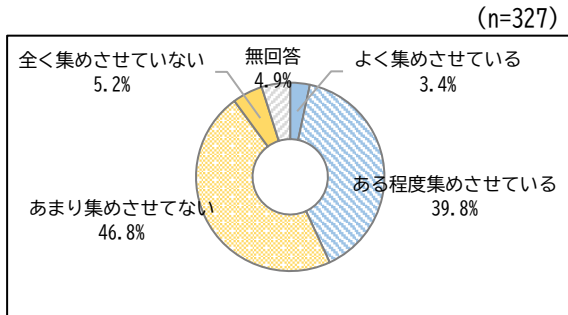
(n=327)



第2章 調査の結果 「1. 介護事業所・施設アンケート調査」

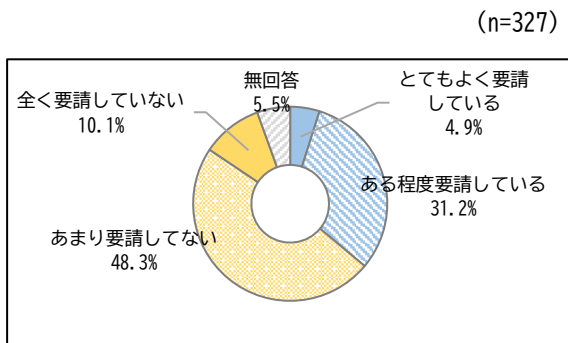
職員に対してサービス提供に必要な知識や情報を他機関（町会等を含む）・他職種から集めさせていますか。（1つの番号に○）

サービス提供に必要な知識や情報を他機関・他職種から集めることについて、職員に対して「よく集めさせている」「ある程度集めさせている」と回答した割合は43.2%となっています。



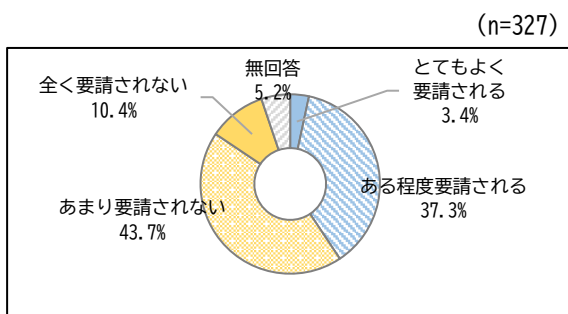
所属している職員は利用者の相談内容や問題状況を基礎に、他機関（町会等を含む）・他職種に対して協力を要請する機会が多いですか。（1つの番号に○）

利用者の相談内容や問題状況を基礎に、他機関・他職種に対して協力を要請する機会について、「とてもよく要請している」「ある程度要請している」と回答した割合は36.1%となっています。



貴事業所・施設は、他の機関（町会等を含む）からよく協力を要請されますか。（1つの番号に○）

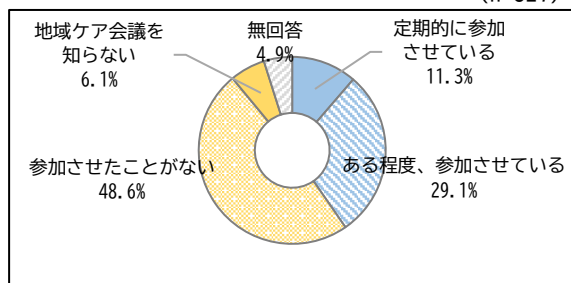
他の機関からの協力要請について「とてもよく要請される」「ある程度要請される」と回答した割合は40.7%となっています



職員に対して地域ケア会議にどのくらい参加させていますか。(1つの番号に○)

職員に対する地域ケア会議への参加について「定期的に参加させている」「ある程度参加させている」と回答した割合は40.4%となっています

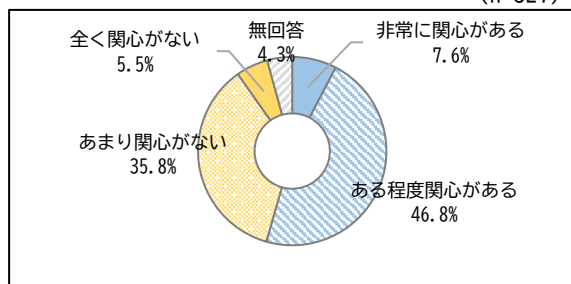
(n=327)



共生型サービスについて関心がありますか。(1つの番号に○)

共生型サービスへの関心について「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と回答した割合は54.4%となっています

(n=327)



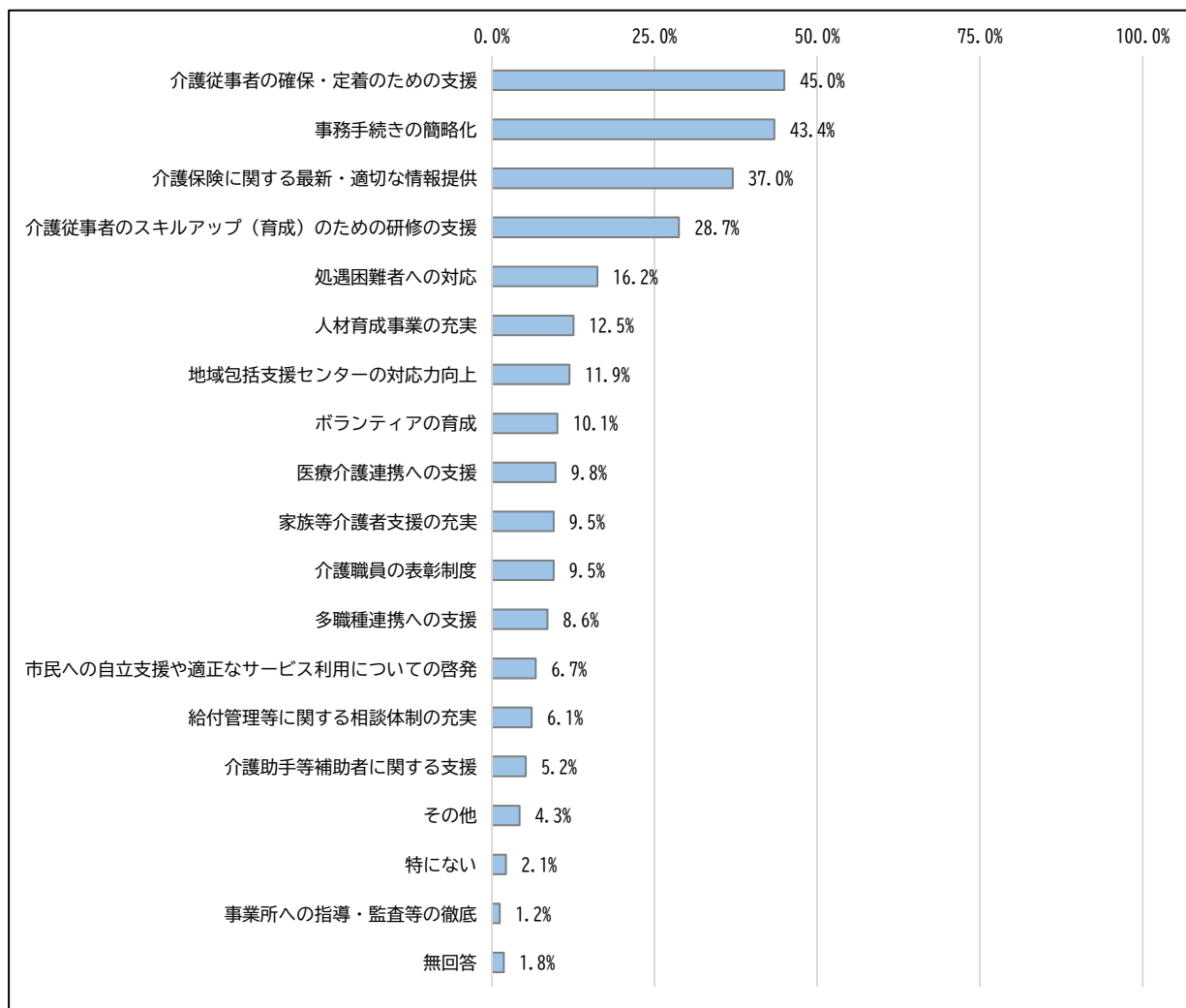
5. 松戸市への要望について

(1) 事業所・施設の経営者・管理者としての要望

貴事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。
(3つまで番号に○)

事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むこととして、「介護従事者の確保・定着のための支援」が最も多く、次いで「事務手続きの簡略化」となっています。

(n=327)



2. 従事者アンケート調査

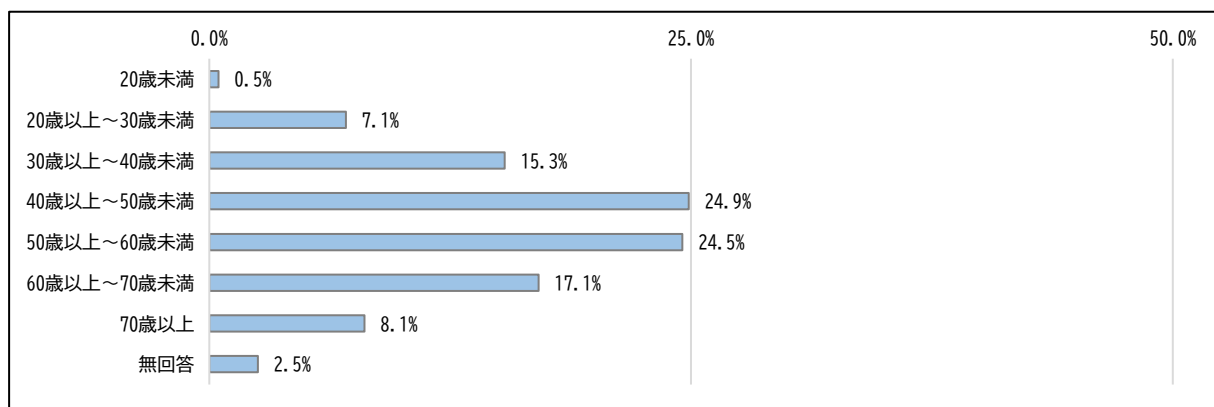
1. 基本的事項及び就労状況や就労意識について

(1) 回答者年齢・性別・居住状況

令和2年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。(数字を記入)

回答者の年齢について、「40歳以上50歳未満」が最も多く24.9%、次いで「50歳以上60歳未満」となっています。

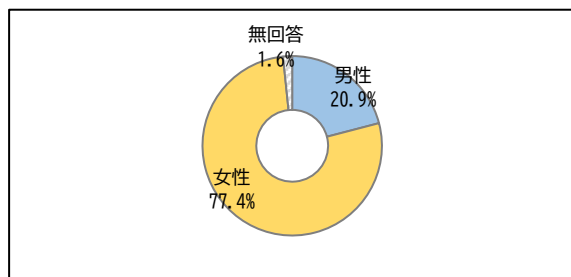
(n=2,693)



あなたの性別をお答えください。(どちらかの番号に○)

回答者の性別について、「男性」が20.9%、「女性」が77.4%となっており、おおよその比率として男性：2、女性：8となっています。

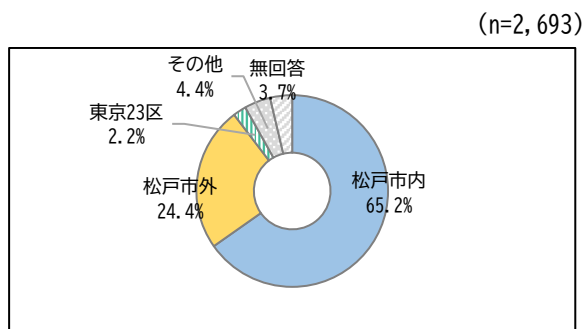
(n=2,693)



第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

あなたのお住まいはどちらですか。(1つの番号に○)

回答者の居住地について、「松戸市内」が65.2%となっており、松戸市外は24.4%となっています。なお、松戸市外の主な市町村内訳と割合は右の表の通りとなっています。

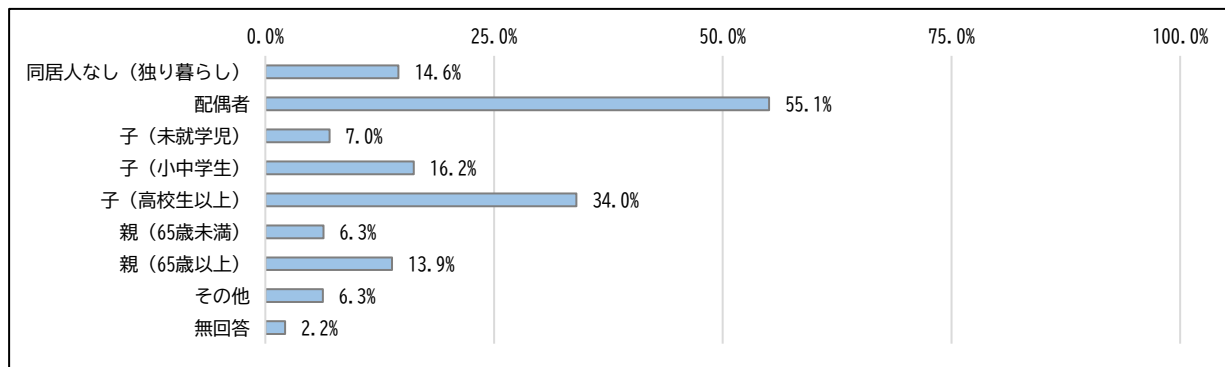


松戸市外 市町村名	割合
柏市	8.2%
流山市	3.1%
市川市	2.6%
鎌ヶ谷市	2.3%
船橋市	1.6%
我孫子市	0.9%
白井市	0.8%

あなたと同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

回答者の同居状況について以下の通りとなっています。

(n=2,693)



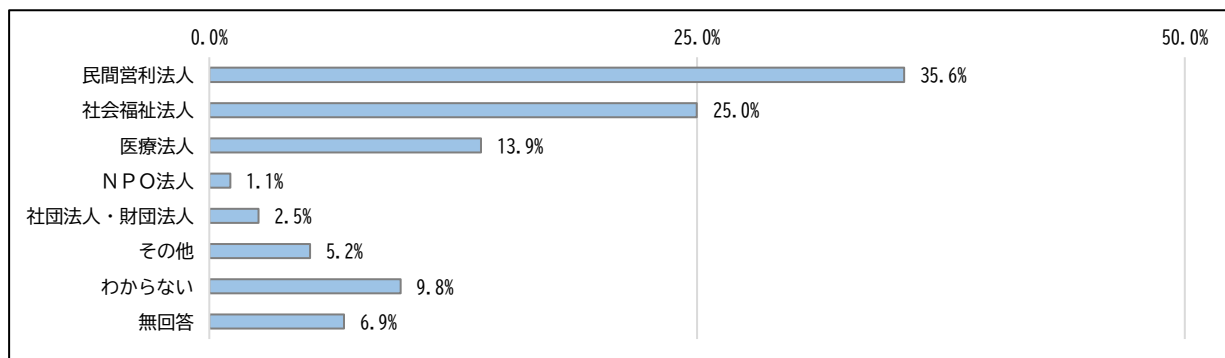
その他・・・きょうだい、友人、孫

(2) 所属法人種別、事業所・施設状況

あなたが現在働いている(調査票が配布された)事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

回答者が勤務する事業所・施設の法人種別について、「民間営利法人」が最も多く35.6%となっています。

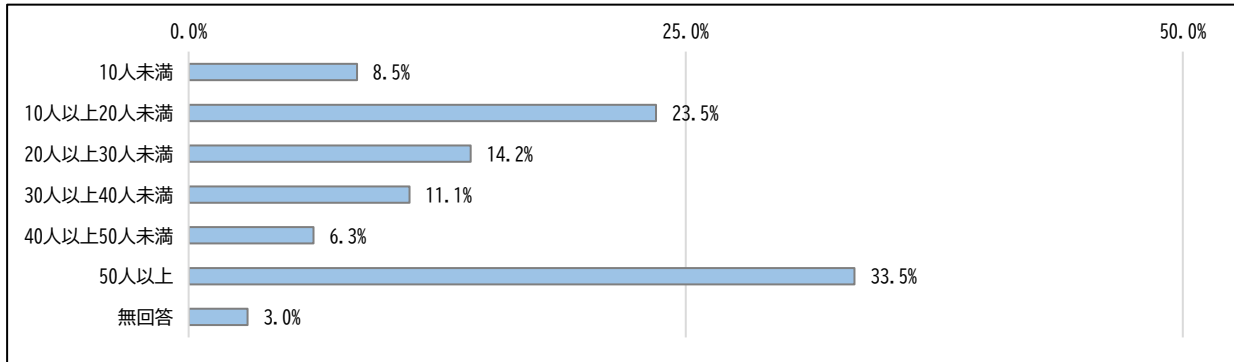
(n=2,693)



あなたが現在働いている事業所・施設では、施設長・管理者を含めて約何人が働いていますか。(1つの番号に○)

回答者が勤務する事業所・施設の職員数について、「50人以上」が最も多く33.5%となっています。

(n=2,693)

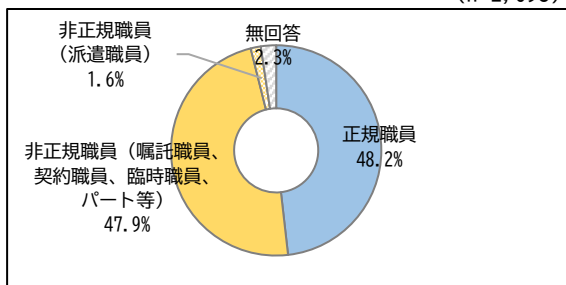


(3) 雇用形態状況

あなたが現在働いている事業所・施設における、あなたの雇用形態はどれですか。(1つの番号に○)

回答者の雇用形態について、「正規職員」が48.2%、「非正規職員」が47.9%となっており、概ね半々となっています

(n=2,693)

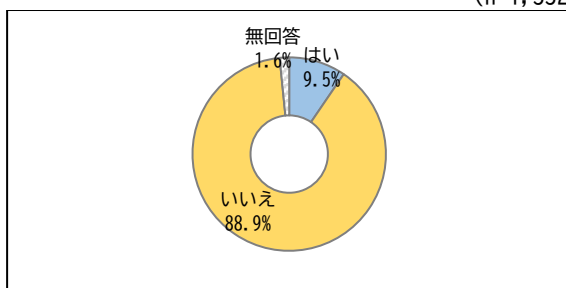


雇用形態として「非正規職員」と回答した方のみ、お答えください。

正規職員として働きたいですか。(どちらかの番号に○)

非正規職員の方が正規職員として働きたいとの意向について、「いいえ」が88.9%となっており、非正規職員として継続希望が約9割を占めています。

(n=1,332)

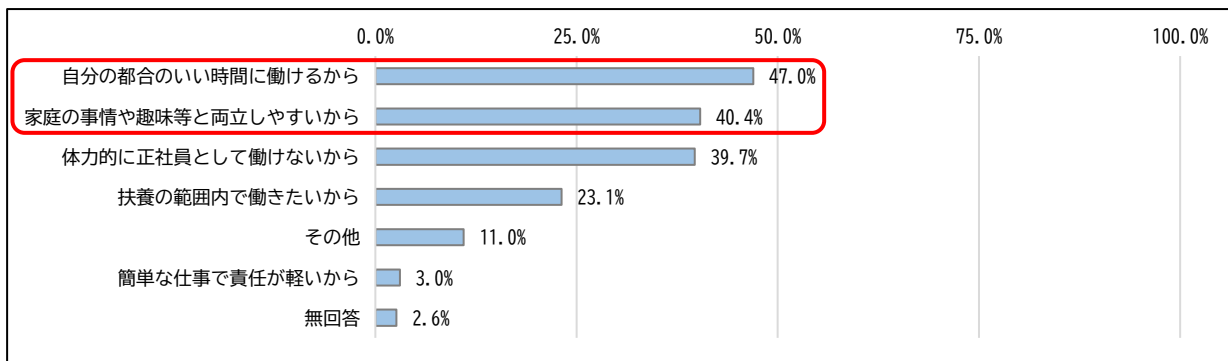


第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

非正規職員のうち、正規職員として働きたいと回答した方のみ、お答えください。
 正規職員として働きたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

非正規職員の方が正規職員として働きたい理由として、「自分の都合のいい時間に働けるから」が最も多く47.0%となっており、次いで「家庭の事情や趣味等と両立しやすいから」となっています。

(n=1,184)



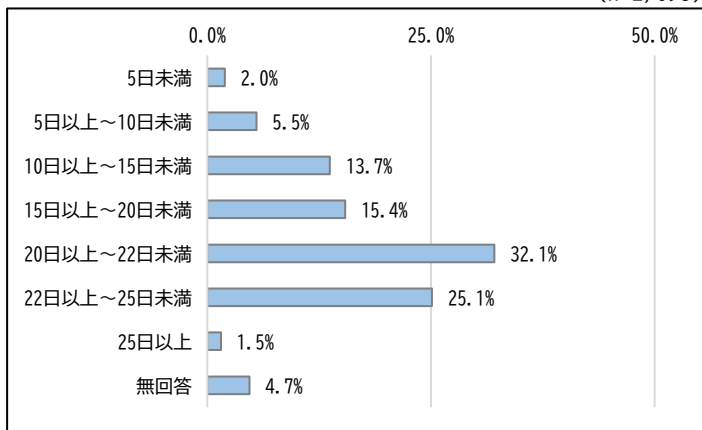
(4) 勤務状況

現在働いている事業所・施設における勤務状況として、以下のひと月あたりの状況についてお答えください。

ひと月あたりの平均勤務日数、平均勤務時間、平均超過時間、平均深夜勤務日数について、次の通りとなっています。

① 平均勤務日数

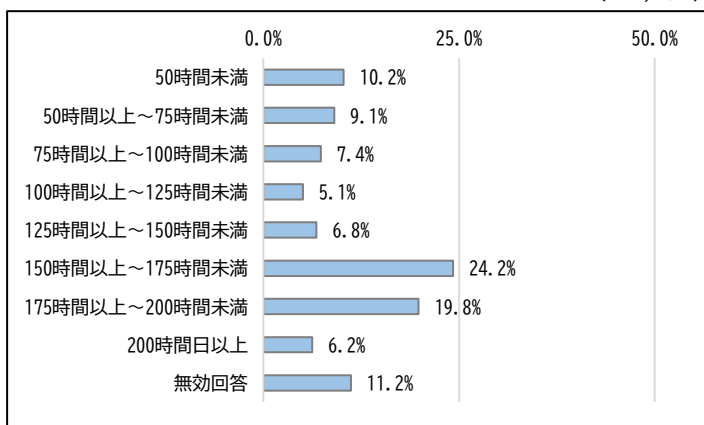
(n=2,693)



	平均日数
ひと月あたり勤務日数	18.1日

② 平均勤務時間（超過勤務時間を含む）

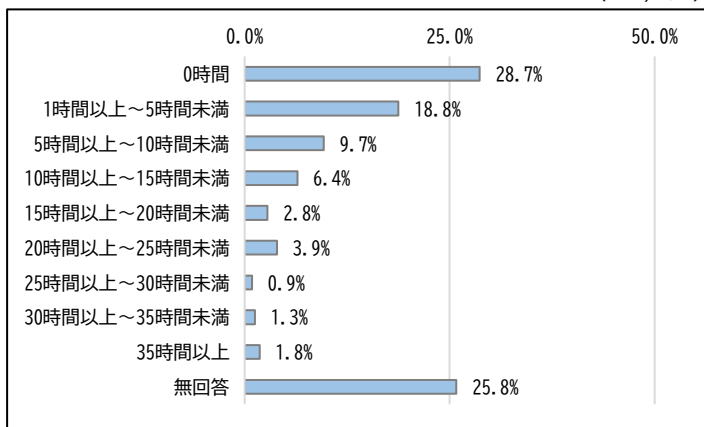
(n=2,693)



	平均時間
ひと月あたり勤務時間	133.4 時間

③ 平均超過勤務時間

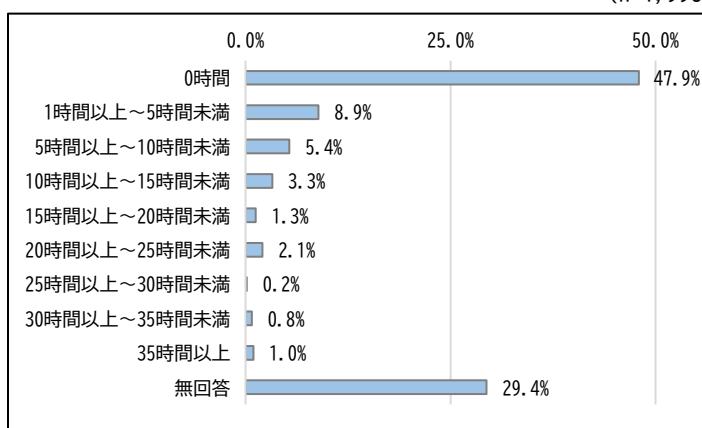
(n=2,693)



	平均時間
ひと月あたり超過勤務時間	5.9 時間

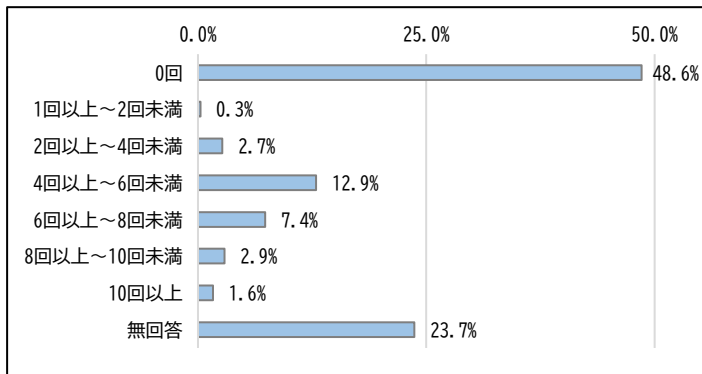
上記超過勤務のうち、超過勤務手当が出ない超過勤務時間

(n=1,998)



④ 平均深夜勤務回数

(n=2,693)



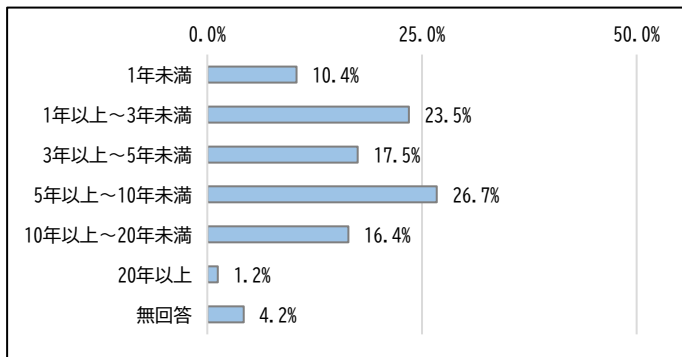
(5) 在籍状況

現在働いている事業所・施設における在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数をお答えください。

現在働いている事業所・施設における在籍年数について、「5年以上10年未満」が最も多く26.7%となり、介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数については「10年以上20年未満」が最も多く33.3%となっています。

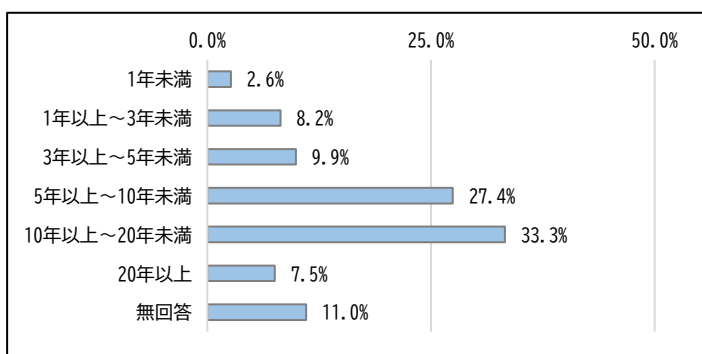
① 現在働いている事業所・施設における在籍年数

(n=2,693)



② 介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数

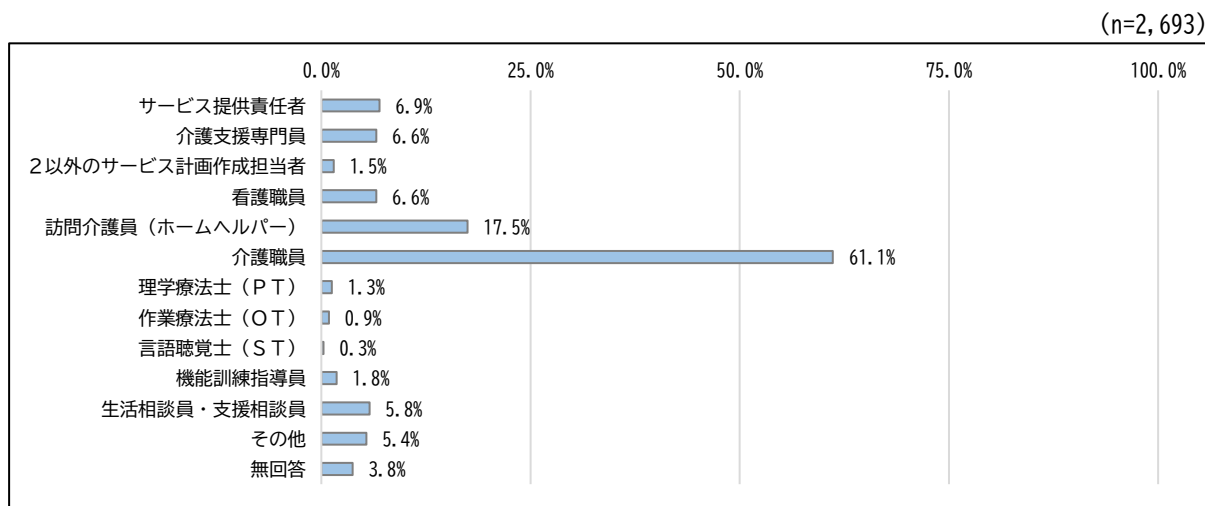
(n=2,693)



(6) 職種・資格状況

あなたが現在働いている事業所・施設における具体的な職種はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

回答者の職種について「介護職員」が最も多く 61.1%となり、次いで「訪問介護員」が 17.5%となっています。

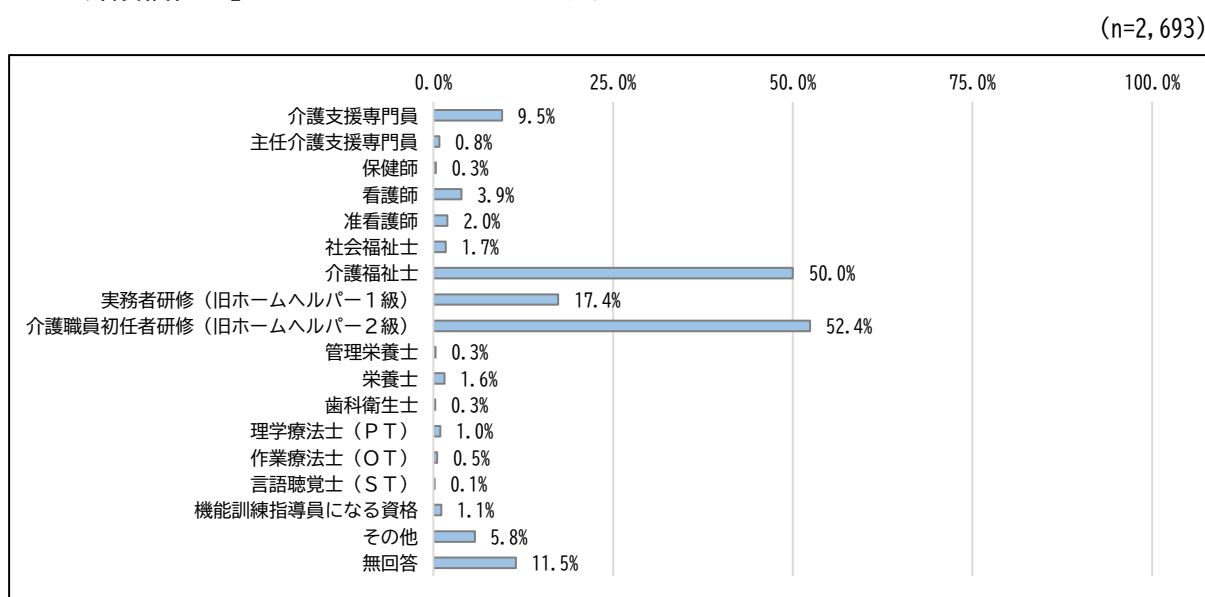


その他・・・運転手、調理員、事務員、管理者

あなたが現在お持ちの保健医療福祉関係の資格と、今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格をお答えください。

① 現在の保有資格

現在の保有資格について、「介護職員初任者研修」が最も多く 52.4%となっており、次いで「介護福祉士」が 50.0%となっています。

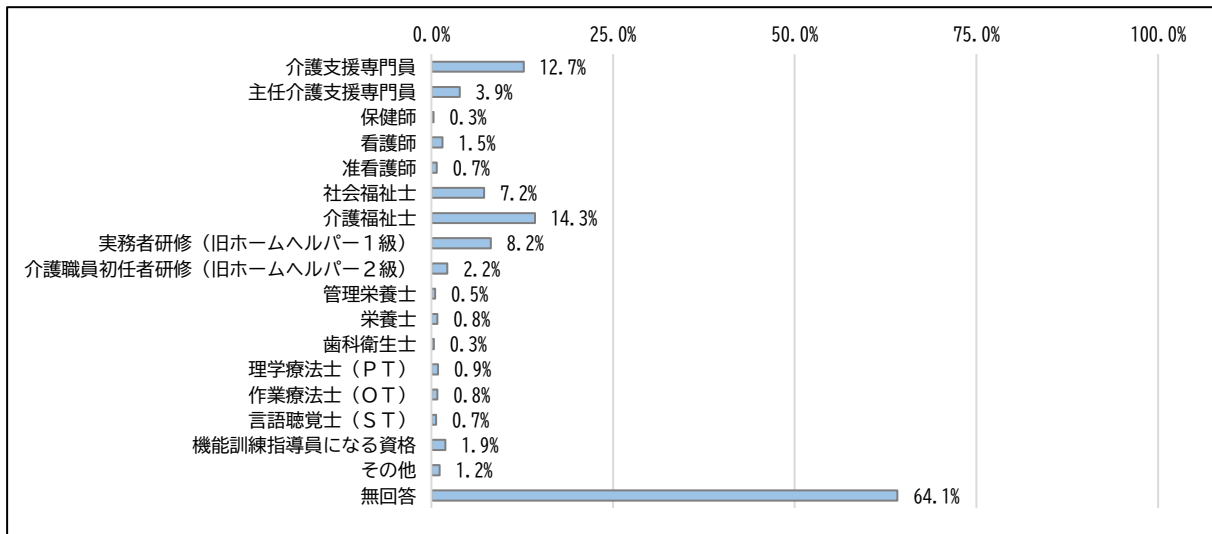


その他・・・社会福祉主事、認知症ケア専門士、福祉住環境コーディネーター、福祉用具専門相談員

第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

② 今後取得したいと思う資格

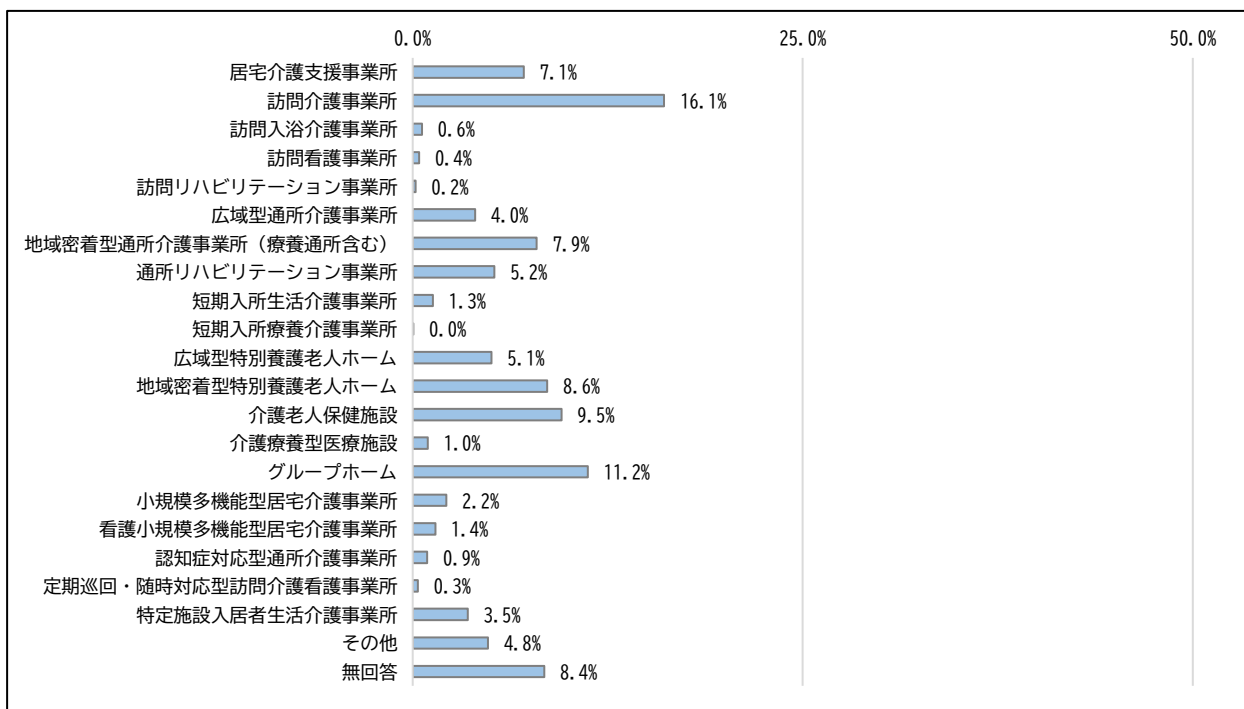
(n=2,693)



あなたが現在働いている事業所・施設（兼務している場合は主たる事業所・施設）の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

回答者が勤務する事業所・施設の介護サービス種別は以下の通りとなっています。

(n=2,693)

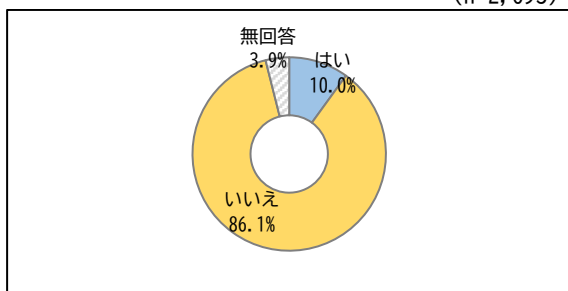


その他・・・サービス付高齢者住宅、介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム

あなたは同一法人内の他の事業所・施設で兼務していますか。(どちらかの番号に○)

同一法人内の他の事業所・施設と兼務している割合は10.0%となっています。

(n=2,693)

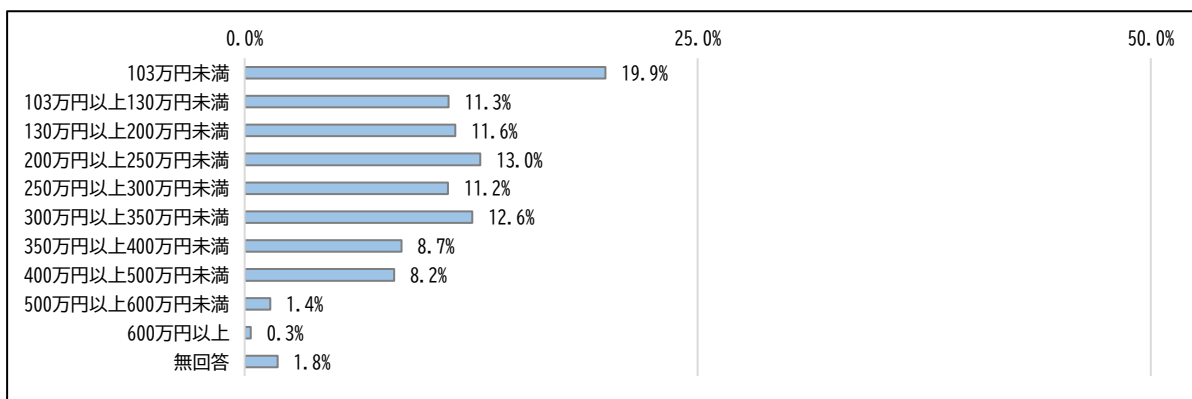


(7) 所得状況

現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。(1つの番号に○)

現在働いている事業所・施設における年収については以下の通りとなっています。

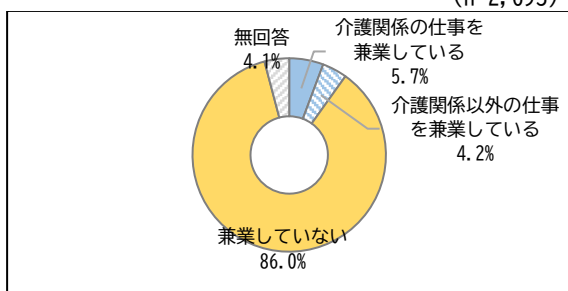
(n=2,693)



あなたが現在働いている事業所・施設以外に、兼業(同一法人内での仕事は除く)している仕事がありますか。(1つの番号に○)

現在働いている事業所・施設以外に兼業している仕事があると回答した割合は9.9%と約1割となっており、介護関係以外の仕事を兼業している割合は4.2%となっています。

(n=2,693)



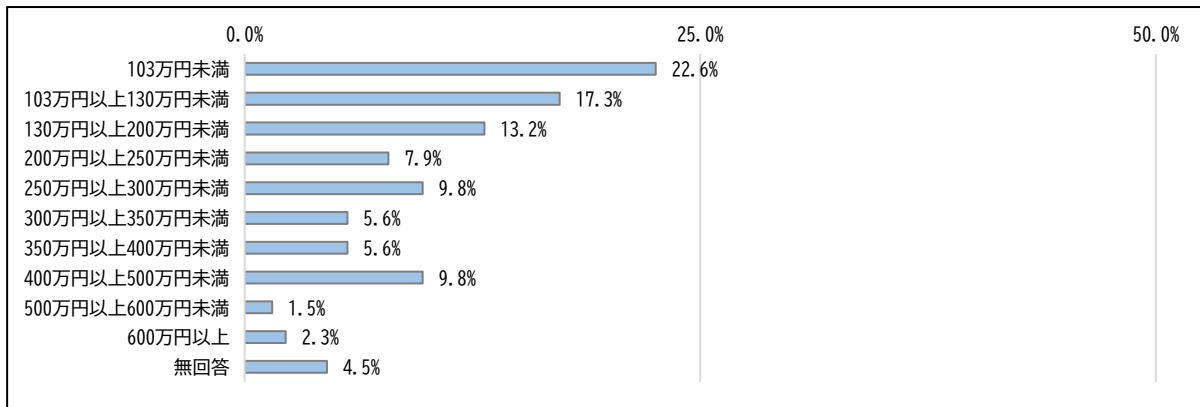
第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

現在働いている事業所・施設以外に兼業している方のみ、お答えください。

兼業を含めたあなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設以外に兼業している仕事がある方の年収については、以下の通りとなっています。

(n=266)

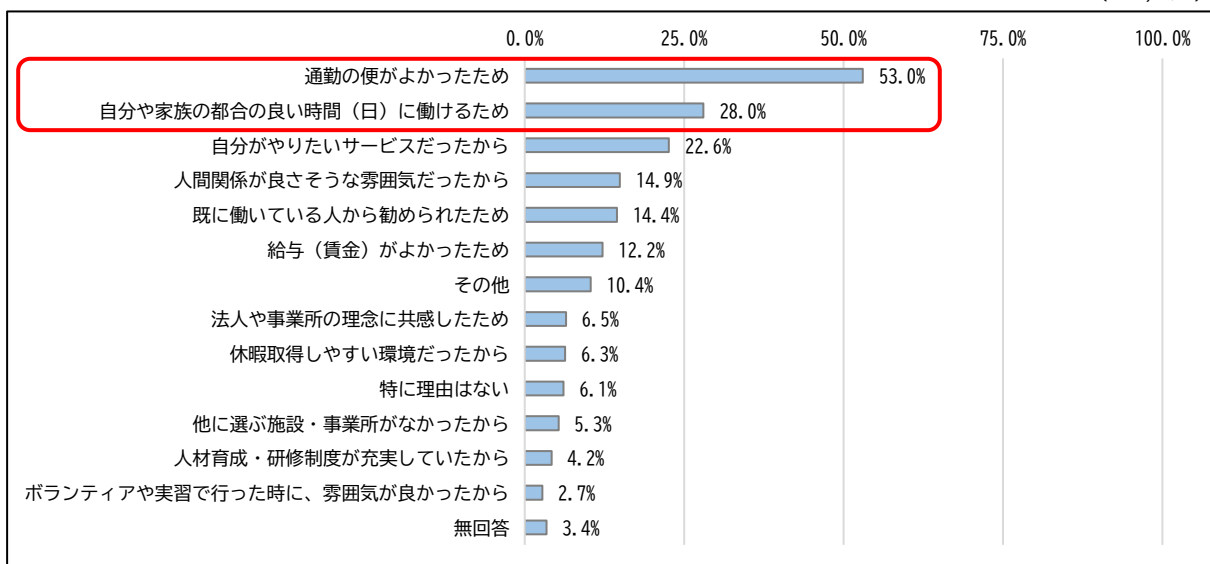


(8) 就業理由・離職理由状況

あなたが現在働いている施設及び事業所等に就職した主な理由は何ですか。（あてはまる番号3つまでに○）

現在働いている施設及び事業所等に就職した主な理由について、「通勤の便がよかったため」が最も多く 53.0%と半数を超えており、次いで「自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるため」が 28.0%となっています。

(n=2,693)

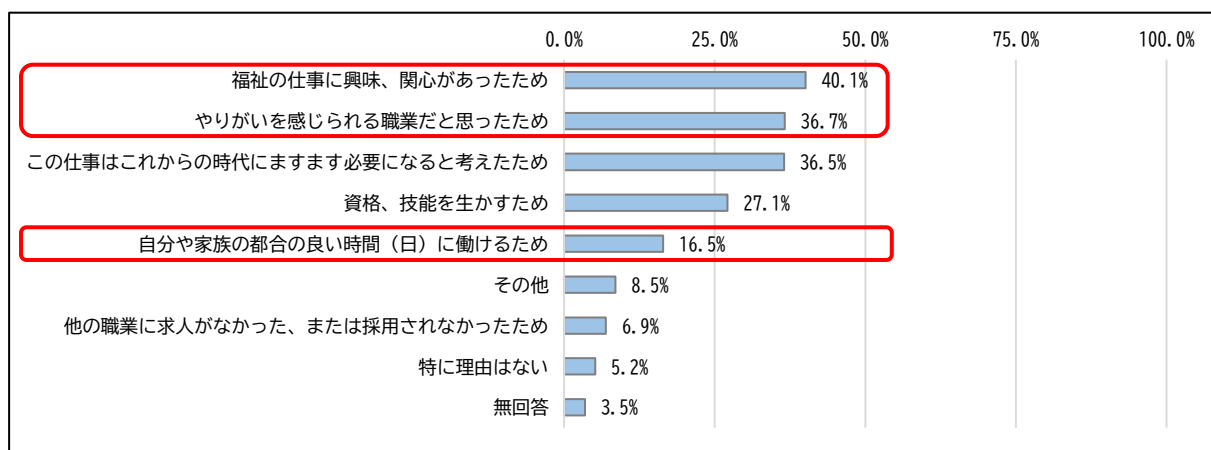


その他・・・新規オープンだったため、知人の紹介、託児所があったため

あなたが現在働いている施設及び事業所に限らず、介護の仕事を選んだ主な理由は何ですか。(あてはまる番号3つまでに○)

介護の仕事を選んだ主な理由について、「福祉の仕事に興味、関心があったため」が最も多く40.1%となっており、次いで「やりがいを感じられる職業だと思ったため」が36.7%となっています。一方、「自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるため」は16.5%となっています。

(n=2,693)

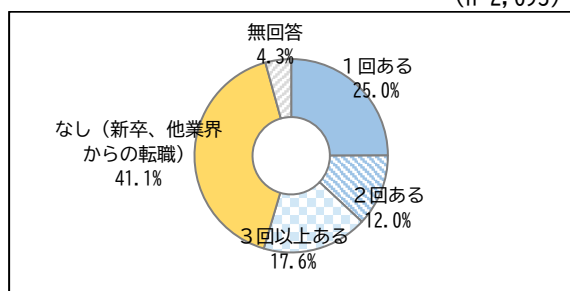


その他・・・自分の家族の介護に役立てるため、家族介護の経験を活かすため、家族、知人にすすめられたため

あなたは介護業界内での転職経験がありますか。(1つの番号に○)

介護業界内での転職経験について「ある」と回答した割合は54.6%と半数以上となっており、「3回以上ある」と回答した方は17.6%となっています。

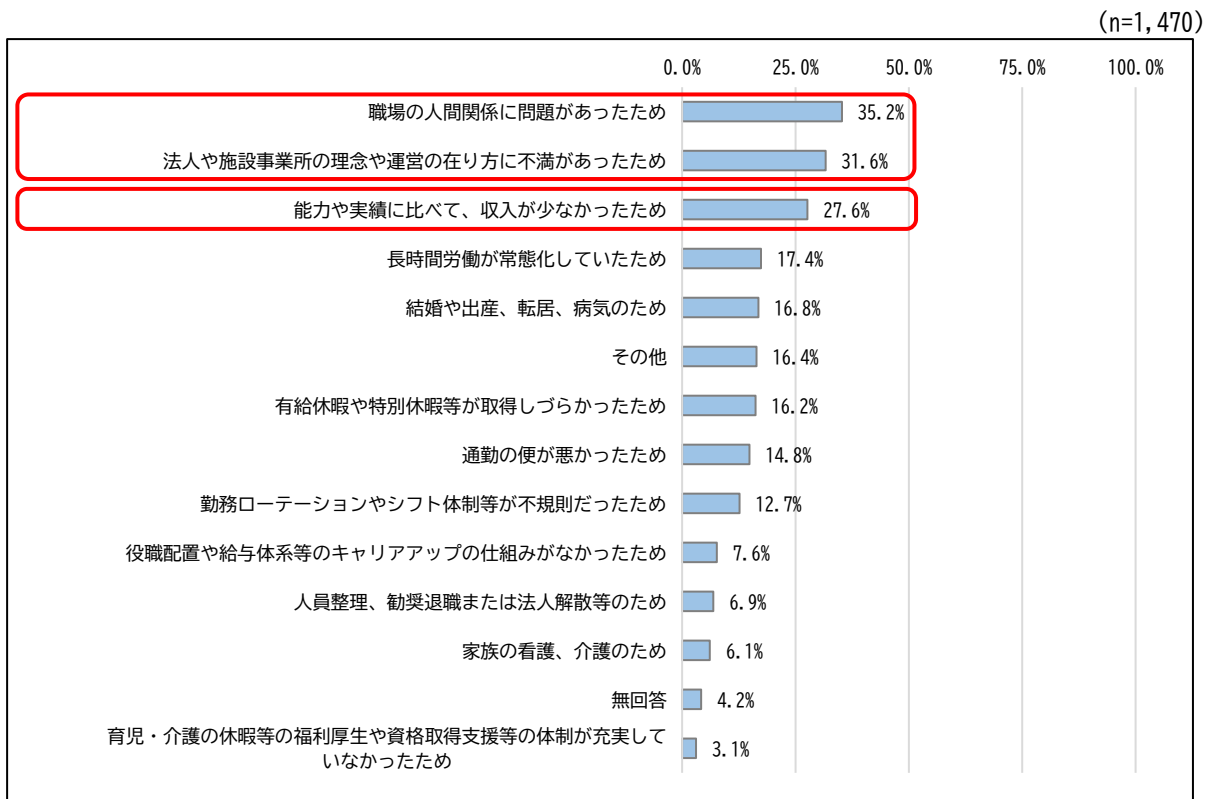
(n=2,693)



第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

1回以上介護業界内での転職経験があると回答した方のみ、お答えください。
 あなたが転職したのは主にどのような理由からですか。(あてはまる番号すべてに○)

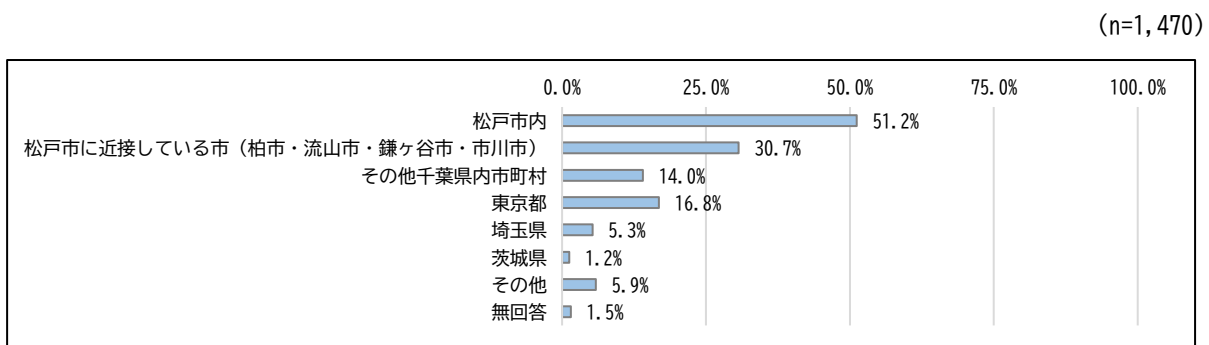
転職経験がある方の転職した主な理由について、「職場の人間関係に問題があったため」が35.2%、「法人や施設事業所の理念や運営の在り方に不満があったため」が31.6%となる一方、「能力や実績に比べて、収入が少なかったため」は27.6%となっており、処遇面より、職場内の人間関係や法人との理念相違など、対人関係に関することが転職理由として多くなっています。



その他・・・事業者が閉鎖したため、資格取得したため、職場内のパワハラのため、引っ越しのため、定年のため

1回以上介護業界内での転職経験があると回答した方のみ、お答えください。
 あなたが現在働いている施設及び事業所等に転職する前は、過去にどの地域で働いていましたか。(あてはまる番号すべてに○)

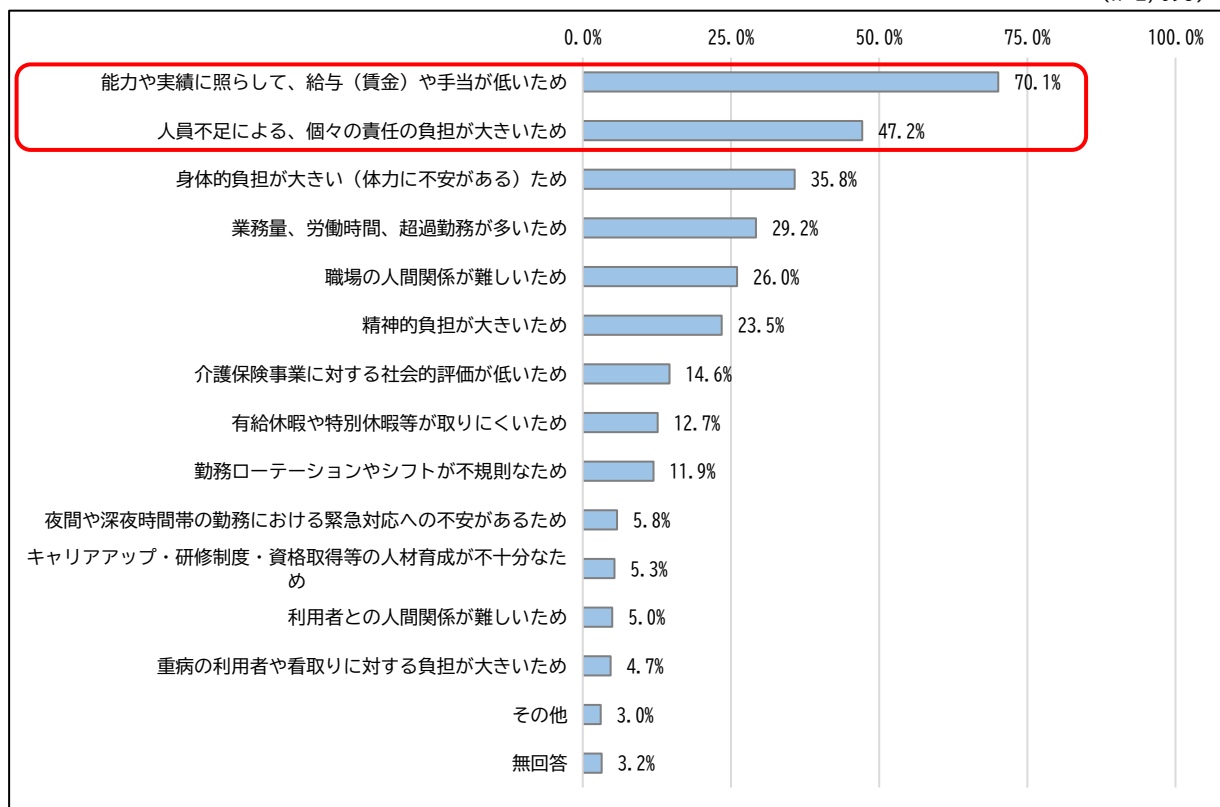
転職する前に働いていた地域について、「松戸市内」が51.2%、「松戸市に近接している市」が30.7%となっています。



あなたは、介護従事者が介護業界から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。(あてはまる番号3つまでに○)

介護従事者が介護業界から離職する理由について、「能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低いため」が最も多く 70.1%となっています。また、「人員不足による、個々の責任の負担が大きいため」についても 47.2%と多くなっています。

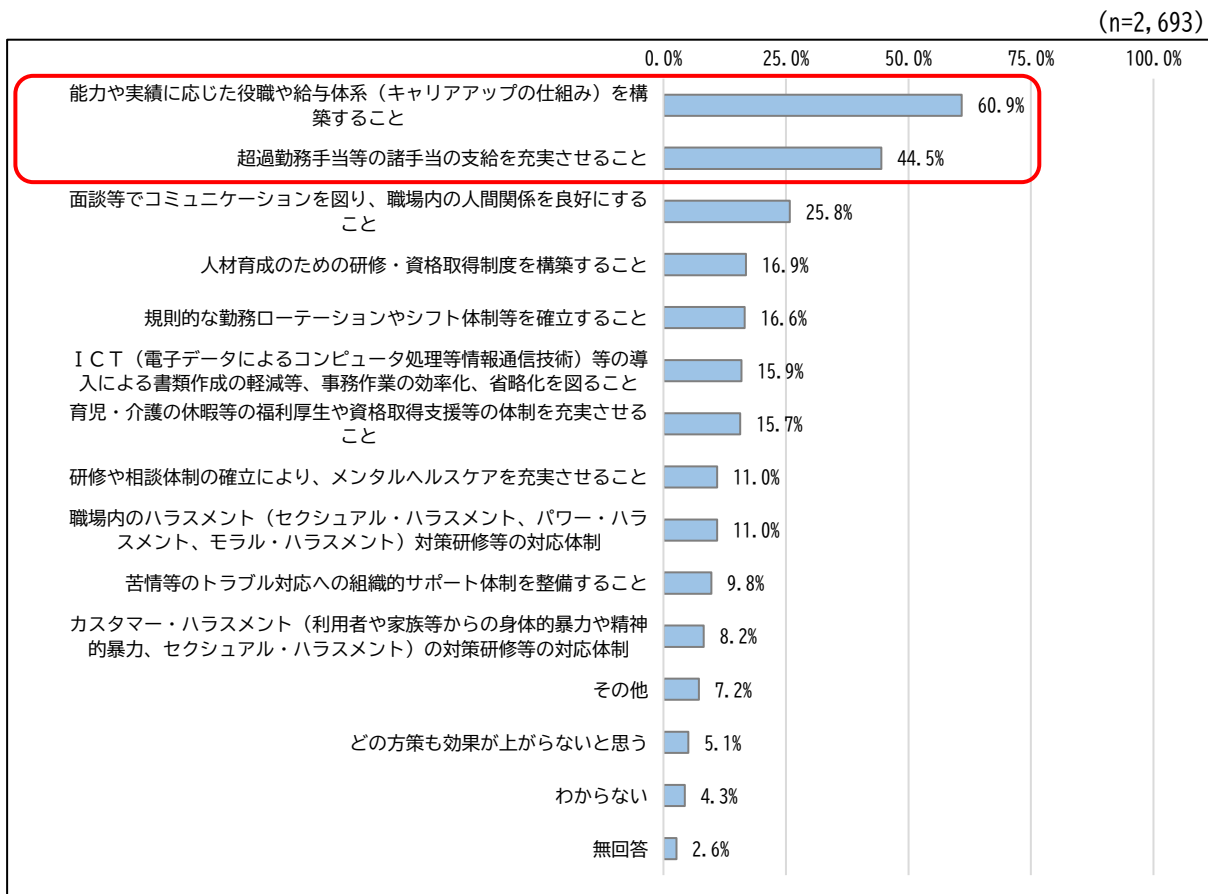
(n=2,693)



第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものはどれですか。(あてはまる番号3つまでに○)

介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものについては「能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること」が最も多く60.9%と約6割となっており、次いで「超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること」が44.5%となるなど、キャリアパスや処遇に関する改善が特に効果が高い方策であると思うとの回答となっています。



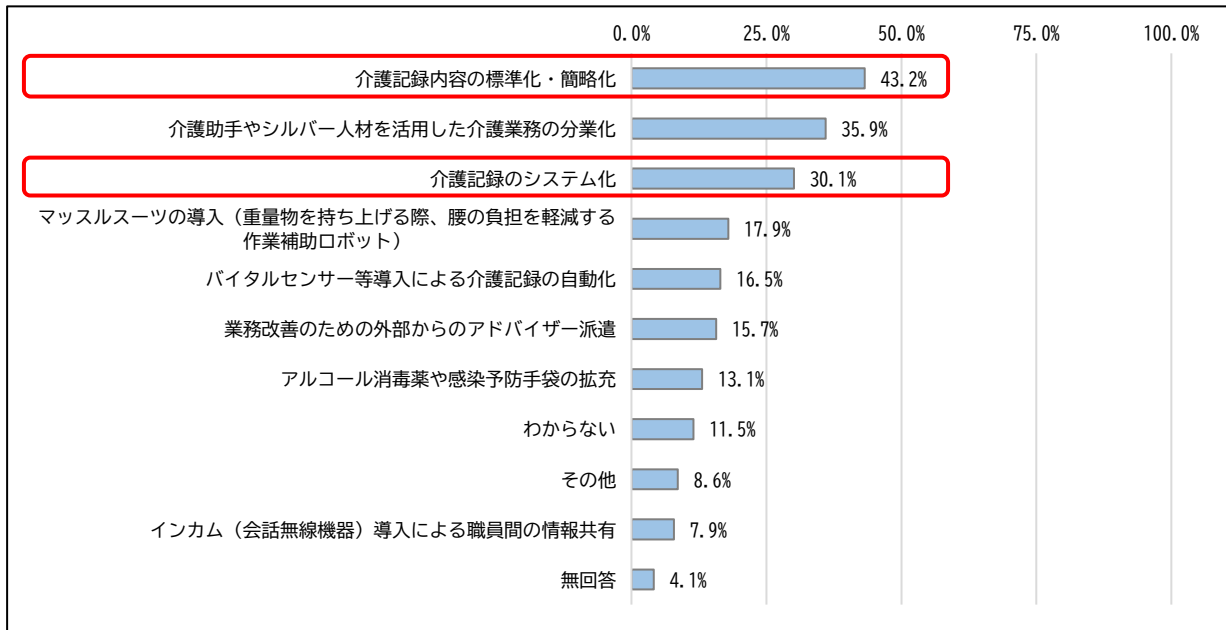
その他・・・基本給のアップ、人員を増やす、人員不足の解消

(9) 業務効率化・人材育成状況

あなたの日頃の業務を軽減・効率化するためには何が必要ですか。(あてはまる番号3つまでに○)

日頃の業務を軽減・効率化するために必要なことについて、「介護記録内容の標準化・簡略化」が最も多く43.2%となっており、また、「介護記録のシステム化」が30.1%となっていることから、介護記録に関する負担軽減・効率化の要望が多くなっています。

(n=2,693)

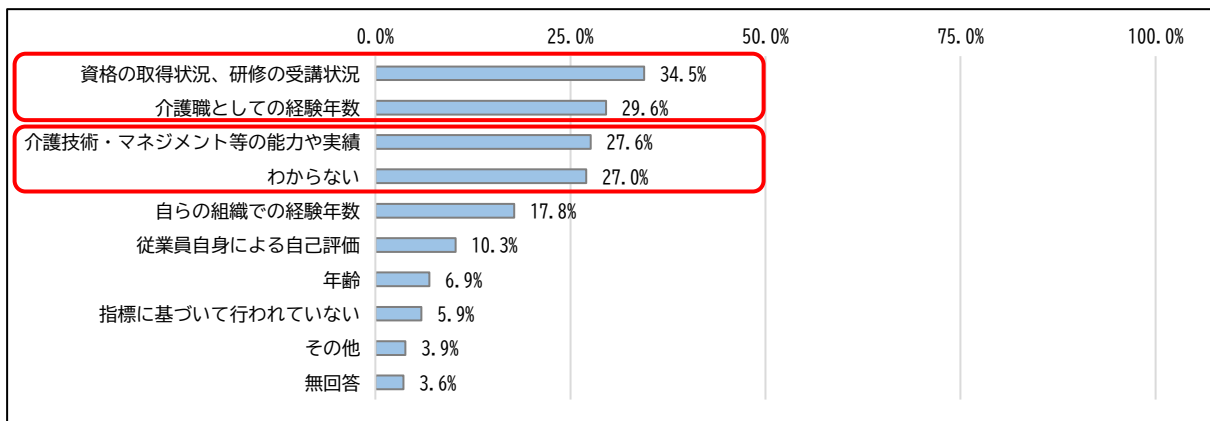


その他・・・人材の確保

あなたが現在働いている事業所・施設において人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行われていると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

人事評価や役職・給与の決定について、「資格の取得状況、研修の受講状況」が34.5%、次いで「介護職としての経験年数」29.6%となる一方、「介護技術・マネジメント等の能力や実績」が27.6%、また「わからない」と回答した方も27.0%となっています。

(n=2,693)



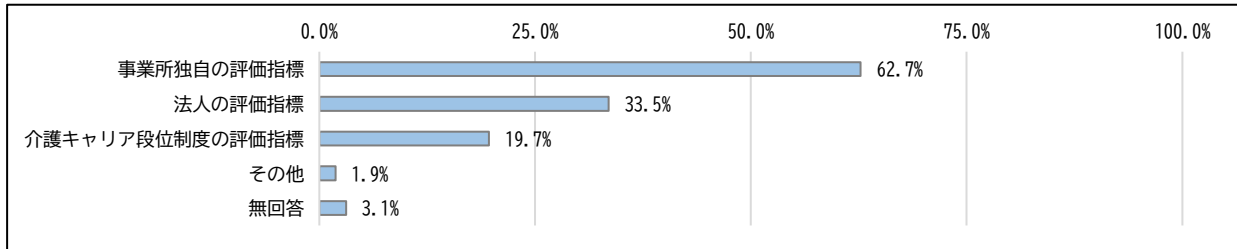
第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

人事評価や役職・給与の決定について「介護技術・マネジメント等の能力や実績」に基づいて行われていると回答した方のみ、お答えください。

どのような指標で評価していると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

介護技術・マネジメント等の能力や実績に基づいて人事評価や役職・給与の決定が行われている場合の評価指標について、以下の通りとなっています。

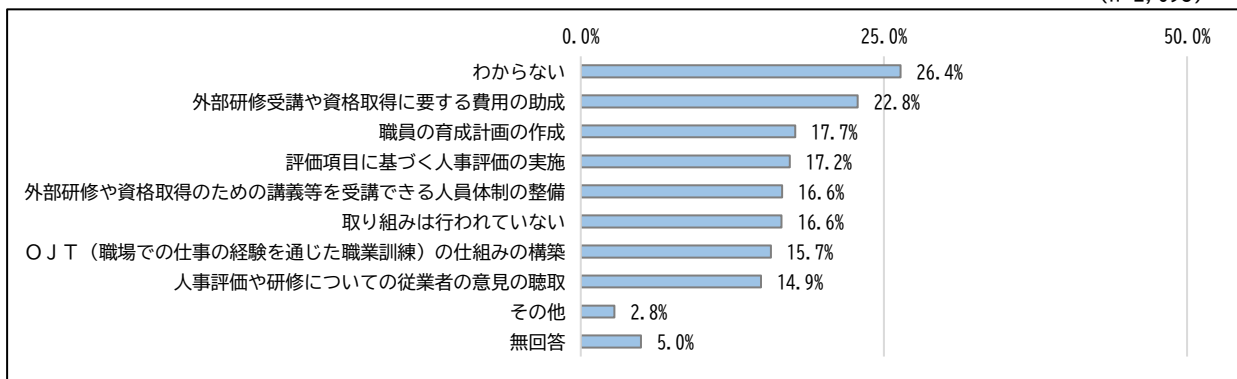
(n=743)



あなたが現在働いている事業所・施設において人材育成のために、どのような取組みが行われていますか。(あてはまる番号すべてに○)

事業所・施設において人材育成のために行われている取組みについて、「わからない」との回答が最も多く 26.4%となっています。

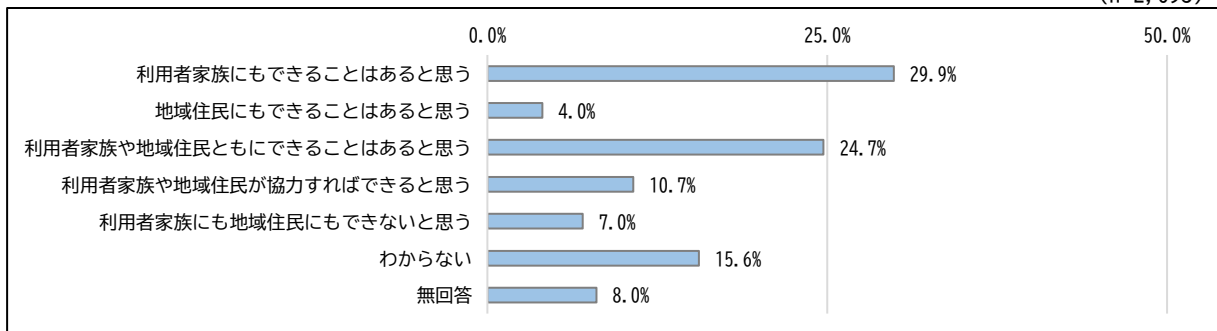
(n=2,693)



あなたが日常提供しているサービスの中には、利用者家族や地域住民にもできると思うことはありますか。(1つの番号に○)

利用者家族や地域住民にもできると思うサービスの有無について、「利用者家族や地域住民にもできることはあると思う」と回答した割合は 29.9%となっています。

(n=2,693)

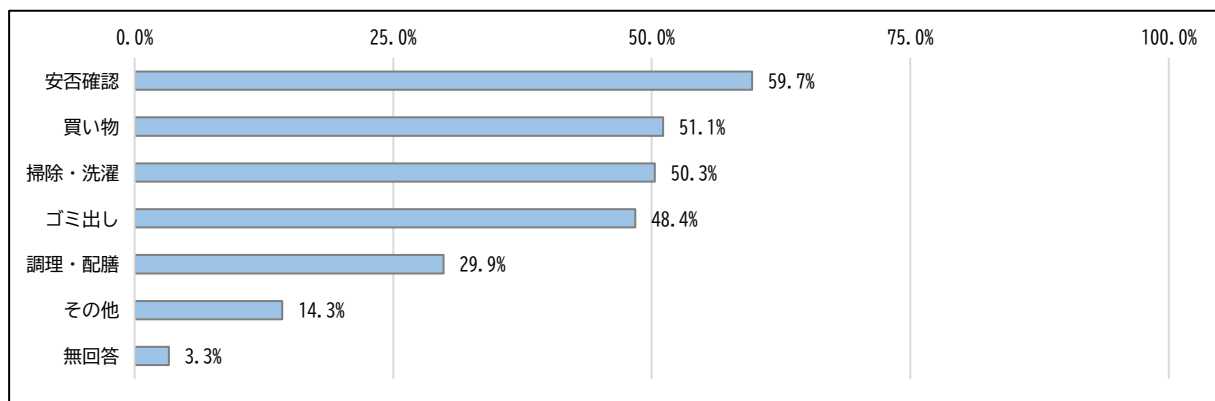


あなたが日常提供しているサービスの中に、利用者家族や地域住民にもできると思うことがあると回答した方のみ、お答えください。

どのようなことができると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

利用者家族や地域住民にもできると思うことについて、「安否確認」が最も多く 59.7%となり、「買い物」や「掃除・洗濯」について、半数近くが利用者家族や地域住民にもできるのではないかと思うと回答しています。

(n=1,869)

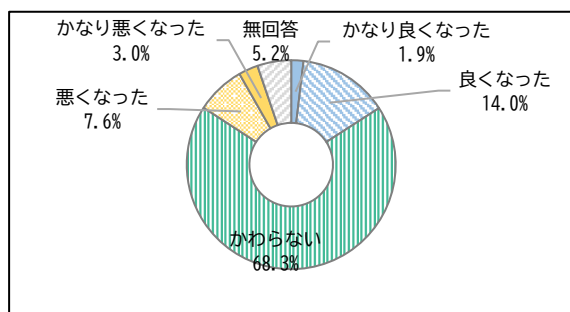


その他・・・話し相手、傾聴、散歩、コミュニケーション、レクリエーション

介護職のイメージについて3年前（平成29年）頃と比較して変わったと思いますか。

介護職のイメージについて、3年前頃と比較して「かわらない」と回答した割合は 68.3%となり、「かなり良くなった」「良くなった」と回答した割合は 15.9%となっています。

(n=2,693)

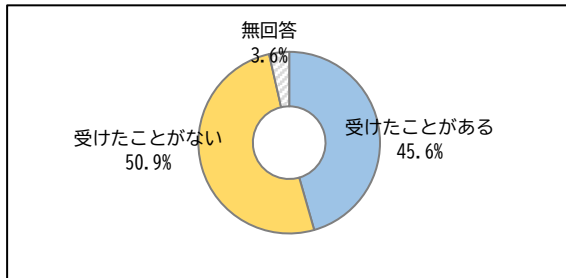


(10) ハラスメントに関する状況

あなたが現在働いている事業所・施設において、これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはありますか。(どちらかの番号に○)

これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と回答した割合は45.6%となり、約半数が受けたことがあると回答しています。

(n=2,693)

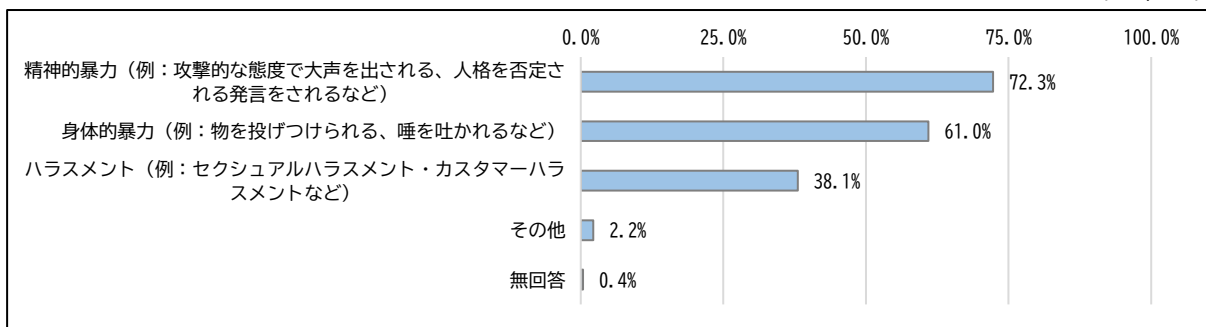


これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはあると回答した方のみ、お答えください。

その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

利用者や家族から受けた暴力やハラスメントの内容は次の通りとなっています。

(n=1,227)

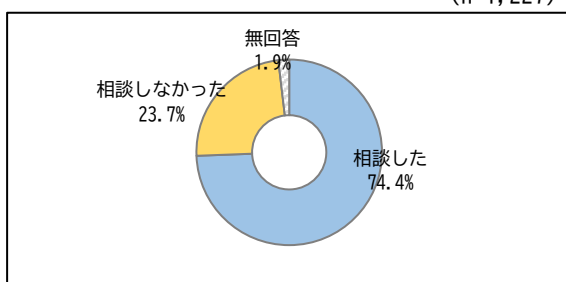


これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはあると回答した方のみ、お答えください。

その際、誰かに相談しましたか。

利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際、誰かに「相談した」割合は74.4%と約3/4となっています。

(n=1,227)

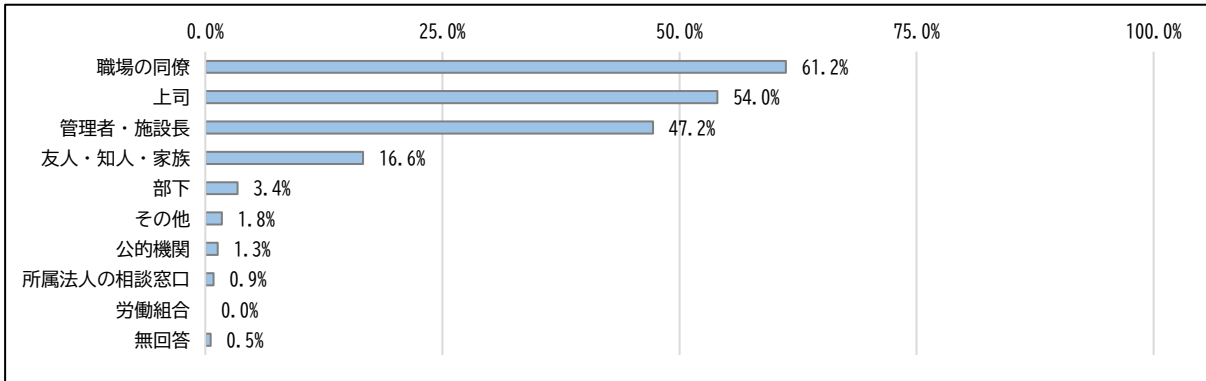


利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際、誰かに相談したと回答した方のみ、お答えください。

その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際の相談相手について、「職場の同僚」が最も多く 61.2%となっており、次いで「上司」が 54.0%となっています。

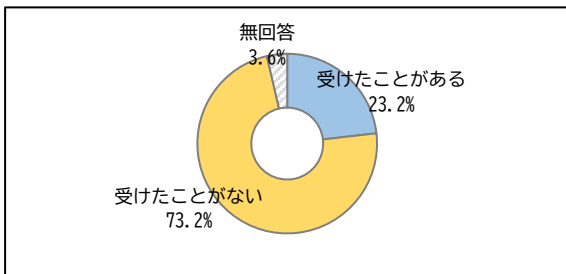
(n=913)



あなたが現在働いている事業所・施設において、同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがありますか。(どちらかの番号に○)

これまでに同僚や上司等から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と回答した割合は 23.2%となり、約 1/4 が受けたことがあると回答しています。

(n=2,693)

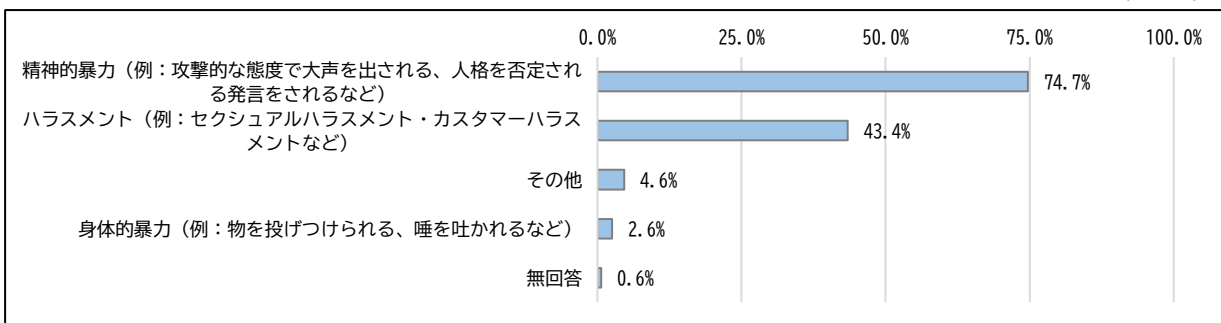


同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けたことはあると回答した方のみ、お答えください。

その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

同僚や上司等から受けた暴力やハラスメントの内容は次の通りとなっています。

(n=624)



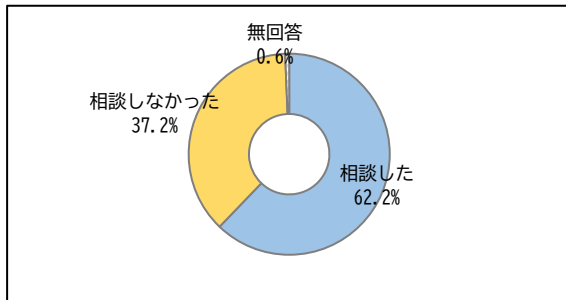
第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けたことはあると回答した方のみ、お答えください。

その際、誰かに相談しましたか。

同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けた際、誰かに「相談した」割合は62.2%となっており、利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際に誰かに相談した割合と比較すると10%程度低くなっています。

(n=624)

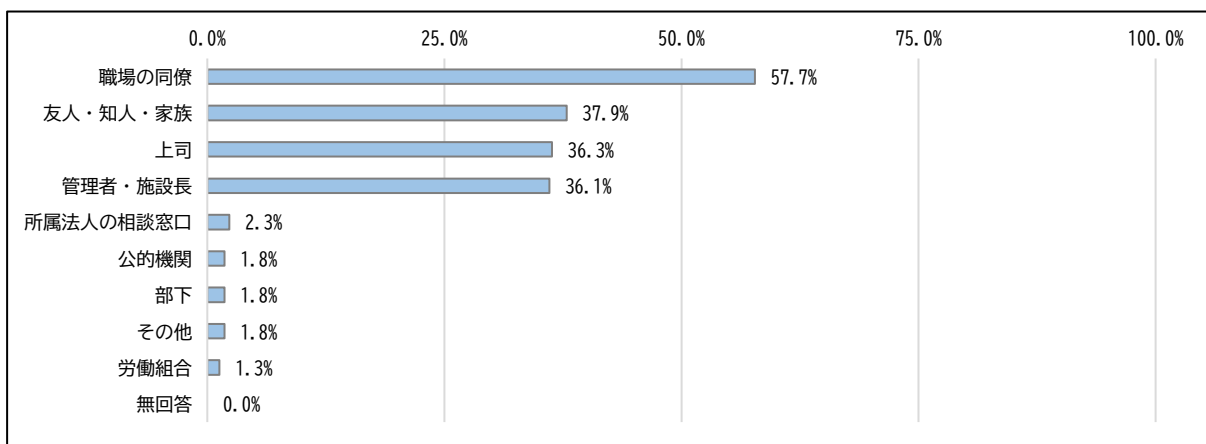


同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けた際、誰かに相談したと回答した方のみ、お答えください。

その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けた際の相談相手について、「職場の同僚」が最も多く57.7%となっており、次いで「友人・知人・家族」が37.9%となっています。利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際に「上司」「管理者・施設長」に相談した割合と比較すると10%~20%程度低くなっています。

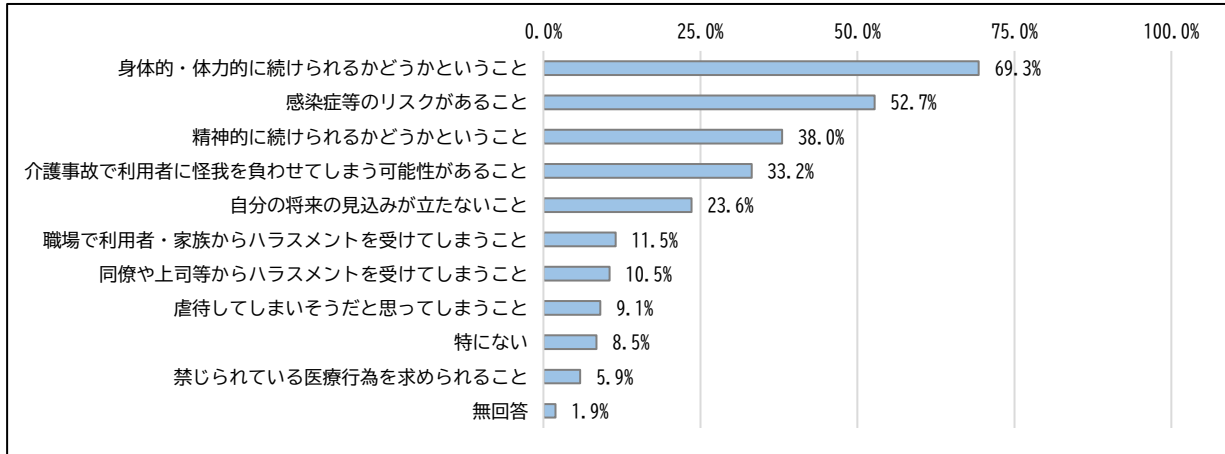
(n=388)



仕事をする上での不安な点は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

仕事をする上での不安な点について、「身体的・体力的に続けられるかどうかということ」が最も多く69.3%、次いで「感染症等のリスクがあること」が52.7%となっています。

(n=2,693)

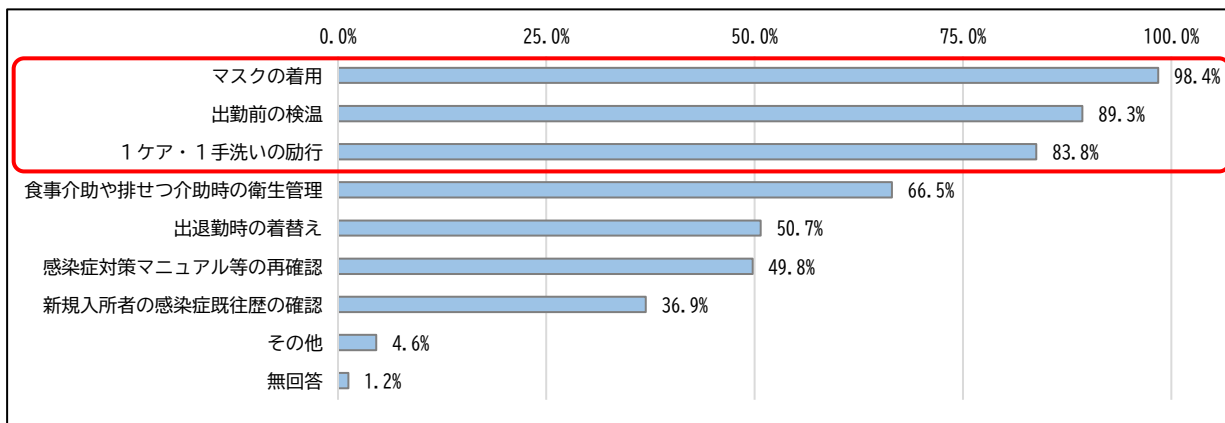


(11) 新型コロナウイルスを含む感染症に関する状況

あなたは日頃の感染症対策についてどのようなことに注意していますか。(あてはまる番号すべてに○)

日頃の感染症対策について、「マスクの着用」が98.4%となり、ほとんどの方が感染症対策としてマスクを着用しています。また、「出勤前の検温」「1ケア・1手洗いの励行」なども8割以上実施されています。

(n=2,693)



その他・・・手指消毒、アルコール消毒、換気、外出を控える

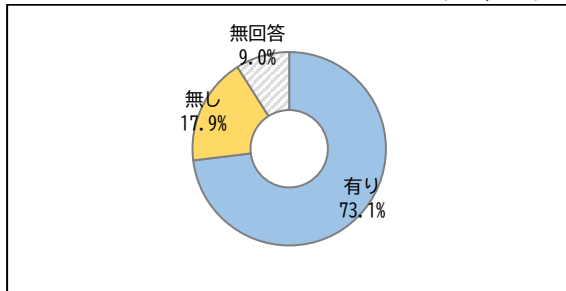
第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

あなたが現在働いている事業所・施設は、感染症が発生した場合の準備としてどのようなことを行っていますか。

感染症が発生した場合の準備について、感染症対策基本理念の策定が73.1%、感染対策委員会の開催が51.0%、感染症対策の指針・マニュアルの策定が80.1%、感染症対策研修の実施が56.5%となっています。

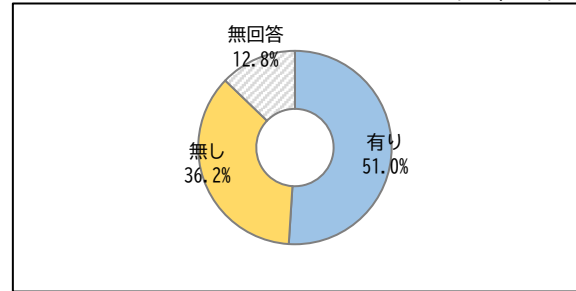
① 感染症対策基本理念の策定

(n=2,693)



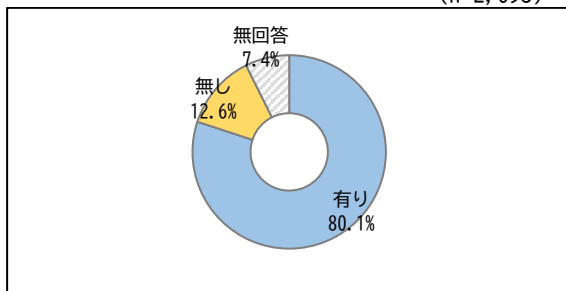
② 感染対策委員会の開催

(n=2,693)



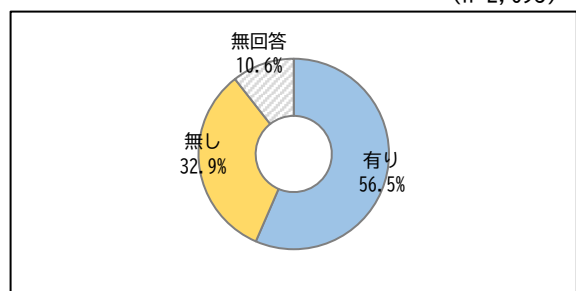
③ 感染症対策の指針・マニュアルの策定

(n=2,693)



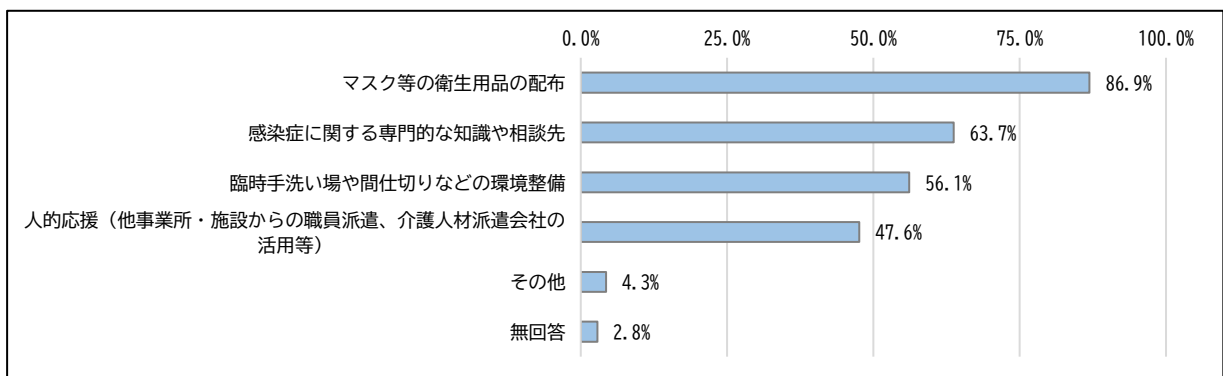
④ 感染症対策研修の実施

(n=2,693)



感染症発生時に必要な支援は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

感染症発生時に必要な支援について、「マスク等の衛生用品の配布」が最も多く86.9%となっています。



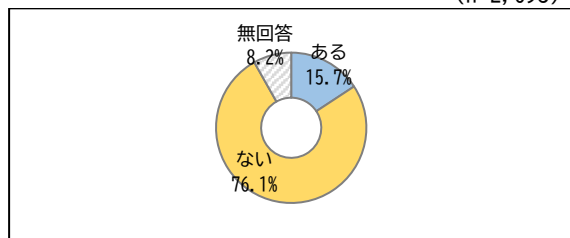
その他・・・消毒液の配布

(12) 高齢者虐待に関する状況

あなたが働いている事業所・施設で、高齢者虐待と思われる行為を発見したことはありますか。(どちらかの番号に○)

事業所・施設で、高齢者虐待と思われる行為を発見したことが「ある」と回答した割合は15.7%となっています。

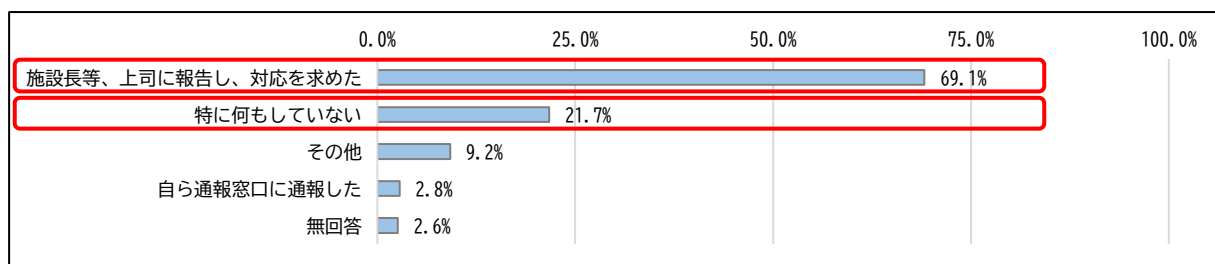
(n=2,693)



高齢者虐待と思われる行為を発見したことがあると回答した方のみ、お答えください。高齢者虐待と思われる行為を発見した時に、あなたはどのように対応されましたか。(あてはまる番号すべてに○)

高齢者虐待と思われる行為を発見した時、「施設長等、上司に報告し、対応を求めた」と回答した割合は69.1%となる一方、「特に何もしていない」と回答した割合は21.7%となっています。

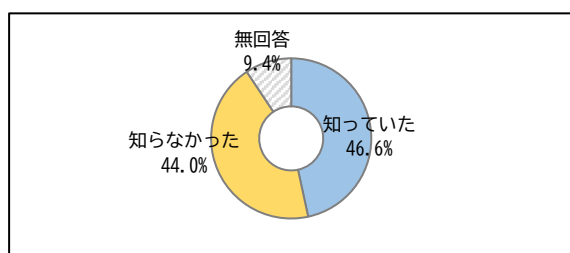
(n=424)



介護従事者による高齢者虐待を発見した時は、高齢者虐待の通報窓口である、松戸市高齢者支援課または地域包括支援センターへ通報する(努力)義務がありますが、通報先を知っていましたか。(どちらかの番号に○)

介護従事者による高齢者虐待を発見した場合の通報先について「知っていた」と回答した割合は46.6%と半数以下にとどまっています。

(n=2,693)

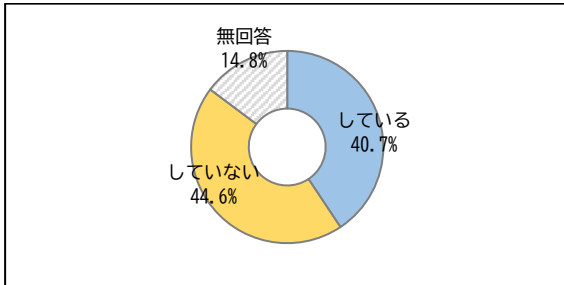


第2章 調査の結果 「2. 従事者アンケート調査」

あなたが働いている事業所・施設において、高齢者虐待防止に関する具体的な取組は実施していますか。(どちらかの番号に○)

事業所・施設において、高齢者虐待防止に関する具体的な取組を実施していると回答した割合は40.7%と4割にとどまっています。

(n=2,693)

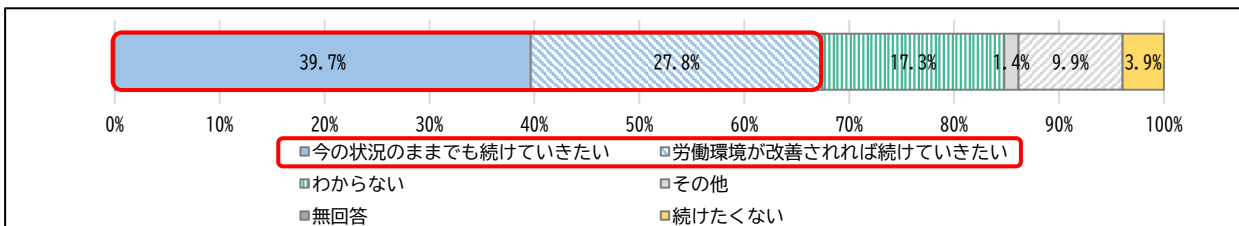


(13) 就労継続の意向状況

あなたは介護関係の仕事を今後も続けていきたいと思えますか。(1つの番号に○)

介護関係の仕事について「今の状況のままでも続けていきたい」と回答した割合は39.7%と約4割となっており、「労働環境が改善されれば続けていきたい」と回答した割合を含めると約2/3の方が介護関係の仕事を今後も続けていきたいと思っていると回答しています。

(n=2,693)

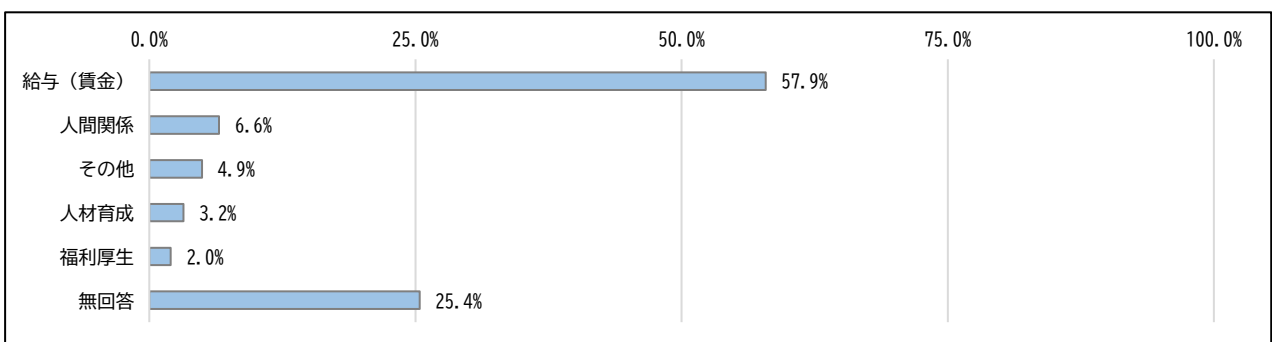


改善されれば続けていきたいと回答した方のみ、お答えください。

どういったことが改善されれば続けられると思えますか。(最もあてはまる番号1つに○)

介護関係の仕事を今後も続けていくために「給与(賃金)」を改善してほしいと回答した割合は57.9%となっています。

(n=2,693)



その他・・・人材確保

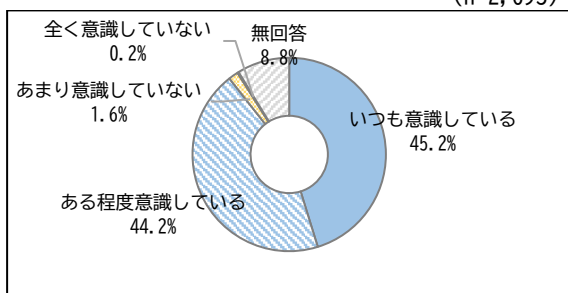
2. 介護サービスについて

(1) 自立支援・重度化防止の取組状況

あなたは、利用者に対して自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うことを意識していますか。(1つの番号に○)

自立支援・重度化防止を意識したケアについて「いつも意識している」と回答した割合は45.2%となり、「ある程度意識している」を含めると89.4%と約9割が自立支援・重度化防止を意識してケアを実施していると回答しています。

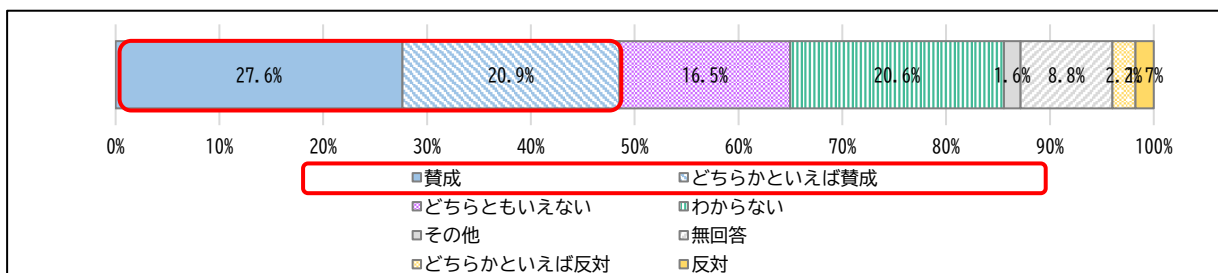
(n=2,693)



あなたは、自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに関してどのように考えますか。(1つの番号に○)

自立支援・重度化防止の取り組みに対する事業者へのインセンティブの付与について「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した割合は48.5%となっています。

(n=2,693)



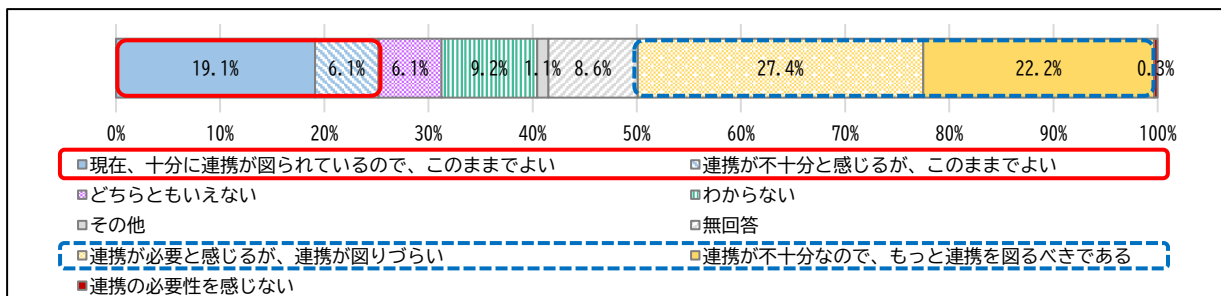
3. 地域連携について

(1) 医療と介護の連携状況

医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

医療と介護の連携について「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は19.1%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は25.2%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は27.4%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は49.6%と約半数となっています。

(n=2,693)



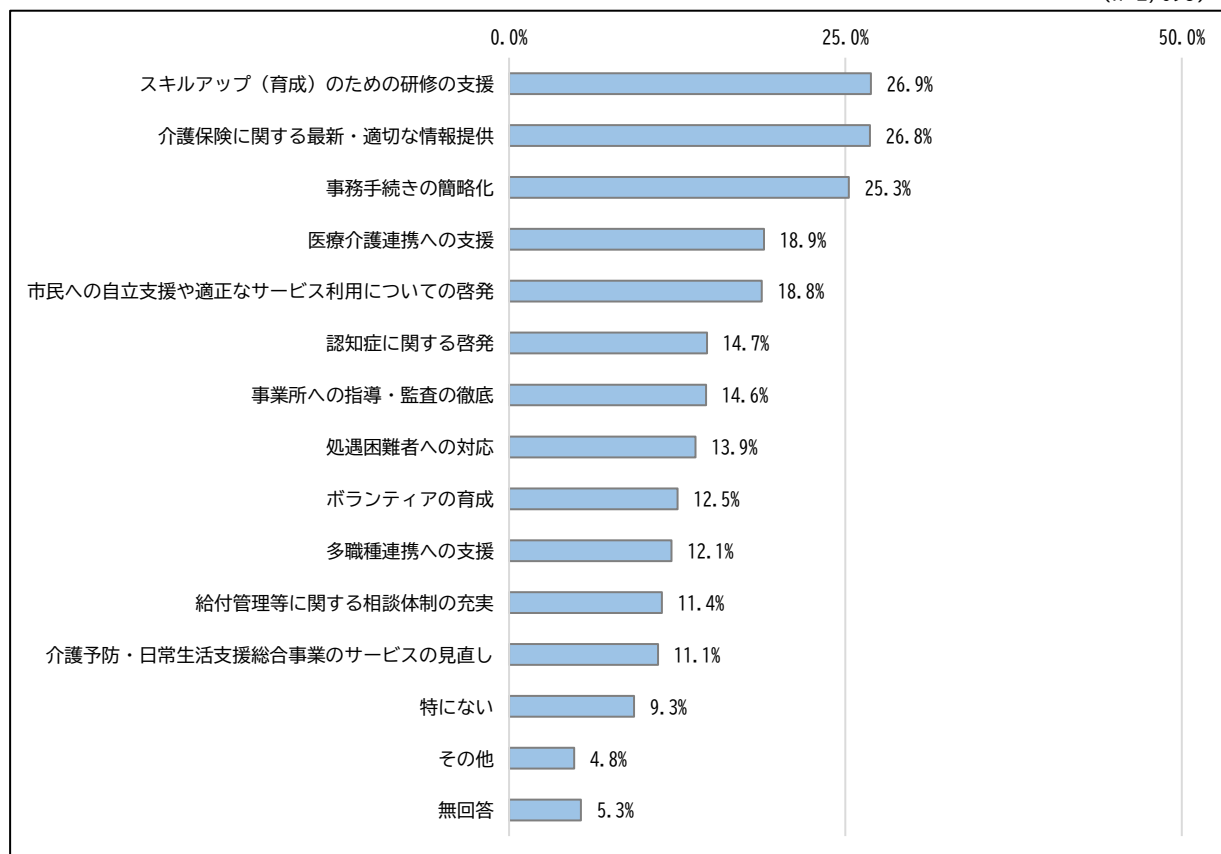
4. 松戸市への要望について

(1) 事業所・施設の経営者・管理者としての要望

施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。(3つまで番号に○)

従事者として、松戸市に対して望むことについて「スキルアップ（育成）のための研修の支援」や「介護保険に関する最新・適切な情報提供」が多くなっています。

(n=2,693)



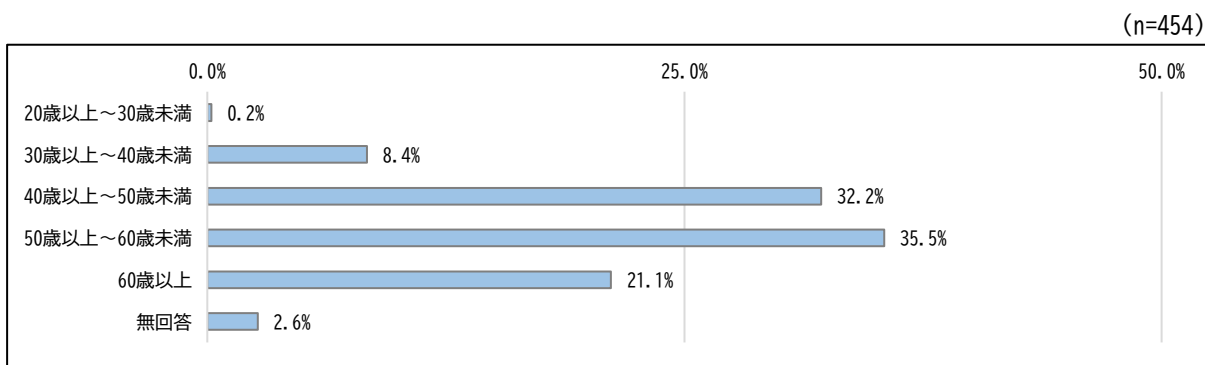
3. 介護支援専門員アンケート調査

1. 基本的事項及び就労状況や就労意識について

(1) 回答者年齢・性別

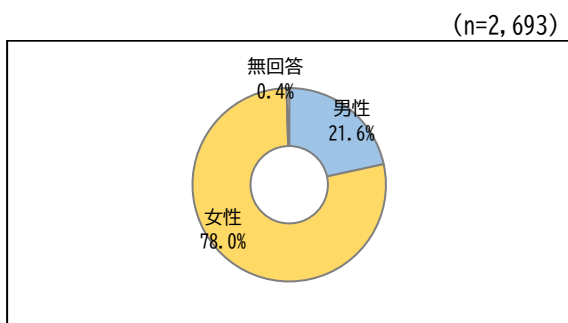
令和2年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。(数字を記入)

回答者の年齢について、「50歳以上60歳未満」が最も多く35.5%、次いで「40歳以上50歳未満」となっています。



あなたの性別をお答えください。(どちらかの番号に○)

回答者の性別について、「男性」が21.6%、「女性」が78.0%となっており、おおよその比率として男性：2、女性：8となっています。

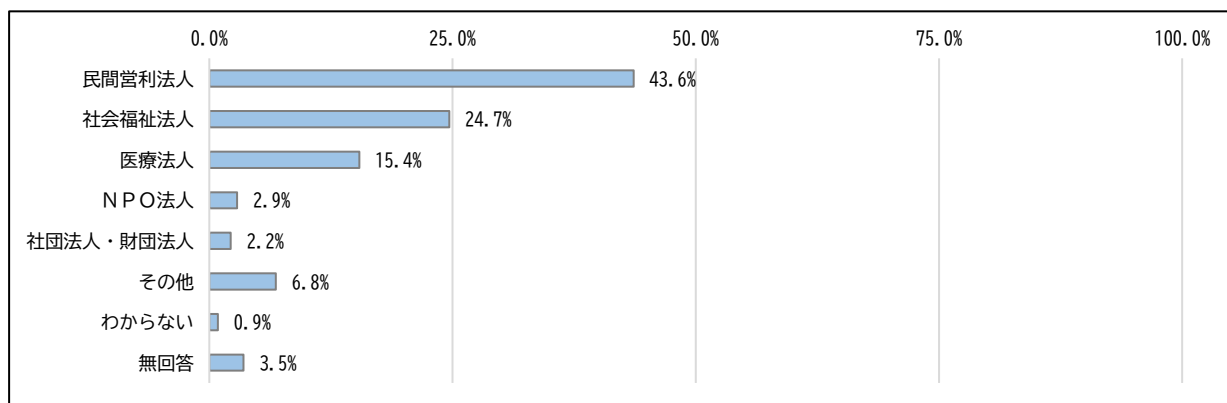


(2) 所属法人 事業所・施設種別状況

あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

回答者が勤務する事業所・施設の法人種別について、「民間営利法人」が最も多く43.6%となっています。

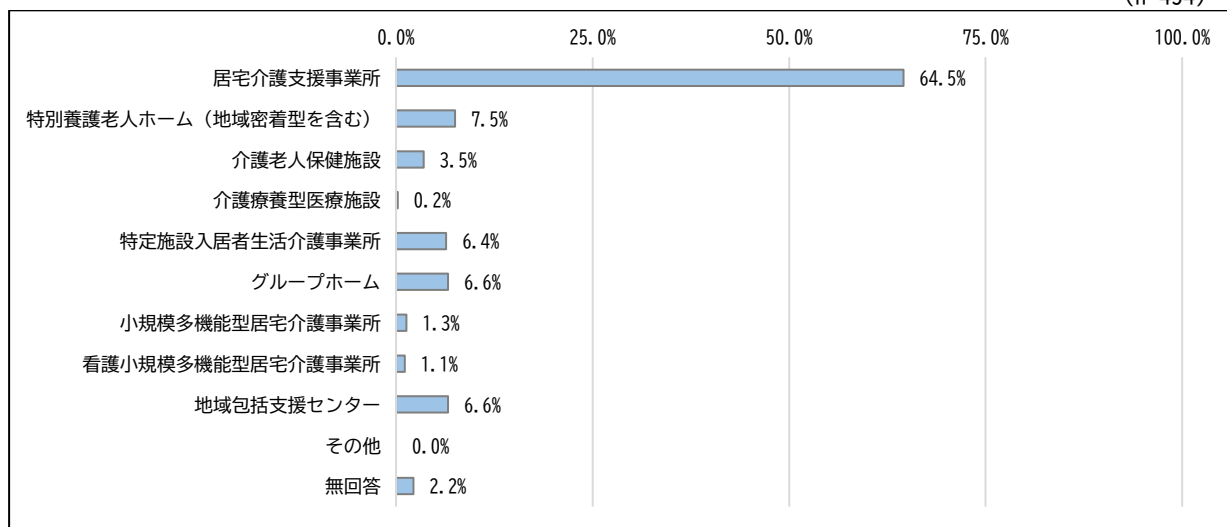
(n=454)



あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

回答者が勤務する事業所・施設の種別について、「居宅介護支援事業所」が最も多く64.5%となっています。

(n=454)

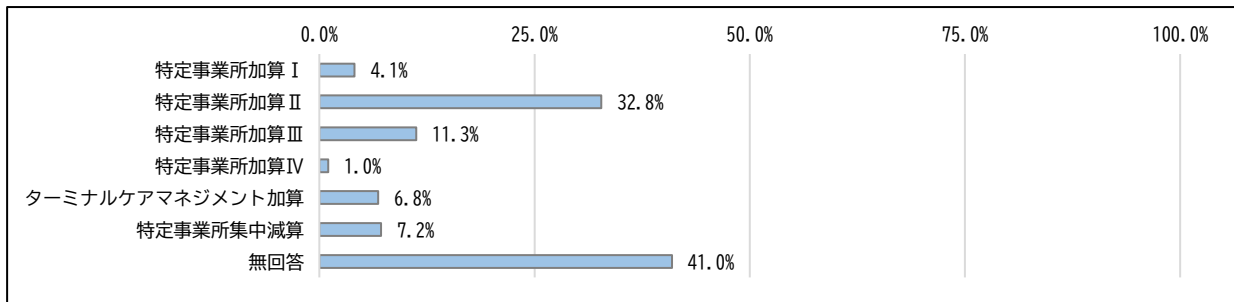


第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

勤務する事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
事業所における加算等届出状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

回答者が勤務する居宅介護支援事業所における加算等届出状況は次の通りとなっています。

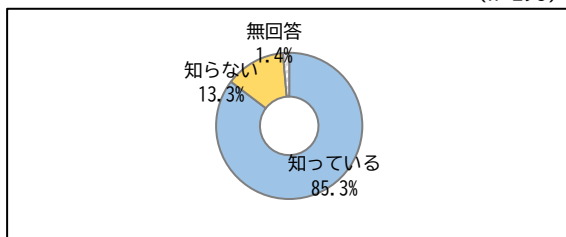
(n=293)



勤務する事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
あなたは、「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」を知っていますか。(どちらかの番号に○)

居宅介護支援事業所に勤務する方のうち「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」を「知っている」と回答した割合は85.3%となっています。

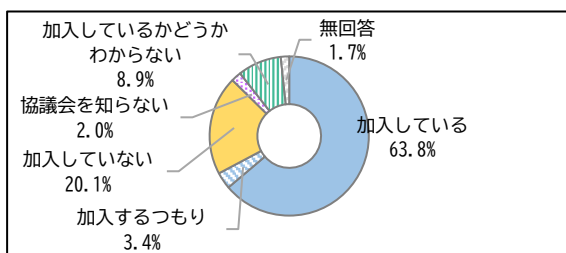
(n=293)



事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
あなたの勤務する事業所の「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」の加入状況についてお答えください。(1つの番号に○)

回答者が勤務する居宅介護支援事業所が「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」に「加入している」と回答した割合は63.8%となる一方、「加入していない」と回答した割合は20.1%となっています。

(n=293)

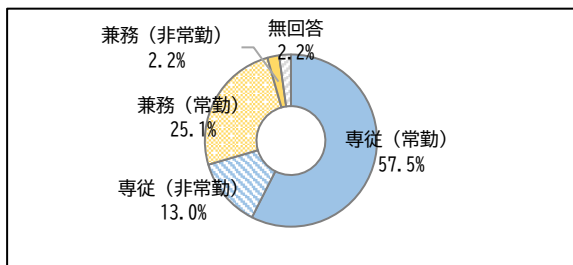


(3) 勤務・保有資格状況

現在働いている事業所・施設における勤務形態は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

回答者の勤務形態について「専従(常勤)」が最も多く57.5%となっています。なお、専従の割合は70.5%と約7割、常勤の割合は82.6%と約8割となっています。

(n=454)

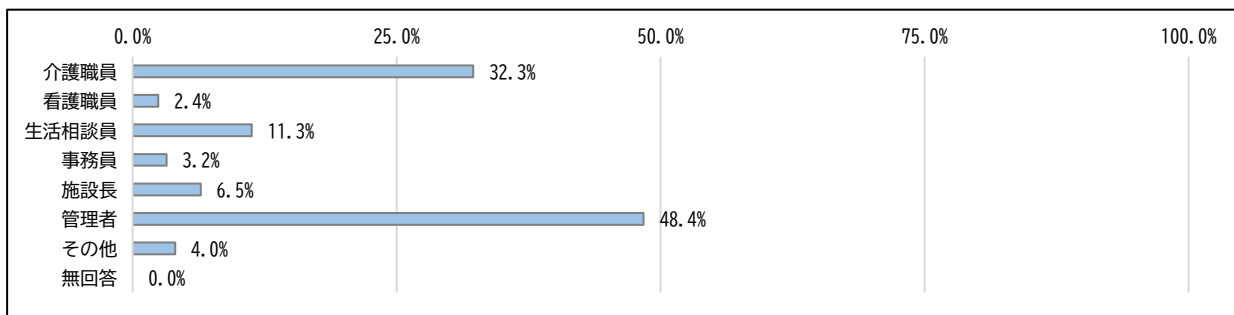


勤務形態にて兼務と回答した方のみ、お答えください。

現職場で兼務している職種は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

兼務している方における兼務職種について「管理者」が最も多く48.4%となっており、次いで「介護職員」が32.3%となっています。

(n=454)

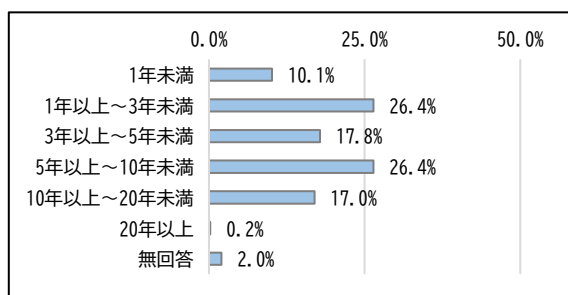


現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数をお答えください。(おおよその数字を記入)

① 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数

現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数について、「1年以上～3年未満」「5年以上～10年未満」とともに26.4%となり、平均在籍年数は5.3年となっています。

(n=454)



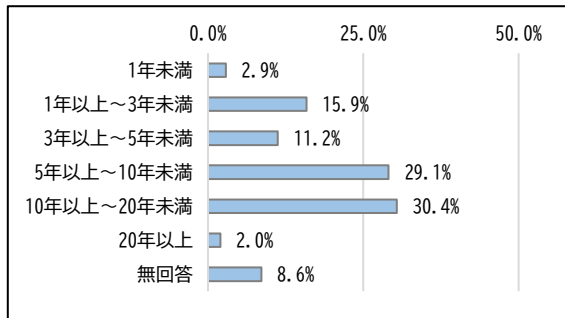
	平均年数
在籍年数	5.3年

第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

② 介護支援専門員としての通算経験年数

現介護支援専門員としての通算経験年数について、「10年以上～20年未満」が最も多く30.4%となり、平均通算経験年数は8.0年となっています。

(n=454)

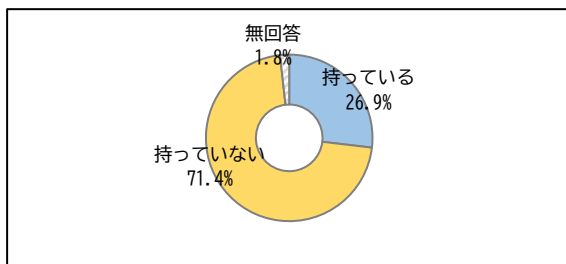


	平均年数
通算経験年数	8.0年

主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(どちらかの番号に○)

主任介護支援専門員の資格を「持っている」と回答した割合は26.9%となっています。

(n=454)

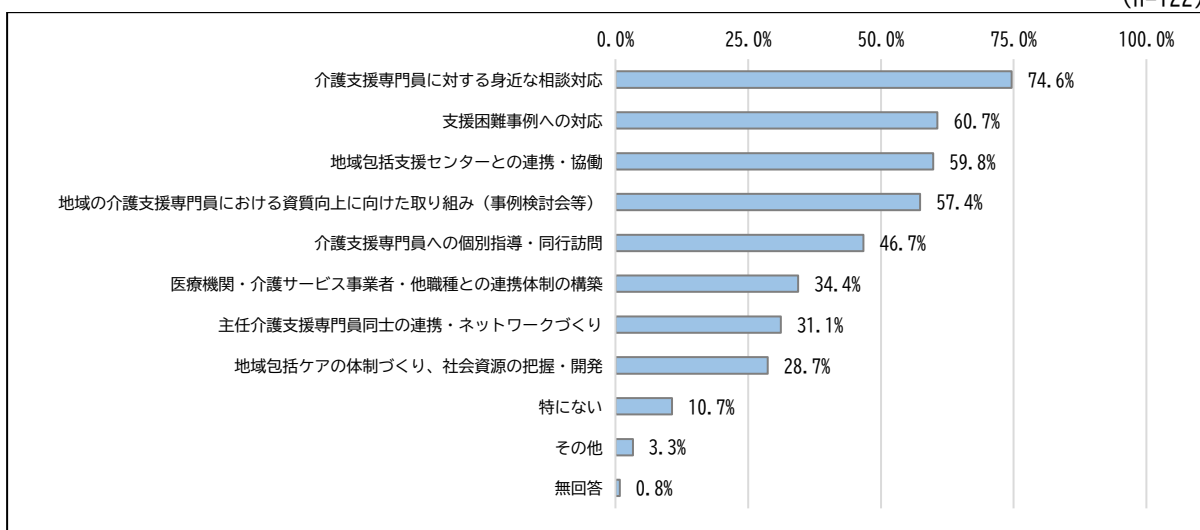


主任介護支援専門員の資格を持っている方のみ、お答えください。

主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

主任介護支援専門員として行っている業務について、「介護支援専門員に対する身近な相談対応」が最も多く74.6%となっています。

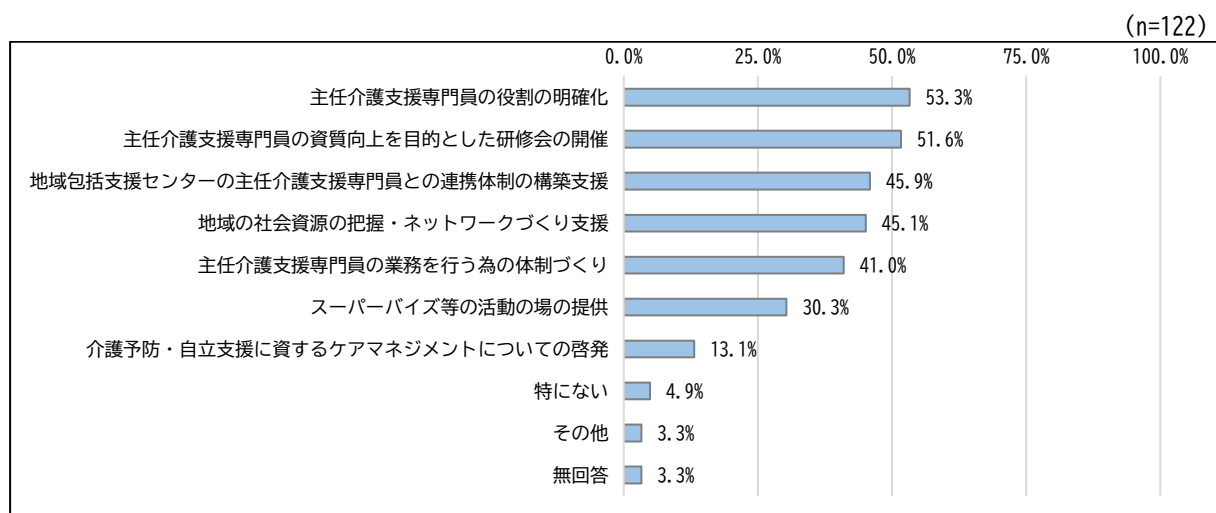
(n=122)



主任介護支援専門員の資格を持っている方のみ、お答えください。

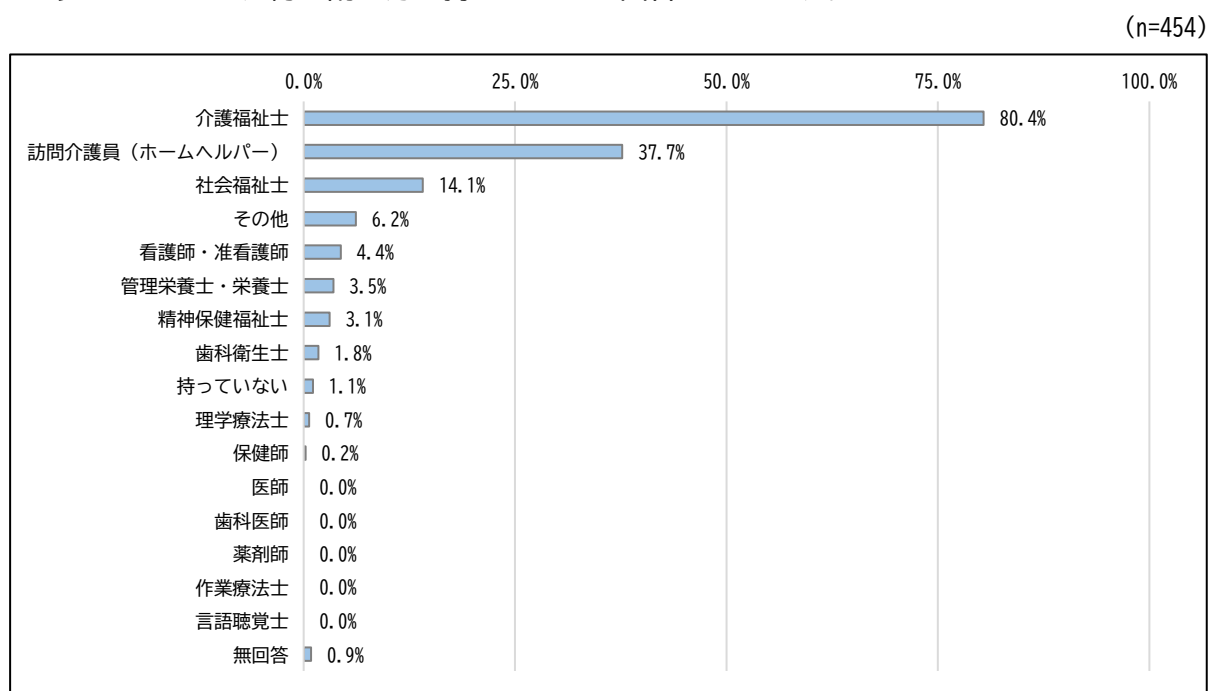
主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。(あてはまる番号すべてに○)

主任介護支援専門員として必要な支援について、「主任介護支援専門員の役割の明確化」が最も多く 53.3%となっており、次いで「主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催」が 51.6%となっています。



あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(あてはまる番号すべてに○)

介護支援専門員以外に持っている保健医療福祉関係の資格について、「介護福祉士」が最も多く 80.4%と、約8割の方が持っていると回答しています。



その他・・・社会福祉主事、認知症ケア専門士

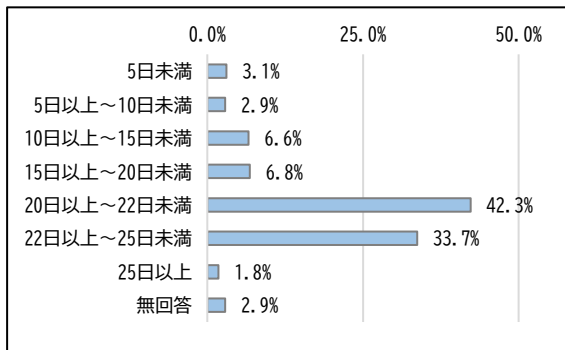
第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

現在働いている事業所・施設において、介護支援専門員として勤務する1ヶ月あたりの平均勤務日数、1ヶ月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）、1ヶ月あたりの平均超過勤務時間をお答えください。（おおよその数字を記入）

① 1ヶ月あたりの平均勤務日数

1ヶ月あたりの平均勤務日数は19.4日となっています。

(n=454)

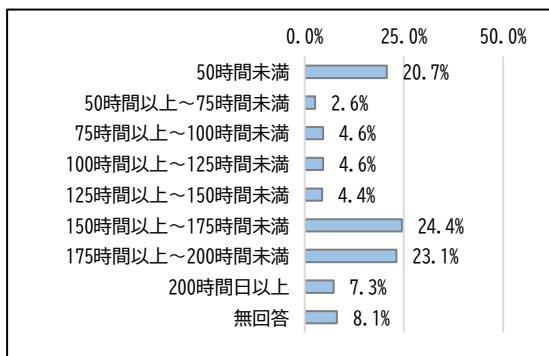


	平均日数
1ヶ月あたり勤務日数	19.4日

② 1ヶ月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）

1ヶ月あたりの平均勤務時間は145.9時間となっています。

(n=454)

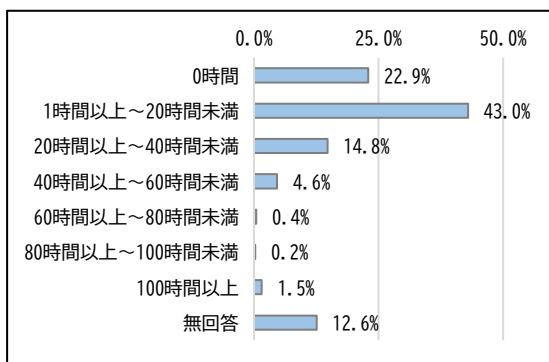


	平均時間
1ヶ月あたり勤務時間	145.9時間

③ 1ヶ月あたりの平均超過勤務時間

1ヶ月あたりの平均超過勤務時間は13.1時間となっています。

(n=454)

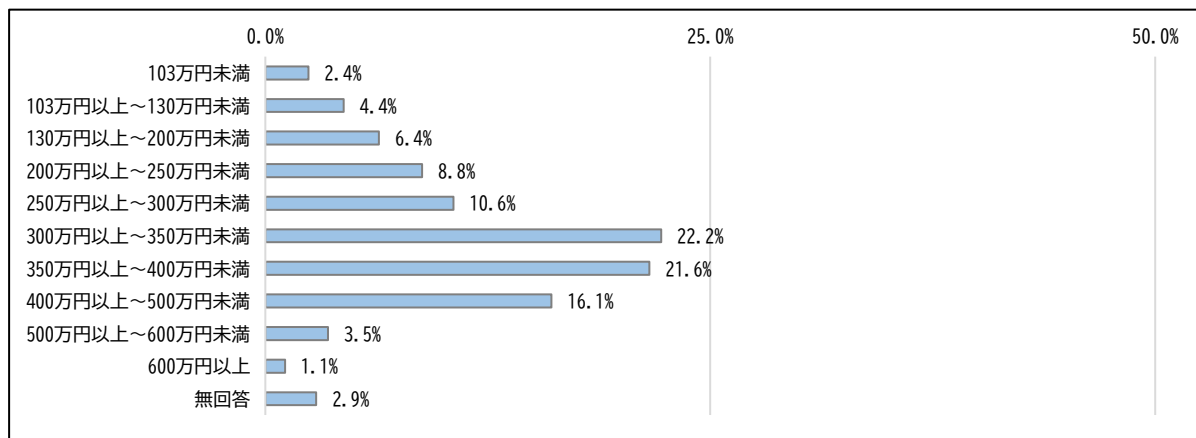


	平均時間
1ヶ月あたり超過勤務時間	13.1時間

現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。（1つの番号に○）

昨年の「年収」について、「300万円以上～350万円未満」が最も多く22.2%となり、次いで「350万円以上～400万円未満」が21.6%となっています。

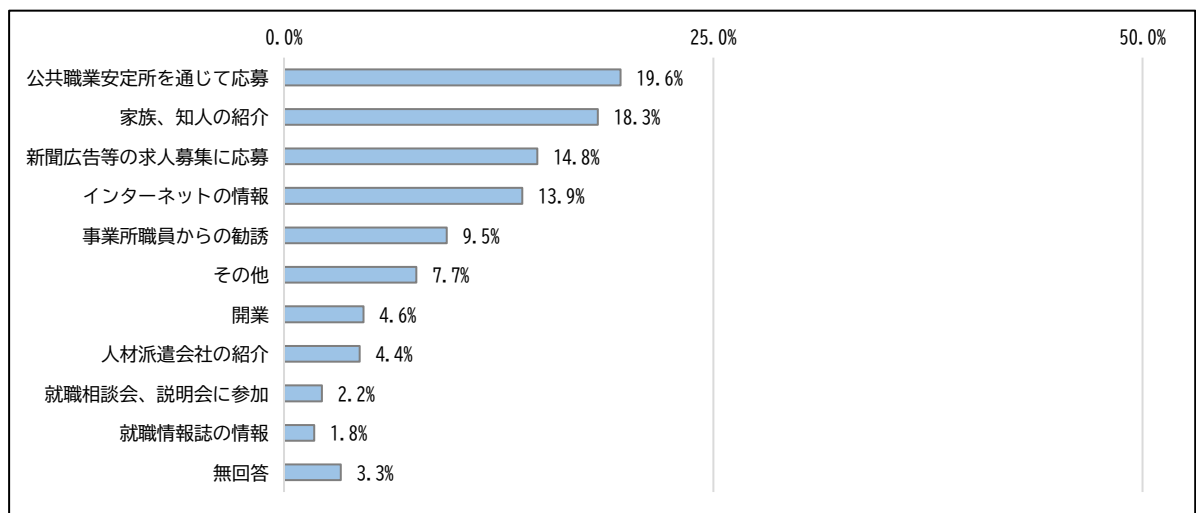
(n=454)



現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけは何ですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけについて、「公共職業安定所を通じて応募」が最も多く19.6%となり、次いで「家族、知人の紹介」が18.3%となっています。

(n=454)



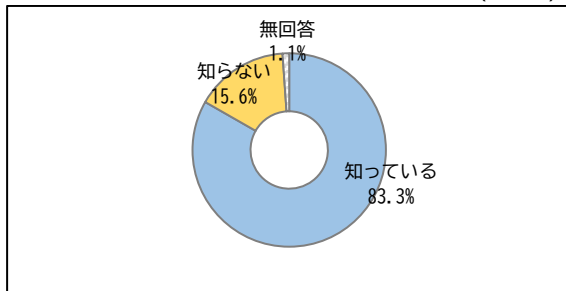
その他・・・近所だった、異動

第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

あなたは松戸市介護支援専門員協議会を知っていますか。(どちらかの番号に○)

松戸市介護支援専門員協議会を「知っている」と回答した割合は83.3%となっています。

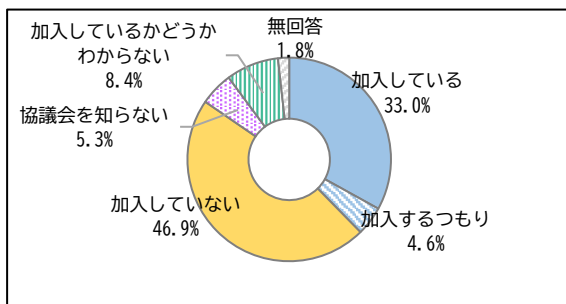
(n=454)



あなたの松戸市介護支援専門員協議会の加入状況についてお答えください。(1つの番号に○)

松戸市介護支援専門員協議会の加入状況について、「加入している」と回答した割合は33.0%となっている一方、「加入していない」と回答した割合は46.9%となっています。

(n=454)

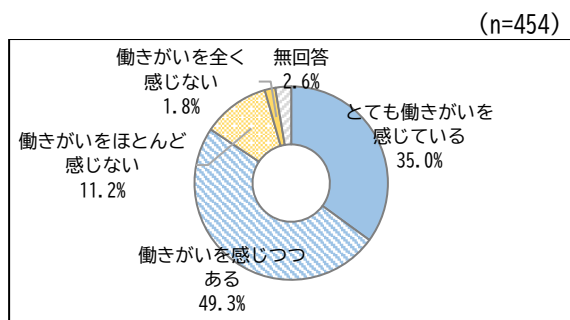


2. 介護支援専門員業務全般について

(1) ケアマネジメント業務

あなたは、介護支援専門員の仕事に働きがいを感じていますか。(1つの番号に○)

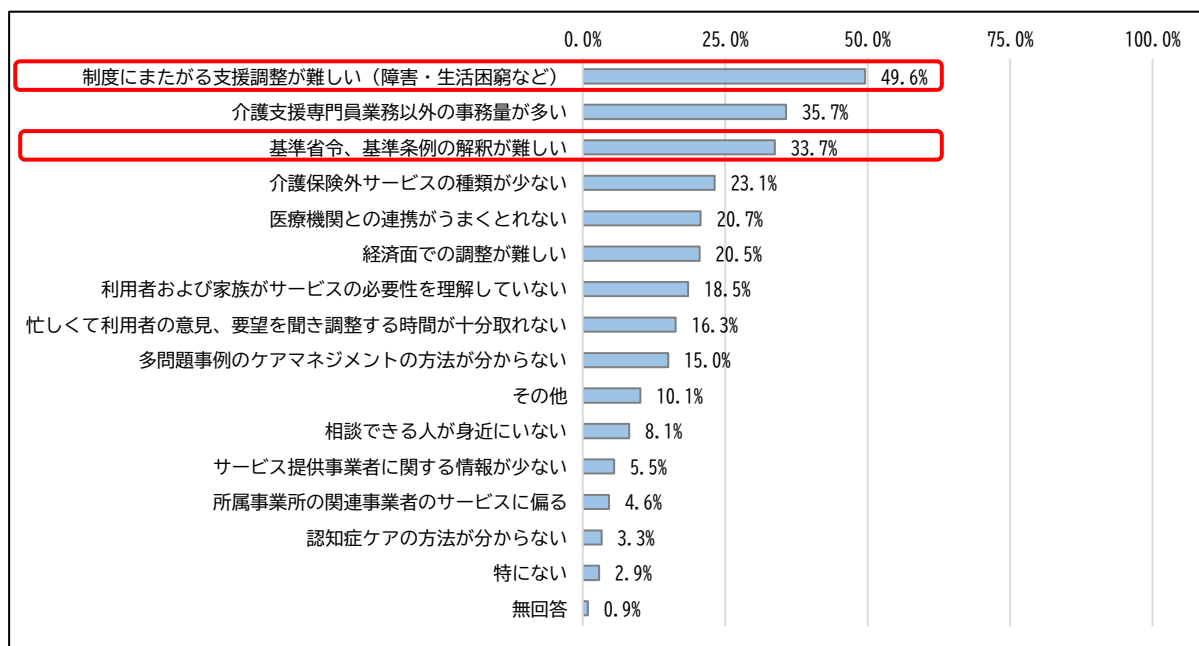
介護支援専門員の仕事の働きがいについて、「とても働きがいを感じている」が35.0%、「働きがいを感じつつある」が49.3%となり、働きがいを感じているとの回答は84.3%と8割以上となっています。



あなたは、ケアマネジメント業務を行う上での課題としてどのようなことをお考えですか。(3つまで番号に○)

ケアマネジメント業務を行う上での課題について「制度にまたがる支援調整が難しい(障害・生活困窮など)」が最も多く49.6%となっており、次いで「介護支援専門員業務以外の事務量が多い」が35.7%となっています。また、「基準省令、基準条例の解釈が難しい」が33.7%となっており、制度に関することの課題意識が多いと言えます。

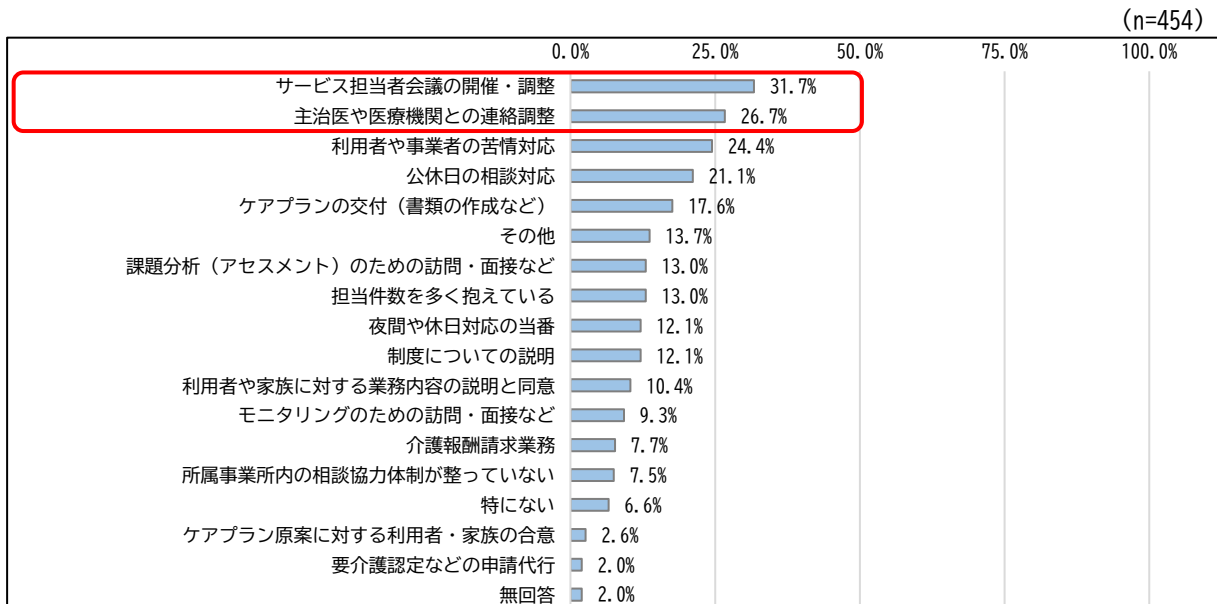
(n=454)



第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

ケアマネジメント業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。（3つまで番号に○）

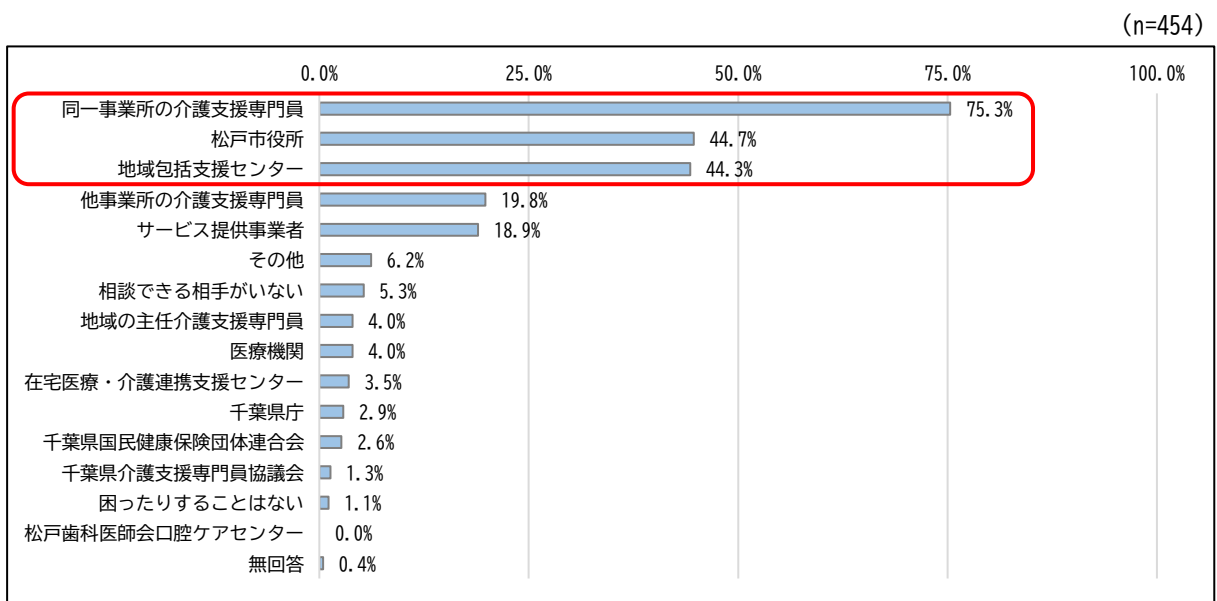
ケアマネジメント業務の中での負担について「サービス担当者会議の開催・調整」が最も多く 31.7%となっており、次いで「主治医や医療機関との連絡調整」が 26.7%となっています。関係機関との連絡調整が負担と感じている割合が多いと言えます。



その他・・・書類が多い

ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときに誰に相談しますか。（3つまで番号に○）

ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときの相談相手として「同一事業所の介護支援専門員」が最も多く 75.3%、次いで「松戸市役所」が 44.7%、「地域包括支援センター」が 44.3%となっています。

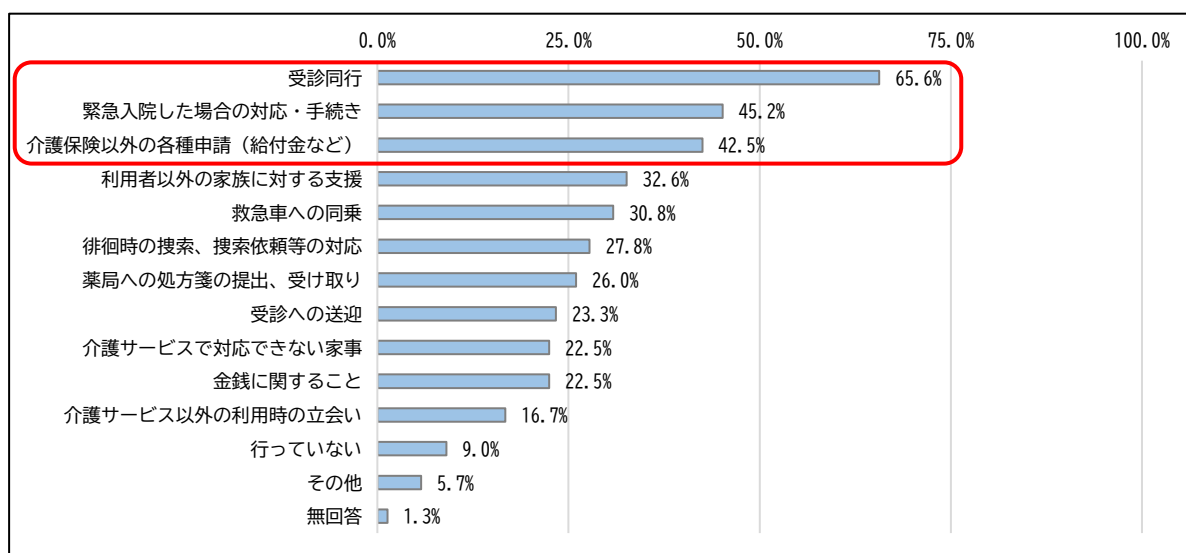


その他・・・上司、看護師

担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

ケアマネジメント業務以外に担当利用者に対し行っている支援について、「受診同行」が最も多く 65.6%となっており、「緊急入院した場合の対応・手続き」が 45.2%、「介護保険以外の各種申請（給付金など）」が 42.5%となるなど、各種手続きに関する支援を行っている割合も高くなっています。

(n=454)

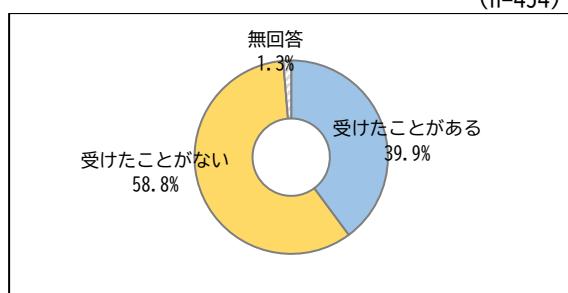


(2) ハラスメントに関する状況

介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。(どちらかの番号に○)

介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを「受けたことがある」と回答した割合は 39.9%と約4割となっています。

(n=454)



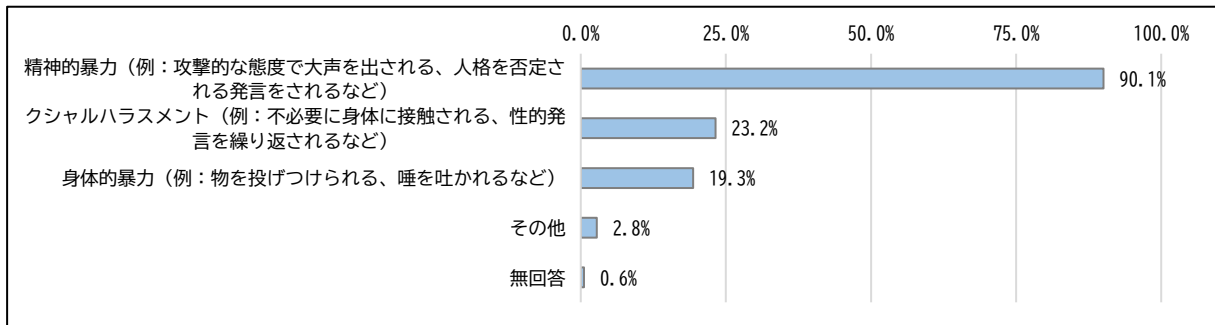
第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことがあると回答した方のみ、お答えください。

その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

利用者や家族から受けたハラスメントの内容について、「精神的暴力」が90.1%となっています。

(n=181)

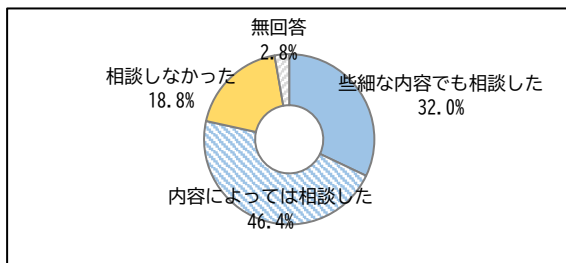


これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことがあると回答した方のみ、お答えください。

その際の相談状況を教えてください。(1つの番号に○)

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談状況について、「相談しなかった」と回答した割合が18.8%となっています。

(n=181)

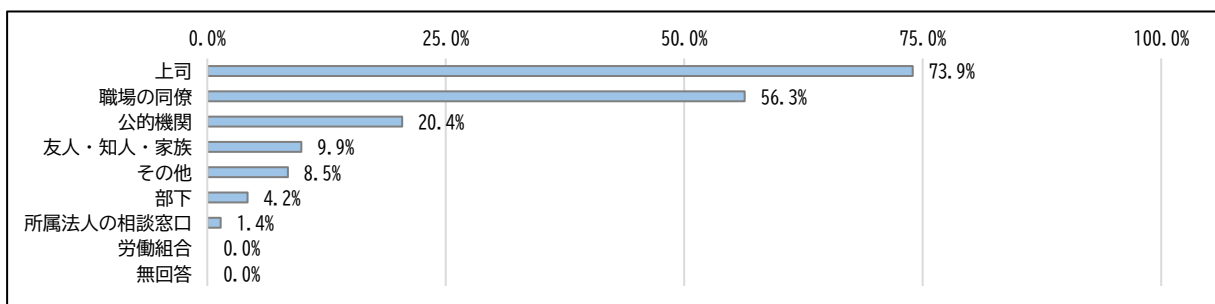


利用者や家族からハラスメントを受けた際に相談したと回答した方のみ、お答えください。

その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談相手として「上司」が最も多く73.9%となっています。

(n=142)



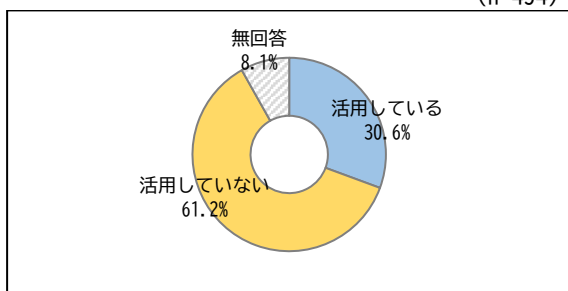
(3) ICTの活用状況

以下のケアマネジメント業務における、ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）の活用状況についてお答えください。

ケアマネジメント業務における、ICT活用状況は以下の通りとなっており、「給付管理」については62.1%が活用していますが、「利用者のアセスメント」や「ケアプラン作成」、「モニタリング監理」については約5割が活用し、「サービス事業所への連絡」や「サービス担当者会議の情報共有」といった他機関との連絡や情報共有については約3割の活用にとどまっています。

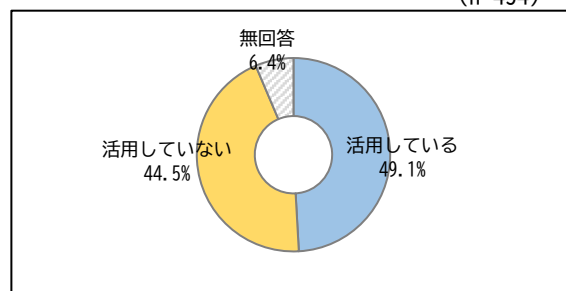
① 利用者・家族からの相談受付業務

(n=454)



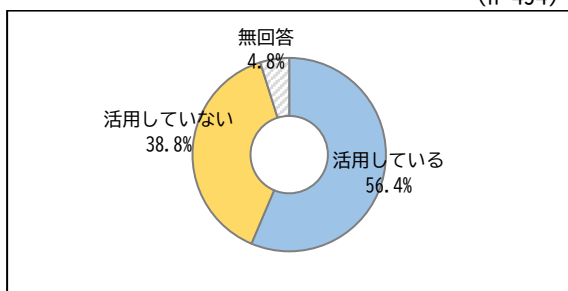
② 利用者のアセスメント

(n=454)



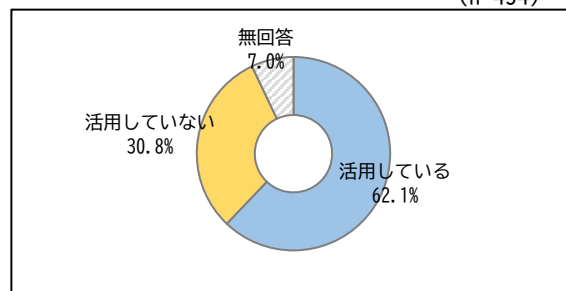
③ ケアプラン作成

(n=454)



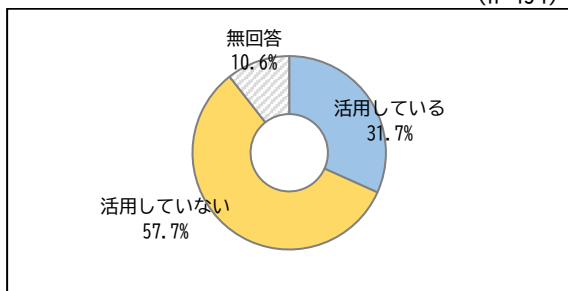
④ 給付管理

(n=454)



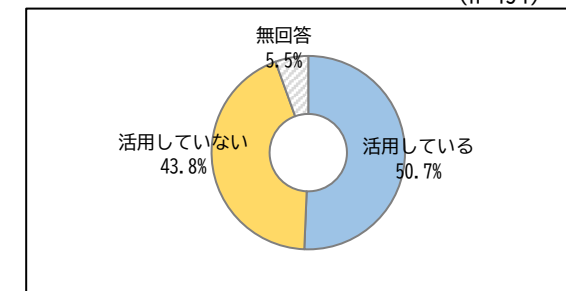
⑤ サービス事業所への連絡（提供票の配信含む）

(n=454)



⑥ モニタリング管理

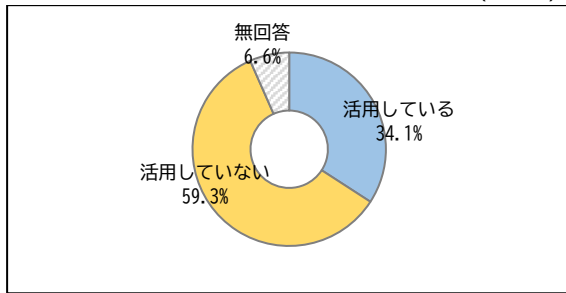
(n=454)



第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

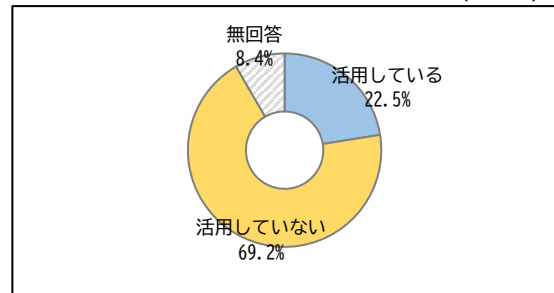
⑦ サービス担当者会議の情報共有

(n=454)



⑧ 医療機関との連携

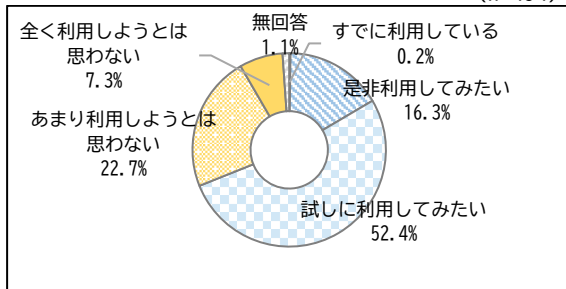
(n=454)



「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成にあたり、人工知能（AI）を活用したケアプランソフトウェアを利用してみたいと思いますか。

人工知能（AI）を活用したケアプランソフトウェアの利用意向について、「試しに利用してみたい」が 52.4%と最も多く、「すでに利用している」「是非利用してみたい」を含めた「利用してみたい」との意向については 68.9%と約7割となっています。

(n=454)



3. ケアプランの作成状況等について

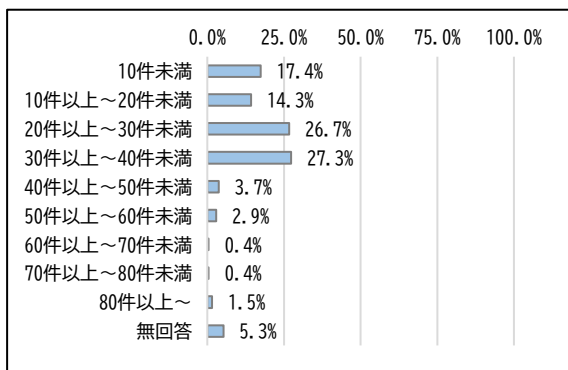
(1) ケアプラン作成状況

令和2年3月の担当ケアプラン件数（実績）を介護・予防それぞれにお答えください。（数字を記入）

令和2年3月の担当ケアプラン件数について介護ケアプランの平均件数は25.2件、予防ケアプランの平均件数は7.6件となっています。

① 介護ケアプラン

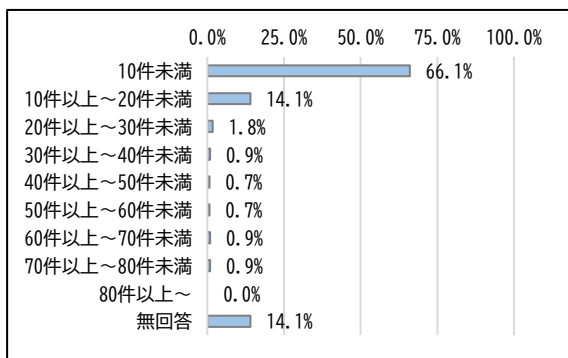
(n=454)



	平均件数
担当ケアプラン件数（介護）	25.2件

② 予防ケアプラン（要支援者・事業対象者）

(n=454)

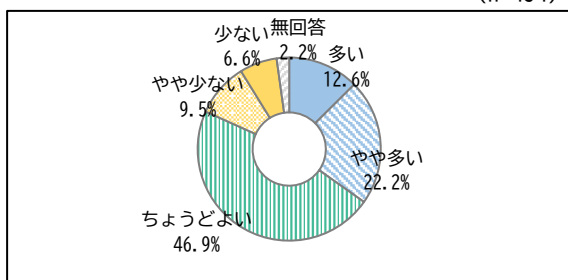


	平均件数
担当ケアプラン件数（予防）	7.6件

現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。（1つの番号に○）

現在担当しているケアプラン件数について、「ちょうどよい」と回答した割合は46.9%となる一方、「多い」「やや多い」と回答した割合は34.8%となっています。

(n=454)



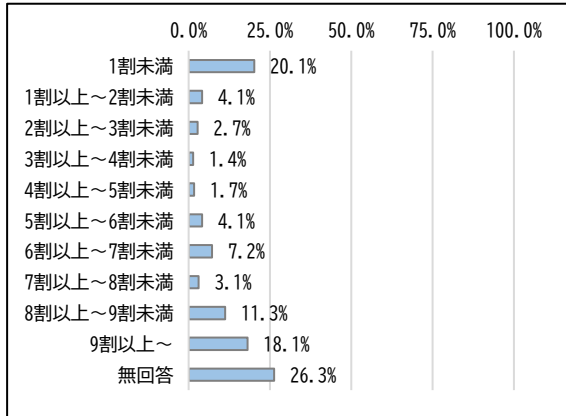
第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

居宅介護支援事業所に勤務する方のみ、お答えください。

平成31年4月から令和元年12月までの現在担当しているケアプランに対する以下の各加算の取得割合についてお答えください。

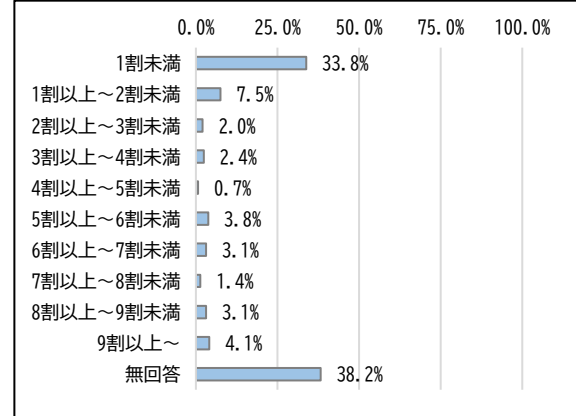
① 入院時情報連携加算

(n=293)



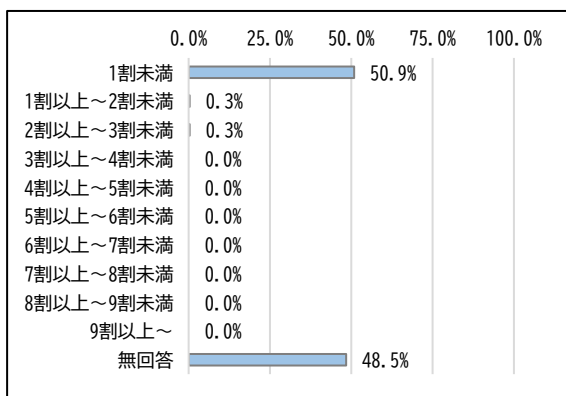
② 退院・退所加算

(n=293)



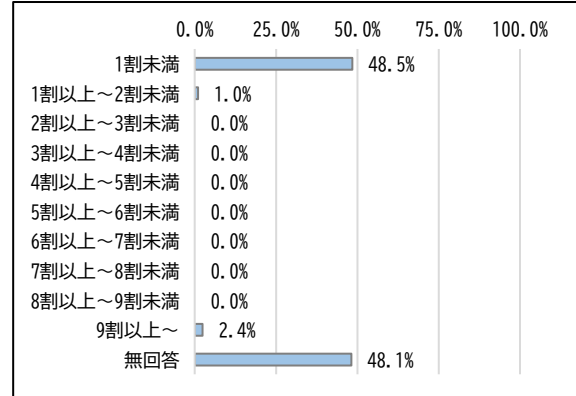
③ 緊急時等居宅カンファレンス加算

(n=293)



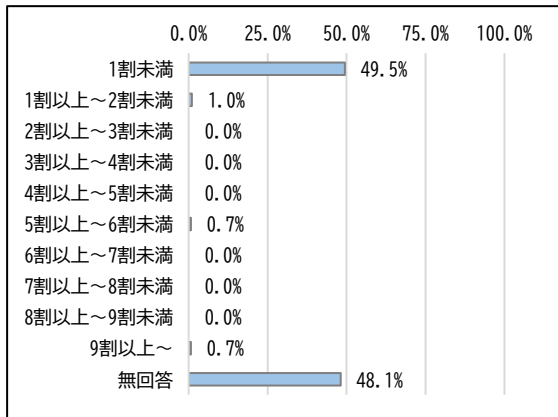
④ 小規模多機能型居宅介護事業所連携加算

(n=293)



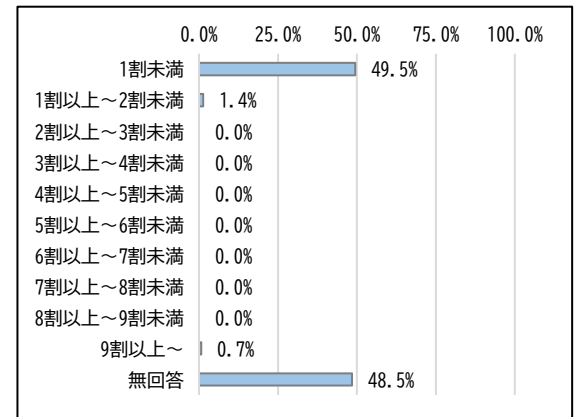
⑤ 看護小規模多機能型居宅介護事業所連携加算

(n=293)



⑥ ターミナルケアマネジメント加算

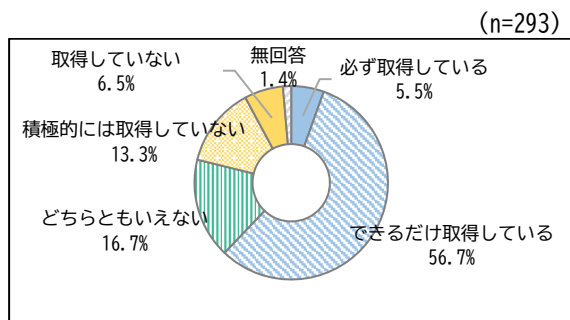
(n=293)



居宅介護支援事業所に勤務する方のみ、お答えください。

あなたは、現在担当しているケアプランに対する加算の取得について、どのようにお考えですか。（1つの番号に○）

ケアプランに対する加算の取得について「できるだけ取得している」と回答した割合が最も高く 56.7%となっています。



その理由は何ですか。（記載）

「必ず取得している」「できるだけ取得している」

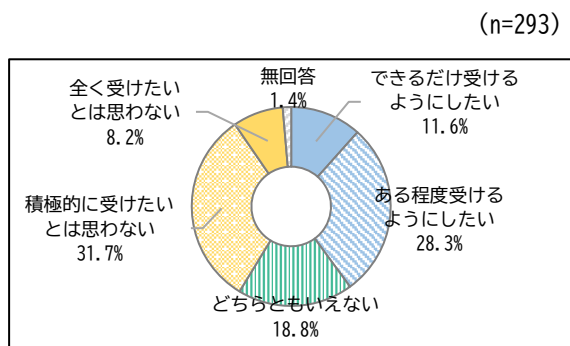
- ・事業所の収益のため
- ・事業所のとりきめ

「積極的に取得していない」「取得していない」

- ・加算の要件の判断が難しいため
- ・手間がかかるため

あなたは、地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、どのようにしたいとお考えですか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて「できるだけ受けようになりたい」「ある程度受けようになりたい」と回答した割合が 39.9%、「積極的に受けたいとは思わない」「全く受けたいとは思わない」と回答した割合も 39.9%となり、受けようとする思いについて半々となっています。



第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

その理由は何ですか。(記載)

「できるだけ受けるようにしたい」「ある程度受けるようにしたい」

- ・必要としているかたの役に立ちたい

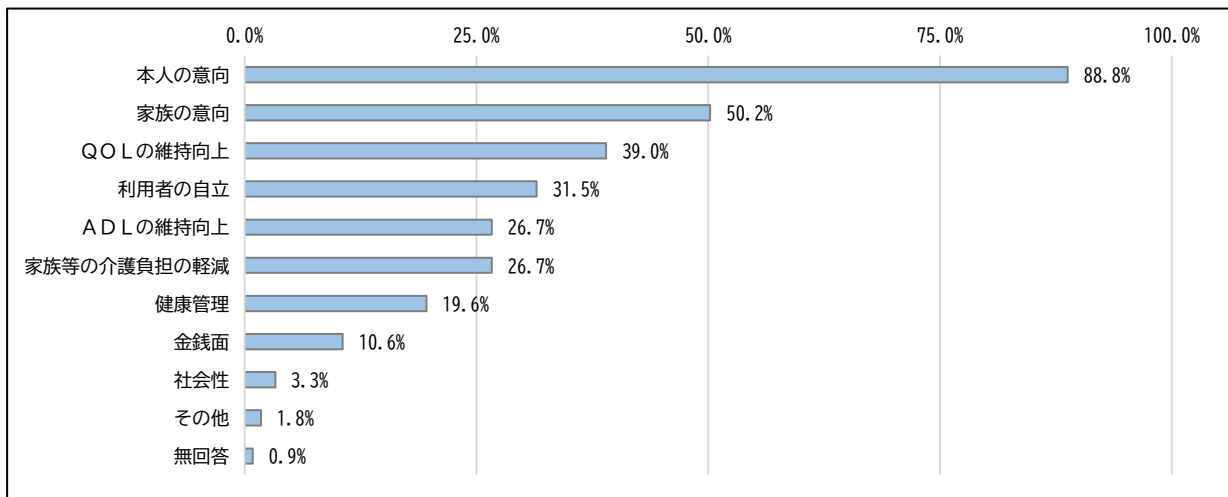
「積極的には取得していない」「取得していない」

- ・労力に対して報酬が少ない
- ・手間がかかるため
- ・予防のシステムが使いづらい
- ・会社の方針

ケアプランの作成にあたり、優先していることは何ですか。(優先度が高いもの3つまで番号に○)

ケアプランの作成にあたり、優先していることについて、「本人の意向」が88.8%、「家族の意向」が50.2%となっています。

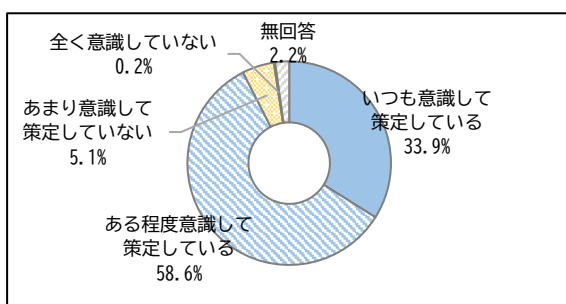
(n=454)



「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃どの程度意識して策定にあたっていますか。(1つの番号に○)

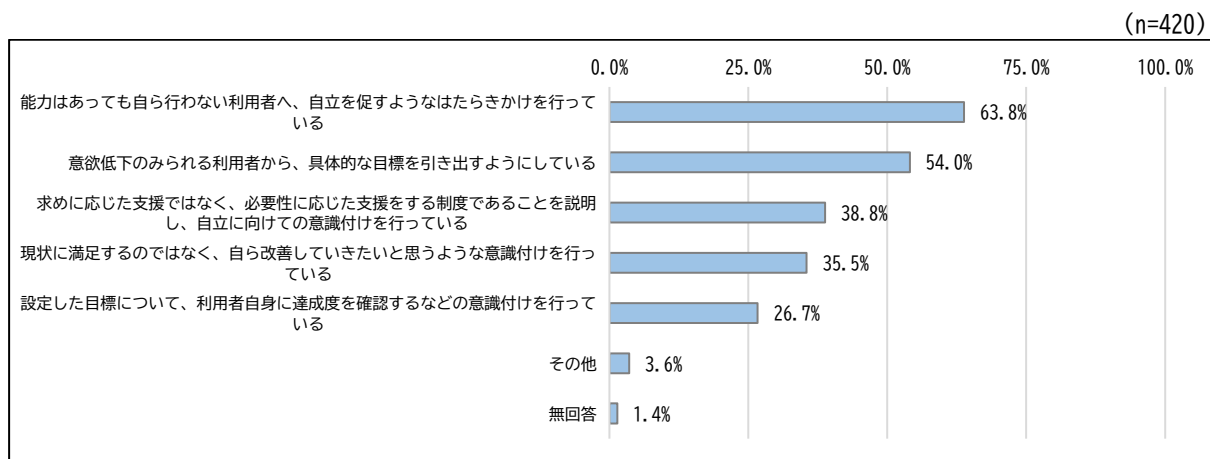
「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、「いつも意識して策定している」と回答した割合は33.9%、「ある程度意識して策定している」は58.6%と9割以上の方が意識して策定しています。

(n=454)



「自立支援」「重度化防止」を意識して策定していると回答した方のみ、お答えください。
主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

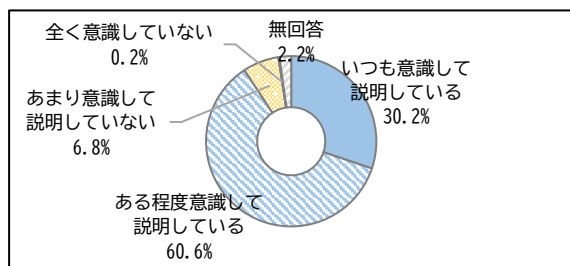
「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成にあたり、「能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている」と回答した割合は63.8%となっています。



日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、そのための介護を行うことについて説明を行っていますか。(1つの番号に○)

日常生活の自立に向けた介護を行うことについて「いつも意識して説明している」と回答した割合は30.2%となっています。

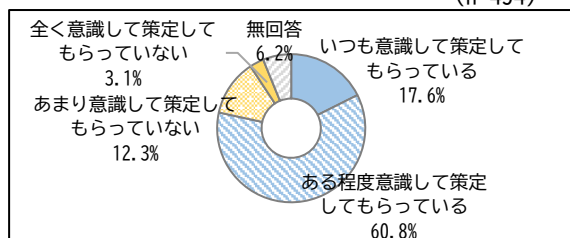
(n=454)



介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を説明し、介護事業者に自立支援・重度化防止を意識した個別介護計画を策定してもらっていますか。

介護事業者に自立支援・重度化防止を意識した個別介護計画を「いつも意識して策定してもらっている」と回答した割合は17.6%となっています。

(n=454)

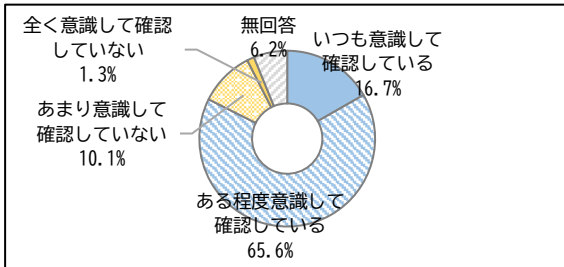


第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標が達成されるような介護が、介護事業所で行われているか確認していますか。(1つの番号に○)

介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた介護が行われているかを「いつも意識して確認している」と回答した割合は16.7%となっています。

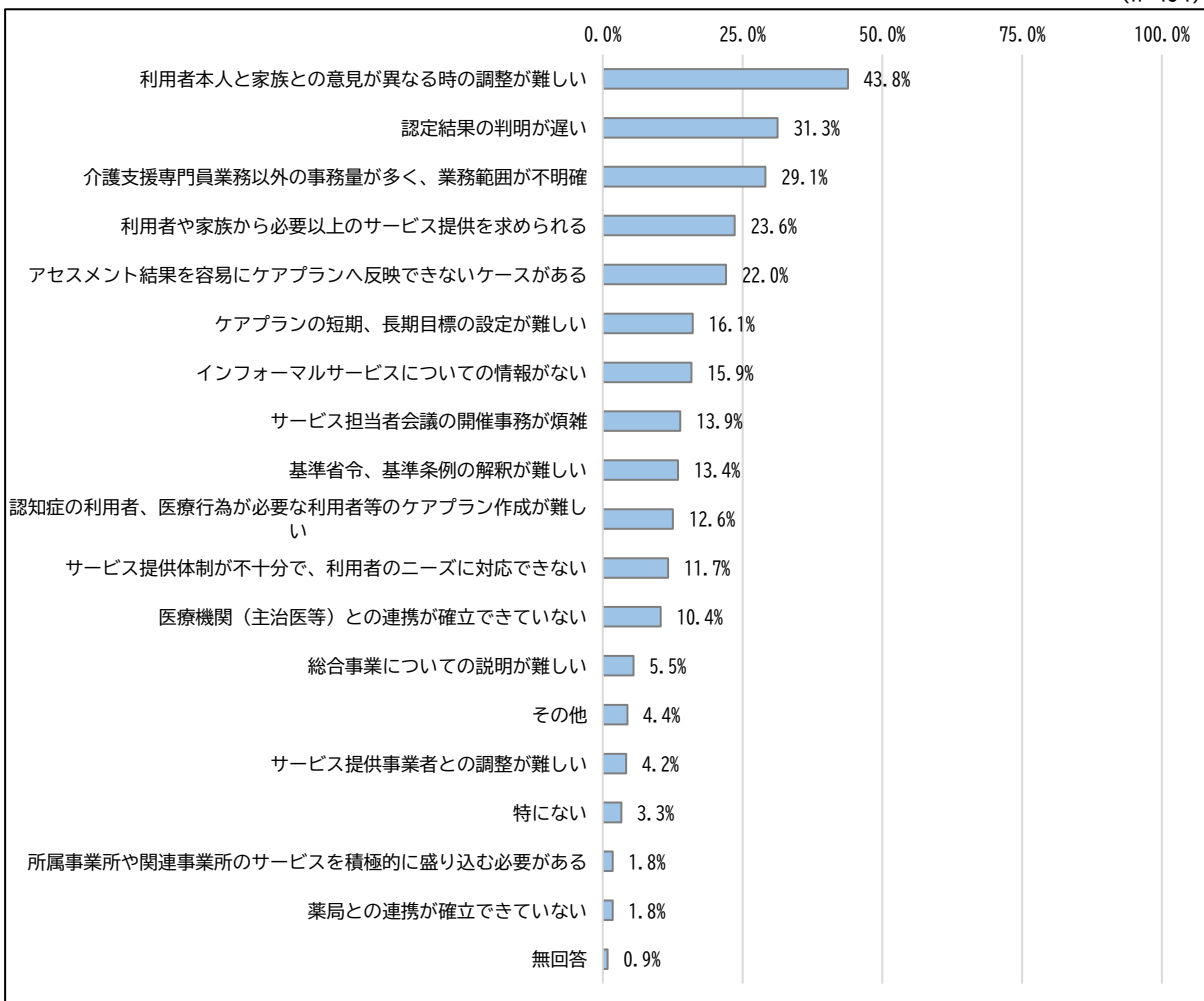
(n=454)



あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。(3つまで番号に○)

ケアプランの作成に際し、特に困っている、あるいは困ったことについて「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整が難しい」が最も多く43.8%となっています。また、「認定結果の判明が遅い」ことについても31.3%となっています。

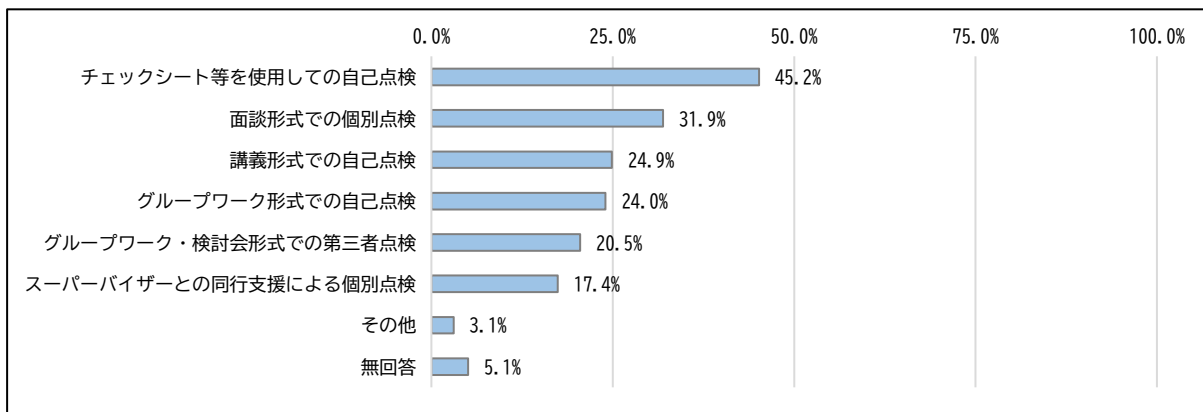
(n=454)



自立支援に資するケアマネジメントとは何か等、介護支援専門員としての「気づき」を支援する「ケアプラン点検」について、どのような機会を期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「ケアプラン点検」に期待する機会について、「チェックシート等を使用した自己点検」が最も多く 45.2%となっています。

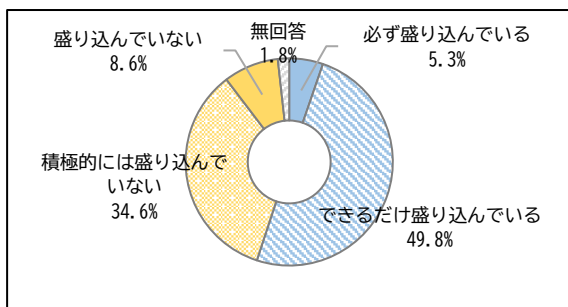
(n=454)



ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいますか。（1つの番号に○）

ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに「必ず盛り込んでいる」と回答した割合は 5.3%となり、「できるだけ盛り込んでいる」と回答した割合は 49.8%となっています。

(n=454)

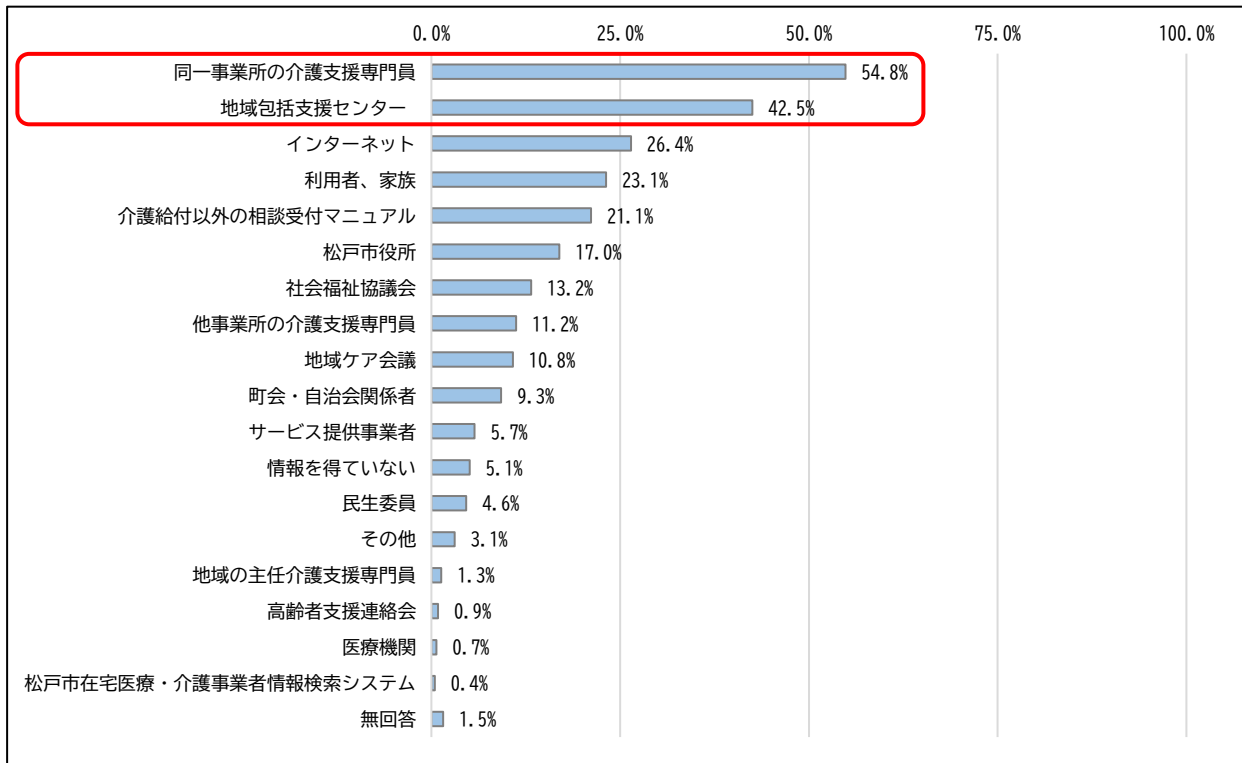


第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報をどこから得ていますか。(3つまで番号に○)

インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報入手先として「同一事業所の介護支援専門員」が最も多く 54.8%となり、次いで「地域包括支援センター」が 42.5%となっています。

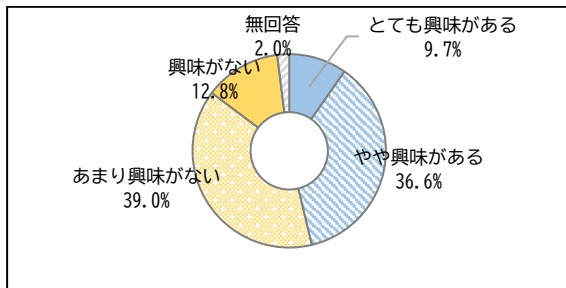
(n=454)



介護支援専門員地域同行型研修について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

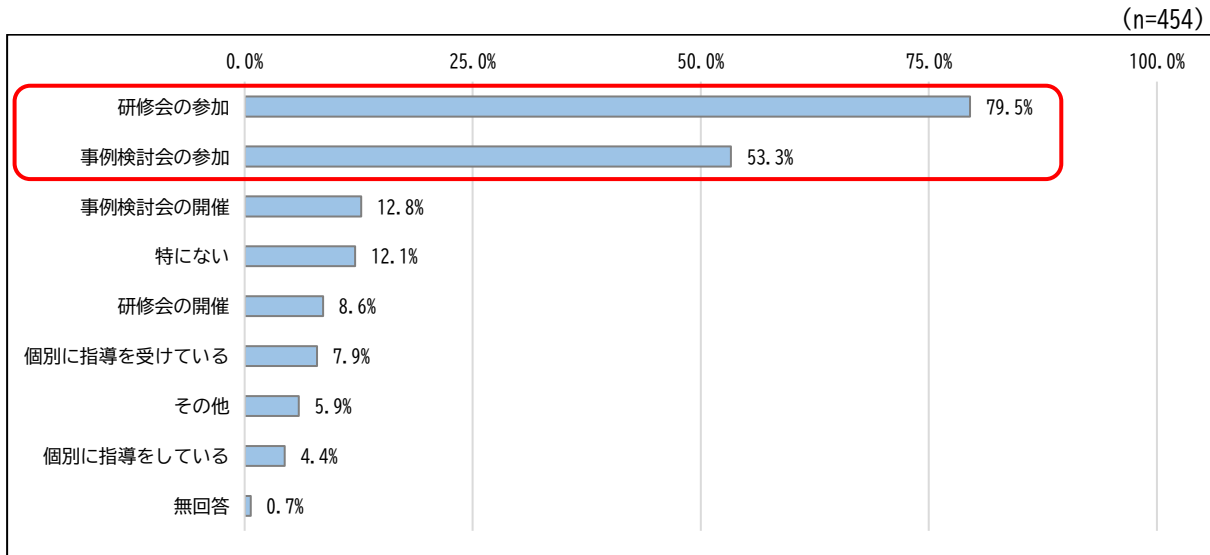
介護支援専門員地域同行型研修について「とても興味がある」と回答した割合は 9.7%、「やや興味がある」と回答した割合は 36.6%となり、興味があると回答した割合が、46.3%となっています。

(n=454)



介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることはありますか。(主な取り組み3つまで番号に○)

介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることについて、「研修会の参加」が最も多く79.5%となり、次いで「事例検討会の参加」が53.3%となっています。



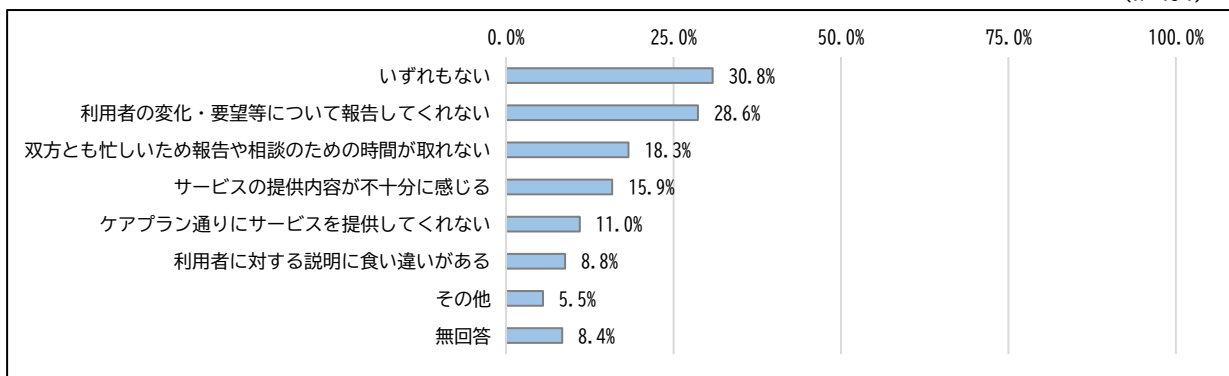
4. 居宅サービス事業者等との関わりについて

(1) サービス事業者の状況

サービス事業者との関係で苦慮していることはありますか。(2つまで番号に○)

サービス事業者との関係で苦慮していることについて「いずれもない」と回答した割合が最も多く30.8%となり、次いで「利用者の変化・要望等について報告してくれない」が28.6%となっています。

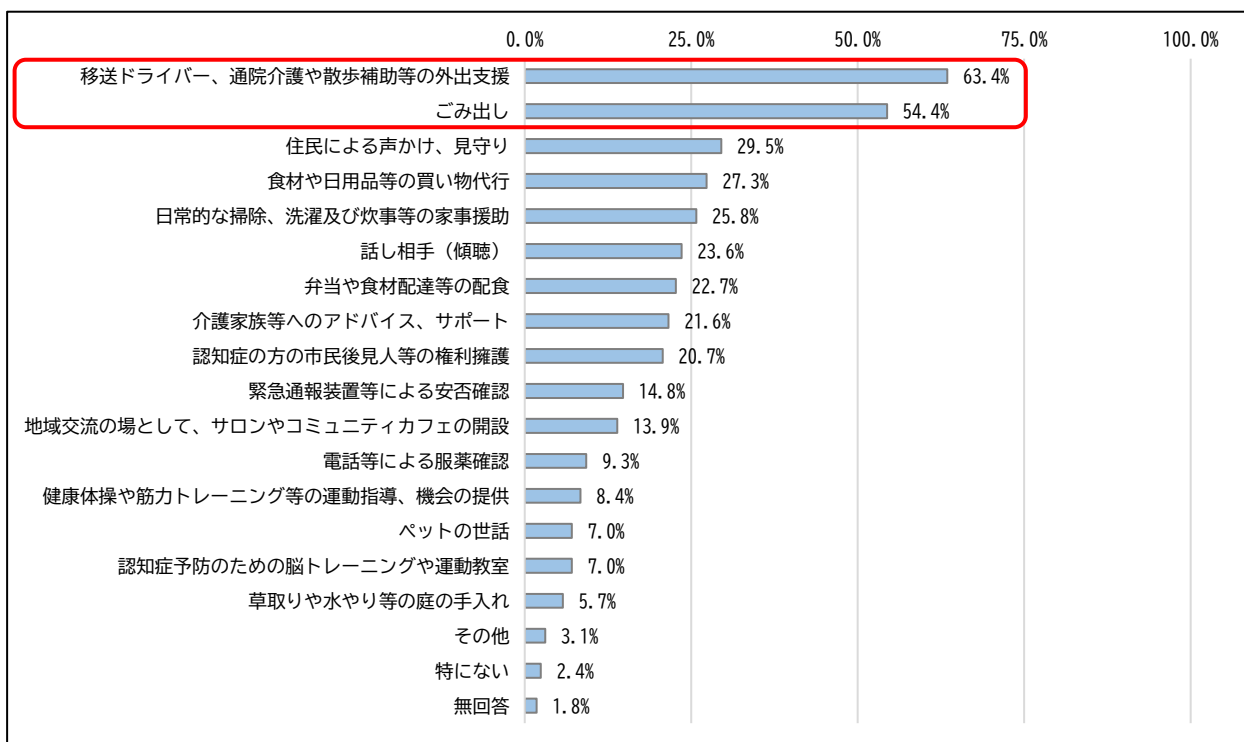
(n=454)



今後、高齢になっても住み慣れた地域（在宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。(4つまで番号に○)

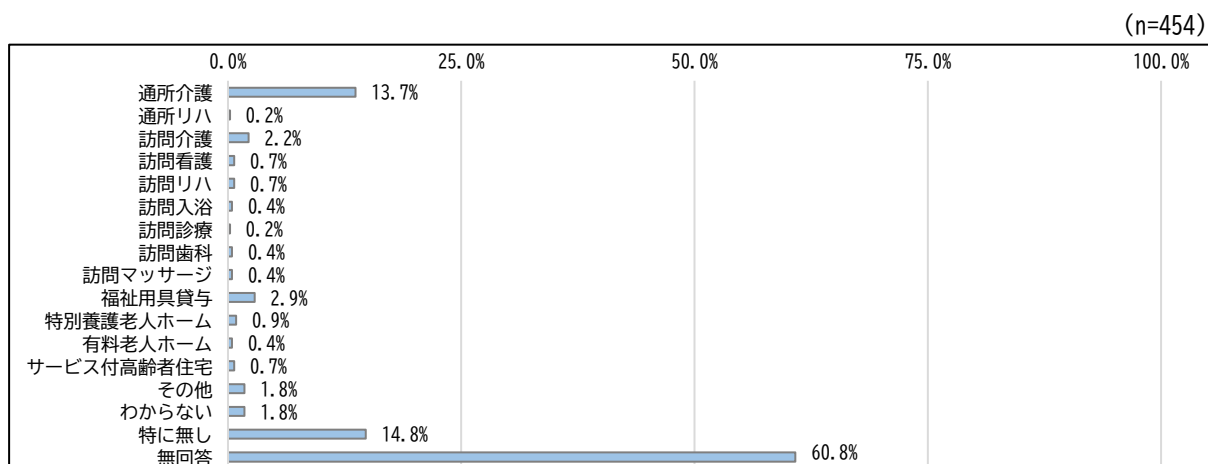
地域において特に必要と思う生活支援について、「移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援」が最も多く63.4%となり、次いで「ごみ出し」が54.4%となっています。

(n=454)



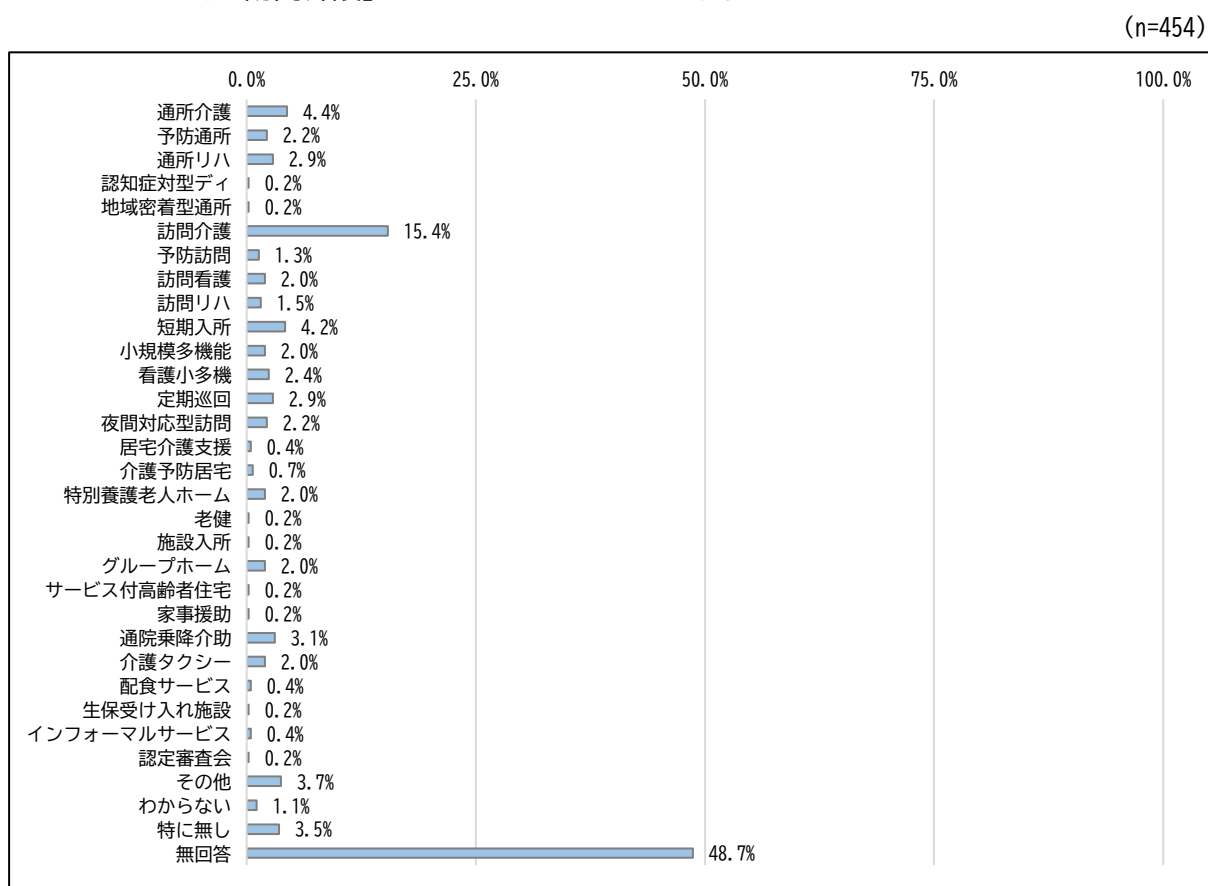
現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「供給過多である」と思う介護保険サービスをお答えください。（記載）

現在の松戸市における介護保険サービスで「供給過多である」と思う介護保険サービスについて、「特になし」と回答した割合が14.8%となる一方、「通所介護」が13.7%となっています。



現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「需要を満たしていない」と思う介護保険サービスをお答えください。（記載）

現在の松戸市における介護保険サービスで「需要を満たしていない」と思う介護保険サービスについて、「訪問介護」が15.4%となっています。



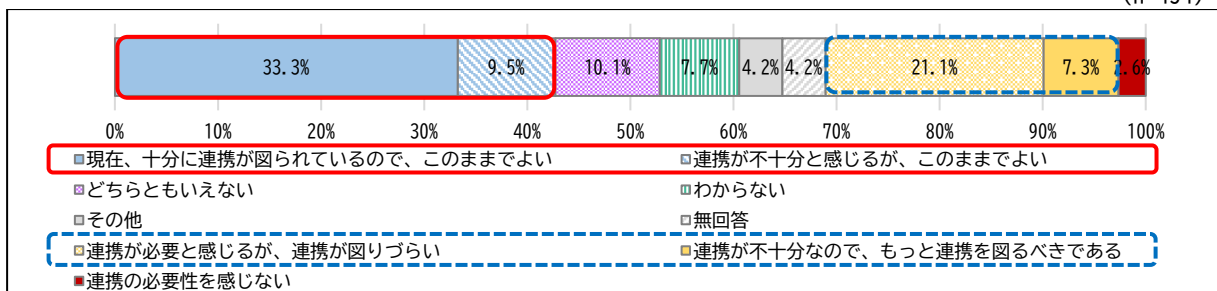
5. 地域連携について

(1) 地域包括支援センターとの連携の状況

地域包括支援センターとの連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

地域包括支援センターとの連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は33.3%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は42.8%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は21.1%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は28.4%となっています。

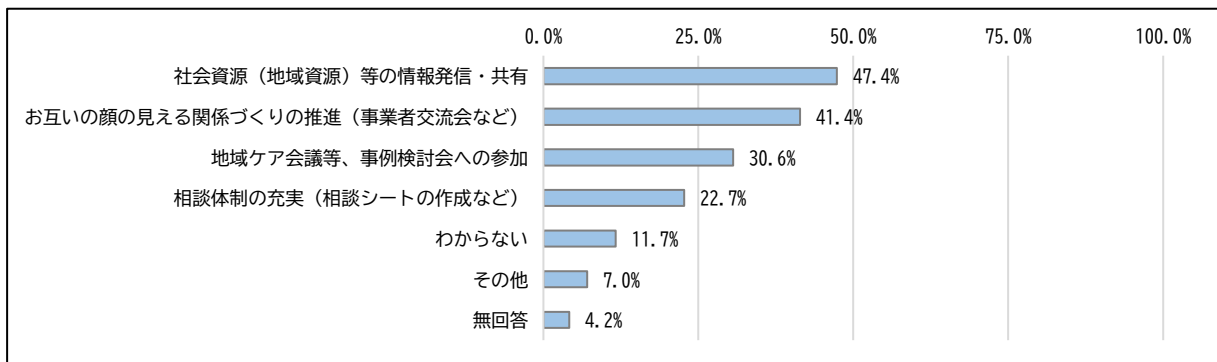
(n=454)



地域包括支援センターとの連携を図るためには、特に何が必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

地域包括支援センターとの連携を図るために特必要なことについて、「社会資源（地域資源）等の情報発信・共有」が最も多く47.4%となっています。

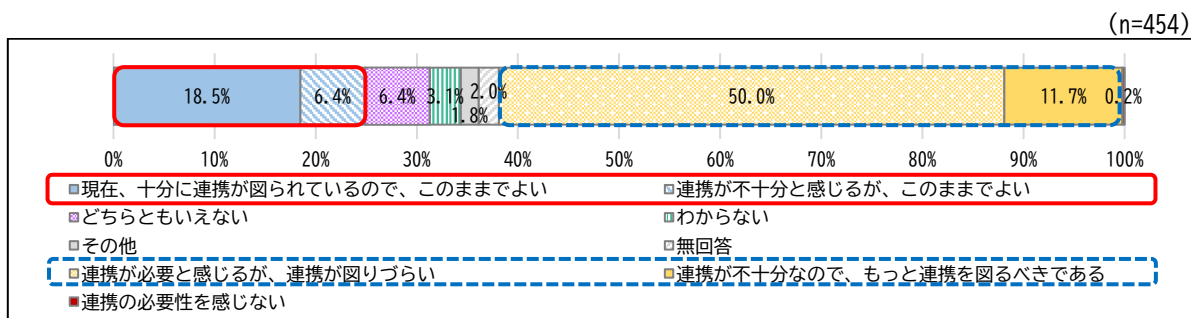
(n=454)



(2) 医療と介護の連携状況

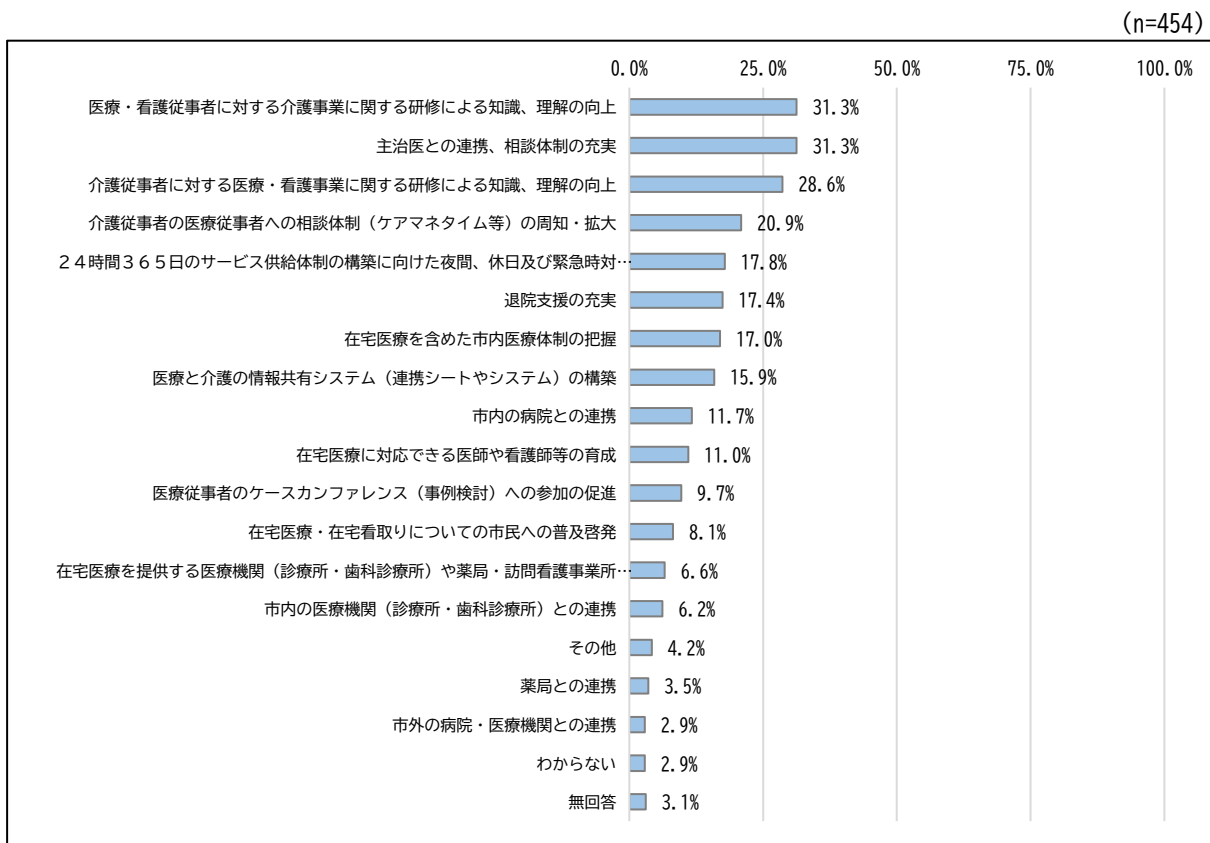
医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

医療と介護の連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は18.5%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は24.9%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は50.0%と半数となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は61.7%と6割を超えています。



医療と介護の連携を図るために、課題と感じていることは何ですか。(3つまで番号に○)

医療と介護の連携を図るために課題と感じていることとして、「医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上」「主治医との連携、相談体制の充実」が最も多く31.3%となっています。

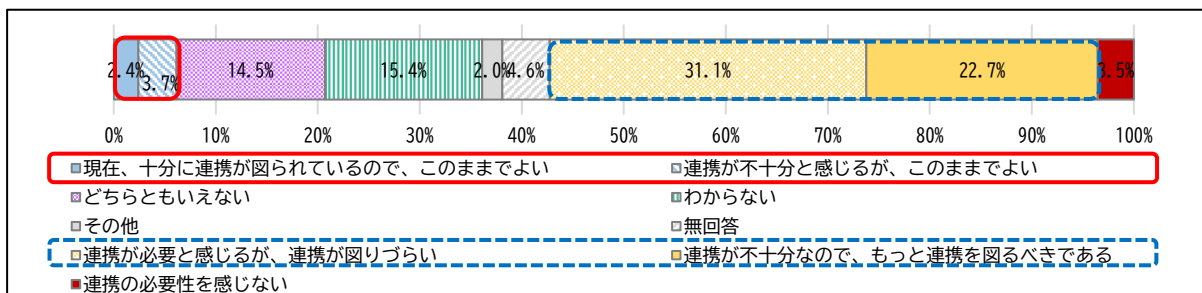


(3) 他分野との連携状況

他分野（障害・児童等）との連携についてどのようにお考えですか。（1つの番号に○）

他分野（障害・児童等）との連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は2.4%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は6.1%にとどまっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は31.1%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は53.8%と半数を超えています。

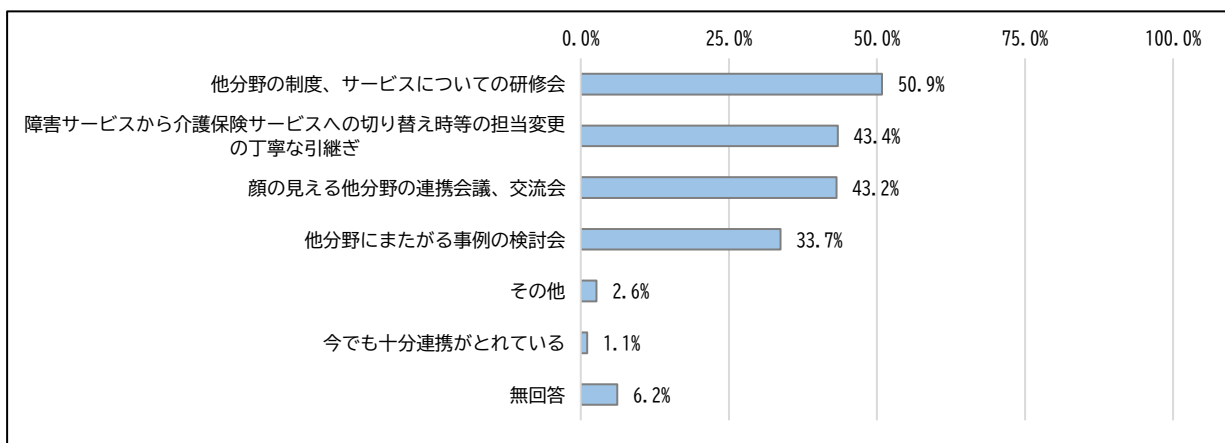
(n=454)



他分野との連携をより深めるには特に何が重要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

他分野との連携をより深めるために特必要なこととして「他分野の制度、サービスについての研修会」が最も多く50.9%となっています。

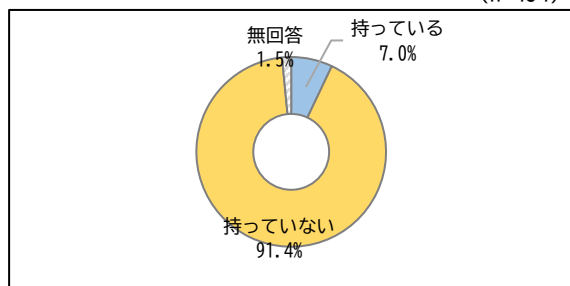
(n=454)



あなたは、相談支援専門員の資格を持っていますか。(どちらかの番号に○)

相談支援専門員の資格について、「持っている」と回答した割合は7.0%となっています。

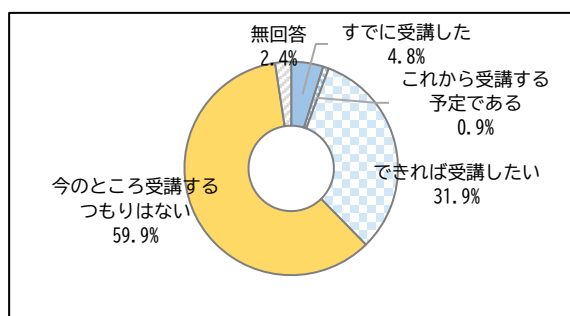
(n=454)



相談支援専門員研修について受講する予定はありますか。(1つの番号に○)

相談支援専門員研修について、「できれば受講したい」と回答した割合は31.9%となっています。

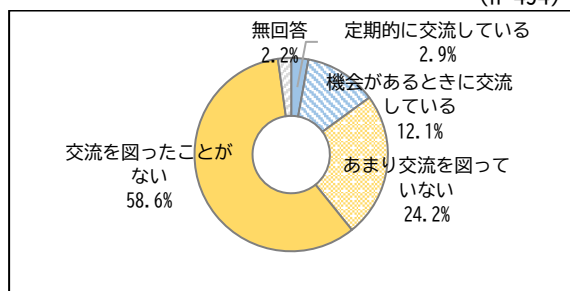
(n=454)



地域の相談支援専門員の方と積極的に情報交換するなど、交流を図っていますか。(1つの番号に○)

地域の相談支援専門員の方と「交流を図ったことがない」と回答した割合は58.6%と約6割となっています。

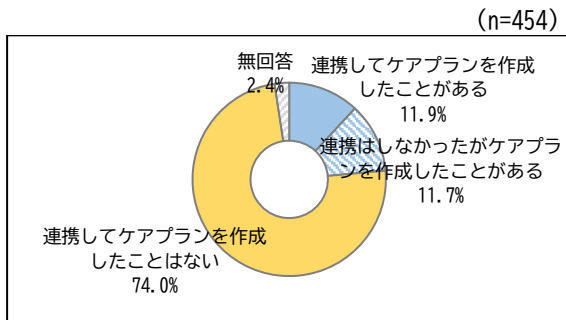
(n=454)



第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

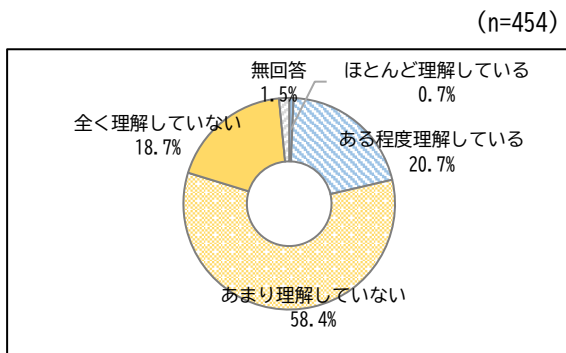
障害者の方が高齢になり、障害福祉サービスから介護サービスへと移行するケースについて、相談支援専門員の方と連携して介護のケアプランを作成したことがありますか。（1つの番号に○）

相談支援専門員の方と「連携してケアプランを作成したことがある」と回答した割合は11.9%となっています。



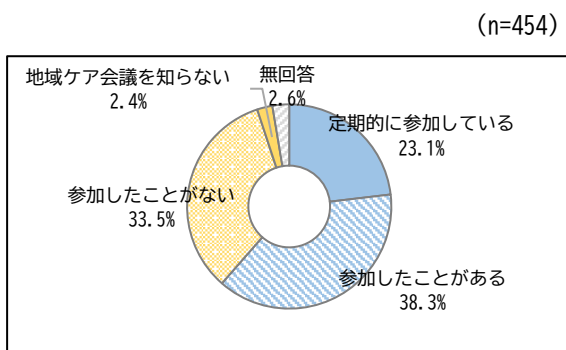
障害福祉サービスについてどの程度の知識があると思いますか。（1つの番号に○）

障害福祉サービスについて「あまり理解していない」と回答した割合は58.4%、「全く理解していない」と回答した割合は18.7%となっています。



地域ケア会議にどのくらい参加していますか。（1つの番号に○）

地域ケア会議について「定期的に参加している」と回答した割合は23.1%、「参加したことがある」と回答した割合は38.3%となっています。

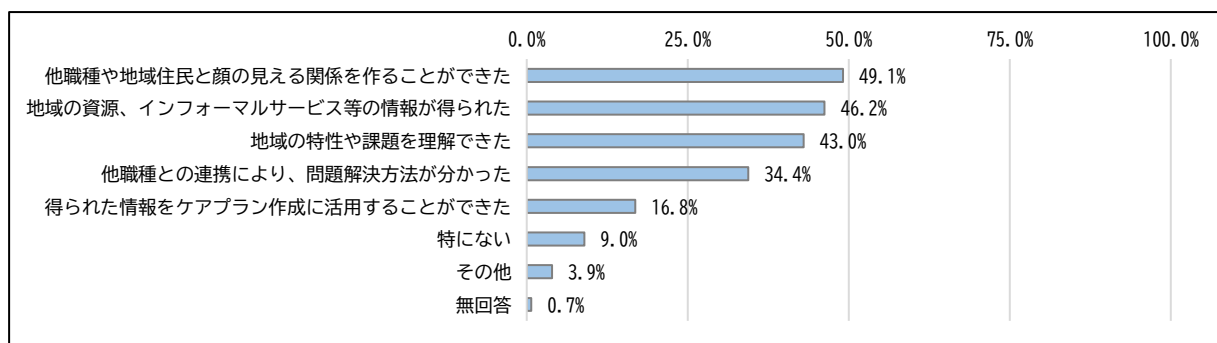


地域ケア会議に参加したことがあると回答した方のみ、お答えください。

あなたが地域ケア会議に参加してよかったことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

地域ケア会議に参加してよかったことについて、「他職種や地域住民と顔の見える関係を作ることができた」と回答した割合は49.1%、「地域の資源、インフォーマルサービス等の情報が得られた」と回答した割合は46.2%となっています。

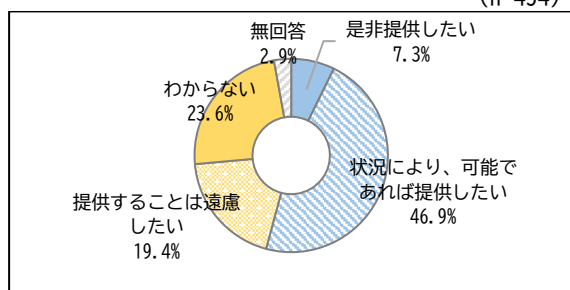
(n=279)



地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）では困難事例や自立支援に資する事例の検討を行っています。これらの会議に事例提供することについてどう考えますか。(1つの番号に○)

地域ケア会議に事例提供することについて「是非提供したい」と回答した割合は7.3%、「状況により、可能であれば提供したい」と回答した割合は46.9%となっています。

(n=454)



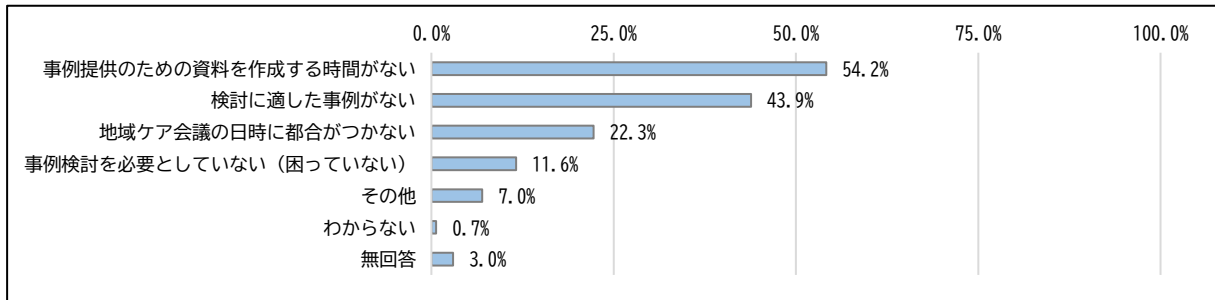
第2章 調査の結果 「3. 介護支援専門員アンケート調査」

地域ケア会議に事例提供することについて、状況により可能であれば提供したい、提供することは遠慮したいと回答した方のみ、お答えください。

その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

地域ケア会議に事例提供することを、「状況により可能であれば提供したい」「提供することは遠慮したい」と回答した理由について、「事例提供のための資料を作成する時間がない」が54.2%となっています。

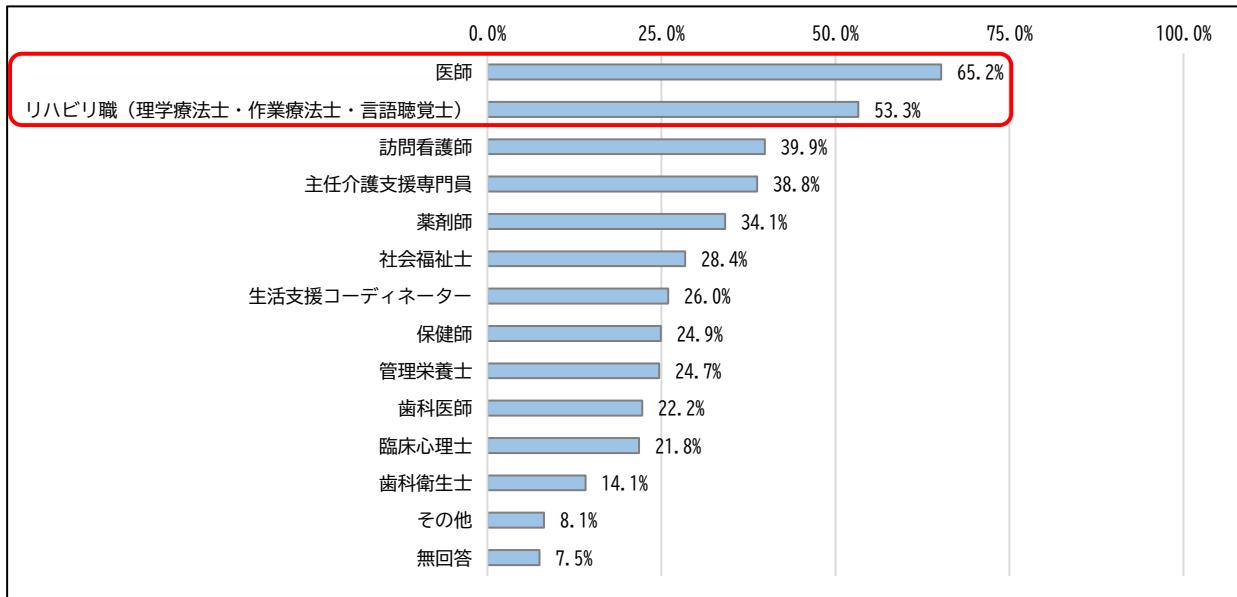
(n=301)



地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）でどのような方からのアドバイスを期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）

地域ケア会議でアドバイスを期待する方について、「医師」が65.2%「リハビリ職」が53.3%となっています。

(n=301)



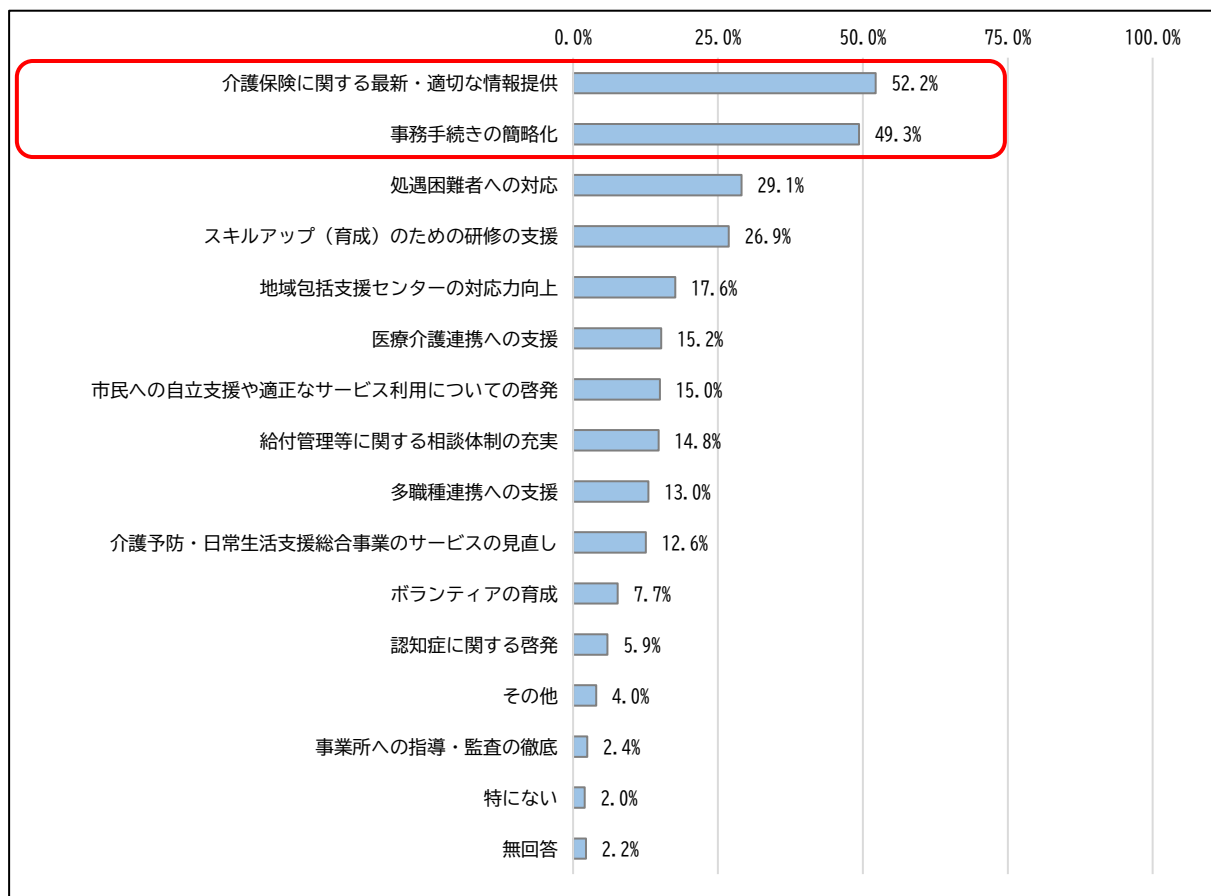
6. 松戸市への要望について

(1) 介護支援専門員としての要望

施設・事業所の介護支援専門員として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。
(3つまで番号に〇)

介護支援専門員として、松戸市に対して望むことについて、「介護保険に関する最新・適切な情報提供」や「事務手続きの簡略化」が多くなっています。

(n=454)



4. 町会・自治会アンケート調査

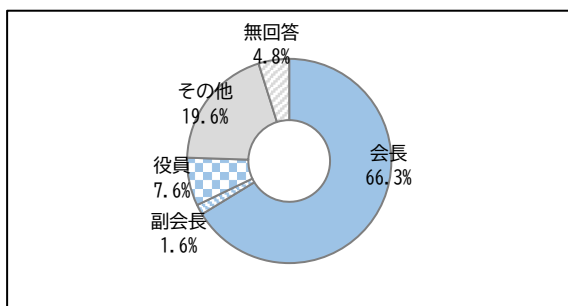
1. 回答者属性について

(1) 回答者

この調査票を記入される方の町会等内における役職をお答えください。(1つの番号に○)

調査票の記入者は以下の通りとなっています。

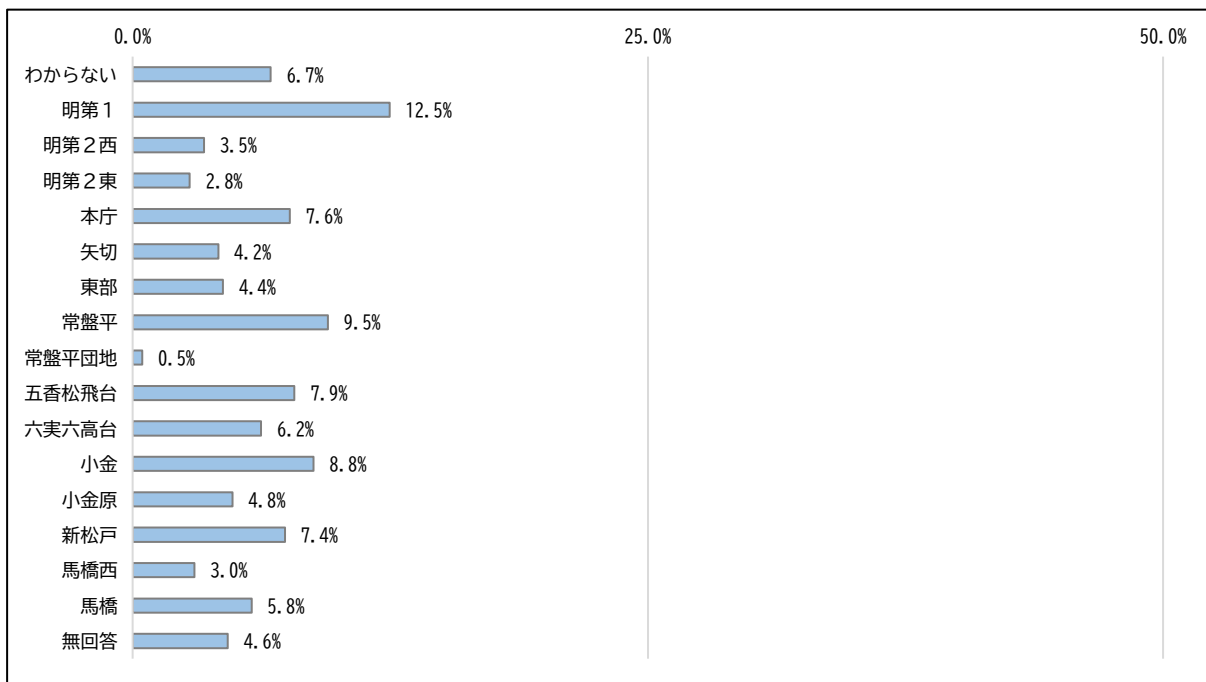
(n=433)



町会等のある日常生活圏域はどこですか。(1つの番号に○)

町会等のある日常生活圏域は以下の通りとなっています。

(n=433)



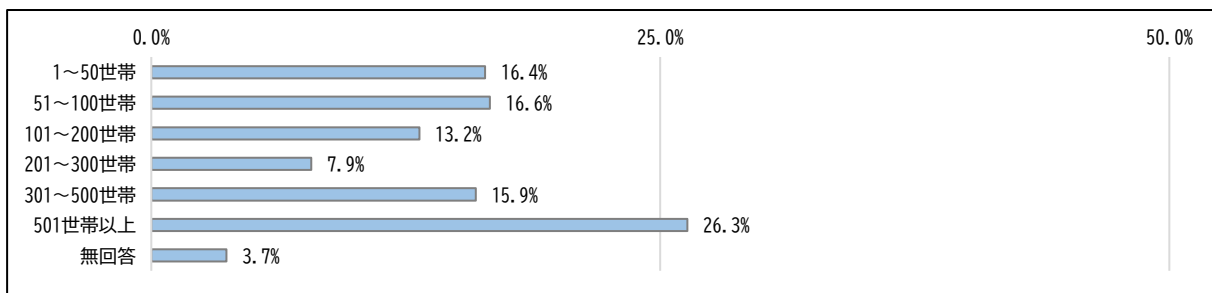
2. 町会等の基本情報について

(1) 町会等の加入状況

町会等の加入世帯数はどのくらいですか。(1つの番号に○)

町会等の加入世帯数について以下の通りとなっています。

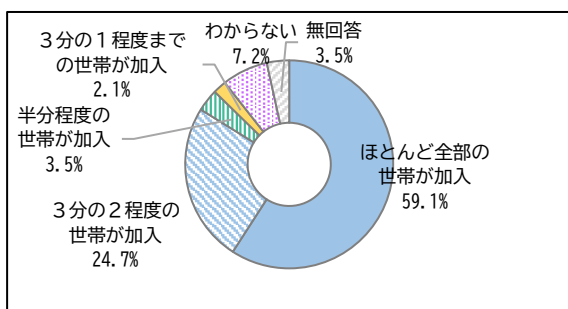
(n=433)



町会等の加入率はどのくらいですか。(1つの番号に○)

町会等の加入率について「ほとんど全部の世帯が加入」が最も多く59.1%、次いで「3分の2程度の世帯が加入」となっています。

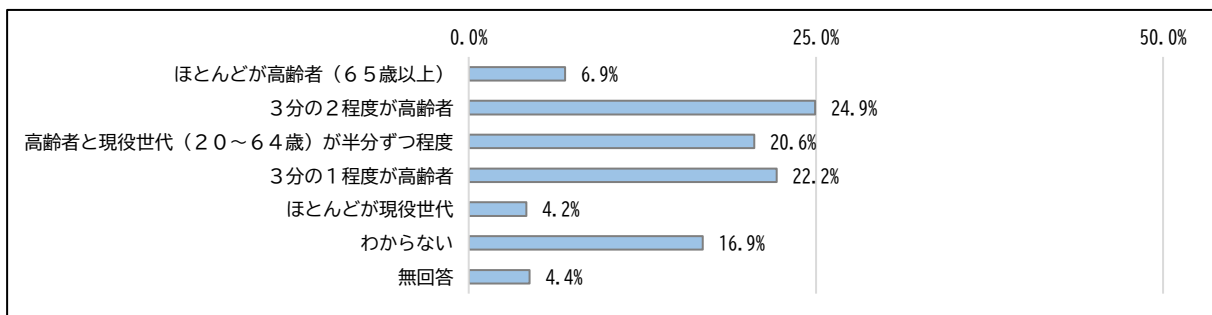
(n=433)



町会等の加入者の年齢はどのくらいですか。(1つの番号に○)

町会等の加入者の年齢について「3分の2程度が高齢者」が最も多く24.9%、次いで「3分の1程度が高齢者」が22.2%となっています。

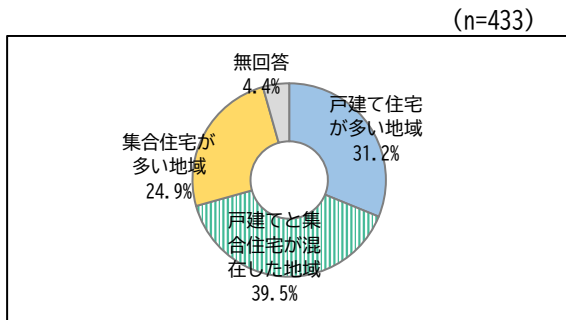
(n=433)



第2章 調査の結果 「4. 町会・自治会アンケート調査」

町会等内は、どのような住居形態が多い地域ですか。(1つの番号に○)

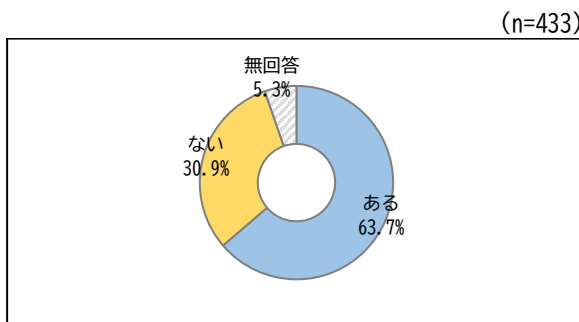
住居形態について「戸建て住宅が多い地域」「戸建てと集合住宅が混在した地域」「集合住宅が多い地域」がほぼ同割合となっています。



(2) 会館・集会所の状況

町会等には会館・集会所はありますか。(どちらかの番号に○)

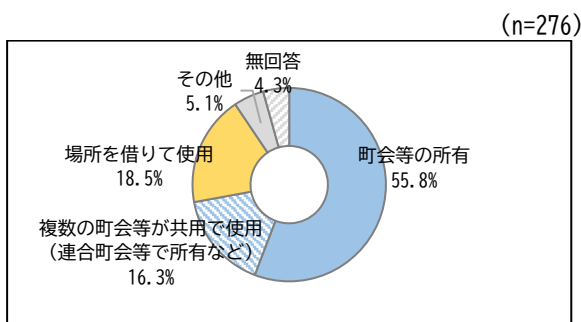
会館・集会所の有無について「ある」と回答した割合は63.7%となっています。



町会等には会館・集会所はあると回答した方のみ、お答えください。

会館・集会所の形態はどれにあたりますか。(1つの番号に○)

会館・集会所の形態について「町会等の所有」と回答した割合は55.8%となっています。



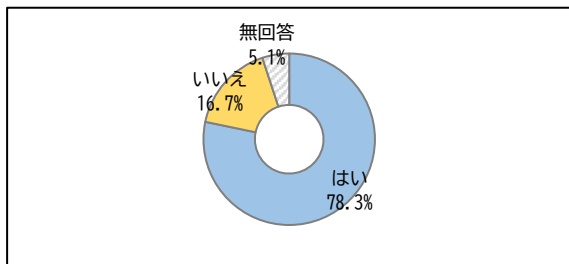
その他・・・マンション内集会室

町会等には会館・集会所はあると回答した方のみ、お答えください。

会館・集会所は、町会等の行事以外で一般の方が使用することができますか。(どちらかの番号に○)

会館・集会所がある町会等において、会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方が「使用できる」と回答した割合は 78.3%となっています。

(n=276)

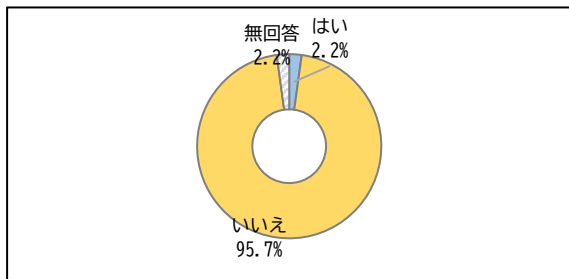


会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方は使用できないと回答した方のみ、お答えください。

今後、町会等の行事以外の一般の方の使用を検討していますか。(どちらかの番号に○)

会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方は使用できない町会等において、今後、町会等の行事以外の一般の方の使用を「検討していない」と回答した割合は 95.7%となっており、ほとんど検討していないとの回答となっています。

(n=46)

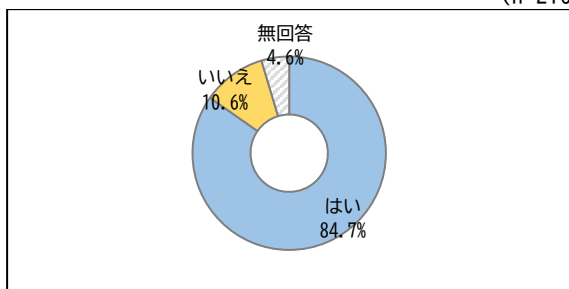


会館・集会所は、町会等の行事以外で一般の方が使用できると回答した方のみ、お答えください。

会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を徴収していますか。

会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を「徴収している」と回答した割合は 84.7%となっています。

(n=216)

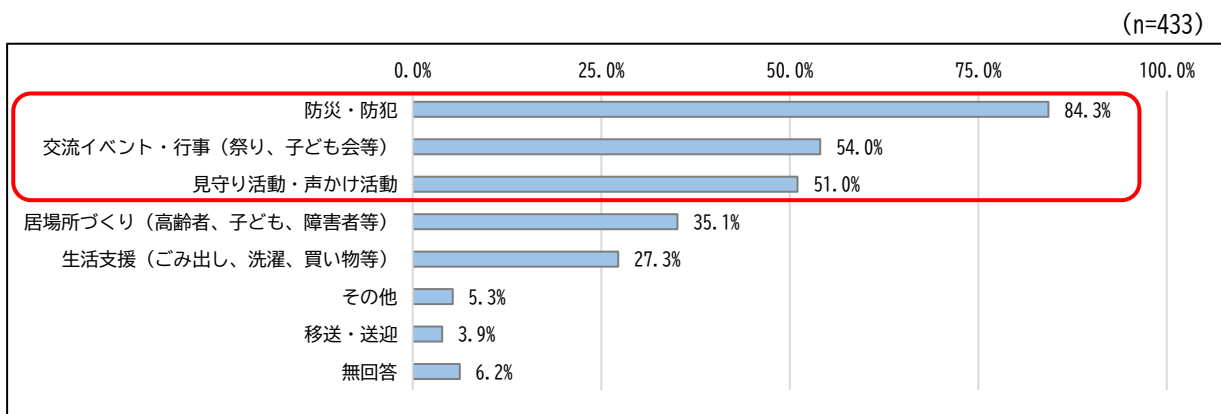


3. 地域づくり等について

(1) 地域づくり等町会等活動状況

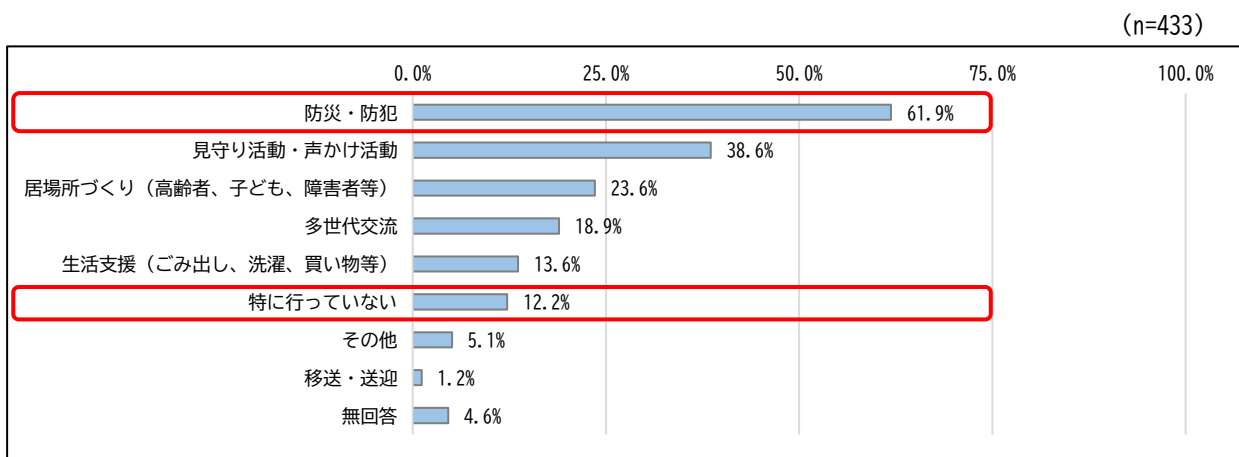
日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

住民から町会等に特に求められていることとして「防災・防犯」が最も多く 84.3%となっており、次いで「交流イベント・行事」が 54.0%、「見守り活動・声かけ活動」が 51.0%となっています。



日頃、町会等が主体となって、どのような活動を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

日頃、町会等が主体となって行っている活動について、「防災・防犯」が最も多く 61.9%となっています。なお、「特に行っていない」と回答した割合は 12.2%となっています。



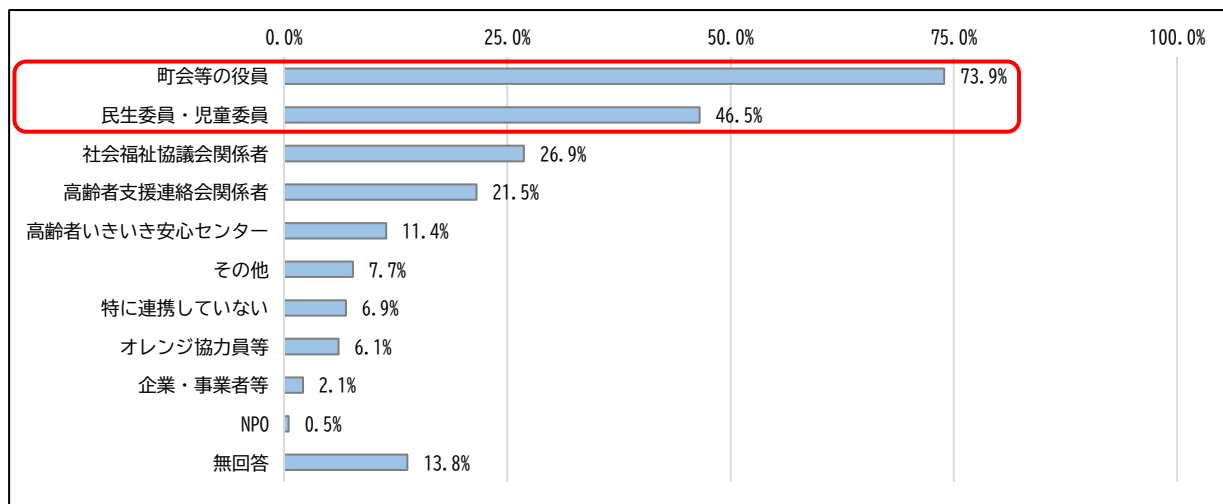
その他・・・交流イベント、祭り

町会等が主体となって活動を行っているとは回答した方のみ、お答えください。

その活動は、どのような方と協力・連携して行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

町会等が主体となって行っている活動の協力・連携先について、「町会等の役員」が最も多く73.9%となっており、次いで「民生委員・児童委員」が46.5%となっています。

(n=376)

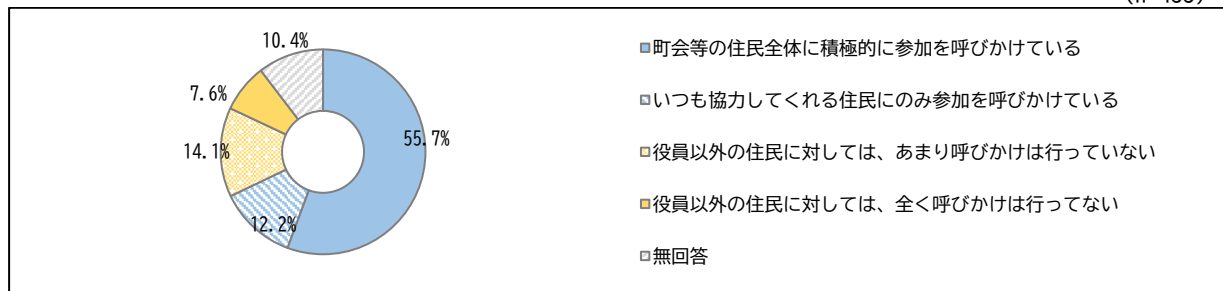


その他・・・消防署

町会等の普段の活動やイベント（子供会、祭り等）の準備の際に、役員以外の地域住民に協力してもらえるよう、参加を呼びかけていますか。（1つの番号に○）

町会等の普段の活動やイベント（子供会、祭り等）の準備における協力参加の呼びかけについて「町会等の住民全体に積極的に参加を呼びかけている」と回答した割合は55.7%となっています。

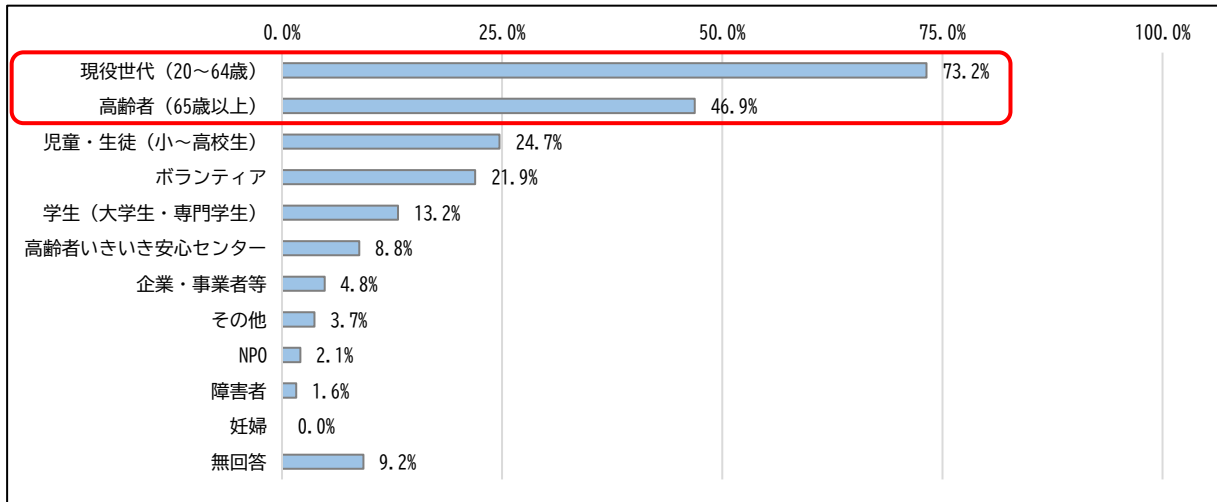
(n=433)



第2章 調査の結果 「4. 町会・自治会アンケート調査」

今後の町会等の活動において、どのような方に特に企画・運営に関わっていただきたいと思えますか。(3つまで番号に○)

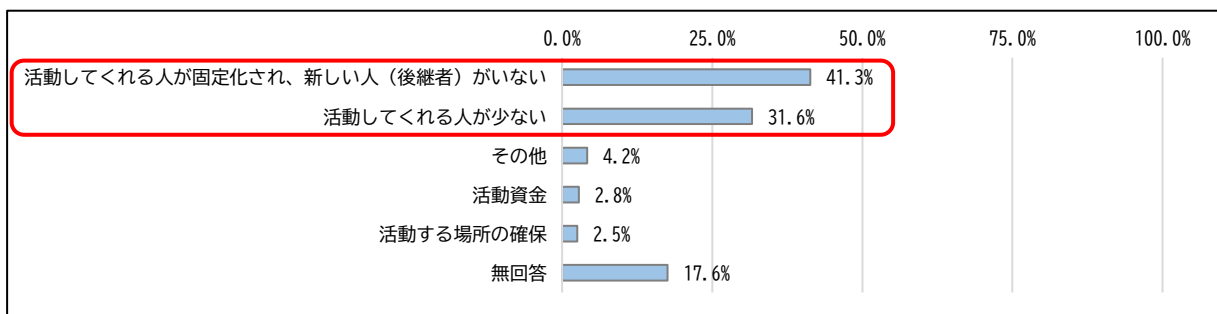
今後の町会等の活動において、特に企画・運営に関わっていただきたい方について、「現役世代(20~64歳)」が73.2%と最も多く、次いで「高齢者」が46.9%となっています。
(n=433)



町会等が活動を行う際に、特にどんなことに苦労していますか。(1つの番号に○)

町会等が活動を行う際に、特に苦労していることについて、「活動してくれる人が固定化され、新しい人(後継者)がいない」が最も多く41.3%となり、次いで「活動してくれる人が少ない」が31.6%と、活動する人の不足について苦労が多くなっています。

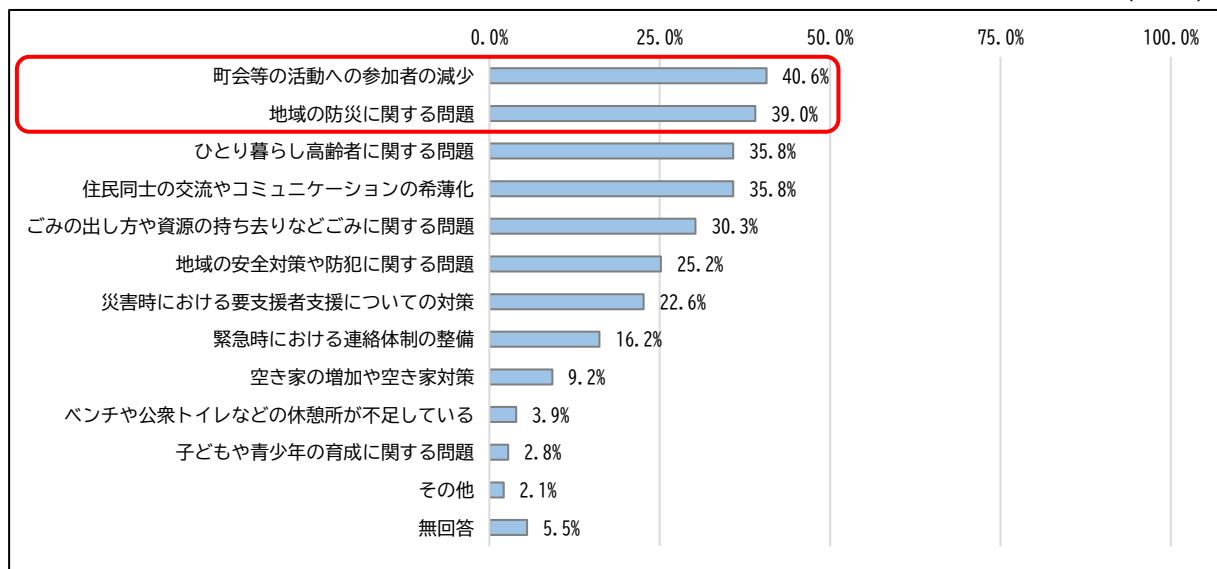
(n=433)



町会等において感じている地域の課題を教えてください。(3つまで番号に○)

町会等において感じている地域の課題について、「町会等の活動への参加者の減少」が最も多く40.6%となり、次いで「地域の防災に関する問題」が39.0%となっています。

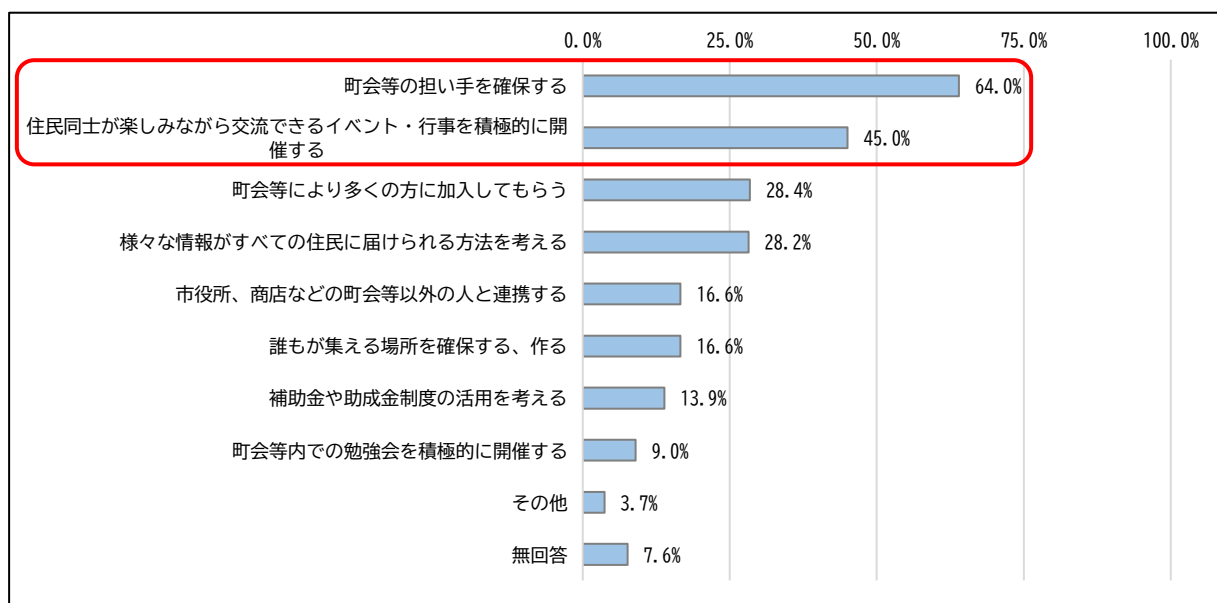
(n=433)



町会等として、地域の課題を解決するために実施すべきと思っていることを教えてください。(3つまで番号に○)

町会等として、地域の課題を解決するために実施すべきことについて、「町会等の担い手を確保する」が最も多く64.0%となり、次いで「住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する」が45.0%となっています。

(n=433)



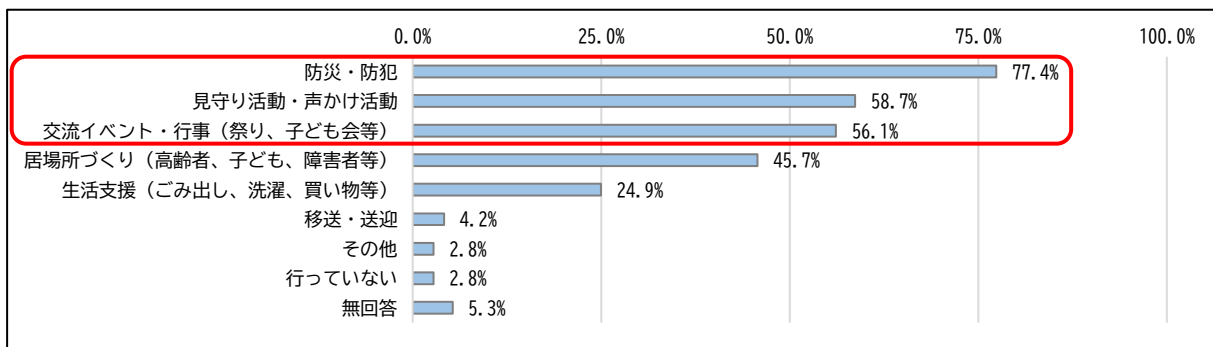
4. その他町会等の活動について

(1) その他町会等の活動

社会や地域が安定・継続的に維持されていくために、町会等は今後どのような事に取り組んでいけば良いと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

社会や地域が安定・継続的に維持されていくために、町会等が今後取り組むべきことについて、「防災・防犯」が最も多く77.4%となり、次いで「見守り活動・声かけ活動」が58.7%、「交流イベント・行事(祭り、子ども会等)」が56.1%となっています。

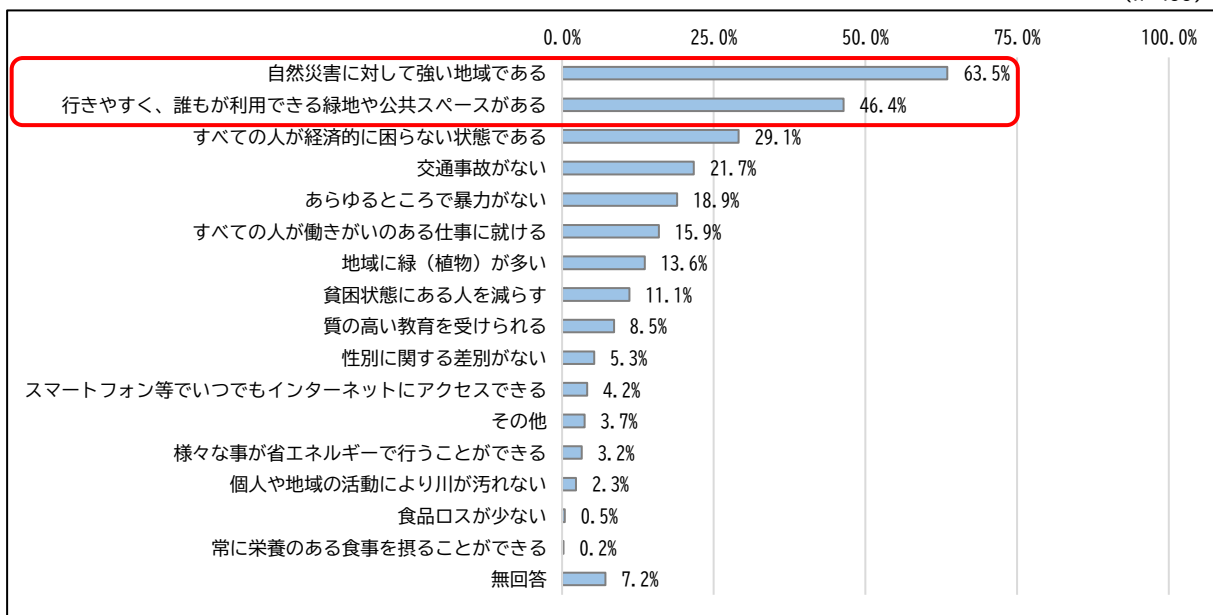
(n=433)



地域住民が住み慣れた地域で、地域から離れることなく住み続けられるようにするには、町会等を中心にどのようにしていくことが重要であると思いますか。(3つまで番号に○)

地域住民が住み慣れた地域で、地域から離れることなく住み続けられるようにするために、町会等を中心にしていくことについて、「自然災害に対して強い地域である」が最も多く63.5%となり、次いで「行きやすく、誰もが利用できる緑地や公共スペースがある」が46.4%となっています。

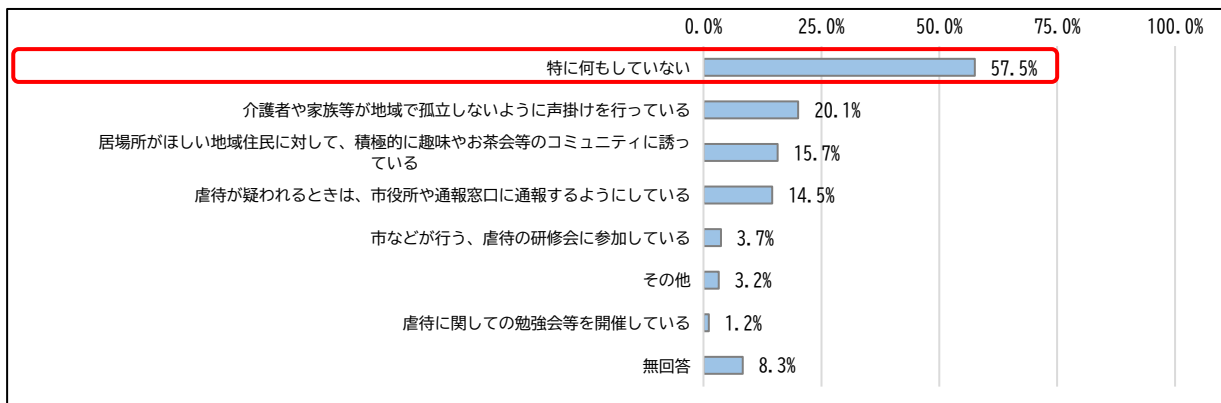
(n=433)



虐待防止について町会等で実施していることはありますか。

虐待防止について町会等で実施していることについて、「特に何もしていない」と回答した割合が最も多く 57.5%となっています。

(n=433)

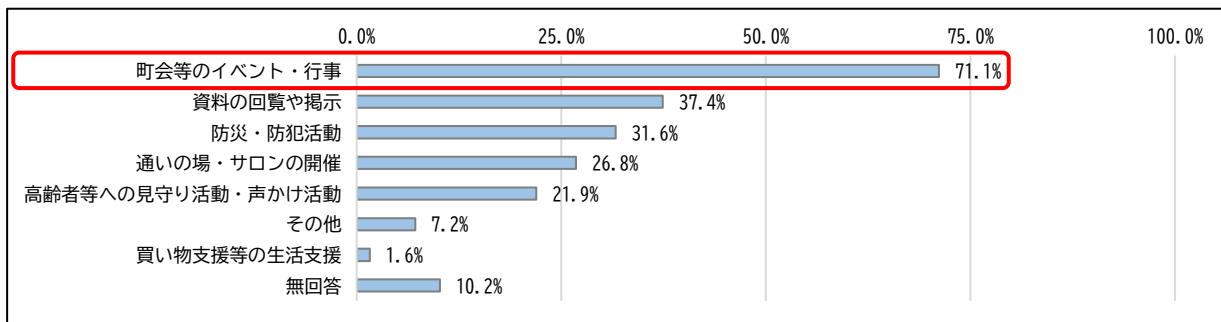


昨今の新型コロナウイルス感染症の状況下においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛がなされましたが、それに伴う町会等の状況を教えてください。

町会等の活動で、どんなことに困ったか、教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言に伴い、町会等の活動として困ったことについて、「町会等のイベント・行事」が最も多く 71.1%となっています。

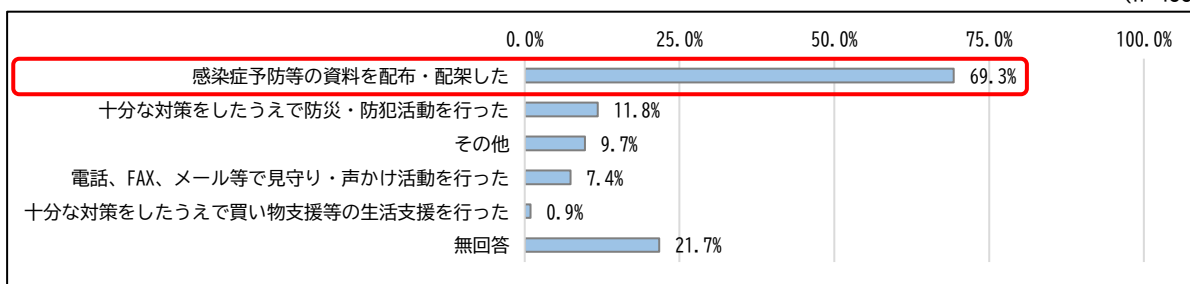
(n=433)



町会等として活動したことを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言に伴い、町会等として活動したことについて、「感染症予防等の資料を配布・配架した」が最も多く 69.3%となっています。

(n=433)



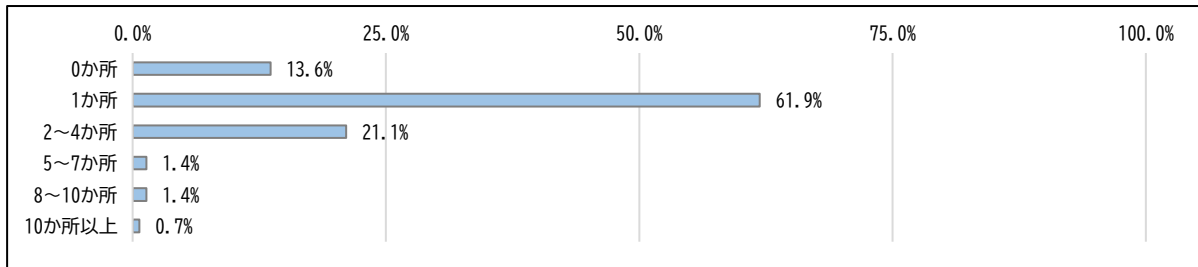
5. 町会等内の「通いの場」について

(1) 町会等内の「通いの場」

町会等が主体で開催している通いの場は何か所ありますか。

町会等が主体で開催している通いの場の箇所数について、「1か所」が最も多く61.9%となり、1か所以上が86.4%となっています。

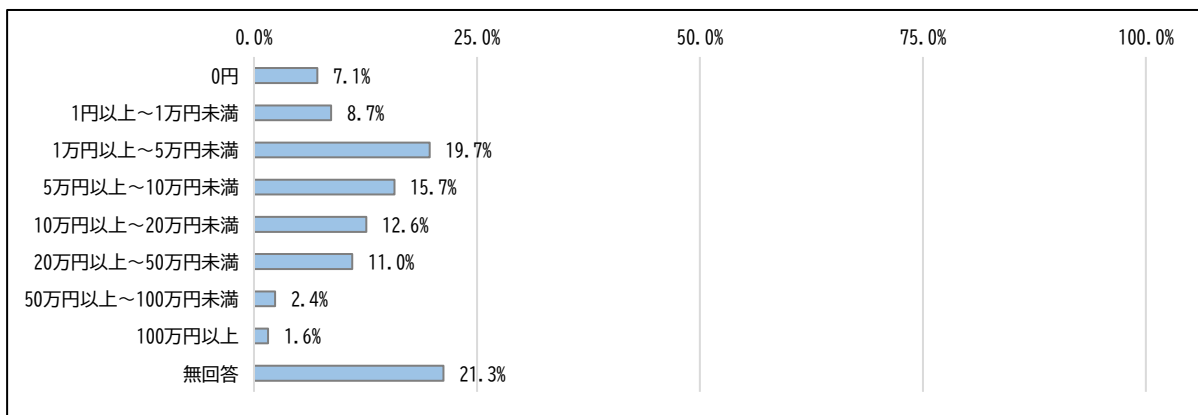
(n=147)



また、運営のために町会等でどのくらい費用を負担していますか。

町会等が通いの場運営のために負担している費用について、「1万円以上～5万円未満」が最も多く19.7%となっています。

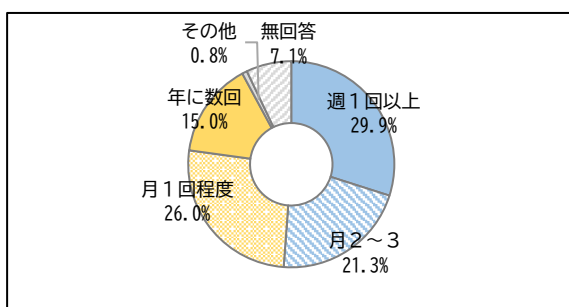
(n=127)



最も多い通いの場の開催頻度を教えてください。(1つの番号に○)

通いの場の開催頻度について、「週1回以上」が最も多く29.9%と約3割となっています。

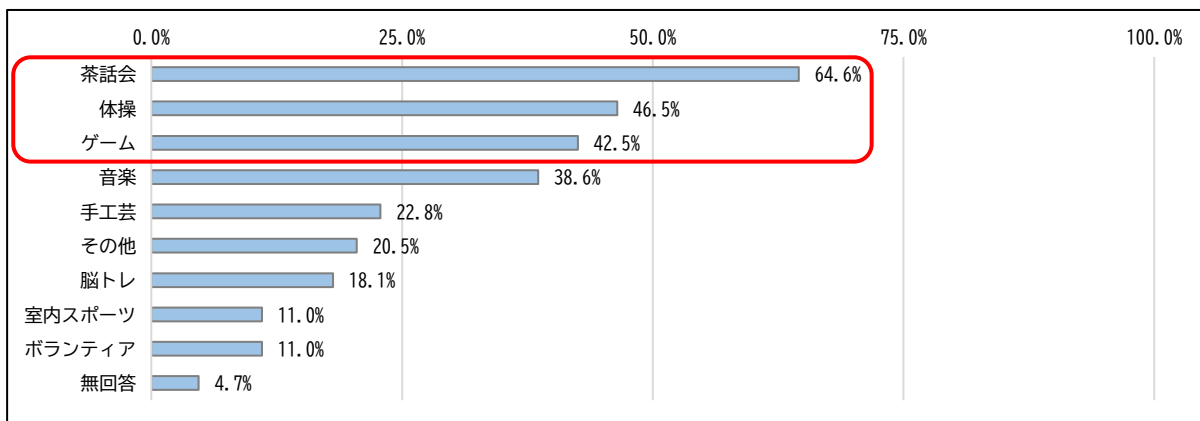
(n=127)



通いの場の活動内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

通いの場の活動内容について、「茶話会」が最も多く64.6%と約2/3となっており、次いで「体操」が46.5%、「ゲーム」が42.5%となっています。

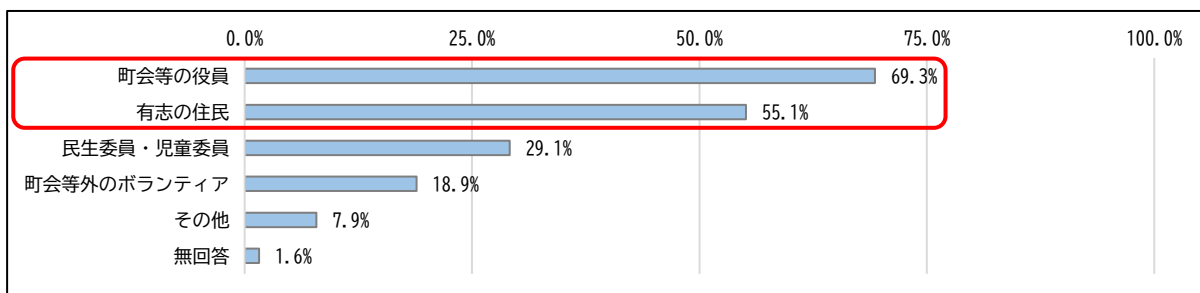
(n=127)



通いの場の活動はどのような方が中心となっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

通いの場の活動を中心的に行っている方について、「町会等の役員」が最も多く69.3%となっており、次いで「有志の住民」が55.1%となっています。

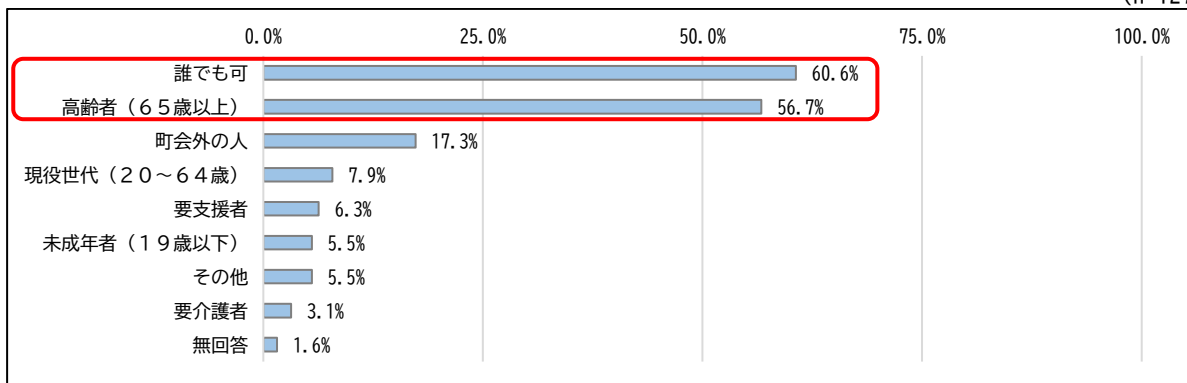
(n=127)



通いの場はどのような方が参加できますか。(あてはまる番号すべてに○)

通いの場の参加可能な人について、「誰でも可」が最も多く60.6%となっており、次いで「高齢者」が56.7%となっています。

(n=127)

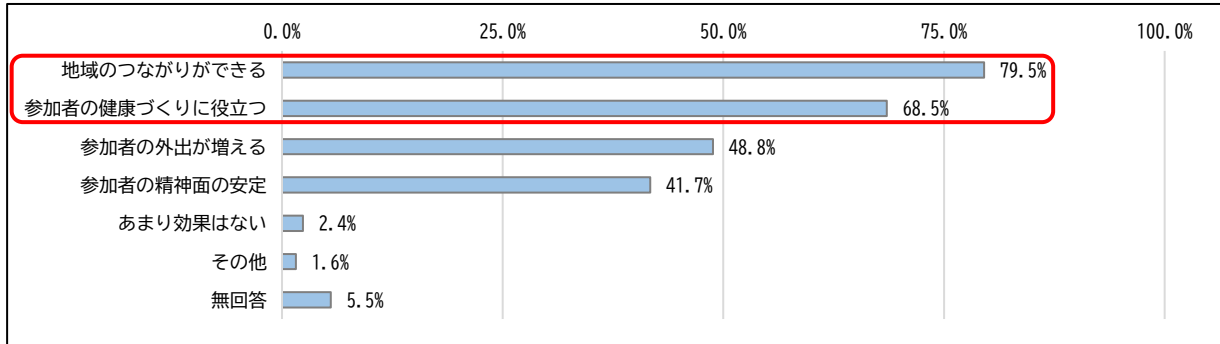


第2章 調査の結果 「4. 町会・自治会アンケート調査」

通いの場が地域にもたらす効果について、どう考えますか。(あてはまる番号すべてに○)

通いの場が地域にもたらす効果について「地域のつながりができる」が最も多く79.5%となっており、次いで「参加者の健康づくりに役立つ」が68.5%となっています。

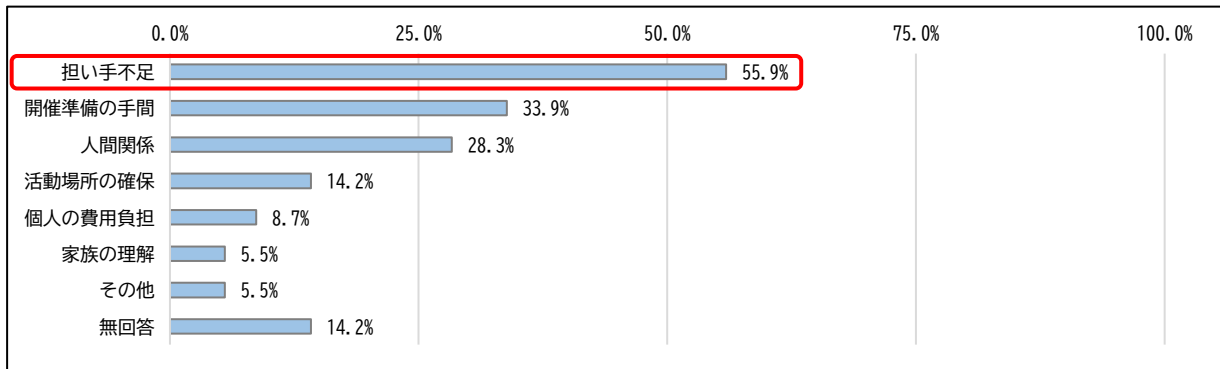
(n=127)



町会が通いの場を開催するとき、どのようなことが問題となりますか。(あてはまる番号すべてに○)

通いの場を開催するとき問題になることについて、「担い手不足」が最も多く55.9%となっています。

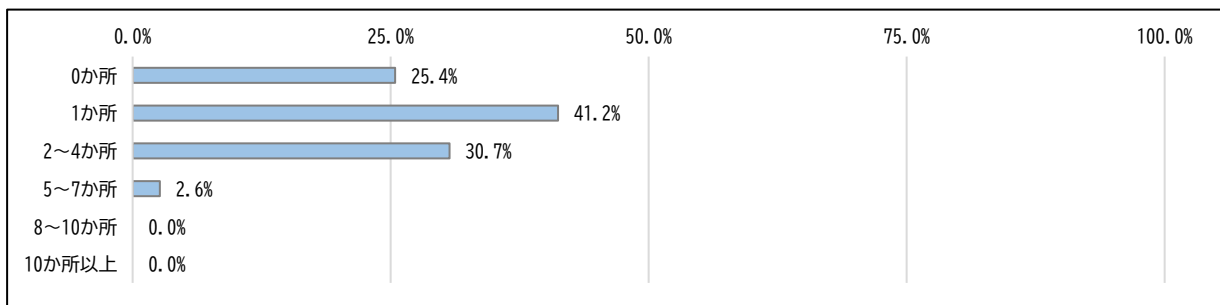
(n=127)



町会等以外が主体になって開催している通いの場は何か所ありますか。

町会等以外が主体になって開催している通いの場の箇所数について、以下の通りとなっています。

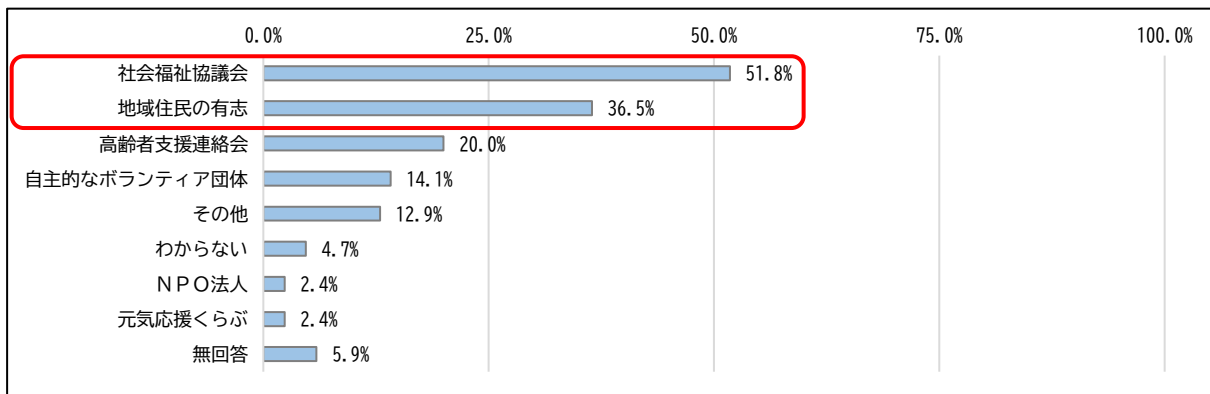
(n=114)



町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営母体はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○)

町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営母体について、「社会福祉協議会」が最も多く 51.8%、次いで「地域住民の有志」が 36.5%となっています。

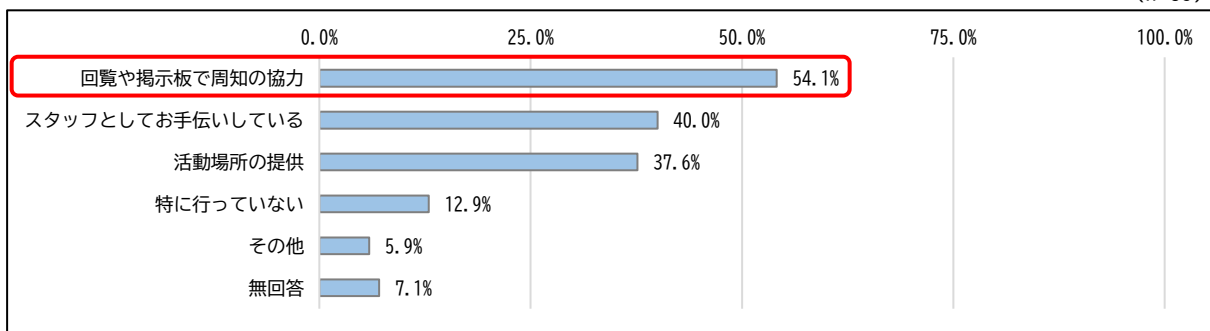
(n=85)



町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営のためにどのような支援をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

町会等以外が主体になって開催している通いの場への支援について、「回覧や掲示板で周知の協力」が最も多く 54.1%となっています。

(n=85)



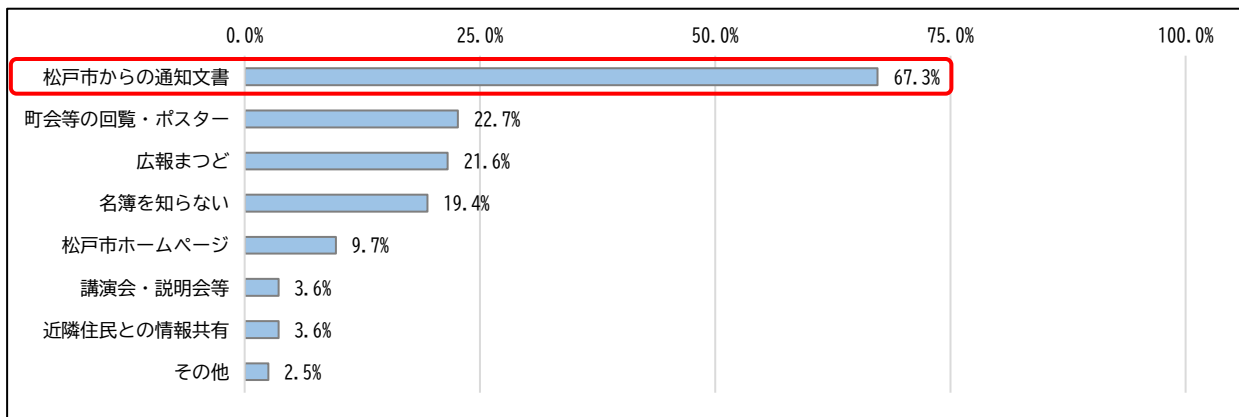
6. 災害避難について

(1) 避難行動

松戸市避難行動要支援者名簿のことを何によって知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

松戸市避難行動要支援者名簿のことを知ったきっかけについて、「松戸市からの通知文書」が最も多く67.3%となっています。

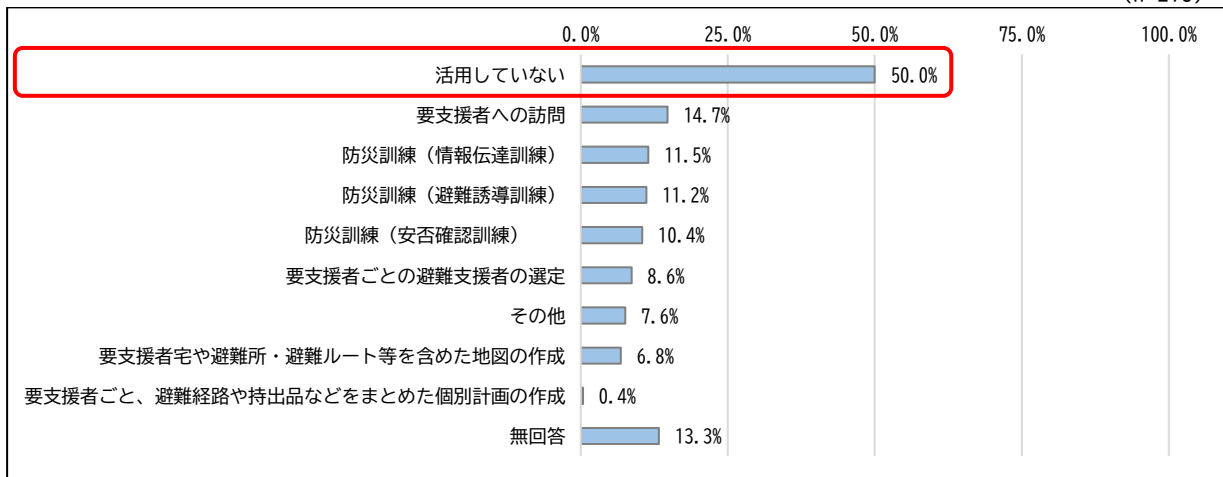
(n=278)



松戸市避難行動要支援者名簿を活用して、実際にどのような活動をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

松戸市避難行動要支援者名簿を活用した活動について、「活用していない」が最も多く50.0%となっています。

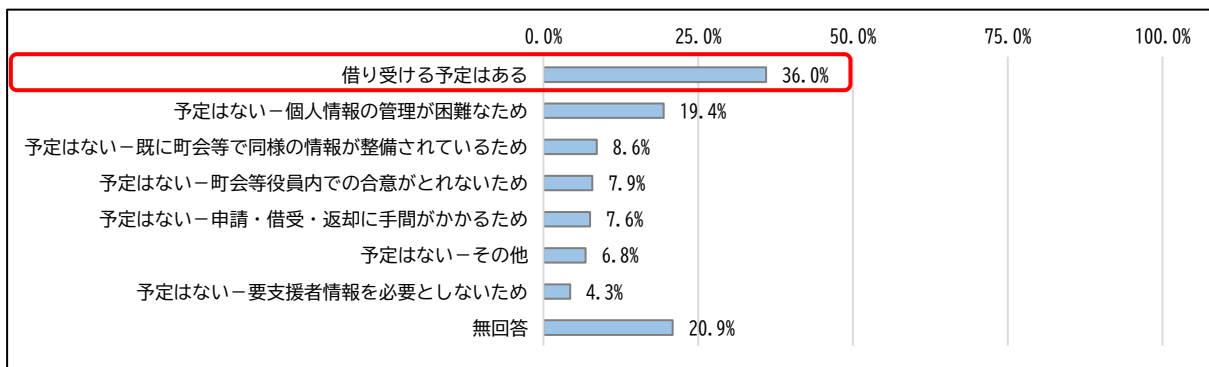
(n=278)



松戸市避難行動要支援者名簿は情報を毎月更新します。今後名簿を借り受ける予定はありますか。

今後名簿を借り受ける予定について、「借り受ける予定はある」が最も多く 36.0%となっています。

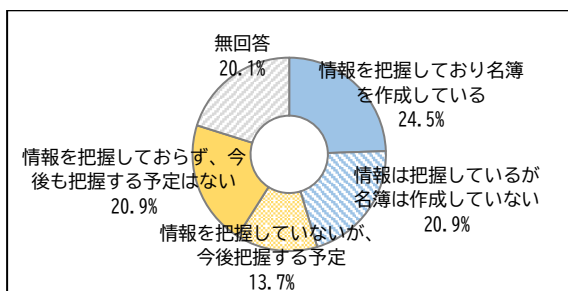
(n=278)



松戸市避難行動要支援者名簿以外での、町会等で独自に把握している要支援者の情報について教えてください。(1つの番号に○)

町会等で独自に把握している要支援者の情報について、「情報を把握しており名簿を作成している」と回答した割合は 24.5%となっています。

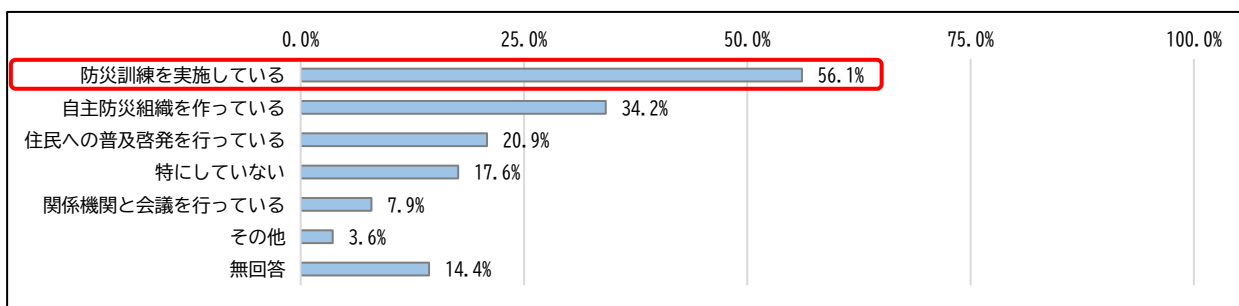
(n=278)



町会等において要支援者名簿を活用する以外に行っている災害対策はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

町会等で行っている災害対策について、「防災訓練を実施している」が最も多く 56.1%となっています。

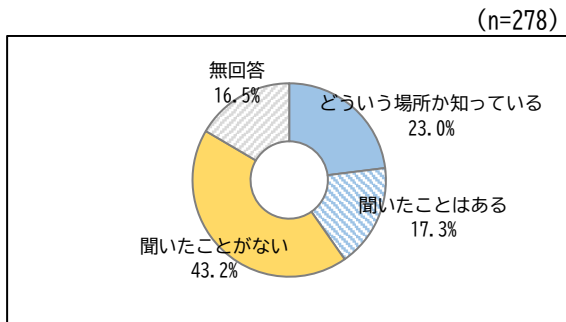
(n=278)



第2章 調査の結果 「4. 町会・自治会アンケート調査」

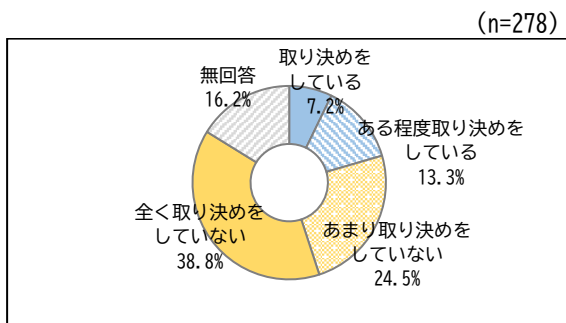
福祉避難所について知っていますか。(1つの番号に○)

福祉避難所について、「どういう場所か知っている」と回答した割合は23.0%となっています。



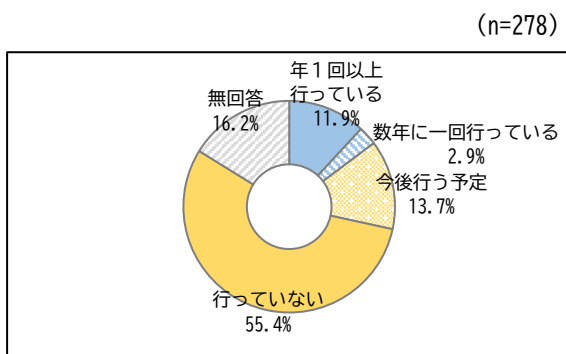
町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応について、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。(1つの番号に○)

町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の支援の取り決めについて、「取り決めをしている」と回答した割合は7.2%となっており、「ある程度取り決めをしている」を含めて20.5%にとどまっています。



町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応のため、訓練を行っていますか。(1つの番号に○)

町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合のための訓練について、「年1回以上行っている」と回答した割合は11.9%にとどまっています。



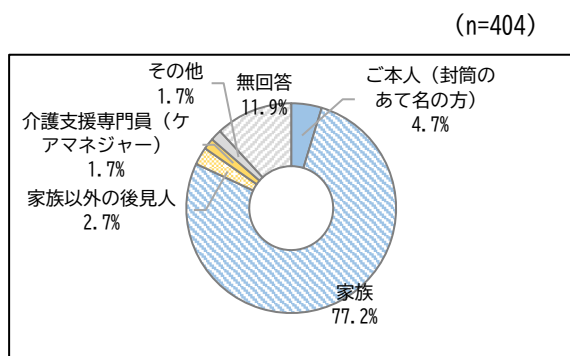
5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査

1. 回答者属性について

(1) 回答者

この調査票を記入されるのはどなたですか。(1つの番号に○)

回答者について、「家族」が最も多く 77.2%となっており、「ご本人」は 4.7%となっています。

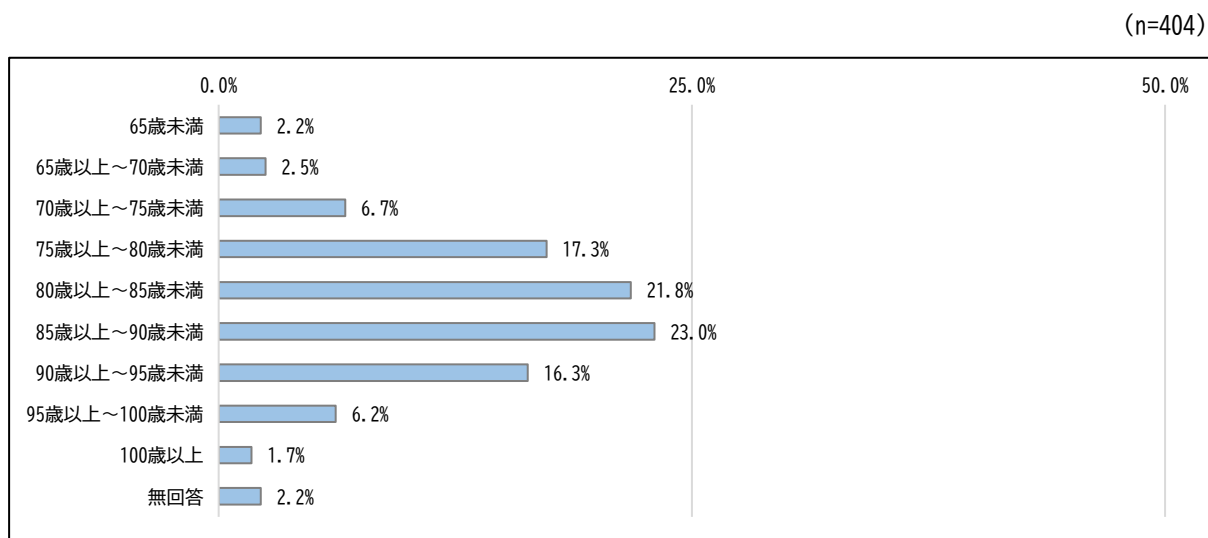


2. ご本人(入所予定者)や家族の状況について

(1) 入所予定者ご本人の状態

令和2年4月1日現在のご本人(入所予定者)の年齢を記入してください。

入所予定者の年齢について、「85歳以上～90歳未満」が最も多く 23.0%、次いで「80歳以上～85歳未満」が 21.8%となっています。

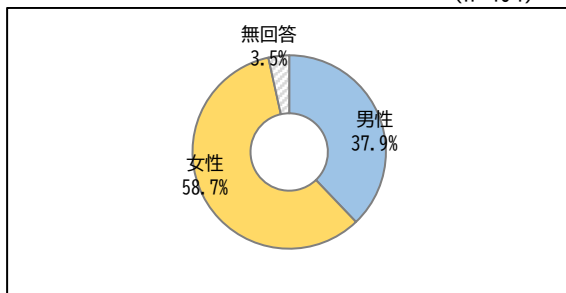


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

ご本人（入所予定者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

入所予定者の性別について、「男性」が37.9%、「女性」が58.7%となっています。

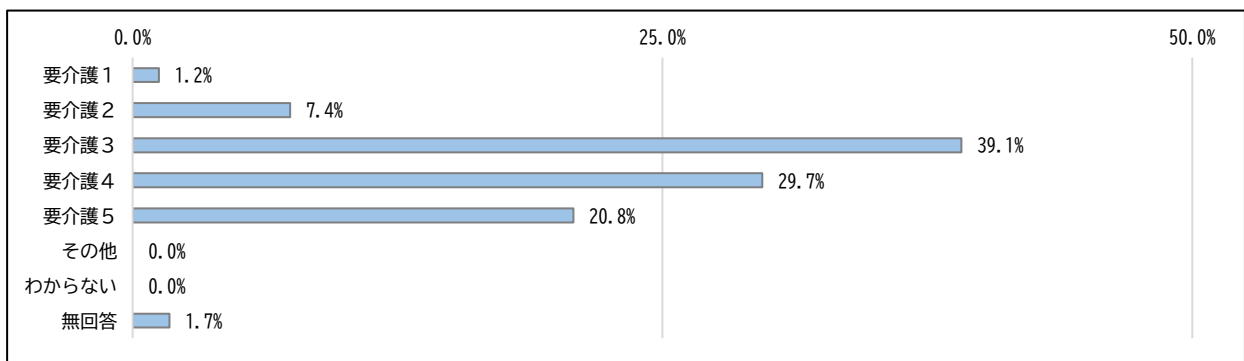
(n=404)



ご本人（入所予定者）の現在の要介護等状態区分は、次のうちどれですか。（1つの番号に○）

入所予定者の現在の要介護等状態区分について「要介護3」が最も多く39.1%、次いで「要介護4」が29.7%となっています。

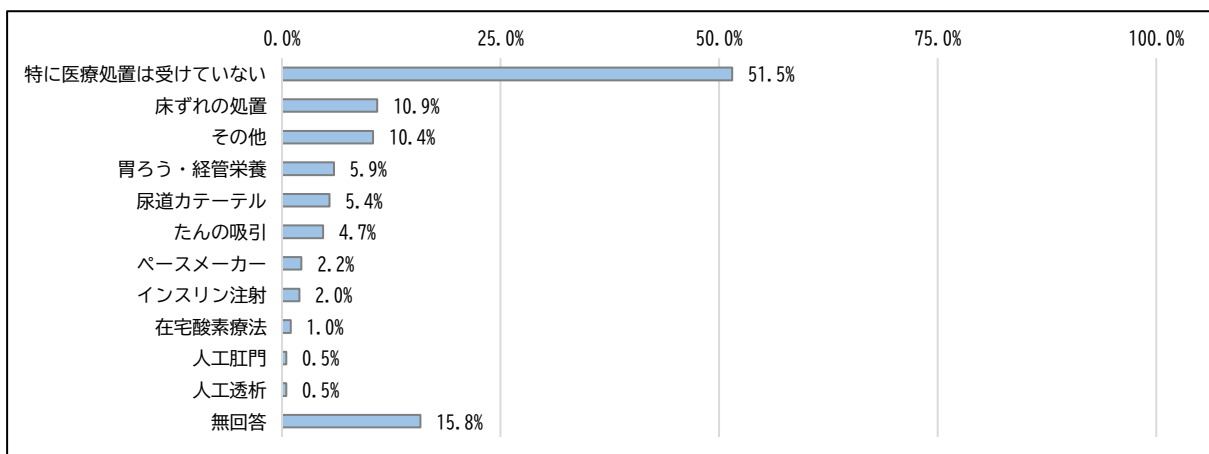
(n=404)



ご本人（入所予定者）は次のような医療処置を日常的に必要なとしてしていますか。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者の日常的に必要な医療処置について、「特に医療処置は受けていない」が最も多く51.5%となっています。

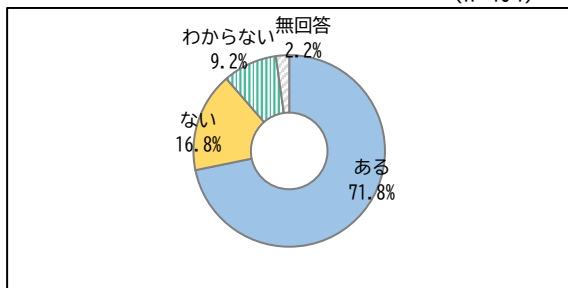
(n=404)



ご本人（入所予定者）は、認知症と思われる症状がありますか。（1つの番号に○）

入所予定者における認知症と思われる症状の有無について、「ある」と回答した割合が71.8%となり、7割以上の方に認知症と思われる症状があることとなっています。

(n=404)

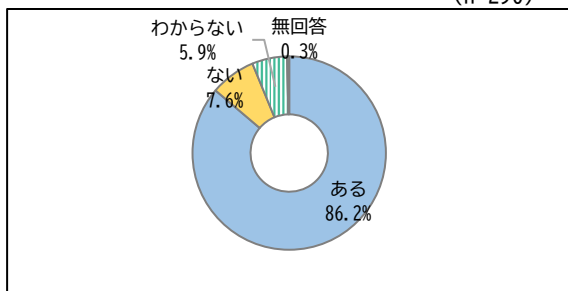


認知症と思われる症状があると回答した方のみ、お答えください。

医師から認知症と診断されたことがありますか。（1つの番号に○）

認知症と思われる症状について、医師から認知症と診断されたことが「ある」と回答した割合は86.2%となっており、ほとんどの方が医師から診断されたこととなっています。

(n=290)

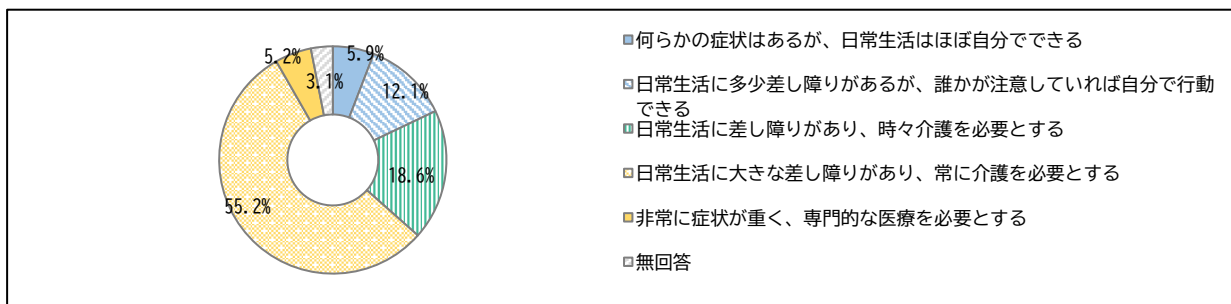


認知症と思われる症状があると回答した方のみ、お答えください。

認知症状はどの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。（1つの番号に○）

認知症と思われる症状の程度について、「日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする」が最も多く55.2%となっています。

(n=290)

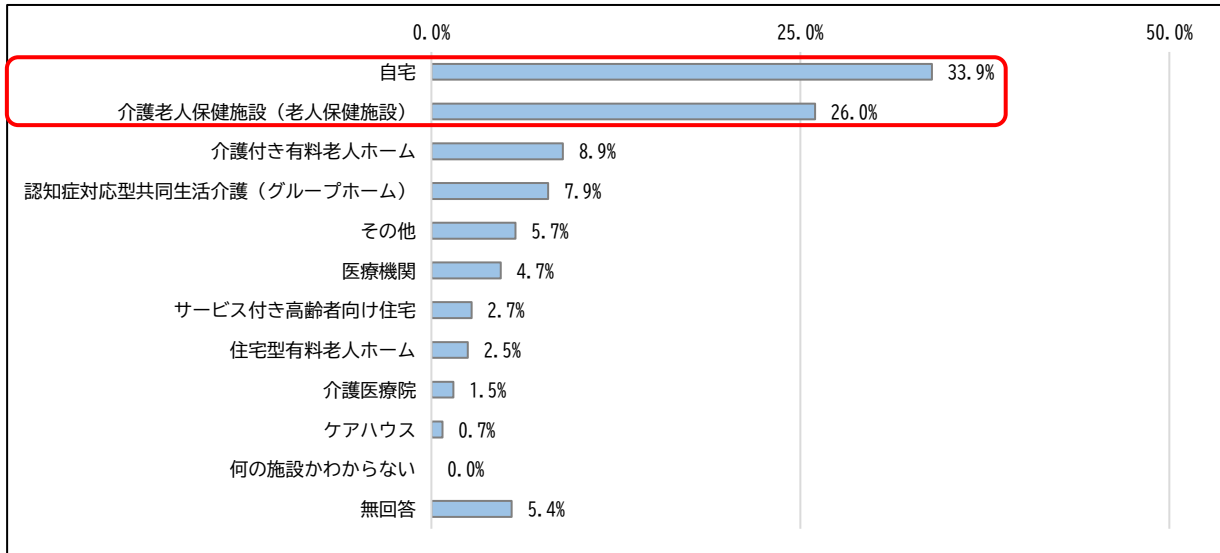


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

ご本人（入所予定者）は、現在どこで生活していますか。（1つの番号に○）

入所予定者の生活場所について、「自宅」が最も多く33.9%となっており、次いで「介護老人保健施設」が26.0%となっています。

(n=404)

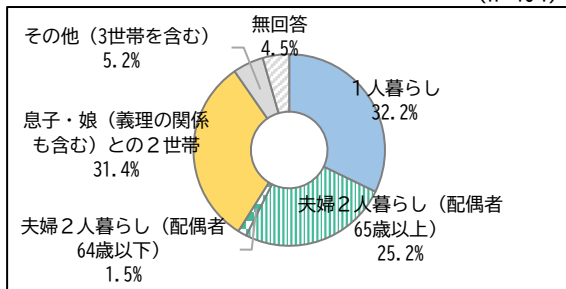


その他・・・ショートステイ、特別養護老人ホーム

家族構成をお教えてください。（1つの番号に○）

入所予定者の家族構成について、「1人暮らし」が最も多く32.3%となっており、次いで「息子・娘との2世帯」が31.4%となっています。

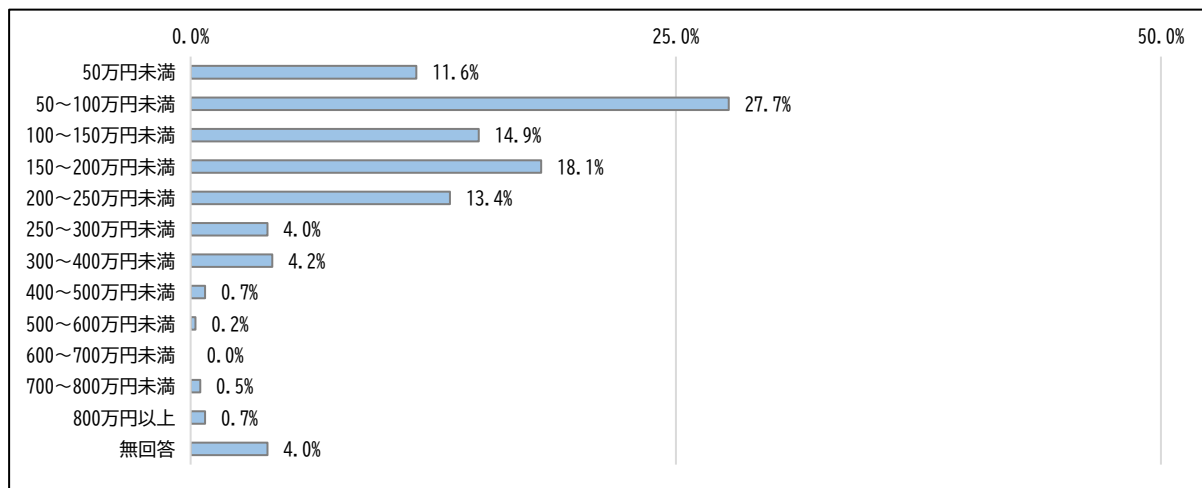
(n=404)



ご本人（入所予定者）の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和元年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

入所予定者の合計収入額については次の通りとなっています。

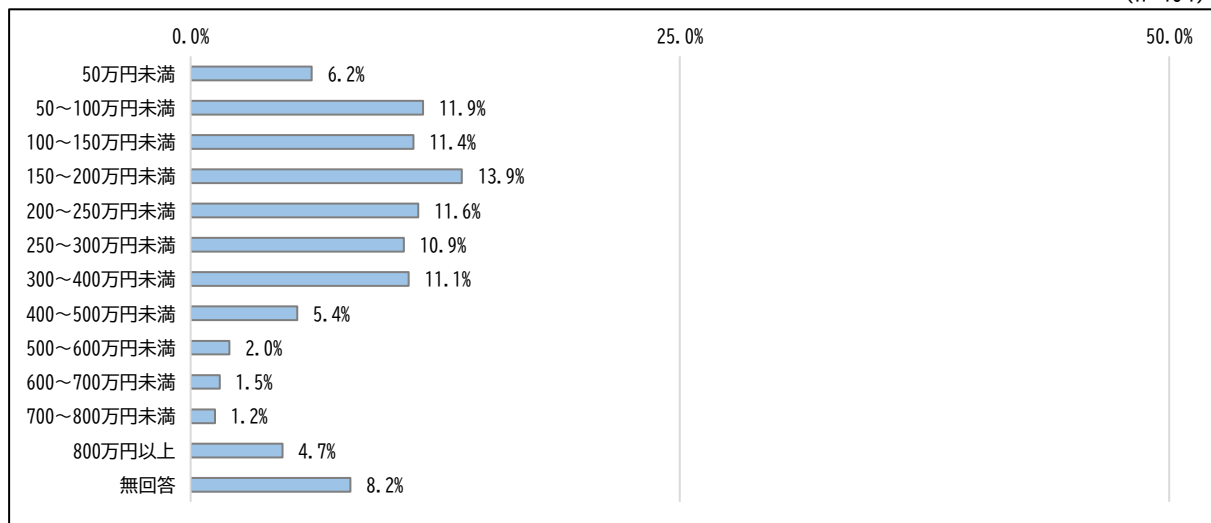
(n=404)



入所予定者の世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和元年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

入所予定者の世帯全体の合計収入額については次の通りとなっています。

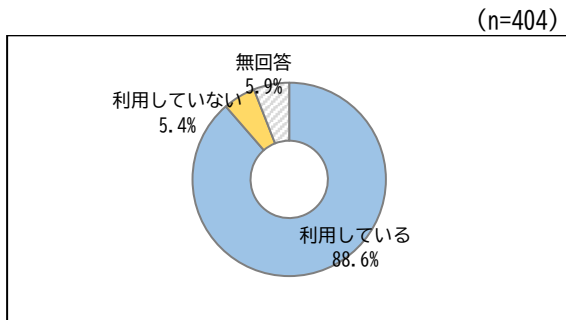
(n=404)



(2) 入所予定者ご本人への介護

ご本人（入所予定者）は、現在介護保険サービスを利用していますか。（どちらかの番号に○）

入所予定者の介護保険サービス利用有無について、「利用している」と回答した割合は88.6%となっています。

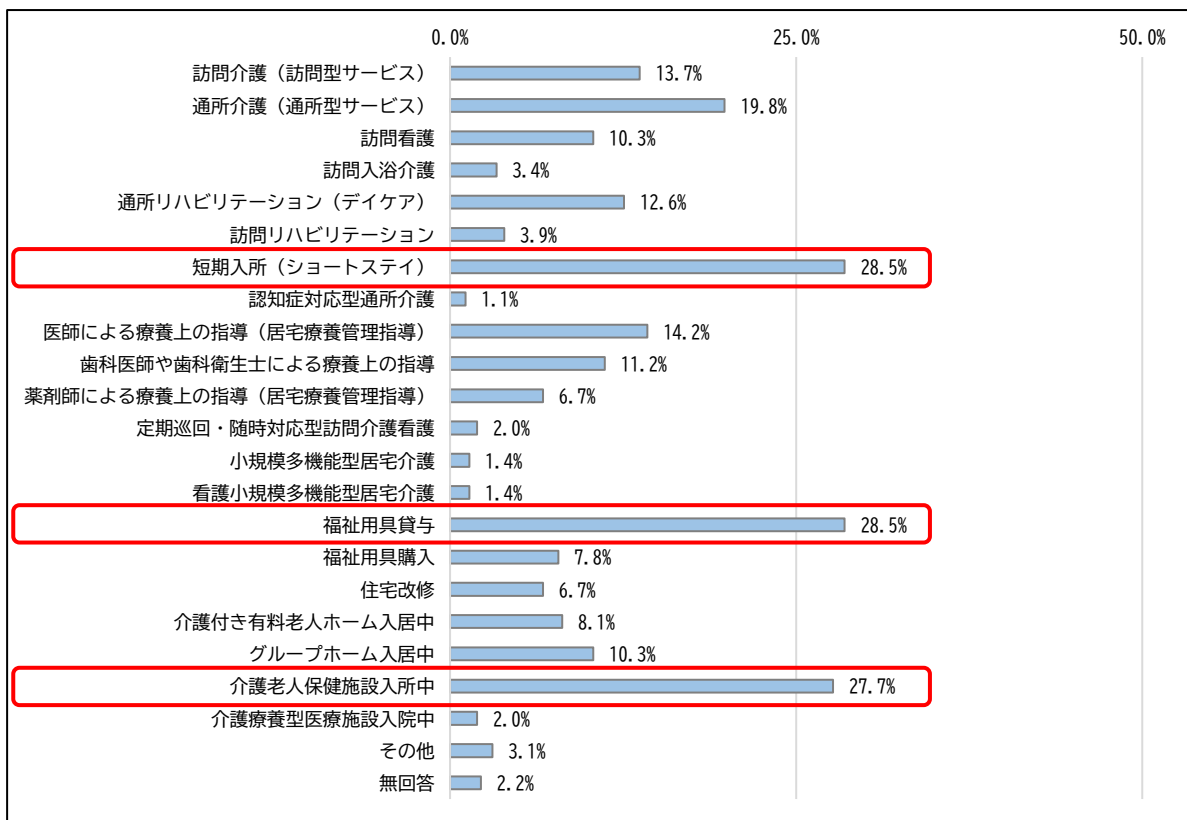


介護保険サービスを利用していると回答した方のみ、お答えください。

現在、ご本人（入所予定者）はどのような介護保険サービスを使用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者が利用している介護保険サービスについて、「短期入所」「福祉用具貸与」が最も多く28.5%となっており、次いで「介護老人保健施設」が27.7%となっています。

(n=358)

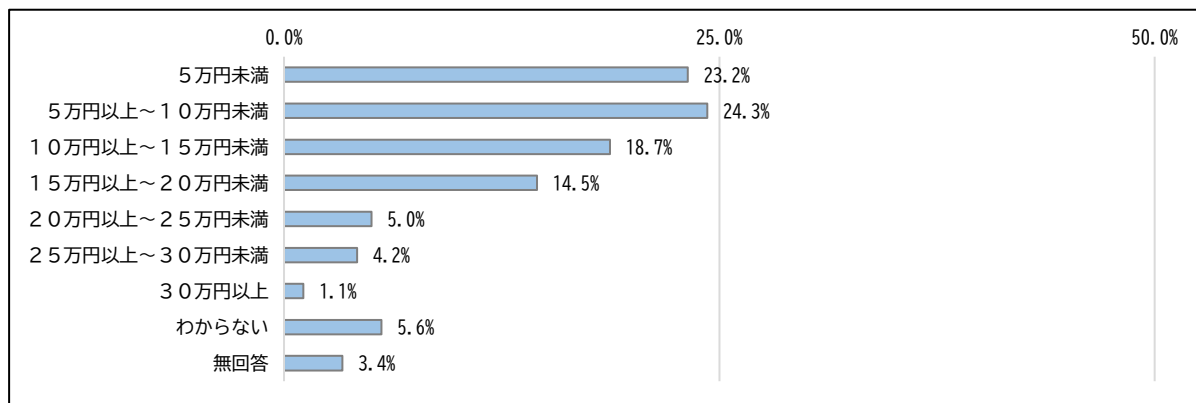


介護保険サービスを利用していると回答した方のみ、お答えください。

介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する1か月あたりの利用者負担額の総額はどの程度ですか。（1つの番号に○）

介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する1か月あたりの利用者負担額について、「5万円以上～10万円未満」が最も多く24.3%となっています。

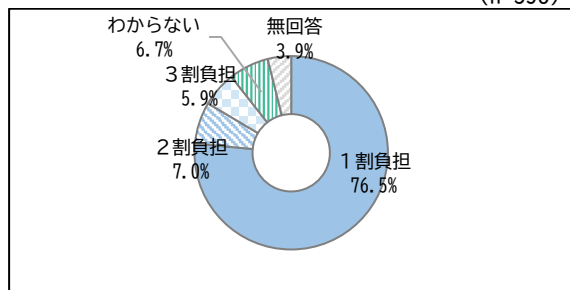
(n=358)



現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。（1つの番号に○）

介護保険利用負担割合について、「1割負担」が最も多く76.5%と約3/4が「1割負担」となっています。

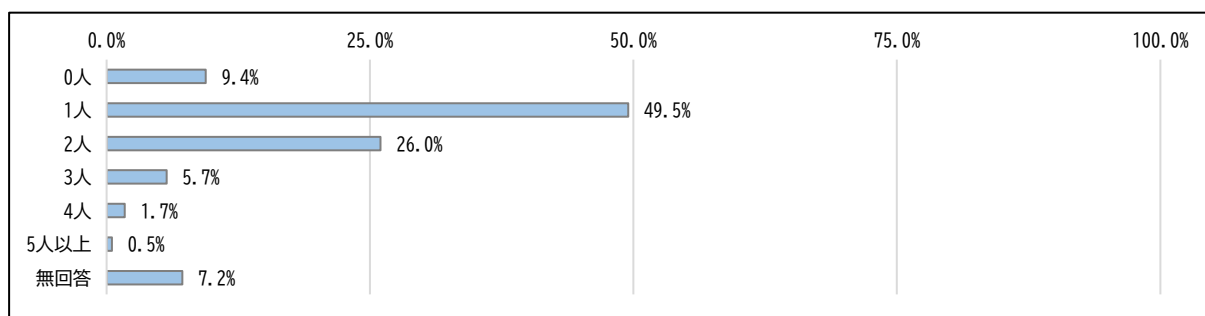
(n=358)



ご本人（入所予定者）の介護にかかわっている家族・親族は何人いますか。（数字を記入）

入所予定者の介護にかかわっている家族・親族の人数について、「1人」が最も多く49.5%となっています。

(n=404)

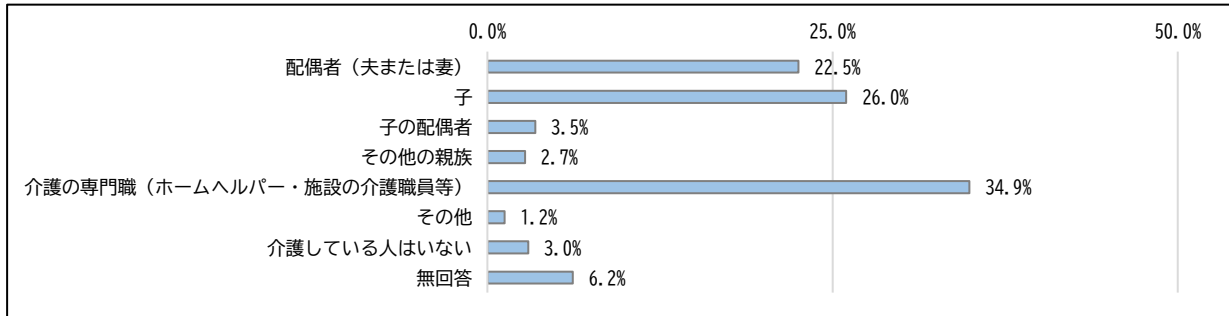


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っているのはどなたですか。（1つの番号に○）

入所予定者の介護を主に行っている方について、「介護の専門職」が最も多く34.9%となり、次いで「子」が26.0%、配偶者が22.5%となっています。

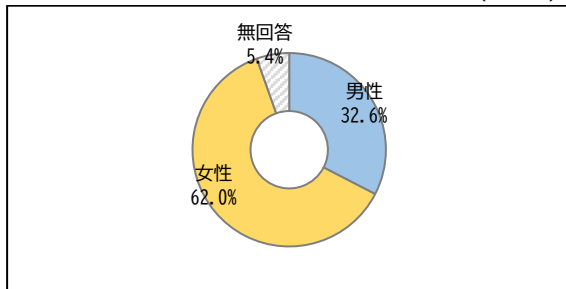
(n=404)



入所予定者の介護を主に行っている方が家族・親族と回答した方のみ、お答えください。
ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別をお答えください。

入所予定者を主に家族・親族が介護している場合の介護している方の性別について、「男性」が32.6%、「女性」が62.0%となっています。

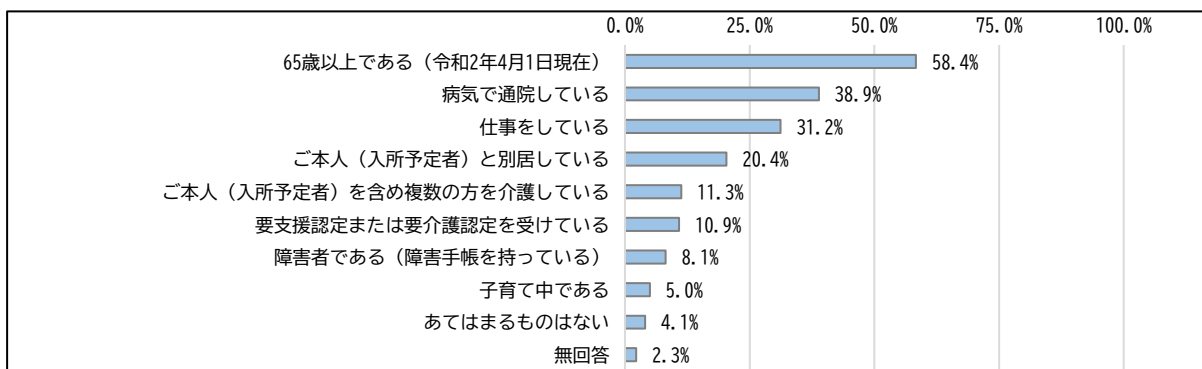
(n=221)



入所予定者の介護を主に行っている方が家族・親族と回答した方のみ、お答えください。
ご本人（入所予定者）を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者を主に介護している方について、「65歳以上である」が58.4%、「病気で通院している」が38.9%となっています。

(n=221)



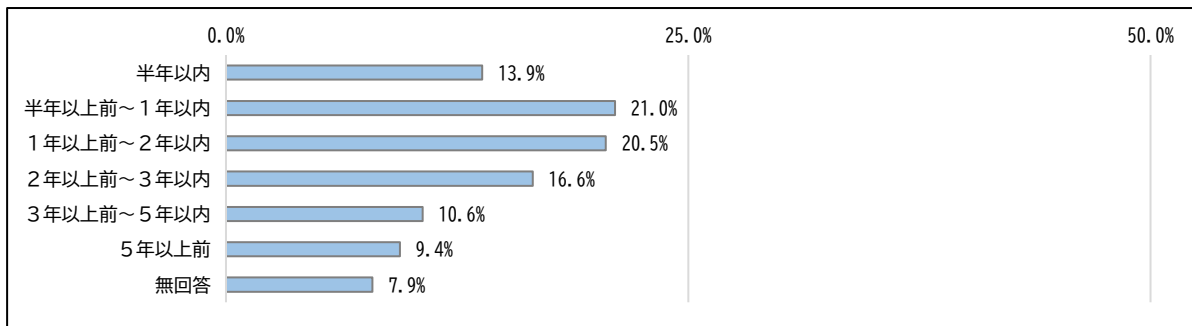
3. 特別養護老人ホームの入所申込み等について

(1) 入所申込みの状況

特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだのはいつですか。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだ時期について、「半年以上前～1年以内」が最も多く21.0%、次いで「1年以上前～2年以内」が20.5%となっています。

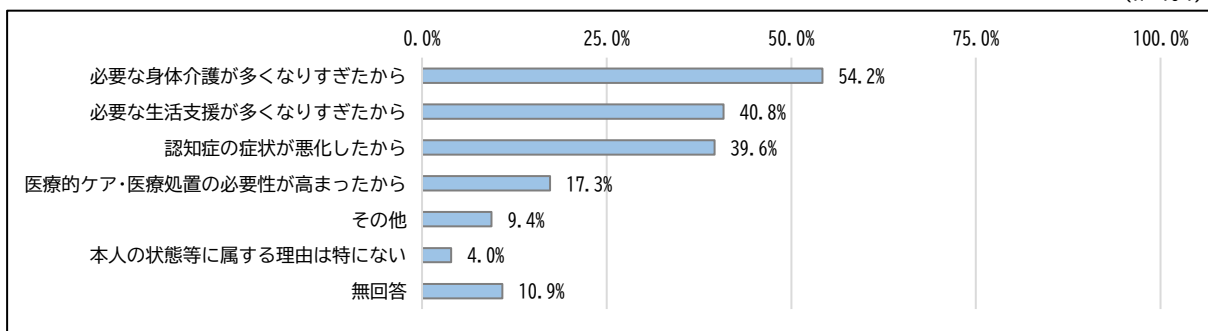
(n=404)



特別養護老人ホームに申込んだ主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

本人の状態等を踏まえた入所申込み理由について、「必要な身体介護が多くなりすぎたから」が最も多く54.2%となっています。

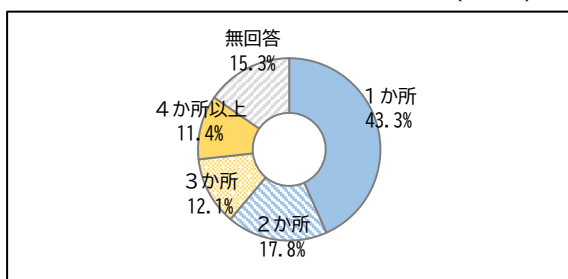
(n=404)



現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームについて入所申込み箇所数について、「1箇所」が最も多く43.3%となっています。

(n=404)

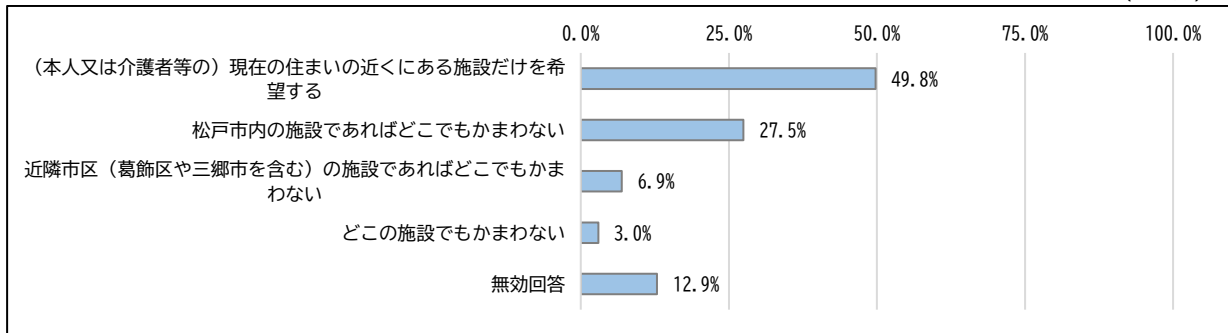


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。(1つの番号に○)

入所を希望する特別養護老人ホームの地域について、「(本人又は介護者等の)現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が最も多く49.8%と約半数となっています。

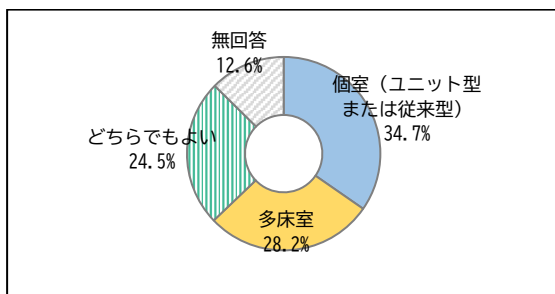
(n=404)



特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。(1つの番号に○)

入所した場合の希望する部屋について、「個室」が34.7%、「多床室」が28.2%、また「どちらでもよい」が24.5%となっています。

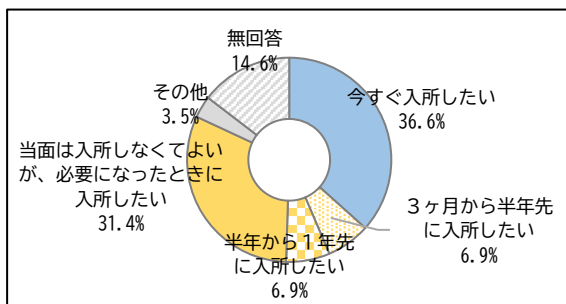
(n=404)



特別養護老人ホームへ入所したい時期はいつですか。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームへ入所したい時期について、「今すぐ入所したい」が36.6%となる一方、「当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい」が31.4%となっています。

(n=404)

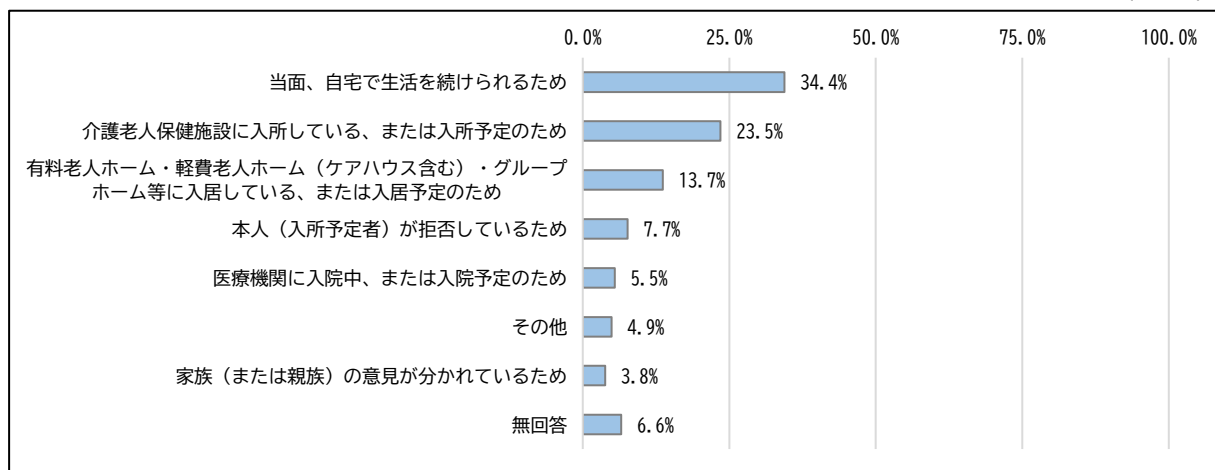


特別養護老人ホームへの入所について3カ月以上先、当面は入所しなくてよいと回答した方のみ、お答えください。

理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

3カ月以上先、当面は入所しなくてよいと回答したその理由について、「当面、自宅で生活が続けられるため」が最も多く34.4%となっています。

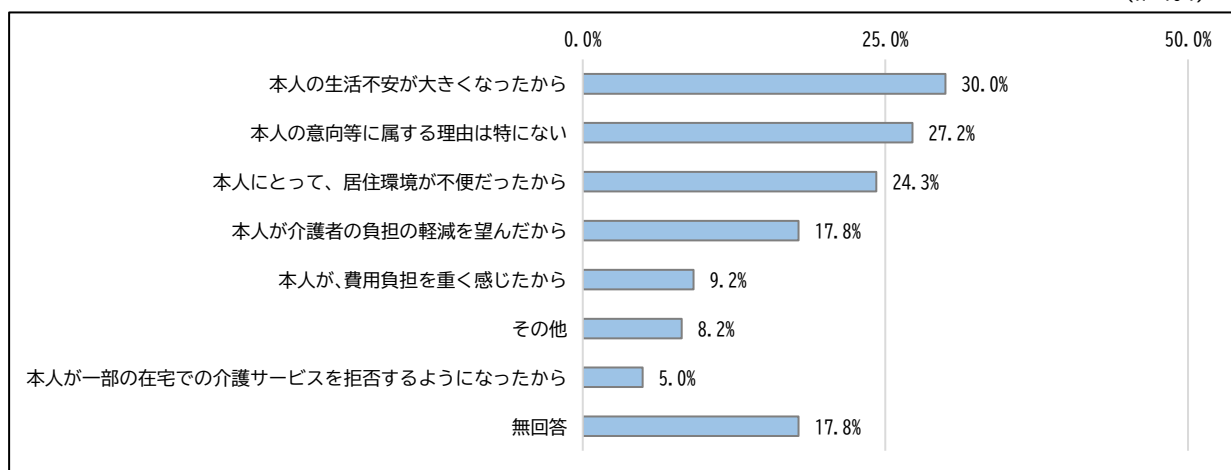
(n=183)



施設での生活を選んだ主な理由のうち、本人の意向等に属する理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

施設での生活を選んだ本人の意向等の主な理由について、「本人の生活不安が大きくなったから」が最も多く30.0%となる一方、「本人の意向等に属する理由は特にない」について27.2%となっています。

(n=404)

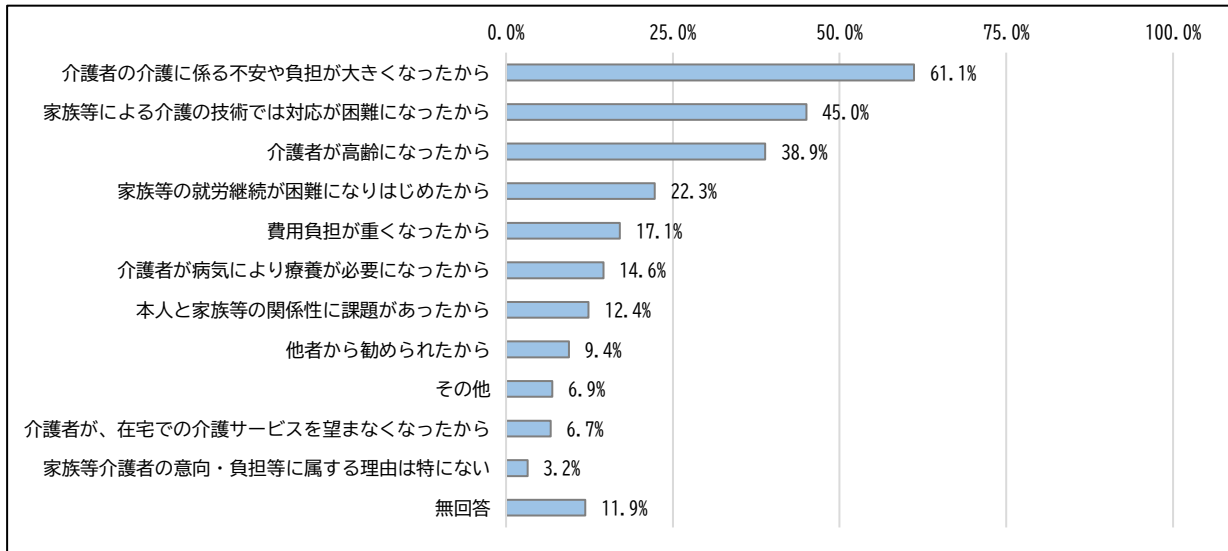


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

施設での生活を選んだ主な理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

施設での生活を選んだ主に家族等介護者の意向・負担等の主な理由について、「介護者の介護に係る不安や負担が大きくなったから」が最も多く61.1%となり、次いで「家族等による介護の技術では対応が困難になったから」が45.0%となっています。

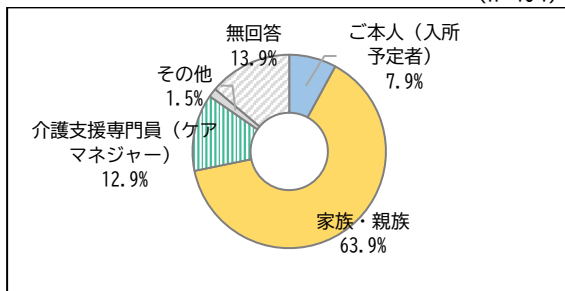
(n=404)



特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意見で決めた」あるいは「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方について、「家族・親族」が最も多く63.9%と約2/3となっており、「ご本人」については7.9%となっています。

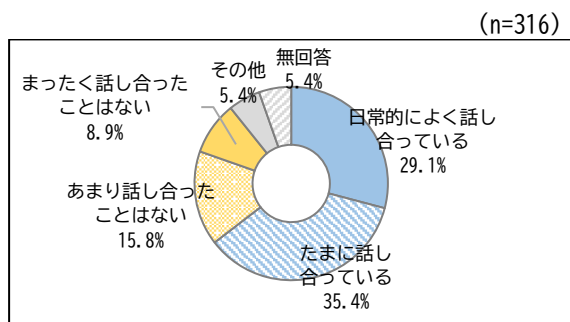
(n=404)



特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方がご本人以外と回答した方のみ、お答えください。

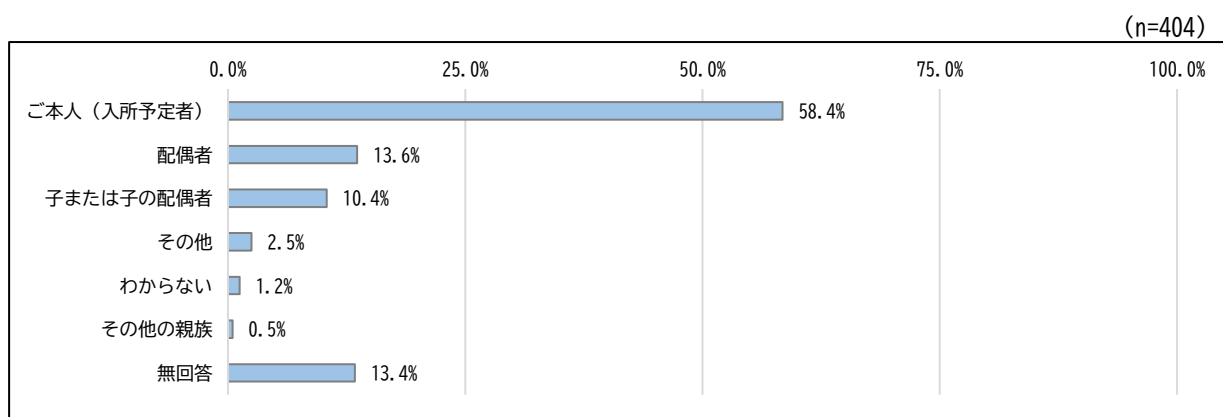
ご本人（入所予定者）の特別養護老人ホームへの入所について、家族（または親族）で話し合っていますか。（1つの番号に○）

ご本人以外が特別養護老人ホームの入所申込みを決めた際、家族（または親族）での話し合いについて、「たまに話し合っている」と回答した割合が最も多く 35.4%となっており、次いで「日常的によく話し合っている」が 29.1%となっています。



特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどなたですか。（1つの番号に○）

特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方として、「ご本人（入所予定者）」が最も多く 58.4%となっています。

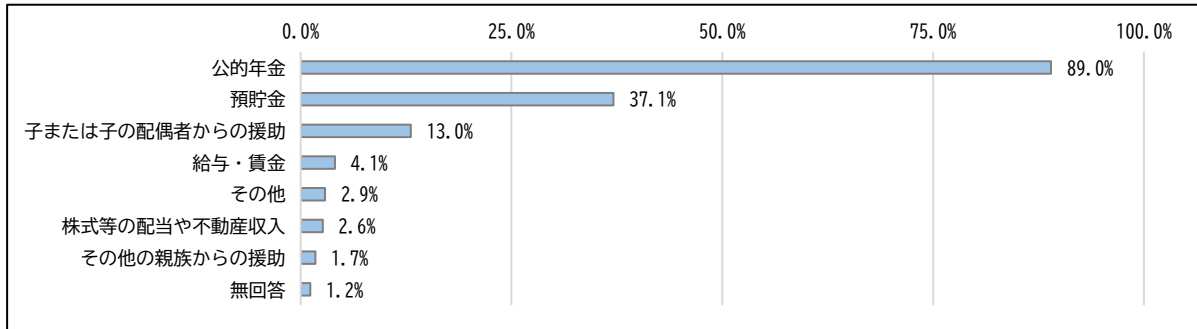


第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方がご本人ご家族等と回答した方のみ、お答えください。

入所費用にあてる主な収入（資金）は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

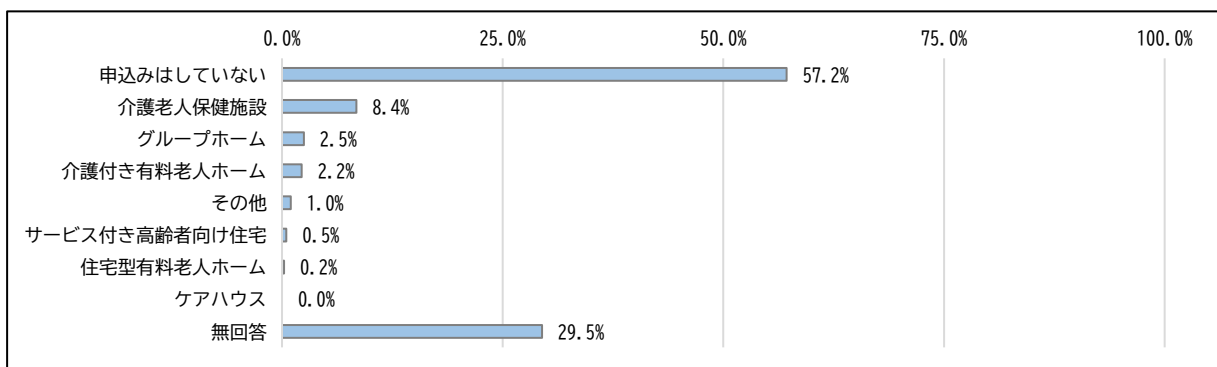
特別養護老人ホームの入所に関して費用を負担される予定の方がご本人ご家族等の場合、入所費用にあてる主な収入（資金）について「公的年金」が最も多く 89.0%となっています。
(n=345)



特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設をお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設について、「申込みはしていない」が最も多く 57.2%となっています。

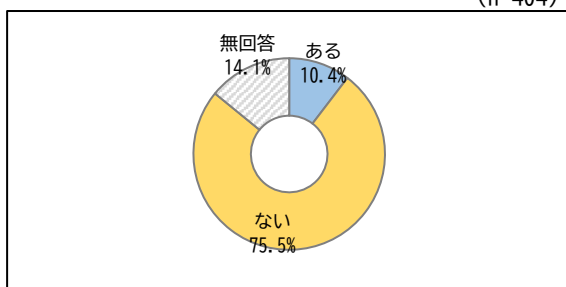
(n=404)



特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際に辞退したことがありますか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際、「辞退したことがある」と回答した割合は 10.4%となっています。

(n=404)

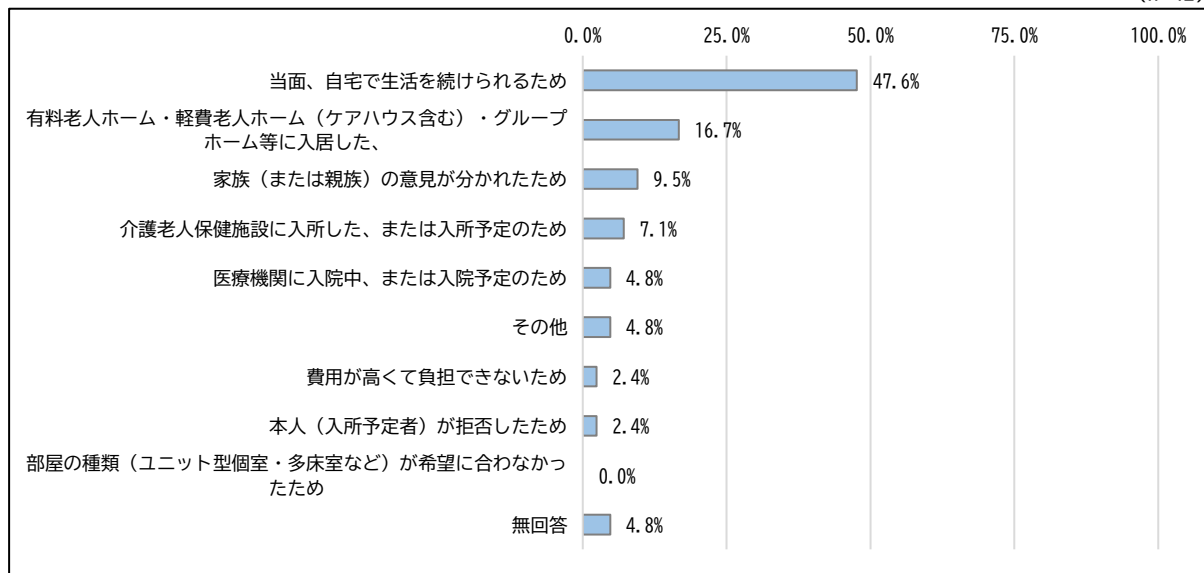


特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際、辞退したことがあると回答した方のみ、お答えください。

辞退した理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームの入所を辞退した理由について、「当面、自宅で生活を続けられるため」が最も多く47.6%となっています。

(n=42)

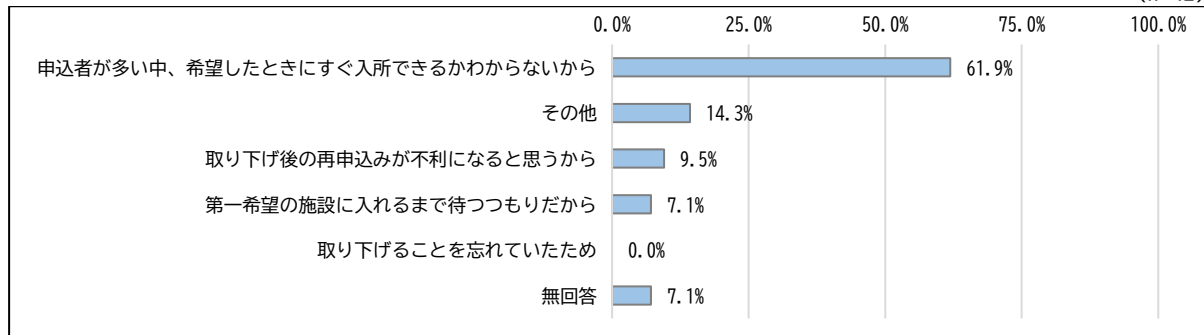


特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際、辞退したことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げていない理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げていない理由について、「申込者が多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから」が最も多く61.9%となっています。

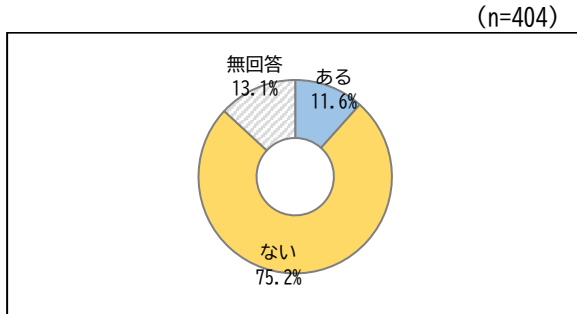
(n=42)



第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。（どちらかの番号に○）

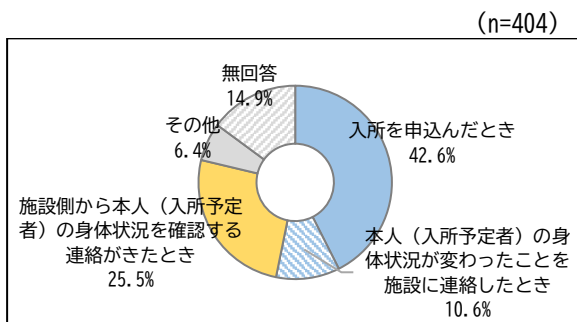
特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことが「ある」と回答した割合は11.6%となっています。



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を断られた時期はいつですか。（どちらかの番号に○）

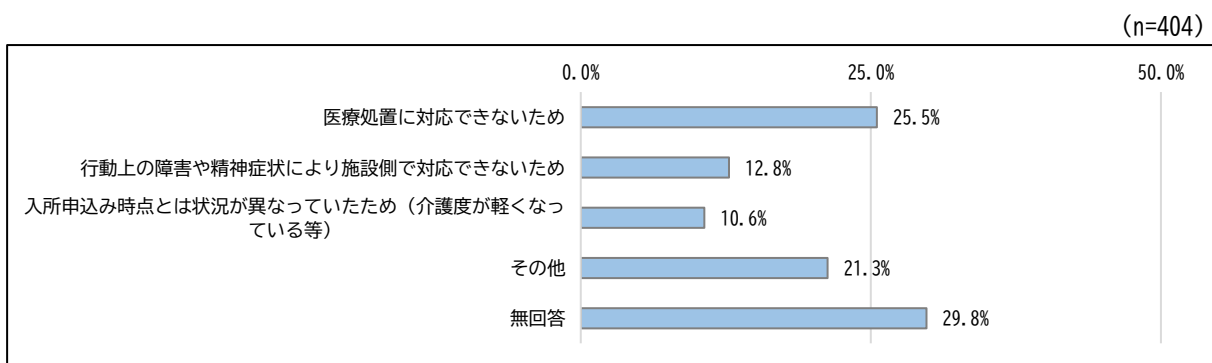
特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られた時期について、「入所を申込んだとき」が最も多く42.6%となっています。



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を断られた理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（1つの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られた理由について、「医療処置に対応できないため」が最も多く25.5%となっています。

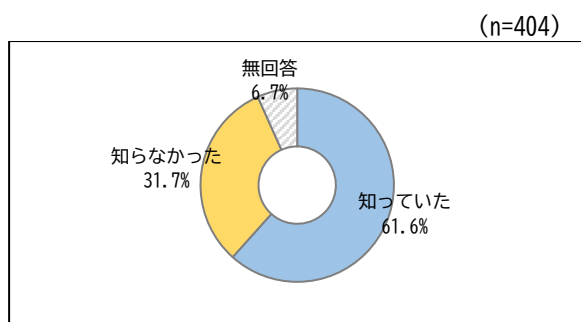


4. 特別養護老人ホーム入所の優先順位について

(1) 特別養護老人ホーム入所の優先順位

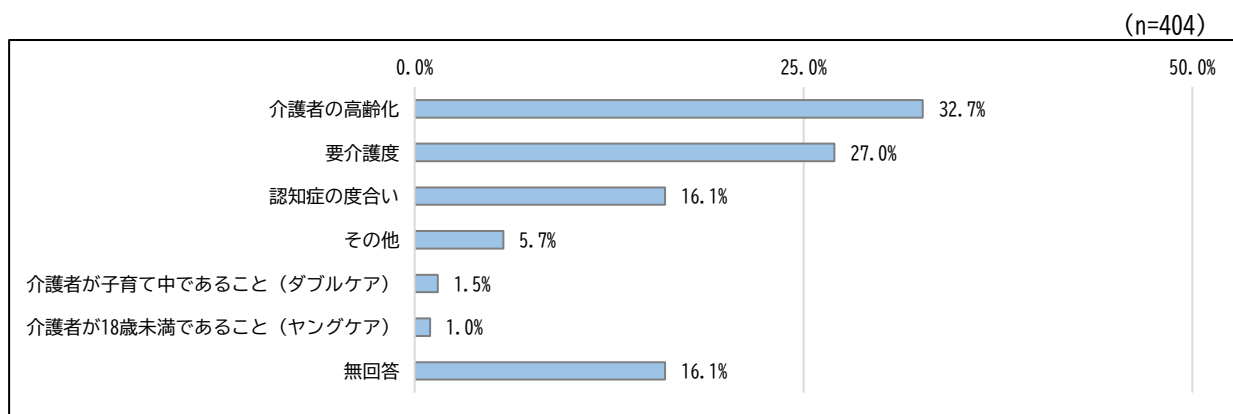
松戸市は、必要性が高い方から特別養護老人ホームに入所できるよう、本人の状況や介護者の状況を客観的に判断するための基準を定め、基準に従って付けられた点数の大小により入所優先順位を決定しています。こうした基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていましたか。(1つの番号に○)

基準によって入所の優先順位が決まっていることについて、「知っていた」と回答した割合は61.6%となっています。



今後、入所基準で優先すべき事項は何だと思えますか。(1つの番号に○)

今後、入所基準で優先すべき事項について、「介護者の高齢化」が最も多く32.7%となっています。



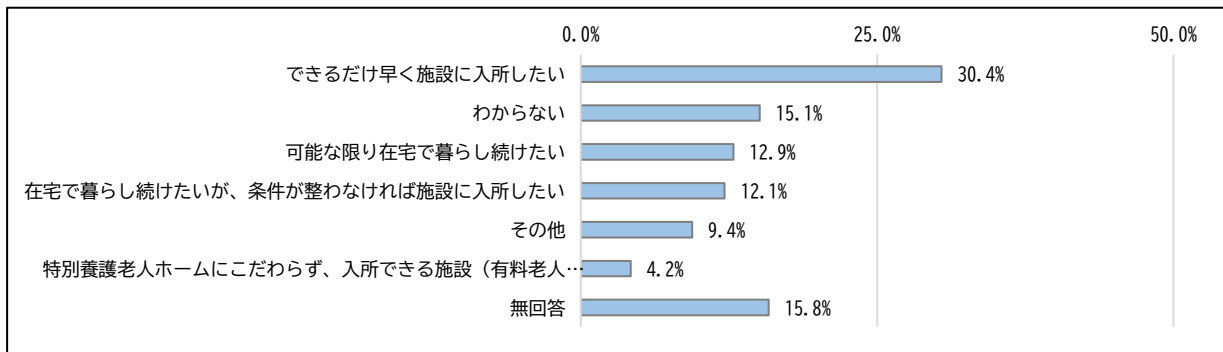
5. 今後の生活や介護保険のサービスについて

(1) 特別養護老人ホーム入所希望

ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在では入所に関してどのように考えていますか。（1つの番号に○）

ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在の入所希望について、「できるだけ早く施設に入所したい」が最も多く 30.4%となっています。

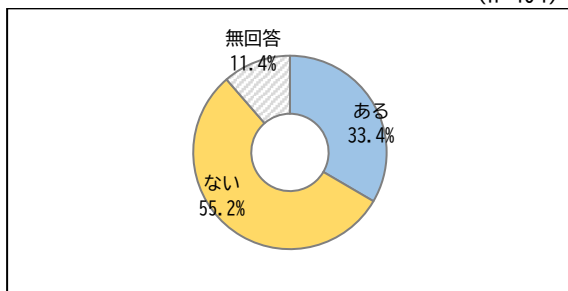
(n=404)



特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性はありますか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば、入所希望について再検討する可能性が「ある」と回答した割合は 33.4%と約 1/3 となっています。

(n=404)

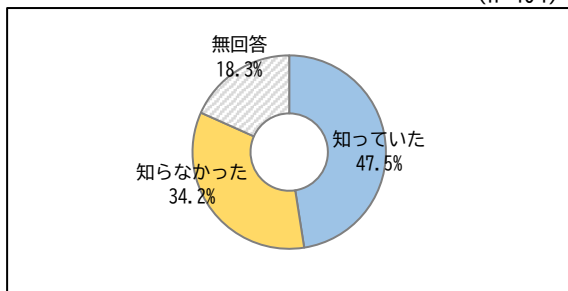


松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える以下の在宅サービスの整備を進めていますが、これらの在宅サービスを知っていましたか。また、ご本人（入所予定者）は利用してみたいと思いますか。

① 小規模多機能型居宅介護

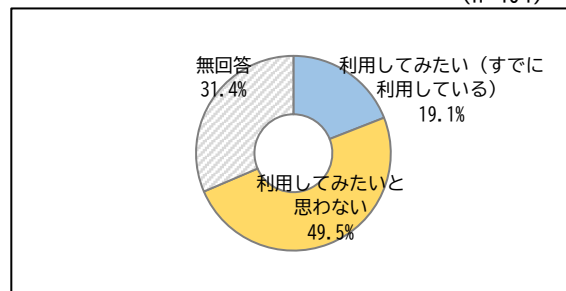
知っていましたか

(n=404)



利用してみたいと思いますか

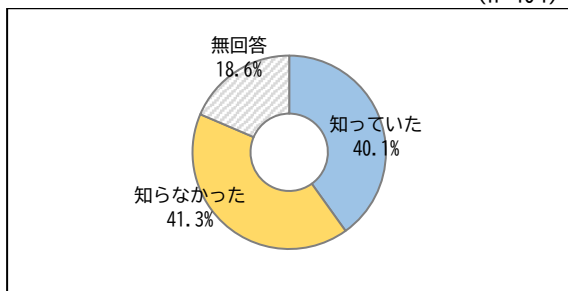
(n=404)



② 看護小規模多機能型居宅介護

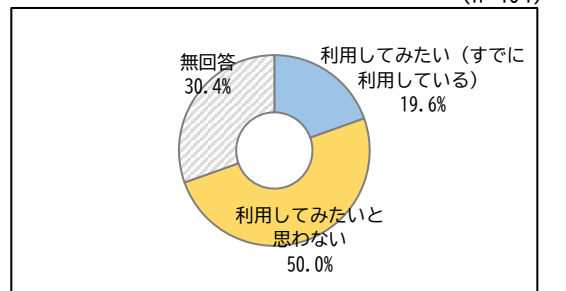
知っていましたか

(n=404)



利用してみたいと思いますか

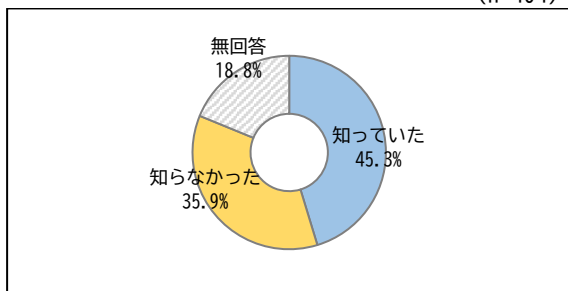
(n=404)



③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護

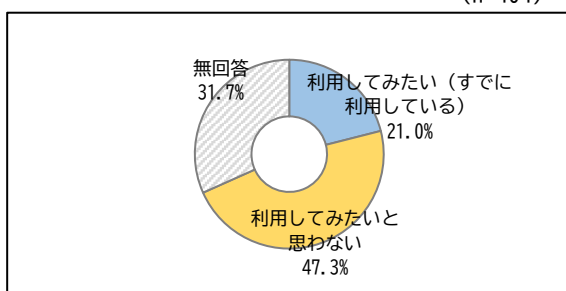
知っていましたか

(n=404)



利用してみたいと思いますか

(n=404)

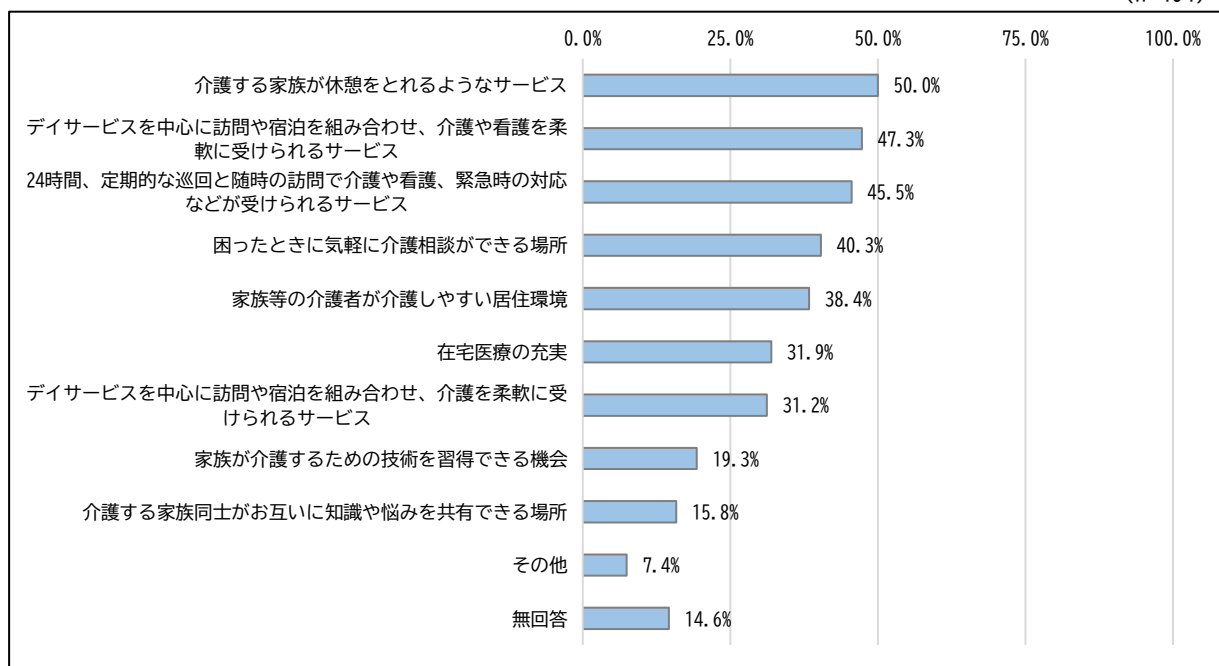


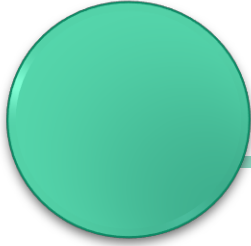
第2章 調査の結果 「5. 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査」

自宅で介護を受けながら生活していくためには何が必要だと思いますか。(あてはまるすべての番号に○)

自宅で介護を受けながら生活していくために必要なことについて、「介護する家族が休憩をとれるようなサービス」が最も多く 50.0%となっており、次いで「デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス」が 47.3%となっており、訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービスが 47.3%となっています。

(n=404)





アンケート調査票

介護事業所・施設調査 調査票

■ この調査票を記入される方の役職をお書きください。(1つの番号に○)

- 1. 法人代表者
- 2. 役員
- 3. 施設長・管理者
- 4. 管理職
- 5. 一般職員
- 6. その他 ()

問1 貴事業所・施設の人材や業務に関するご記入をお願いします。

※注記： 併設事業所と兼務している職員については、2サービス兼務の場合は0.5、3サービス兼務の場合は0.3として記入ください。

(1) 令和2年4月1日時点における貴事業所・施設の従業員数を雇用形態別・性別・年齢別に記入ください。(数字を記入)

	29歳以下		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
① 正規職員													
② 非正規職員 (嘱託、契約、臨時、パート等) ※派遣職員は除く													

(2) 令和2年4月1日時点における貴事業所・施設従業員の保健医療福祉関係の保有資格者数を記入ください。複数資格を持っている方も、それぞれの資格ごとに1人としてカウントしてください。(数字を記入)

① 介護支援専門員	人	⑥ 医師	人	⑪ 理学療法士	人
② 主任介護支援専門員	人	⑦ 歯科医師	人	⑫ 作業療法士	人
③ 介護福祉士	人	⑧ 薬剤師	人	⑬ 言語聴覚士	人
④ 社会福祉士	人	⑨ 保健師	人	⑭ 歯科衛生士	人
⑤ 管理栄養士・栄養士	人	⑩ 看護師・准看護師	人	⑮ 精神保健福祉士	人

(3) 平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設に入職された方の人数を記入ください。(数字を記入)

① 正規職員	
② 非正規職員 (嘱託、契約、臨時、パート等) ※派遣職員は除く	

(4) 平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設を退職された方の人数を記入ください。(数字を記入)

① 正規職員	
② 非正規職員 (嘱託、契約、臨時、パート等) ※派遣職員は除く	

⑦

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関する 介護事業所・施設アンケート調査



松戸市高齢者保健福祉課
介護保険課
ゆーかりくん

～ ご協力をお願いします ～

貴事業所・施設におかれましては、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」がより一層推進されるよう、令和3年度から令和5年度までを計画期間とした次期計画「いきいき安心プランⅧまつど」(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)の策定作業を進めているところで、

そこで、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業を支えていただいております市内介護保険施設・事業者の経営者・管理者の皆様は、介護人材確保に関することや地域連携に関する取り組みの実態やお考えなどを教えてください。施設検診の基礎資料とするため、本調査を実施いたします。(従事者向け調査は後日実施いたします。)

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ありません。

ご多用のこと存じますが、**貴事業所・施設と本市が一丸となり、市民の皆様にとってもより良い高齢者保健福祉・介護保険事業が継続されるよう、ぜひ回答にご協力ください**ます。ようお願いします。

令和2年4月
松戸市長 本郷谷 健次

～ ご記入にあたって ～

- ご回答は、本調査票表紙左上に記載のあるサービス事業所・施設に関してお答えください。ご回答はあくまでも経営・管理されている事業所・施設の実情またはお考えに基づいてお答えください。
- ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
- 「その他」を選択した場合は、()の中に具体的な内容を記入してください。ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を3つ折りして同封の返信用封筒に入れ、**令和2年4月23日(木)までに郵便ポストへご投函ください**。(切手不要)
- ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



【お問合せ先】松戸市役所 介護保険課
電話：047-366-7370 (直通) FAX：047-363-4008
E-mail：mckaligo@city.matsudo.chiba.jp

(5) 入職された方の主な採用ルートはどれですか。(あてはまるすべての番号に○)

1. ハローワーク	}	9. 職員からの紹介	}
2. 福祉人材センター		10. 合同説明会への出席	
3. 事業所の掲示	}	11. 求人情報誌	}
4. ホームページ		12. 求人サイト	
5. SNS	}	13. 新聞折込み広告	}
6. 実習の受け入れ		14. 人材紹介会社	
7. 学校訪問	}	15. その他	}
8. 賛成校からの推薦			

◎下記①は、(5)で「14. 人材紹介会社」と回答した方のみ、お答えください。
 ①過去1年の中で紹介料として負担した金額をお答えください。(数字を記入)

年間おおよそ 円

(6) 採用に係る費用負担(月額)についてお答えください。(数字を記入)

月額おおよそ 円

(7) 退職された方の主な退職理由はどれですか。(主なもの2つの番号に○)

1. 市内他介護事業所への転職	5. 心身の不調による退職
2. 市外他介護事業所への転職	6. 不明
3. 介護業界以外への転職	7. その他
4. 結婚・出産・育児・介護・転居等による退職	

(8) 貴事業所・施設では派遣職員を活用していますか。(どちらかの番号に○)

1. 活用している ⇒ ①ハ
 2. 活用していない ⇒ ⑨ハ

◎下記①～②は、(8)で「1. 活用している」と回答した方のみ、お答えください。
 ①令和2年4月1日時点における貴事業所・施設の派遣職員数、平成31年4月～令和2年3月の間に貴事業所・施設にて新たに受け入れた派遣職員数を記入してください。(数字を記入)

令和2年4月1日時点における派遣職員数	人
平成31年4月～令和2年3月の間に新たに受け入れた派遣職員数	人

②派遣職員に関する費用負担はどう感じていますか。(1つの番号に○)

1. かなり負担である	4. あまり負担ではない
2. 少し負担である	5. 全く負担ではない
3. 負担感は妥当である	

(9) 貴事業所・施設において、外国籍の職員はいますか。(どちらかの番号に○)

1. いる ⇒ ①ハ
 2. いない ⇒ (10)ハ

◎下記①～②は、(9)で「1. いる」と回答した方のみ、お答えください。

①外国籍の職員について、下記の受け入れの枠組み毎に人数をご記入ください。(数字を記入)

④ EPA 介護福祉士として	人	⑤ 在留資格「特定技能」として	人
② 外国人留学生 在留資格「介護」として	人	⑥ 日本人の配偶者・永住者・定住者	人
③ 外国人技能実習生として	人	⑦ その他	人

②外国籍の職員について、国籍名とそれぞれの人数を記入してください。(国籍名と数字を記入)

国籍名を記載してください	人数	国籍名を記載してください	人数
	人		人
	人		人
	人		人

(10) 補助的な介護を行う「介護助手」について有効だと思えますか。(どちらかの番号に○)

1. 有効だと思ふ ⇒ ①ハ
 2. 有効だとは思わない

(11) 「介護助手」を採用したいと思えますか。(1つの番号に○)

1. すでに採用している ⇒ (12)ハ
 2. 採用したい ⇒ ①ハ
 3. 採用したいとは思わない ⇒ ①ハ

◎下記①は、(11)で「1. 採用したい」「3. 採用したいとは思わない」と回答した方のみ、お答えください。

①ボランティアでの受入れは可能だと思いますか。(どちらかの番号に○)

1. 可能だと思ふ ⇒ ①ハ
 2. 可能だとは思わない

(12) 内部事務(請求・労務管理等)のみを行う専任の職員はいますか。(どちらかの番号に○)

1. いる ⇒ ①ハ
 2. いない(兼務である)

(13) 貴事業所・施設における、介護職員配置の過不足状況はどうか。(1つの番号に○)

1. 非常に不足感がある ⇒ ①ハ
 2. 少し不足感がある ⇒ ①ハ
 3. 現在が妥当 ⇒ (14)ハ
 4. やや余裕がある ⇒ (14)ハ
 5. 余裕がある ⇒ (14)ハ

◎下記①は、(13)で「1.」「2.」「3.」(不足感がある)と回答した方のみ、お答えください。

①不足感を感じる業務は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 食事介助	5. 夜勤	9. リネン交換
2. 食事の準備(配膳)	6. レクリエーション	10. 請求等管理事務
3. 入浴介助	7. 通院等外出付き添い	11. モーニング/ナイトケア
4. 排泄介助	8. 記録書類作成	12. その他

(14) 不足感を感じる職種は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)
また、不足感を感じている職種について、不足している人数をそれぞれお答えください。(数字を記入)

職種 (あてはまるすべての番号に○)	不足している人数
1. 介護職員 (身体介護を行う)	⇒ () 人
2. 補助的介護職員 (身体介護以外の見守り・生活補助等を行う)	⇒ () 人
3. 事務職	⇒ () 人
4. 送迎運転手	⇒ () 人
5. 看護師	⇒ () 人
6. 理学・作業療法士	⇒ () 人
7. その他 ()	⇒ () 人
8. 不足感を感じている職種はない	⇒ (16) 人

(15) 不足感を感じる業務や職種に対してどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 求人活動
2. 時間外労働での対応
3. 労働時間変更や調整
4. 派遣職員の採用
5. 他業務との兼務
6. 同一法人からの異動
7. 利用者の受け入れ制限
8. 事業縮小の検討
9. その他 ()
10. 特に行っていない

(16) 貴事業所・施設から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 能力や実績に照らして、給与(賃金)や手当が低い
2. 業務量、労働時間、超過勤務が多い
3. 勤務ローテーションやシフトが不規則なため
4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくい
5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が十分でない
6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため
7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応への不安があるため
8. 身体的負担が大き(体力に不安がある)ため
9. 精神的負担が大きいため
10. 介護保険事業に対する社会的評価が低い
11. 職場の人間関係が難しい
12. 利用者との人間関係が難しい
13. 重荷の利用者や看取りに対する負担が大きいため
14. その他 ()

5

(17) 貴事業所・施設において、これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものはどれですか。(3つまでの番号に○)

1. 能力や実績に照らした役割や給与体系(キャリアアップの仕組み)を構築すること
2. 超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること
3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること
4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること
5. ICT(電子データ)によるコンピュータ処理等情報通信技術等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省時化を図ること
6. 育児・介護の休暇等の支援体制や資格取得支援等の福利厚生を充実させること
7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスクアを充実させること
8. カスタマー・ハラスメント(利用者や家族等からの身体的暴力や精神的暴力、セクシャル・ハラスメント)の対策研修
9. 職場内のハラスメント(セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント)対策研修
10. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること
11. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること
12. その他 ()
13. どの方策も効果が上がらなかった
14. 特に取り組んだことはない

(18) 人事評価や役割・給与の決定は、何に基づいて行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績 ⇒ ① 人
2. 資格の取得状況、研修の受講状況 ⇒ (19) 人
3. 介護職としての経歴年数 ⇒ (19) 人
4. 自らの組織での経歴年数 ⇒ (19) 人
5. 年齢 ⇒ (19) 人
6. 従業員自身による自己評価 ⇒ (19) 人
7. その他 () ⇒ (19) 人

◎ 下記①は、(18)で「1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績」と回答した方のみ、お答えください。

① どのような指標で評価していますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 事業所独自の評価指標
2. 法人の評価指標
3. 介護キャリア地位制度の評価指標
4. その他 ()

(19) 人材育成のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 職員の育成計画の作成
2. 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる体制の整備
3. 外部研修受講や資格取得に要する費用の助成
4. OJT(職場での仕事の経験を通じた職業訓練)の仕組みの構築
5. 評価項目に基づく人事評価の実施
6. 人事評価や研修についての従業員の意見の聴取
7. その他 ()

(20) 特定処遇改善加算(令和元年10月～)について取得していますか。(どちらかの番号に○)

1. 取得している
2. 取得していない

6

(21) 貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為（セクシャル・ハラスメント）を把握していますか。（1つの番号に○）

1. 発生を把握している
2. 発生していない
3. 発生の有無を把握していない

(22) 貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時どのように対応します（していただけます）か。（あてはまる番号すべてに○）

1. ハラスメントの事実確認を行う
2. 職員に対し今後の対応を明確に示す
3. 職員と具体的対応について話し合う場を設定する
4. ハラスメントの情報を他の施設、事業所と共有し、連携して対応する
5. 再発防止が確認されるまで、複数人で対応する
6. 被害を受けた職員が関わらないように調整する
7. 利用者家族と話し合い再発防止策を検討する
8. 別の事業所等を紹介し、契約解除を求める
9. その他（ ）
10. 特にない

(23) ハラスメントの防止に必要な取り組みはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 利用者・家族への啓発
2. 利用者・家族等と事業所の相互確認
3. 相談しやすい組織体制の整備
4. 事業所内の情報共有
5. ハラスメント対策に関する法制度の整備
6. その他（ ）

(24) 従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険に加入していますか。（1つの番号に○）

1. 加入している
2. 加入する予定である
3. 未定
4. 加入するつもりはない

(25) 行政提出書類の簡素化は人材確保対策に有効だと思えますか。（どちらかの番号に○）

1. 有効である
2. 有効であるとは思わない

(26) 人材育成、事務処理の協同化など事業者間連携（事業者組合）について取り組みたいと考えていますか。（1つの番号に○）

1. すぐに取り組みたい
2. ある程度様子を見て取り組みたい
3. あまり取り組みたいと思わない
4. 全く取り組みたいと思わない

(27) 貴事業所・施設における、運営上の課題はどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 職員の確保 ⇒ ①ハ 6. 他事業所との連携 ⇒ (28)ハ
2. 職員の定着率が低い ⇒ ①ハ 7. 医師ニーズへの対応 ⇒ (28)ハ
3. 利用者の確保 ⇒ (28)ハ 8. その他（ ） ⇒ (28)ハ
4. 設備等の整備環境 ⇒ (28)ハ 9. 特にない ⇒ (28)ハ
5. 物品購入等の仕入コスト ⇒ (28)ハ

◎下記①は、(27)で「1」「2」（職員の確保、職員の定着率が低い）と回答した方のみ、お答えください。

① 人材確保や職員の定着率を高めるうえで、課題と感じているのはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 求人経費（広告料、紹介料等）の負担が大きい
2. 求人しても応募がない
3. 人材を確保する手段やノウハウが乏しい
4. 介護業界内で人材が流動的で取り合いになっている
5. 介護業界のイメージアップ
6. 求職者と求人ニーズのマッチングの難しさ
7. 介護実習の際に違和感が生じるなど仕事に就く前と就いた後のギャップ
8. 賃金など労働条件の改善
9. 職場の人間関係の改善
10. その他（ ）
11. 特にない

(28) 介護職のイメージについて3年前（平成29年）頃と比較して変わつたと思えますか。（1つの番号に○）

1. かなり良くなった
2. 良くなった
3. かわらない
4. 悪くなった
5. かなり悪くなった

(29) 貴事業所・施設における、以下のICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）・介護ロボットの導入状況についてお答えください。（①～⑪それぞれあてはまる番号に○）

	導入済み	導入予定	導入しない	未定
① 会計システム（利用者請求）	1	2	3	4
② 給付費請求システム	1	2	3	4
③ 介護・記録管理システム	1	2	3	4
④ 給与計算・勤怠管理システム	1	2	3	4
⑤ 身体装着型/ウェアラーツ	1	2	3	4
⑥ 見守りセンサー（ロボット）	1	2	3	4
⑦ 排せつ支援機器	1	2	3	4
⑧ 入浴支援機器	1	2	3	4
⑨ コミュニケーションロボット	1	2	3	4
⑩ 医療介護連携システム	1	2	3	4
⑪ その他（ ）	1	2	3	4

問2 介護サービスについてお答えをお願いします。

(1) 今後、高齢になっても住み慣れた地域（住宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。(4つまで番号に○)

1. 日期的な掃除、洗濯及び炊事の家事援助 10. 移送ドライバ、通院介護や散歩補助等の外出支援
2. ごみ出し 11. 健康体操や筋力トレーニング等の運動指導、機会の提供
3. 食料や日用品等の買い物代行 12. 認知症予防のための脳トレーニングや運動教室
4. 草取りや水やり等の庭の手入れ 13. 地域交流の場として、サロンやコミュニケーションカフェの開設
5. ペットの世話 14. 弁当や食料配達等の配達
6. 住民による声かけ、見守り 15. 認知症の方の市民後見人等の権利保護
7. 緊急通報装置等による安否確認 16. 介護家族等へのアドバイス、サポート
8. 電話等による服薬確認 17. その他 ()
9. 話し相手(傾聴) 18. 特になし

(2) 真事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、そのための介護を行うことについて説明を行っていますか。(1つの番号に○)

1. いつも説明を行っている 3. あまり説明を行っていない
2. ある程度説明を行っている 4. 全く説明を行っていない

(3) 貴事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標等、自立支援・重度化防止を意図した個別介護計画を作成していますか。(1つの番号に○)

1. いつも意図して作成している 3. あまり意図して作成していない
2. ある程度意図して作成している 4. 全く意図して作成していない

(4) 自力で行うことは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意図したケアを行うよう職員に意図させていますか。(1つの番号に○)

1. いつも意図させている 3. あまり意図させていない
2. ある程度意図させている 4. 全く意図させていない

(5) 自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ(成果報酬)を付与することに關してどのように考えますか。(1つの番号に○)

1. 賛成 5. 反対
2. どちらかといえば賛成 6. わからない
3. どちらともいえない 7. その他 ()
4. どちらかといえば反対

9

問3 地域連携についてお答えをお願いします。

(1) 地域包括支援センターとの連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい 5. 連携の必要性を感じない
2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい 6. どちらともいえない
3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい 7. その他 ()
4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである 8. わからない

(2) 地域包括支援センターとの連携を図るためには、特に何が必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 地域包括支援センターの役割・機能の理解 4. 地域包括支援ネットワークの構築
2. 社会資源(地域資源)等の情報発信・共有 5. その他 ()
3. お互いの顔の見える関係づくりの推進(事業者交流会など) 6. わからない

(3) 医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい 5. 連携の必要性を感じない
2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい 6. どちらともいえない
3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい 7. その他 ()
4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである 8. わからない

(4) 医療と介護の連携を図るために、課題と感じていることは何ですか。(3つまで番号に○)

1. 在宅医療を旨めた市内医療体制の把握
2. 医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上
3. 介護従事者に対する医療・看護事業に関する研修による知識、理解の向上
4. 在宅医療を提供する医療機関(診療所・歯科診療所)や薬局・訪問看護事業所の整備
5. 24時間365日のサービス供給体制の構築に向けた夜間、休日及び緊急時対応の整備
6. 在宅医療に方向できる医師や看護師等の育成
7. 介護従事者のケースカンファレンス(事例検討)への参加の促進
8. 医療従事者のアセスメントシステム(連携シートやシステム)の構築
9. 医療と介護の情報共有システム(連携シートやシステム)の構築
10. 在宅医療・在宅看取りについての市民への普及啓発
11. 退院支援の充実
12. 市内の病院との連携
13. 市内の医療機関(診療所・歯科診療所)との連携
14. 市外の病院・医療機関との連携
15. 主治医との連携、相談体制の充実
16. 薬局との連携
17. その他 ()
18. わからない

10

(5) 松戸市在宅医療・介護連携支援センターと連携を圆っていますか。(1つの番号に○)

1. とてもよく連携している
2. ある程度、連携している
3. あまり連携していない
4. 全く連携していない
5. センターを知らない

(6) 医療機関にある地域医療連携室と連携を圆っていますか。(1つの番号に○)

1. とてもよく連携している
2. ある程度、連携している
3. あまり連携していない
4. 全く連携していない
5. 地域医療連携室を知らない

○下記の質問(7)は入所施設の方のみご回答ください。

(7) かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後を担当する主治医について、どのような体制をとっていますか。(1つの番号に○)

1. 契約医が決まっている施設なので、主治医は交代する
2. 契約医が決まっている施設ではないが、主治医は交代することが多い
3. 契約医が決まっている施設ではなく、それまでのかかりつけ医が可能な限り引き継ぎ担当している
4. 特に決まっていない

(8) 職員に対して自身の職種の集まりだけではなく、医療職やリハ職等、他の専門職員の集まり(会議・研修)に参加させていますか。(1つの番号に○)

1. よく参加させている
2. ある程度参加させている
3. あまり参加させていない
4. 全く参加させていない

(9) 地域の他機関(施設)にどのような専門職がいるか把握していますか。(1つの番号に○)

1. とてもよく把握している
2. ある程度、把握している
3. あまり把握していない
4. 全く把握していない

(10) 地域にどのような活用可能な社会資源があるか把握していますか。(1つの番号に○)

1. とてもよく把握している
2. ある程度、把握している
3. あまり把握していない
4. 全く把握していない

(11) 職員に対してサービス提供に必要な知識や情報を他機関(町会等を含む)・他職種から集めさせていますか。(1つの番号に○)

1. よく集めさせている
2. ある程度集めさせている
3. あまり集めさせていない
4. 全く集めさせていない

(12) 所属している職員は利用者の相談内容や問題状況を基に、他機関(町会等を含む)・他職種に対して協力を要請する機会が多いですか。(1つの番号に○)

1. とてもよく要請している
2. ある程度要請している
3. あまり要請していない
4. 全く要請していない

(13) 貴事業所・施設は、他の機関(町会等を含む)からよく協力を要請されますか。(1つの番号に○)

1. とてもよく要請される
2. ある程度要請される
3. あまり要請されない
4. 全く要請されない

(14) 職員に対して地域ケア会議にどのくらい参加させていますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に参加させている
2. ある程度、参加させている
3. 参加させていない
4. 地域ケア会議を知らない

(15) 共生型サービスについて関心がありますか。(1つの番号に○)

1. 非常に関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

問4 松戸市への要望についておうかがいします。

(1) 貴事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むこととはどのようなことですか。(3つまで番号に○)

1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供
2. 介護従事者のスキルアップ(育成)のための研修の支援
3. 介護従事者の確保・定着のための支援
4. 給付管理等に関する相談体制の充実
5. 事業所への指導・監査等の徹底
6. 地域包括支援センターの対応力向上
7. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発
8. 処遇困難者への対応
9. 事務手続きの簡略化
10. ボランティアの育成
11. 家族等介護者支援の充実
12. 多職種連携への支援
13. 医療介護連携への支援
14. 人材育成事業の充実
15. 介護職員の表彰制度
16. 介護助手等補助者に関する支援
17. その他()
18. 特になし

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してお意見がございましたらご自由にご記入ください。

<自由記載欄>

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート票を3つ折りにし、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**令和2年4月23日(木)**までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力いただきありがとうございました。

従事者調査 調査票

問1 基本的事項及び就労状況や就労意識についてお答えください。

(1) 令和2年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。(数字を記入)

満 歳

(2) あなたの性別をお答えください。(どちらかの番号に○)

1. 男性 2. 女性

(3) あなたのお住まいはどちらですか。(1つの番号に○)

1. 松戸市内 3. 東京23区
 2. 松戸市外 4. その他

(4) あなたと同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 同居なし(独り暮らし) 5. 子(高校生以上)
 2. 配偶者 6. 親(65歳未満)
 3. 子(未成年) 7. 親(65歳以上)
 4. 子(中学生) 8. その他

(5) あなたが現在働いている(調査票が配布された)事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 民間営利法人 4. NPO法人 7. わからない
 2. 社会福祉法人 5. 社団法人・財団法人
 3. 医療法人 6. その他

(6) あなたが現在働いている事業所・施設では、施設長・管理者を含めて何人が働いていますか。(1つの番号に○)

1. 10人未満 4. 30人以上40人未満
 2. 10人以上20人未満 5. 40人以上50人未満
 3. 20人以上30人未満 6. 50人以上

(7) あなたが現在働いている事業所・施設における、あなたの雇用形態はどれですか。(1つの番号に○)

1. 正社員 ⇒ (8)へ
 2. 非正規職員(通信職員、契約職員、臨時職員、パート等) ⇒ ①へ
 3. 非正規職員(派遣職員) ⇒ ①へ

⑧



松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関する
介護従事者アンケート調査

～ ご協力をお願いします ～

貴職におかれましては、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」がより一層推進されるよう、令和3年度から令和5年度までを計画期間とした次期計画「いきいき安心プラン7+1」(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)の策定作業を進めているところです。

今後、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業を支えていただいております介護従事者の皆様は、介護業務に関することや地域連携に関する取り組みの実態やお考えなどをお伺いし、施策検討の基礎資料とするため、本調査を実施いたします。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただきますが、介護従事者の育成や定着支援・処遇改善につながる施策に反映できるよう、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

松戸市長 本郷谷 健次

～ ご記入にあたって ～

1. 事業所・施設から配布されたご本人が、ご自身の実情またはお考えに基づいてお答えください。
2. ご回答は、あくまでも現在働いている事業所・施設(兼務・兼業している場合は主たる事業所・施設)に関するお答えください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
「その他」を選択した場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
4. このアンケートの回答に要する時間はおよそ15分です。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和2年7月13日(月)までに郵便ポストへご投函ください。(切手不要)**
※事業所・施設に提出する必要はありません。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



【お問合せ先】松戸市役所 介護保険課
 電話：047-366-4101 (直通) FAX：047-366-1145
 E-mail：mckaigo@city.matsudo.chiba.jp

◎下記①は、(7)で「2」「3」(非正規職員)と回答した方のみ、お答えください。
 ◎下記②は、(7)で「2.いいえ」と回答した方のみ、お答えください。

① 正規職員として働きたいですか。(どちらかの番号に○)
 1. はい ⇒ (8) ^ 2. いいえ ⇒ 1) ^

② 下記 i) は、①で「2.いいえ」と回答した方のみ、お答えください。
 i) 正規職員として働きたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
 1. 自分の都合のいい時間に働けるから 4. 扶養の範囲内で働きたいから
 2. 簡単な仕事で責任が軽いから 5. 体力的に正社員として働けないから
 3. 家庭の事情や趣味等と両立しやすいから 6. その他 ()

(8) 現在働いている事業所・施設における勤務状況として、以下の①~④のひとつあたりの状況についてお答えください。(おおよその数字を記入)

① 平均勤務日数	② 平均勤務時間 (超過勤務時間を含む)
月あたり 日	月あたり 時間
③ 平均超過勤務時間	④ 平均深夜勤務回数
月あたり 時間	月あたり 回
上記のうち超過勤務手当が出ない超過勤務時間	
月あたり 時間	

(9) 現在働いている事業所・施設における在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数をお答えください。(令和2年4月1日現在)

① 現在働いている事業所・施設における在籍年数	② 介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数
約 年 か月	約 年 か月

(10) あなたが現在働いている事業所・施設における具体的な職種はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. サービス提供責任者	7. 理学療法士 (PT)
2. 介護支援専門員	8. 作業療法士 (OT)
3. 2以外のサービス計画作成担当者	9. 言語聴覚士 (ST)
4. 看護職員	10. 機能訓練指導員
5. 訪問介護員 (ホームヘルパー)	11. 生活相談員・支援相談員
6. 介護職員	12. その他 ()

(11) あなたが現在お持ちの保健医療福祉関係の資格と、今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	お持ちの資格に○	今後取得したいと思う資格に○
① 介護支援専門員		
② 主任介護支援専門員		
③ 保健師		
④ 看護師		
⑤ 准看護師		
⑥ 社会福祉士		
⑦ 介護福祉士		
⑧ 実務者研修 (旧ホームヘルパー1級)		
⑨ 介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級)		
⑩ 管理栄養士		
⑪ 栄養士		
⑫ 歯科衛生士		
⑬ 理学療法士 (PT)		
⑭ 作業療法士 (OT)		
⑮ 言語聴覚士 (ST)		
⑯ 機能訓練指導員になる資格		
⑰ その他 ()		

(12) あなたが現在働いている事業所・施設（兼務している場合は主たる事業所・施設）の種類は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 居宅介護支援事業所	12. 地域密着型特別養護老人ホーム
2. 訪問介護事業所	13. 介護老人保健施設
3. 訪問入浴介護事業所	14. 介護療養型医療施設
4. 訪問看護事業所	15. グループホーム
5. 訪問リハビリテーション事業所	16. 小規模多機能型居宅介護事業所
6. 広域型通所介護事業所	17. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
7. 地域密着型通所介護事業所（療養通所含む）	18. 認知症対応型通所介護事業所
8. 通所リハビリテーション事業所	19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
9. 短期入所生活介護事業所	20. 特定施設入居者生活介護事業所
10. 短期入所療養介護事業所	21. その他（ ）
11. 広域型特別養護老人ホーム	

(13) あなたは同一法人内の他の事業所・施設で兼務していますか。(どちらかの番号に○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(14) 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。(1つの番号に○)

1. 103万円未満	6. 300万円以上 350万円未満
2. 103万円以上 130万円未満	7. 350万円以上 400万円未満
3. 130万円以上 200万円未満	8. 400万円以上 500万円未満
4. 200万円以上 250万円未満	9. 500万円以上 600万円未満
5. 250万円以上 300万円未満	10. 600万円以上

(15) あなたが現在働いている事業所・施設以外に、兼業（同一法人内での仕事は除く）している仕事がありますか。(1つの番号に○)

1. 介護関係の仕事に兼業している ⇒①ハ	3. 兼業していない ⇒(16)ハ
2. 介護関係以外の仕事を兼業している ⇒①ハ	

◎下記①は、(15)で「1」「2」(兼業している)と回答した方のみ、お答えください。

①兼業を含めた、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。(1つの番号に○)

1. 103万円未満	6. 300万円以上 350万円未満
2. 103万円以上 130万円未満	7. 350万円以上 400万円未満
3. 130万円以上 200万円未満	8. 400万円以上 500万円未満
4. 200万円以上 250万円未満	9. 500万円以上 600万円未満
5. 250万円以上 300万円未満	10. 600万円以上

(16) あなたが現在働いている施設及び事業所等就職した主な理由は何か。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 給与(賃金)がよかったため	6. 既に働いている人から勧められたため
2. 通勤の便がよかったため	7. 休職取得しやすい職場だったから
3. 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるため	8. 人間関係が良さそうなお困りだったから
4. 法人や事業所の理念に共感したため	9. ボランティアや実習で行った時に、雰囲気良かったから
5. 自分がやりたいサービスだったから	10. 人材育成・研修制度が充実していたから
6. 既に働いている人から勧められたため	11. 他に選ぶ施設・事業所がなかったから
7. 休職取得しやすい職場だったから	12. その他（ ）
8. 人間関係が良さそうなお困りだったから	13. 特に理由はない
9. ボランティアや実習で行った時に、雰囲気が良かったから	
10. 人材育成・研修制度が充実していたから	
11. 他に選ぶ施設・事業所がなかったから	
12. その他（ ）	
13. 特に理由はない	

(17) あなたが現在働いている施設及び事業所に限らず、介護の仕事を選んだ主な理由は何か。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるため	6. 他の職業に求人がなかった、または採用されなかったため
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたため	7. その他（ ）
3. やりがいを感じられる職業だと思ったため	8. 特に理由はない
4. 福祉の仕事に興味、関心があったため	
5. 資格、技能を身につけたいため	
6. 他の職業に求人がなかった、または採用されなかったため	
7. その他（ ）	
8. 特に理由はない	

(18) あなたは介護業界内での転職経験がありますか。(1つの番号に○)

1. 1回ある ⇒①ハ ⇒①ハ
 2. 2回ある ⇒①ハ ⇒①ハ
 3. 3回以上ある ⇒①ハ
 4. なし(新卒、他業界からの転職) ⇒(19)ハ

◎下記①～②は、(18)で「1」「2」「3」(1回以上ある)と回答した方のみ、お答えください。
 ①あなたが転職したのは主にどのような理由からですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 能力や実績に比べて、収入が少なかつたため
 2. 法人や施設事業所の理念や運営の在り方に不満があったため
 3. 通勤の便が悪かつたため
 4. 長時間労働が常態化していたため
 5. 勤務ローテーションやシフトやシフト体制等が不規則だったため
 6. 有給休暇や特別休暇等が取得しづらかつたため
 7. 育児・介護の休暇等の福利厚生や資格取得支援等の体制が充実していなかつたため
 8. 役割配置や給与体系等のキャリアアップの仕組みがなかつたため
 9. 人員整理、勸奨退職または法人解散等のため
 10. 職場の人間関係に問題があったため
 11. 家族の看護、介護のため
 12. 結婚や出産、転居、病気のため
 13. その他()

②あなたが現在働いている施設及び事業所等に転職する前は、過去にどの地域で働いていましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 松戸市内
 2. 松戸市に近接している市(柏市・栗山町・鎌ヶ谷市・市川市)
 3. その他千葉県内市町村
 4. 東京都
 5. 埼玉県
 6. 茨城県
 7. その他()

(19) あなたは、介護従事者が介護業界から転職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 能力や実績に照らして、給与(賃金)や手当が低い
 2. 業務量、労働時間、超過勤務が多い
 3. 勤務ローテーションやシフトが不規則なため
 4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくい
 5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分のため
 6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため
 7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応への不安があるため
 8. 身体的負担が大き(体力に不安がある)ため
 9. 精神的負担が大きいため
 10. 介護保険事業に対する社会的評価が低い
 11. 職場の人間関係が難しい
 12. 利用者や看取りに対する負担が大きいため
 13. 重傷の利用者や看取りに対する負担が大きいため
 14. その他()

(20) 介護事業所・施設における雇止めや就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものはどれですか。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 能力や実績に応じた役割や給与体系(キャリアアップの仕組み)を構築すること
 2. 超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること
 3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること
 4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること
 5. ICT(電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術)等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省略化を図ること
 6. 育児・介護の休暇等の福利厚生や資格取得支援等の体制を充実させること
 7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスを充実させること
 8. カスタマー・ハラスメント(利用者や家族等からの身体的暴力や精神的暴力、セクシュアル・ハラスメント)の対策研修等の対応体制
 9. 職場内のハラスメント(セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント)対策研修等の対応体制
 10. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること
 11. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること
 12. その他()
 13. どの方策も効果が上がらないと思う
 14. わからない

(21) あなたの日頃の業務を軽減・効率化するためには何が必要ですか。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 介護助手やシルバー人材を活用した介護業務の分業化
2. 介護記録のシステム化
3. 介護記録内容の標準化・簡略化
4. バイタルセンサー等導入による介護記録の自動化
5. インカム（会話無線機器）導入による職員間の情報共有
6. マッスルスーツの導入（重量物を持ち上げる際、腰の負担を軽減する作業補助ロボット）
7. アルコール消毒薬や感染予防手袋の拡充
8. 業務改善のための外部からのアドバイザー派遣
9. その他（ ）
10. わからない

(22) あなたが現在働いている事業所・施設において人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行われていると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績
2. 資格の取得状況、研修の受講状況
3. 介護職としての経験年数
4. 自らの組織での経験年数
5. 年齢
6. 従業員自身による自己評価
7. その他（ ）
8. わからない
9. 指標に基づいて行われていない

◎下記①は、(22)で「1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績」と回答した方のみ、お答えください。

①どのような指標で評価していると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 事業所独自の評価指標
2. 法人の評価指標
3. 介護キャリア段位制度の評価指標
4. その他（ ）

(23) あなたが現在働いている事業所・施設において人材育成のために、どのような取り組みが行われていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 職員の育成計画の作成
2. 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる人員体制の整備
3. 外部研修受講や資格取得に要する費用の助成
4. OJT（職場での仕事の経験を通じた職業訓練）の仕組みの構築
5. 評価項目に基づく人事評価の実施
6. 人事評価や研修についての従業者の意見の聴取
7. その他（ ）
8. わからない
9. 取り組みは行われていない

(24) あなたが日常提供しているサービスの中には、利用者家族や地域住民にもできると思うことはありますか。(1つの番号に○)

1. 利用者家族にもできることはあると思う
2. 地域住民にもできることはあると思う
3. 利用者家族や地域住民にもできることはあると思う
4. 利用者家族や地域住民が協力すればできると思う
5. 利用者家族にも地域住民にもできなと思う
6. わからない

◎下記①は、(24)で「1」「2」「3」「4」(できることはあると思う)と回答した方のみ、お答えください。

①どのようなことができると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 調理・配膳
2. コミ出し
3. 掃除・洗濯
4. 安否確認
5. 買い物
6. その他（ ）

(25) 介護職のイメージについて3年前(平成29年)頃と比較して変わってしまったと思いますか。(1つの番号に○)

1. かなり良くなった
2. 良くなった
3. かわらない
4. 悪くなった
5. かなり悪くなった

(26) あなたが現在働いている事業所・施設において、これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはありませんか。(どちらかの番号に○)

1. 受けたことがある ⇒①△ 2. 受けたことがない ⇒(27) △

◎下記①～③は、(26)で「1. 受けたことがある」と回答した方のみ、お答えください。

①その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的暴力(例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
 2. 精神的暴力(例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
 3. ハラスメント(例：セクシュアルハラスメント・カスターマナーハラスメントなど)
 4. その他()

◎その際、誰かに相談しましたか。(1つの番号に○)

1. 相談した ⇒③△ 2. 相談しなかった ⇒(27) △

◎下記③は、②で「1」(相談した)と回答した方のみ、お答えください。

③その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 管理者・施設長
 2. 上司
 3. 公的機関
 4. 職場の同僚
 5. 労働組合
 6. 部下
 7. 所属法人の相談窓口
 8. 友人・知人・家族
 9. その他()

(27) あなたが現在働いている事業所・施設において、同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがありますか。(どちらかの番号に○)

1. 受けたことがある ⇒①△ 2. 受けたことがない ⇒(28) △

◎下記①～③は、(27)で「1. 受けたことがある」と回答した方のみ、お答えください。

①その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的暴力(例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
 2. 精神的暴力(例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
 3. ハラスメント(例：セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメント)
 4. その他()

◎その際、誰かに相談しましたか。(1つの番号に○)

1. 相談した ⇒③△ 2. 相談しなかった ⇒(28) △

◎下記③は、②で「1」(相談した)と回答した方のみ、お答えください。

③その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 管理者・施設長
 2. 上司
 3. 公的機関
 4. 職場の同僚
 5. 労働組合
 6. 部下
 7. 所属法人の相談窓口
 8. 友人・知人・家族
 9. その他()

(28) 仕事をすることで不安な点は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の将来の見込みが立たないこと
 2. 身体的・体的に精られるかどうかということ
 3. 精神的に精られるかどうかということ
 4. 介護事故で利用者に怪我を負わせてしまう可能性があること
 5. 禁じられている医療行為を求められること
 6. 感染症等のリスクがあること
 7. 職場で利用者・家族からハラスメントを受けてしまうこと
 8. 同僚や上司等からハラスメントを受けてしまうこと
 9. 虐待してしまいそうだと思ってしまうこと
 10. 特になし

(29) 新型コロナウイルスを含む感染症に関することについてお答えください。

① あなたは日頃の感染症対策についてどのようなことに注意していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. マスクの着用	5. 感染症対策マニュアル等の再確認
2. 出勤前の検温	6. 新規入所者の感染症歴の確認
3. 1ケア・1手洗いの履行	7. 食事介助や排せつ介助時の衛生管理
4. 出勤時の着替え	8. その他 ()

② あなたが現在働いている事業所・施設は、感染症が発生した場合の準備としてどのようなことを行っていますか。①～④それぞれに回答してください。

	どちらかの番号に○
① 感染症対策基本理念の策定	1. 有り 2. 無し
② 感染症対策委員会の開催	1. 有り 2. 無し
③ 感染症対策の指針・マニュアルの策定	1. 有り 2. 無し
④ 感染症対策研修の実施	1. 有り 2. 無し

③ 感染症発生時に必要な支援は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. マスク等の衛生用品の配布
2. 人的応援 (他事業所・施設からの職員派遣、介護人材派遣会社の活用等)
3. 感染症に関する専門的な知識や相談先
4. 臨時手洗い場や間仕切りなどの環境整備
5. その他 ()

(30) あなたが働いている事業所・施設で、高齢者虐待と思われる行為を発見したことはありますか。(どちらかの番号に○)

1. ある ⇒①ハ 2. ない ⇒(31)ハ

◎下記①は、(30)で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。

① 高齢者虐待と思われる行為を発見した時に、あなたはどのように対応されましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自ら通報窓口へ通報した
2. 施設長等、上司に報告し、対応を求めた
3. 特に何もしていない
4. その他 ()

(31) 介護従事者による高齢者虐待を発見した時は、高齢者虐待の通報窓口である、松戸市高齢者支援課または地域包括支援センターへ通報する(努力)義務がありますが、通報先を知っていましたか。(どちらかの番号に○)

1. 知っていた ⇒①ハ 2. 知らなかった ⇒(33)ハ

(32) あなたが働いている事業所・施設において、高齢者虐待防止に関する具体的な取組は実施していますか。(どちらかの番号に○)

1. している ⇒①ハ 2. していない ⇒(33)ハ

◎下記①は、(32)で「1. している」と回答した方のみ、お答えください。

① 具体的にどのような取組がお答えください。(記載)

(33) あなたは介護関係の仕事を今後も続けていきたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 今の状況のままでも続けていきたい ⇒問2ハ

2. 労働環境が改善されれば続けていきたい ⇒①ハ

3. 続けたくない } ⇒問2ハ

4. わからない } ⇒問2ハ

5. その他 ()

◎下記①は、(33)で「2. 改善されれば続けていきたい」と回答した方のみ、お答えください。

① どういったことが改善されれば続けられると思いませんか。(最もあてはまる番号1つに○)

1. 給与(賃金)	4. 人間関係
2. 福利厚生	5. その他 ()
3. 人材育成	

問2 介護サービスについてお伺いします。

(1) あなたは、利用者に対して自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うことを意識していますか。(1つの番号に○)

- 1. いつも意識している
- 2. ある程度意識している
- 3. あまり意識していない
- 4. 全く意識していない

(2) あなたは、自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに關してどのように考えますか。(1つの番号に○)

- 1. 賛成
- 2.どちらかといえば賛成
- 3.どちらともいえない
- 4.どちらかといえば反対
- 5. 反対
- 6. わからない
- 7. その他 ()

問3 地域連携についてお伺いします。

(1) 医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

- 1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい
- 2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい
- 3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい
- 4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである
- 5. 連携の必要性を感じない
- 6. どちらともいえない
- 7. その他 ()
- 8. わからない

問4 松戸市への要望についてお伺いします。

(1) 施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。(3つまで番号に○)

- 1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供
- 2. スキルアップ（育成）のための研修の支援
- 3. 給付管理等に関する相談体制の充実
- 4. 事業所への指導・監査の徹底
- 5. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発
- 6. 処遇困難者への対応
- 7. 事務手続きの簡略化
- 8. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの見直し
- 9. ボランティアの育成
- 10. 認知症に関する啓発
- 11. 多職種連携への支援
- 12. 医療介護連携への支援
- 13. その他 ()
- 14. 特になし

質問は以上です。

高齢者保健福祉社や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

<自由記載欄>

以上でアンケート調査は終了です。

記入したアンケート票を3つ折りにし、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、令和2年7月13日（月）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

介護支援専門員調査 調査票

問1 基本的事項及び就労状況や就労意識についてお答えをお願いします。

(1) 令和2年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。(数字を記入)

歳

(2) あなたの性別をお答えください。(どちらかの番号に○)

- 1. 男性
- 2. 女性

(3) あなたが現在働いている(調査票が配布された)事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

- 1. 民間営利法人
- 2. 社会福祉法人
- 3. 医療法人
- 4. NPO法人
- 5. 社団法人・財団法人
- 6. その他()
- 7. わからない

(4) あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

- 1. 居宅介護支援事業所 → ①へ
- 2. 特別養護老人ホーム(地域密着型を含む)
- 3. 介護老人保健施設
- 4. 介護療養型医療施設
- 5. 特定施設入居者生活介護事業所
- 6. グループホーム
- 7. 小規模多機能型居宅介護事業所
- 8. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- 9. 地域包括支援センター
- 10. その他()

◎下記①～③は、(4)で「1. 居宅介護支援事業所」と回答した方のみ、お答えください。

①事業所における加算等届出状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 特定事業所加算I
- 2. 特定事業所加算II
- 3. 特定事業所加算III
- 4. 特定事業所加算IV
- 5. ターミナルケアマネジメント加算
- 6. 特定事業所集中減算

②あなたは、「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」を知っていますか。(どちらかの番号に○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

③あなたの勤務する事業所の「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」の加入状況についてお答えください。(1つの番号に○)

- 1. 加入している
- 2. 加入するつもり
- 3. 加入していない
- 4. 協議会を知らない
- 5. 加入しているかどうか分からない

⑨



松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関する 介護支援専門員アンケート調査

～ ご協力をお願いします ～

貴職におかれましては、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業へのご理解とご協力をお願い、厚くお礼申し上げます。

本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」がより一層推進されるよう、令和3年度から令和5年度までを計画期間とした次期計画「いきいき安心プラン7まっつど」(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)の策定作業を進めているところです。

そこで、日頃より本市の高齢者保健福祉・介護保険事業を支えていただいております介護支援専門員の皆様へ、ケアマネジメント業務に関することや地域連携に関する取り組みの実態やお考えなどをお答えいただき、施策検討の基礎資料とするため、本調査を実施いたします。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ありません。

ご多用のことと存じますが、**貴職と本市が一丸となり、市民の皆様にとってより良い高齢者保健福祉・介護保険事業が継続されるよう、ぜひ回答にご協力くださいましたら幸いです。**

令和2年4月

松戸市長 本郷谷 健次

～ ご記入にあたって ～

1. 事業所・施設から配布されたご本人が、ご自身の実情またはお考えに基づいてお答えください。
2. ご回答は、あくまでも現在勤めている事業所・施設に関するお答えください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
「その他」を選択した場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和2年4月23日(木)までに郵便ポストへご投函ください。**(切手不要)
5. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



【お問合せ先】松戸市役所 介護保険課

電話：047-366-7370 (直通) FAX：047-363-4008
E-mail：mokaigo@city.matsudo.chiba.jp

(5) 現在働いている事業所・施設における勤務形態は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 専従(常勤) ⇒ (6) △ 3. 兼務(常勤) ⇒ ① △
 2. 専従(非常勤) ⇒ (6) △ 4. 兼務(非常勤) ⇒ ① △

◎下記①は、(5)で「3」「4」(兼務)と回答した方のみ、お答えください。

① 現場で兼務している職種は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護職員 5. 施設長
 2. 看護職員 6. 管理者
 3. 生活相談員 7. その他()
 4. 事務員

(6) 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数をお答えください。(おおよその数字を記入)

① 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数	② 介護支援専門員としての通算経験年数
約 年 か月	約 年 か月

(7) 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(どちらかの番号に○)

1. 持っている ⇒ ① △ 2. 持っていない ⇒ (8) △

◎下記①～②は、(7)で「1. 持っている」と回答した方のみ、お答えください。

① 主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護支援専門員に対する身近な相談対応
 2. 介護支援専門員への個別指導・同行訪問
 3. 支援困難事例への対応
 4. 地域の介護支援専門員における資質向上に向けた取り組み(事例検討会等)
 5. 地域包括ケアの体制づくり、社会資源の把握・開発
 6. 地域包括支援センターとの連携・協働
 7. 医療機関・介護サービス事業者・他職種との連携体制の構築
 8. 主任介護支援専門員同士の連携・ネットワークづくり
 9. その他()
 10. 特になし

② 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援
 2. 主任介護支援専門員の役割の明確化
 3. 主任介護支援専門員の業務を行う為の体制づくり
 4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援
 5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発
 6. 主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催
 7. スーパーバイズ等の活動の提供
 8. その他()
 9. 特になし

(8) あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 医師	7. 理学療法士	13. 精神保健福祉士
2. 歯科医師	8. 作業療法士	14. 訪問介護員(ホームヘルパー)
3. 薬剤師	9. 言語聴覚士	15. その他()
4. 保健師	10. 歯科衛生士	16. 持っていない
5. 看護師・准看護師	11. 社会福祉士	
6. 管理栄養士・栄養士	12. 介護福祉士	

(9) 現在働いている事業所・施設において、介護支援専門員として勤務する

① 1ヶ月あたりの平均勤務日数 ② 1ヶ月あたりの平均勤務時間 ③ 1ヶ月あたりの平均超過勤務時間
 (超過勤務時間を含む) (超過勤務時間を含む)

平均約	日	平均約	時間	平均約	時間
① 1ヶ月あたりの平均勤務日数		② 1ヶ月あたりの平均勤務時間		③ 1ヶ月あたりの平均超過勤務時間	

(10) 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。(1つの番号に○)

1. 103万円未満 6. 300万円以上 350万円未満
 2. 103万円以上 130万円未満 7. 350万円以上 400万円未満
 3. 130万円以上 200万円未満 8. 400万円以上 500万円未満
 4. 200万円以上 250万円未満 9. 500万円以上 600万円未満
 5. 250万円以上 300万円未満 10. 600万円以上

(11) 現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけは何ですか。(1つの番号に○)

1. 新聞広告等の求人募集に応募
2. 就職相談会、説明会に参加
3. 就職情報誌の情報
4. インターネットの情報
5. 開業
6. 家族、知人の紹介
7. 事業所職員からの勧誘
8. 公共職業安定所を通じて応募
9. 人材派遣会社の紹介
10. その他 ()

(12) あなたは松戸市介護支援専門員協議会を知っていますか。(どちらかの番号に○)

1. 知っている
2. 知らない

(13) あなたの松戸市介護支援専門員協議会の加入状況についてお答えください。(1つの番号に○)

1. 加入している
2. 加入するつもり
3. 加入していない
4. 協議会を知らない
5. 加入しているかどうか分からない

問2 介護支援専門員業務全般についてお答えください。

(1) あなたは、介護支援専門員の仕事に働きがいを感じていますか。(1つの番号に○)

1. とても働きがいを感じている
2. 働きがいを感じつつある
3. 働きがいを感じていない
4. 働きがいを感じない

(2) あなたは、ケアマネジメント業務を行う上での課題としてどのようなことをお考えですか。(3つまで番号に○)

1. 多岐多様なケアマネジメントの方法が分からない
2. 認知症ケアの方法が分からない
3. 医療機関との連携がうまくとれない
4. 制度にまだ分かる支援調整が難しい(障害・生活困窮など)
5. 利用者および家族がサービスの必要性を理解していない
6. 忙しくて利用者の意見、要望を聞き調整する時間が十分取れない
7. サービス提供事業者に関する情報が少ない
8. 所属事業所の関連事業者のサービスに偏る
9. 介護保険外サービスの種類が少ない
10. 介護支援専門員業務以外の事務量が多い
11. 相談できる人が身近にいない
12. 基準命令、基準条例の解釈が難しい
13. 経済面での調整が難しい
14. その他 ()
15. 特になし

(3) ケアマネジメント業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(3つまで番号に○)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意
2. 課題分析(アセスメント)のための訪問・面談など
3. サービス担当者会議の開催・調整
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の合意
5. ケアプランの交付(書類の作成など)
6. モニタリングのための訪問・面談など
7. 主治医や医療機関との連絡調整
8. 利用者や事業者の苦情対応
9. 要介護認定などの申請代行
10. 介護報酬請求業務
11. 夜間や休日の対応
12. 公休日の相談対応
13. 制度についての説明
14. 担当件数を多く抱えている
15. 所属事業所内の相談協力体制が整っていない
16. その他 ()
17. 特になし

(4) ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときに誰に相談しますか。(3つまで番号に○)

1. 同一事業所の介護支援専門員
2. 他事業所の介護支援専門員
3. 地域の主任介護支援専門員
4. 千葉県介護支援専門員協議会
5. 地域包括支援センター
6. 松戸市役所
7. 千葉県庁
8. 千葉県国民健康保険団体連合会
9. サービス提供事業者
10. 医療機関
11. 在宅医療・介護連携支援センター
12. 松戸歯科医師会口腔ケアセンター
13. その他 ()
14. 相談できる相手がいらない
15. 困ったりすることはない

(5) 担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 受診同行
2. 受診への送迎
3. 緊急入院した際の対応・手続
4. 救急車への同乗
5. 介護サービスで対応できない家事(例: 家具の移動、電球交換など)
6. 介護保険以外の各種申請(給付金など)
7. 介護サービス以外の利用時の立会い(例: ガスの点検、電器器具の設置など)
8. 徘徊時の捜索、捜索依頼等の対応
9. 金銭に関すること
10. 業者への処分書の提出、受け取り
11. 利用者以外の家族に対する支援(例: 障害・生活困窮などの関係機関との連携など)
12. その他 ()
13. 行っていない

(6) 介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。(どちらかの番号に○)

1. 受けたことがある ⇒ ①△ 2. 受けたことがない ⇒ (7) △

◎ 下記①～②は、(6)で「1. 受けたことがある」と回答した方のみ、お答えください。

① その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的暴力(例:物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
 2. 精神的暴力(例:攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
 3. セクシャルハラスメント(例:不必要に身体に接触される、性的発言を繰り返されるなど)
 4. その他()

◎ 下記の相談状況を教えてください。(1つの番号に○)

1. 些細な内容でも相談した ⇒ ③△ 3. 相談しなかった ⇒ (7) △
 2. 内容によっては相談した ⇒ ③△

◎ 下記③は、②で「1」「2」(相談した)と回答した方のみ、お答えください。

③ その際に相談した相手を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 上司 5. 部下
 2. 公的機関 6. 所属法人の相談窓口
 3. 職場の同僚 7. 友人・知人・家族
 4. 労働組合 8. その他()

(7) 以下のケアマネジメント業務における、ICT(電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術)の活用状況についてお答えください。(①～⑧それぞれどちらかの番号に○)

	活用している	活用していない
① 利用者・家族からの相談受付業務	1	2
② 利用者のアセスメント	1	2
③ ケアプラン作成	1	2
④ 給付管理	1	2
⑤ サービス事業所への連絡(提供票の配信含む)	1	2
⑥ モニタリング管理	1	2
⑦ サービス担当者会議の情報共有	1	2
⑧ 医療機関との連携	1	2

(8) 「自立支援」「重症化防止」に向けたケアプランの作成にあたり、人工知能(AI)を活用したケアプランソフトウェアを利用してみたいと思いませんか。

1. すでに利用している 4. あまり利用しようとは思わない
 2. 是非利用してみたい 5. 全く利用しようとは思わない
 3. 試しに利用してみたい

問3 ケアプランの作成状況等についてお答えください。

(1) 令和2年3月の担当ケアプラン件数(実績)を介護・予防それぞれにお答えください。(数字を記入)

① 介護ケアプラン	② 予防ケアプラン(要支援者・事業対象者)
件	件

(2) 現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 多い 4. やや少ない
 2. やや多い 5. 少ない
 3. ちょうどよい

下記(3)～(5)は、居宅介護支援事業所に勤務する方のみ、お答えください。

(居宅介護支援事業所以外の方は(6)へお進みください)

(3) 平成31年4月から令和元年12月までの現在担当しているケアプランに対する以下の各加算の取得割合についてお答えください。(小数点2位を四捨五入。例えば担当している利用者のうち期間内に入院された方が3人、そのうち入院時情報連携加算を算定した方が2人いた場合は、「6.7割」(数字を記入))

① 入院時情報連携加算	割
② 退院・退所加算	割
③ 緊急時等居宅カンパレンス加算	割
④ 小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	割
⑤ 看護小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	割
⑥ ターミナルケアマネジメント加算	割

(4) あなたは、現在担当しているケアプランに対する加算の取得について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 必ず取得している ⇒ (5) △ 4. 積極的に取得していない ⇒ ①△
 2. できるだけ取得している ⇒ (5) △ 5. 取得していない ⇒ ①△
 3. どちらともいえない ⇒ (5) △

◎ 下記①は、(4)で「4」「5」(取得していない)と回答した方のみ、お答えください。

① その理由は何か。(記載)

.....

(9) 介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を説明し、介護事業者に自立支援・重度化防止を意図した個別介護計画を策定してもらっていますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識して策定してもらっている	3. あまり意識して策定してもらっていない
2. ある程度意識して策定してもらっている	4. 全く意識して策定してもらっていない

(10) 介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標が達成されるような介護が、介護事業所で行われているか確認していますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識して確認している	3. あまり意識して確認していない
2. ある程度意識して確認している	4. 全く意識して確認していない

(11) あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。(3つまで番号に○)

1. アセスメント結果を容易にケアプランへ反映できないケースがある
2. 利用者本人と家族との意見が異なる時の調整が難しい
3. ケアプランの短期、長期目標の設定が難しい
4. 認知症の利用者、医療行為が必要な利用者等のケアプラン作成が難しい
5. 利用者や家族から必要以上のサービス提供を求められる
6. 所属事業所や関連事業所のサービスを積極的に盛り込む必要がある
7. サービス提供事業者との調整が難しい
8. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できない
9. 医療機関（主治医等）との連携が確立できていない
10. 薬局との連携が確立できていない
11. サービス担当者会議の開催事務が煩雑
12. 認定結果の判明が遅い
13. インフォーマルサービスについての情報が少ない
14. 基準省令、基準条例の解釈が難しい
15. 総合事業についての説明が難しい
16. 介護支援専門員業務以外の事務量が多く、業務範囲が不明確
17. その他（)
18. 特にない

(12) 自立支援に資するケアマネジメントとは何か等、介護支援専門員としての「気づき」を支援する「ケアプラン点検」について、どのような機会を期待しますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 面談形式での個別点検	5. チェックシート等を使用した自己点検
2. グループワーク形式での自己点検	6. スーパーバイザーとの同行支援による個別点検
3. グループワーク・検討会形式での第三者点検	7. その他（)
4. 講義形式での自己点検	

(5) あなたは、地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、どのようにしたいとお考えですか。(1つの番号に○)

1. できるだけ受けたい → (6) ^	4. 積極的に受けたいとは思わない → ① ^
2. ある程度受けたい → (6) ^	5. 全く受けたいとは思わない → ① ^
3. どちらともいえない → (6) ^	

◎下記①は、(5)で「4」「5」(受けたいとは思わない)と回答した方のみ、お答えください。

①その理由は何か。(記載)

(6) ケアプランの作成にあたり、優先していることは何ですか。(優先度が高いもの3つまで番号に○)

1. 本人の意向	5. GOLの維持向上	9. 社会性
2. 家族の意向	6. 利用者の自立	10. その他（)
3. 健康管理	7. 家族等の介護負担の軽減	
4. ADLの維持向上	8. 金銭面	

(7) 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃の程度意識して策定にあたっていますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識して策定している → ① ^	3. あまり意識して策定していない → (8) ^
2. ある程度意識して策定している → ① ^	4. 全く意識していない → (8) ^

◎下記①は、(7)で「1」「2」(意識して策定している)と回答した方のみ、お答えください。

①主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている
2. 現状に満足するのではなく、自ら改善していきたいと思うような意識付けを行っている
3. 能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている
4. 設定した目標について、利用者自身に達成度を確認するなどの意識付けを行っている
5. 求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている
6. その他（)

(8) 日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、そのための介護を行うことについて説明を行っていますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識して説明している	3. あまり意識して説明していない
2. ある程度意識して説明している	4. 全く意識して説明していない

(13) ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいますか。(1つの番号に○)

1. 必ず盛り込んでいる
2. できるだけ盛り込んでいる
3. 積極的には盛り込んでいない
4. 盛り込んでいない

(14) ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報をどこから得ていますか。(3つまで番号に○)

1. 同一事業所の介護支援専門員
2. 他事業所の介護支援専門員
3. 地域の主任介護支援専門員
4. 地域包括支援センター
5. 松戸市役所
6. サービス提供事業者
7. 医療機関
8. 地域ケア会議
9. 松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
10. 介護給付以外の相談受付マニュアル
11. 利用者、家族
12. 町会・自治会関係者
13. 民生委員
14. 社会福祉協議会
15. 高齢者支援連絡会
16. インターネット
17. その他()
18. 情報を得ていない

(15) 介護支援専門員地域同行型研修について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. とても興味がある
2. やや興味がある
3. あまり興味がない
4. 興味がない

介護支援専門員地域同行型研修とは・・・
地域における人材育成の観点から、一定の実務を経験した介護支援専門員(受講者)に対し、主任介護支援専門員(アドバイザー)による実習型研修を実施することにより、相互研鑽を通じて介護支援専門員の実務能力の向上及び主任介護支援専門員の指導力の向上を図ることを目的として実施される研修。千葉県が実施しているものに松戸市も参加しています。

(16) 介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることはありますか。(主な取り組み3つまで番号に○)

1. 研修会の開催
2. 研修会の参加
3. 事例検討会の開催
4. 事例検討会の参加
5. 個別に指導をしている
6. 個別に指導を受けている
7. その他()
8. 特にない

問4 居宅サービス事業者等との関わりについてお答えをお願いします。

(1) サービス事業者との関係で吉慮していることはありますか。(2つまで番号に○)

1. ケアプラン通りにサービスを提供してくれない
2. サービスの提供内容が不十分に感じる
3. 利用者の変化・要望等について報告してくれない
4. 利用者に対する説明に食い違いがある
5. 双方とも忙しいため報告や相談のための時間が取れない
6. その他()
7. いずれもない

(2) 今後、高齢になって住み慣れた地域(在宅)での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。(4つまで番号に○)

1. 日期的な掃除、洗濯及び炊事の家事援助
2. ごみ出し
3. 食材や日用品等の買い物代行
4. 草取りや水やり等の庭の手入れ
5. ペットの世話
6. 住民による声かけ、見守り
7. 緊急通報装置等による安否確認
8. 電話等による服薬確認
9. 話し相手(傾聴)

10. 移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援
11. 健康体操や筋力トレーニング等の運動指導、機会の提供
12. 認知症予防のための脳トレーニングや運動教室
13. 地域交流の場として、サロンやコミュニケーションカフェの開設
14. 弁当や食材配達等の配食
15. 認知症の方の市民後見人等の権利擁護
16. 介護家族等へのアドバイス、サポート
17. その他()
18. 特にない

(3) 現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「供給過多である」と思う介護保険サービスをお答えください。(記載)

(4) 現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「需要を満たしていない」と思う介護保険サービスをお答えください。(記載)

問5 地域連携についてお答えをお願いします。

- (1) 地域包括支援センターとの連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)
1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい
 2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい
 3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい
 4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである
 5. 連携の必要性を感じない
 6. どちらともいえない
 7. その他 ()
 8. わからない
- (2) 地域包括支援センターとの連携を図るためには、特に何か必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 相談体制の充実 (相談シートの作成など)
 2. 社会資源 (地域資源) 等の情報発信・共有
 3. 地域ケア会議等、事例検討会への参加
 4. お互いの顔の見える関係づくりの推進 (事業者交流会など)
 5. その他 ()
 6. わからない
- (3) 医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)
1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい
 2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい
 3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい
 4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである
 5. 連携の必要性を感じない
 6. どちらともいえない
 7. その他 ()
 8. わからない
- (4) 医療と介護の連携を図るために、課題と感じていることは何ですか。(3つまで番号に○)
1. 在宅医療を含めた市内医療体制の把握
 2. 医療・看護従事者に対する介護事業に関する知識、理解の向上
 3. 介護従事者に対する医療・看護事業に関する知識、理解の向上
 4. 在宅医療を提供する医療機関 (診療所・歯科診療所) や薬局・訪問看護事業所の整備
 5. 24時間365日のサービス供給体制の構築に向けた夜間、休日及び緊急時対応の整備
 6. 在宅医療に医師や看護師等の育成
 7. 介護従事者の医療従事者への相談体制 (ケアマネタイム等) の周知・拡大
 8. 医療従事者のケースカンファレンス (事例検討) への参加の促進
 9. 医療と介護の情報共有システム (連携シートやシステム) の構築
 10. 在宅医療・在宅看取りについての市民への普及啓発
 11. 退院支援の充実
 12. 市内の病院との連携
 13. 市内の医療機関 (診療所・歯科診療所) との連携
 14. 市外の病院・医療機関との連携
 15. 主治医との連携、相談体制の充実
 16. 薬局との連携
 17. その他 ()
 18. わからない

(5) 他分野 (障害・児童等) との連携についての連携についてどのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 現在、十分に連携が図られているので、このままでよい
2. 連携が不十分と感じるが、このままでよい
3. 連携が必要と感じるが、連携が図りづらい
4. 連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである
5. 連携の必要性を感じない
6. どちらともいえない
7. その他 ()
8. わからない

(6) 他分野との連携をより深めるには特に何か必要だと感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 顔の見える他分野の連携会議、交流会
2. 他分野にまたがる事例の検討会
3. 他分野の制度、サービスについての研修会
4. 障害サービスから介護保険サービスへの切り替え時等の担当変更の丁寧な引き継ぎ
5. 今でも十分連携がとれている
6. その他 ()

(7) あなたは、相談支援専門員の資格を持っていますか。(どちらかの番号に○)

1. 持っている
2. 持っていない

(8) 相談支援専門員研修について受講する予定はありますか。(1つの番号に○)

1. すでに受講した
2. これから受講する予定である
3. できれば受講したい
4. 今のところ受講するつもりはない

(9) 地域の相談支援専門員の方と積極的に情報交換するなど、交流を図っていますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に交流している
2. 機会があるときに交流している
3. あまり交流を図っていない
4. 交流を図ったことがない

(10) 障害者の方が高齢になり、障害福祉サービスから介護サービスへ移行するケースについて、相談支援専門員の方と連携して介護のケアプランを作成したことがありますか。(1つの番号に○)

1. 連携してケアプランを作成したことがある
2. 連携はしなかったがケアプランを作成したことがある
3. 連携してケアプランを作成したことはない
4. 連携はしなかったがケアプランを作成したことがない

(11) 障害福祉サービスについてどの程度の知識があると思いますか。(1つの番号に○)

1. ほとんど理解している
2. ある程度理解している
3. あまり理解していない
4. 全く理解していない

(12) 地域ケア会議にどのくらい参加していますか。(1つの番号に○)

1. 定期的に参加している ⇒ ①ハ
2. 参加したことある ⇒ ①ハ
3. 参加したことがない ⇒ (13) ハ
4. 地域ケア会議を知らぬ ⇒ (13) ハ

◎下記①は、(12)で「1」「2」(参加したことがある)と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが地域ケア会議に参加してよかったことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他職種との連携により、問題解決方法が良かった
2. 地域の特性や課題を理解できた
3. 他職種や地域住民と顔の見える関係を作ることができた
4. 得られた情報をケアプラン作成に活用することができた
5. 地域の資源、インフォーマルサービス等の情報が得られた
6. その他 ()
7. 特になし

(13) 地域ケア会議(地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議)では困難事例や自立支援に資する事例の検討を行っています。これらの会議に事例提供することについてどう考えますか。(1つの番号に○)

1. 是非提供したい	⇒ (14) へ	3. 提供することは遠慮したい	⇒ ① へ
2. 状況により、可能であれば提供したい	⇒ ① へ	4. わからない	⇒ (14) へ

◎下記①は、(13)で「2. 状況により、可能であれば提供したい」「3. 提供することは遠慮したい」と回答した方のみ、お答えください。

①その理由は何か。(あてはまる番号すべてに○)

1. 検討に適した事例がない
2. 事例提供のための資料を作成する時間がない
3. 地域ケア会議の日時に都合がつかない
4. 事例検討を必要としていない(困っていない)
5. その他 ()
6. わからない

(14) 地域ケア会議(地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議)でどのような方からのアドバイスを期待しますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 医師	8. 保健師
2. 歯科医師	9. 主任介護支援専門員
3. 薬剤師	10. 社会福祉士
4. リハビリ職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	11. 生活支援コーディネーター
5. 訪問看護師	12. 臨床心理士
6. 歯科衛生士	13. その他 ()
7. 管理栄養士	

問6 松戸市への要望についてお答えをお願いします。

(1) 施設・事業所の介護支援専門員として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。(3つまで番号に○)

1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供
2. スキルアップ(育成)のための研修の支援
3. 給付管理等に関する相談体制の充実
4. 事業所への指導・監査の徹底
5. 地域包括支援センターの対応力向上
6. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発
7. 処遇困難者への対応
8. 事務手続きの簡略化
9. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの見直し
10. ボランティアの育成
11. 認知症に関する啓発
12. 多職種連携への支援
13. 医療介護連携への支援
14. その他 ()
15. 特になし

質問は以上です。

高齢者保健福祉社や介護保険に関してお見がございましたらご自由にご記入ください。

<自由記載欄>

以上でアンケート調査は終了です。

記入したアンケート票を3つ折りにし、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、令和2年4月23日(木)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

町会・自治会調査 調査票

2～7ページは町会・自治会（以下、町会等という）の活動における
ご意向についてお答えください。

■ この調査票を記入される方の町会等内における役職をお答えください。（1つの番号に○）

- 1. 会長
- 2. 副会長
- 3. 役員
- 4. その他（ ）

■ 町会等のある日常生活圏域（※）はどこですか。（1つの番号に○）
（※）日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できる
ように、地域の特性に応じて市町村内を区分したものです。

- 1. わからない
- 2. 明第1
- 3. 明第2西
- 4. 明第2東
- 5. 本庁
- 6. 矢切
- 7. 東郡
- 8. 常盤平
- 9. 常盤平団地
- 10. 五香松飛台
- 11. 六雲六高台
- 12. 小金
- 13. 小金原
- 14. 新松戸
- 15. 馬橋西
- 16. 馬橋

問1 町会等の基本情報についてお答えください。

(1) 町会等の加入世帯数はどのくらいですか。（1つの番号に○）

- 1. 1～50 世帯
- 2. 51～100 世帯
- 3. 101～200 世帯
- 4. 201～300 世帯
- 5. 301～500 世帯
- 6. 501 世帯以上

(2) 町会等の加入率はどのくらいですか。（1つの番号に○）

- 1. ほとんど全部の世帯が加入
- 2. 3分の2程度の世帯が加入
- 3. 半分程度の世帯が加入
- 4. 3分の1程度までの世帯が加入
- 5. わからない

(3) 町会等の加入者の年齢はどのくらいですか。（1つの番号に○）

- 1. ほとんどが高齢者（65歳以上）
- 2. 3分の2程度が高齢者
- 3. 高齢者と現役世代（20～64歳）が半ずつ程度
- 4. 3分の1程度が高齢者
- 5. ほとんどが現役世代
- 6. わからない

(4) 町会等内は、どのような住居形態が多い地域ですか。（1つの番号に○）

- 1. 戸建て住宅が多い地域
- 2. 戸建てと集合住宅が混在した地域
- 3. 集合住宅が多い地域

⑩



松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関する
町会・自治会アンケート調査

貴町会・自治会におかれましては、日頃より本市の高齢者保健福祉へのご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」がより一層推進されるよう、令和3
年度から令和5年度までを計画期間とした次期計画「いきいき安心プランⅧまつど」(第9期松戸市
高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)の策定作業を進めているところです。

少子高齢化社会の進展する中、日頃より本市の高齢者保健福祉を支えていただいております町
会・自治会の皆様は、地域での様々な活動の実績やお考えなどをお答えいただき、施策検討の基礎
資料とするため、本調査を実施いたします。
なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用
させていただきます。他の目的に利用することはありません。また、ご回答に際しまし
ては、貴町会・自治会での活動に詳細にお答えいただけたい方にお願いでございます。

ご多用のことと存じますが、**貴町会・自治会と本市が一体となり、市民の皆様にとってよ
り良い高齢者保健福祉が継続されるよう、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し
上げます。**

松戸市長 本郷谷 健次
令和2年6月

～ ご記入にあたって ～

1. 本調査は、郵送されたあて名の町会等の代表者（会長）もしくは、代表者が指名する方がお答え
ください。
2. ご回答は、本調査票表紙上に記載のある町会・自治会に関するお答えください。
3. ご回答はあくまでも町会・自治会の実情またはお考えに基づいてお答えください。
4. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と番号や数字を記入する場合があります。
○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
「その他」を選択した場合は、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
5. ご記入が済みしたら、お手数ですが、アンケート票を3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、
令和2年7月13日(月)までに郵便ポストへご投函ください。(切手不要)
6. ご回答いただく上で不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
7. 新型コロナウイルスの影響による一時的な活動中止の場合は平常時を想定してお答えください。



【お問合せ先】松戸市役所 高齢者支援課
E-mail: mckoureisha@city.matsuyudo.chiba.jp
電話：047-366-7346（直通） FAX：047-366-0991

(5) 町会等には会館・集会所がありますか。(どちらかの番号に○)

1. ある ⇒ ①^ 2. ない ⇒ 問2^

◎ 下記①～③は、(5)で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。

① 会館・集会所の形態はどれにあたりますか。(1つの番号に○)

1. 町会等の所有 3. 場所を借りて使用
2. 複数の町会等が共用で使用(連合町会等で所有など) 4. その他()

② 会館・集会所は、町会等の行事以外で一般の方が使用することができますか。(どちらかの番号に○)

1. はい ⇒ ③^ 2. いいえ ⇒ 1)^

◎ 下記1)は、②で「2. いいえ」と回答した方のみ、お答えください。

1) 今後、町会等の行事以外の一般の方の使用を検討していますか。(どちらかの番号に○)

1. はい 2. いいえ

③ 会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を徴収していますか。(どちらかの番号に○)

1. はい ⇒ 1)^ 2. いいえ ⇒ 問2^

◎ 下記1)は、③で「2. はい」と回答した方のみ、お答えください。

1) 会館・集会所の利用料はいくらですか(自由記述)

例) 1回あたり 1時間 500円 町会外の方は1,000円

問2 地域づくり等についてお答えください。

(1) 日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 居場所づくり(高齢者、子ども、障害者等) 5. 防災・防犯
2. 見守り活動・声かけ活動 6. 移送・送迎
3. 生活支援(ごみ出し、洗濯、買い物等) 7. その他()
4. 交流イベント・行事(祭り、子ども会等)

(2) 日頃、町会等が主体となつて、どのような活動を行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に行っていない ⇒ (3)^ 5. 多世代交流
2. 居場所づくり(高齢者、子ども、障害者等) ⇒ ④^ 6. 防災・防犯
3. 見守り活動・声かけ活動 ⇒ ④^ 7. 移送・送迎
4. 生活支援(ごみ出し、洗濯、買い物等) ⇒ ④^ 8. その他()

◎ 下記①は、(2)で「2.」～「8.」(活動を行っている)と回答した方のみ、お答えください。

① その活動は、どのような方と協力・連携して行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に連携していない
2. 町会等の役員
3. 民生委員・児童委員
4. 社会福祉協議会関係者
5. 高齢者支援連絡会関係者
6. オレンジ協力員等
7. 高齢者いきいき安心センター
8. 企業・事業者等
9. NPO
10. その他()

(3) 町会等の普段の活動やイベント(子供会、祭り等)の準備の際に、役員以外の地域住民に協力してもらえよう、参加を呼びかけていますか。(1つの番号に○)

1. 町会等の住民全体に積極的に参加を呼びかけている
2. いつも協力してくれる住民にのみ参加を呼びかけている
3. 役員以外の住民に対しては、あまり呼びかけは行っていない
4. 役員以外の住民に対しては、全く呼びかけは行っていない

(4) 今後の町会等の活動において、どのような方に特に企画・運営に関わっていただきたいと思えますか。(3つまで番号に○)

1. 児童・生徒(小～高校生) 7. ボランティア
2. 学生(大学生・専門学校生) 8. 高齢者いきいき安心センター
3. 現役世代(20～64歳) 9. 企業・事業者等
4. 高齢者(65歳以上) 10. NPO
5. 障害者 11. その他()
6. 妊婦

(5) 町会等が活動を行う際に、特になんかことに苦労していますか。(1つの番号に○)

1. 活動してくれる人が少ない
2. 活動する場所の確保
3. 活動資金
4. 活動してくれる人が固定化され、新しい人(後継者)が少ない
5. その他()

(6) 町会等において感じている地域の課題を教えてください。(3つまで番号に○)

1. 地域の防災に関する問題
2. 地域の安全対策や防犯に関する問題
3. ひとり暮らし高齢者に関する問題
4. 住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化
5. 災害時における要支援者支援についての対策
6. 緊急時における連絡体制の整備
7. 町会等の活動への参加者の減少
8. 子どもや青少年の育成に関する問題
9. ごみの出し方や資源の持ち去りなどごみに関する問題
10. 空き家の増加や空き家対策
11. ペンチや公衆トイレなどの休憩所が不足している
12. その他 ()

(7) 町会等として、(6)の課題を解決するために実施すべきと思われることを教えてください。(3つまで番号に○)

1. 町会等の担い手を確保する
2. 町会等により多くの方に参加してもらう
3. 市役所、商店などの町会等以外の人と連携する
4. 誰もが集える場所を確保する、作る
5. 様々な情報がすべての住民に届けられる方法を考える
6. 補助金や助成金制度の活用を考える
7. 町会等内での勉強会を積極的に開催する
8. 住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する
9. その他 ()

問3 その他

(1) 社会や地域が安定・継続的に維持されていくために、町会等は今後どのような事に取り組んでいけば良いと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 居場所づくり(高齢者、子ども、障害者等)
2. 見守り活動・声かけ活動
3. 生活支援(ごみ出し、洗濯、買い物等)
4. 交流イベント・行事(祭り、子ども会等)
5. 防災・防犯
6. 移住・送迎
7. その他 ()
8. 行っていない

5

(2) 地域住民が住み慣れた地域で、地域から離れることなく住み続けられるようにするには、町会等を中心にどのようにしていくことが重要だと思いますか。(3つまで番号に○)

1. 貧困状態にある人を減らす
2. 常に栄養のある食事を摂ることができる
3. 交通事故がない
4. 質の高い教育を受けられる
5. 性別に関する差別がない
6. 様々な事が省エネエネルギーで行うことができる
7. すべての人が働きがいのある仕事に就ける
8. スマートフォン等いつでもインターネットにアクセスできる
9. すべての人が経済的に困らない状態である
10. 行きやすく、誰もが利用できる緑地や公共スペースがある
11. 食品ロスが少ない
12. 自然災害に対して強い地域である
13. 個人や地域の活動により川が汚れない
14. 地域に緑(植物)が多い
15. あらゆるところで電気がない
16. その他 ()

(3) 児童、高齢者及び障害者に対する虐待(3虐待)について、虐待のない誰もが安心して暮らせるまちを実現することを目的とした、「松戸市虐待防止条例」が令和2年4月から施行されました。虐待防止について町会等で実施していることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 虐待に関しての勉強会等を開催している
2. 介護者や家族等が地域で孤立しないように声掛けを行っている
3. 虐待が疑われるときは、市役所や通報窓口に通報するようにしている
4. 市などが行う、虐待の研修会に参加している
5. 居場所がほしい地域住民に対して、積極的に趣味やお茶会等のコミュニティに誘っている
6. その他 ()
7. 特に何もしていない

6

地域の実態について分かる範囲でお答えください

質問票1 町会等内の「通いの場」について

「通いの場」とは、高齢者や地域の住民が主体となって集まり、体操やサロン、茶話会、趣味を楽しむ場などで、住民同士が交流することにつながりが生まれ、介護予防（健康づくり）に役立ちつとて言われています。

(1) 町会等が主体で開催している通いの場は何か所ありますか。また、運営のために町会等でのくらの費用を負担していますか。
※通いの場がない場合は(2)へ

か所	年間	円
① 最も多い通いの場の開催頻度を教えてください。(1つの番号に○)		
1. 週1回以上	3. 月1回程度	5. その他()
2. 月2~3	4. 年に数回	
② 通いの場の活動内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 体操	4. ゲーム	7. 音楽
2. 脳トレ	5. 室内スポーツ	8. 茶話会
3. 手工芸	6. ボランティア	9. その他()
③ どのような方が中心となっていますか。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 町会等の役員	3. 町会等外のボランティア	5. その他()
2. 民生委員・児童委員	4. 有志の住民	
④ どのような方が参加できますか。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 誰でも可	4. 未成年者(19歳以下)	7. 要介護者
2. 高齢者(65歳以上)	5. 町会外の人	8. その他()
3. 現役世代(20~64歳)	6. 要支援者	
⑤ 通いの場が地域にもたらす効果について、どう考えますか。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 地域のつながりができる	3. 参加者の健康づくりに役立つ	5. あまり効果はない
2. 参加者の外出が増える	4. 参加者の精神面の安定	6. その他()
⑥ 町会が通いの場を開催するとき、どのようなことが問題となりますか。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 担い手不足	4. 人間関係	7. その他()
2. 開催準備の手間	5. 家族の理解	
3. 活動場所の確保	6. 個人の費用負担	

(4) 昨今の新型コロナウイルス感染症の状況下においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛がなされましたが、それに伴う町会等の状況を教えてください。

① 町会等の活動で、どんなことに困ったか、教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 防災・防犯活動
- 2. 通いの場・サロンの開催
- 3. 買い物支援等の生活支援
- 4. 資料の回覧や掲示
- 5. 町会等のイベント・行事
- 6. 高齢者等への見守り活動・声かけ活動
- 7. その他()

② 町会等として活動したことを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 感染症予防等の資料を配布・配架した
- 2. 電話、FAX、メール等で見守り・声かけ活動を行った
- 3. 十分な対策をしながら買い物支援等の生活支援を行った
- 4. 十分な対策をしながら防災・防犯活動を行った
- 5. その他()

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

<自由記載欄>

以上でアンケート調査は終了です。
8~10ページは、地域の実態を把握するための調査票です。回答は任意ですので、ご協力いただける町会・自治会様は、次ページにお進みください。

記入したアンケート票は3つ折りにし、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
令和2年7月13日(月)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

(2) 町会等以外が主体になって開催している通いの場は何か所ありますか。

① その運営母体はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○)	_____ 場所
1. 社会福祉協議会	7. その他 ()
2. NPO法人	8. わからない
3. 自主的なボランティア団体	6. 地域住民の有志

② 通いの場の運営のためにどのような支援をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 活動場所の提供	3. スタッフとしてお手伝いしている	5. 特に行っていない
2. 回覧や掲示板で周知の協力	4. その他 ()	

質問票2 災害について

(1) 松戸市避難行動要支援者名簿のことを何によって知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 町会等の回覧・ポスター	4. 松戸市からの通知文書	7. その他 ()
2. 広報まつど	5. 講演会・説明会等	8. 名簿を知らない
3. 松戸市ホームページ	6. 近隣住民との情報共有	

(2) 松戸市避難行動要支援者名簿を活用して、実際にどのような活動をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 要支援者への訪問	
2. 要支援者ごとの避難支援者の選定	
3. 要支援者名や避難所・避難ルート等を含めた地図の作成	
4. 防災訓練(情報伝達訓練)	
5. 防災訓練(安否確認訓練)	
6. 防災訓練(避難誘導訓練)	
7. 要支援者ごと、避難経路や持出品などをまとめた個別計画の作成	
8. その他 ()	
9. 活用していない	

(3) 松戸市避難行動要支援者名簿は情報を毎月更新します。今後名簿を借り受ける予定はありますか。また、ない場合は、2以降のあてはまる番号すべてに○

(1) 借り受ける予定はある

(2) ない場合

- 既に町会等で同様の情報が整備されているため
- 要支援者情報を必要としないため
- 個人情報管理が困難なため
- 申請・借受・返却に手間がかかるため
- 町会等役員内での合意がとれないため
- その他 ()

(4) 松戸市避難行動要支援者名簿以外での、町会等で独自に把握している要支援者の情報について教えてください。(1つの番号に○)

- 情報を把握しており名簿を作成している
- 情報は把握しているが名簿は作成していない
- 情報を把握していないが、今後把握する予定
- 情報を把握してあらず、今後も把握する予定はない

(5) 町会等において要支援者名簿を活用する以外に行っている災害対策はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 自主防災組織を作っている
- 防災訓練を実施している
- 関係機関と会議を行っている
- 住民への普及啓発を行っている
- その他 ()
- 特にしていない

(6) 福祉避難所について知っていますか。(1つの番号に○)

- どのような場所か知っている
- 聞いたことはある
- 聞いたことがない

(7) 町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応について、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。(1つの番号に○)

- 取り決めをしている
- ある程度取り決めをしている
- あまり取り決めをしていない
- 全く取り決めをしていない

(8) 町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応のため、訓練を行っていますか。(1つの番号に○)

- 年1回以上行っている
- 数年に一回行っている
- 今後行う予定
- 行っていない

以上で調査は終了です。

記入したアンケート票は3つ折りにし、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、令和2年7月13日(月)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございます。

特別養護老人ホーム入所待機者調査 調査票

この調査票を記入されるのはおたですか。(1つの番号に○)

1. ご本人 (封筒のあて名の方) 4. 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
 2. 家族 (ご本人から見た続柄:) 5. その他 ()
 3. 家族以外の後見人

これ以降の「あなた」は、ご本人 (宛名の方; 入所予定者) についてうかがいます。

問1 ご本人 (入所予定者) や家族の状況についておたがいます。

(1) 令和2年4月1日現在のご本人 (入所予定者) の年齢を記入してください。(数字を記入)

歳

(2) ご本人 (入所予定者) の性別をおたください。(どちらかの番号に○)

1. 男性 2. 女性

(3) ご本人 (入所予定者) の現在の要介護等状態区分は、次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 要介護1 4. 要介護4 7. わからない
 2. 要介護2 5. 要介護5
 3. 要介護3 6. その他 ()


(4) ご本人 (入所予定者) は次のような医療処置を日常的に必要としていますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 特に医療処置は受けていない 7. ペースメーカー
 2. 胃ろう・経管栄養 8. たんの吸引
 3. インスリン注射 9. 床ずれの処置
 4. 尿管カテーテル 10. 人工透析
 5. 人工肛門 11. その他 ()
 6. 在宅酸素療法

(5) ご本人 (入所予定者) は、認知症と思われる症状がありますか。(1つの番号に○)

1. ある ⇒①ハ 3. わからない ⇒ (6) ハ
 2. ない ⇒ (6) ハ

⑫


 松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関する
 特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査

～ ご協力のお願い ～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
 本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成30年度から令和2年度までを期間とした「いきいき安心プランVIまつど」(第8期松戸市高齢者保健福祉計画・第7期松戸市介護保険事業計画)を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。
 この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランVIIまつど」(令和3年度から令和5年度まで)を策定するため、令和2年4月現在で特別養護老人ホーム入所資格を持ち、かつ松戸市内の特別養護老人ホームに入所申込書を出している方におたいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただきます。統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすること、また、回答の有無や回答の内容によって入所申込みに影響が出ることは一切ありません。

ご多用のこと存じますが、本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるために、ぜひ回答にご協力くださいませよとお願ひ申し上げます。

令和2年6月
 松戸市長 本郷谷 健次

1. この調査は、封筒のあて名のご本人がおたください。
 なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持に代わって記入してください。

2. 令和2年4月1日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
 ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。


3. Oの数は質問によって異なりますのでご注意ください。
 「その他」を選択した場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。

4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。

5. このアンケートの回答に要する時間はおよそ15分です。

6. ご回答が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて
令和2年7月13日(月)までに郵便ポストへご投函ください。(切手不要)

7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。


【お問合せ先】松戸市役所 介護保険課
 電話：047-366-4101 (直通) FAX：047-366-1145
 E-mail：mckalgo@city.matsuyama.chiba.jp

(9) 世帯全体の合計収入額(年金を含み、税引き前の金額)は、令和元年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。(1つの番号に○)

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 50万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 9. 500～600万円未満 |
| 2. 50～100万円未満 | 6. 250～300万円未満 | 10. 600～700万円未満 |
| 3. 100～150万円未満 | 7. 300～400万円未満 | 11. 700～800万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 8. 400～500万円未満 | 12. 800万円以上 |

(10) ご本人(入所予定者)は、現在介護保険サービスを利用していますか。(どちらかの番号に○)

1. 利用している ⇒①へ 2. 利用していない ⇒(11)へ

◎下記①～③は、(10)で「1. 利用している」と回答した方のみ、お答えください。

①現在、ご本人(入所予定者)はどのような介護保険サービスを使用していますか。(あてはまるすべての番号に○)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護(訪問サービス) | 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 2. 通所介護(通所サービス) | 13. 小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問看護 | 14. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 4. 訪問入浴介護 | 15. 福祉用具貸与 |
| 5. 通所リハビリテーション(デイケア) | 16. 福祉用具購入 |
| 6. 訪問リハビリテーション | 17. 住宅改修 |
| 7. 短期入所(ショートステイ) | 18. 介護付き有料老人ホーム入居中 |
| 8. 認知症対応型通所介護 | 19. グループホーム入居中 |
| 9. 医師による療養上の指導(居宅療養管理指導) | 20. 介護老人保健施設入所中 |
| 10. 歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導(居宅療養管理指導) | 21. 介護療養型医療施設入院中 |
| 11. 薬剤師による療養上の指導(居宅療養管理指導) | 22. その他() |

◎下記①～②は、(5)で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。

①医師から認知症と診断されたことがありますか。(1つの番号に○)

1. ある 3. わからない
2. ない

②認知症はどの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。(1つの番号に○)

1. 何らかの症状はあるが、日常生活はほぼ自分でできる
2. 日常生活に多少差し障りがあるが、誰かが注意していれば自分で行動できる
3. 日常生活に差し障りがあり、時々介護を必要とする
4. 日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする
5. 非常に症状が重く、専門的な医療を必要とする

(6) ご本人(入所予定者)は、現在どこで生活していますか。(1つの番号に○)

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 自宅
(親族等の家に同居している場合やショートステイ利用中を含む) | 7. 介護老人保健施設(老人保健施設) |
| 2. 介護付き有料老人ホーム | 8. 介護医療院 |
| 3. 住宅型有料老人ホーム | 9. 医療機関 |
| 4. ケアハウス | 10. その他() |
| 5. サービス付き高齢者向け住宅 | 11. 何の施設かわからない |
| 6. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) | |

(7) 家族構成をお答えください。(1つの番号に○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 4. 息子・娘(養子の関係も含む)との2世帯 |
| 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 5. その他(3世帯を含む) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | |

(8) ご本人(入所予定者)の合計収入額(年金を含み、税引き前の金額)は、令和元年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。(1つの番号に○)

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 50万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 9. 500～600万円未満 |
| 2. 50～100万円未満 | 6. 250～300万円未満 | 10. 600～700万円未満 |
| 3. 100～150万円未満 | 7. 300～400万円未満 | 11. 700～800万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 8. 400～500万円未満 | 12. 800万円以上 |

②介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する1か月あたりの利用者負担額の総額はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1. 5万円未満	5. 20万円以上～25万円未満
2. 5万円以上～10万円未満	6. 25万円以上～30万円未満
3. 10万円以上～15万円未満	7. 30万円以上
4. 15万円以上～20万円未満	8. わからない

③現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。（1つの番号に○）

1. 1割負担	3. 3割負担
2. 2割負担	4. わからない

(11) ご本人（入所予定者）の介護にかかわっている家族・親族は何人いますか。（数字を記入）

□ 人

(12) ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っているのはどなたですか。（1つの番号に○）

1. 配偶者（または妻）	5. 介護の専門職（ホームヘルパー・施設の介護職員等）
2. 子	6. その他（ ）
3. 子の配偶者	7. 介護している人はいない
4. その他の親族	

⇒問2へ

◎下記①～②は、(12)で「1」～「4」（家族・親族）と回答した方のみ、お答えください。

①ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別をお答えください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②ご本人（入所予定者）を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1. 65歳以上である（令和2年4月1日現在）
2. 障害者である（障害手帳を持っている）
3. 要支援認定または要介護認定を受けている
4. ご本人（入所予定者）を含め複数の方を介護している
5. 病気で通院している（病名： ）
6. 仕事をしている
7. 子育て中である
8. ご本人（入所予定者）と別居している
9. あてはまるものはない

問2 特別養護老人ホームの入所申込み等についてお答えください。

(1) 特別養護老人ホームの入所を初めて申込みだのはいつですか。（1つの番号に○）

1. 半年以内	4. 2年以上前～3年以内
2. 半年以上前～1年以内	5. 3年以上前～5年以内
3. 1年以上前～2年以内	6. 5年以上前

(2) 特別養護老人ホームに申込みした主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1. 必要な生活支援が多くなりすぎたから	4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから
2. 必要な身体介護が多くなりすぎたから	5. その他（ ）
3. 認知症の症状が悪化したから	6. 本人の状態等に属する理由は特になし

(3) 現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。（1つの番号に○）

1. 1か所	3. 3か所
2. 2か所	4. 4か所以上（ ）

(4) どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。（1つの番号に○）

1. (本人又は介護者等の)現在の住まいの近くにある施設だけを希望する
2. 松戸市内の施設であればどこでもかまわない
3. 近隣市区（葛飾区や三郷市を含む）の施設であればどこでもかまわない
4. どこ施設でもかまわない

(5) 特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。（1つの番号に○）

1. 個室（ユニット型または従来型）	3. どちらでもよい
2. 多床室	

(6) 特別養護老人ホームへ入所したい時期はいつですか。（1つの番号に○）

1. 今すぐ入所したい	⇒ (7) へ
2. 3ヶ月から半年先に入所したい	} ⇒ (7) へ
3. 半年から1年先に入所したい	
4. 当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい	
5. その他（ ）	⇒ (7) へ

◎下記①は、(6)で「2」～「4」(3カ月以上、当面は入所しなくてよい)と回答した方のみ、お答えください。

①理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

1. 当面、自宅で生活を続けられるため	
2. 医療機関に入院中、または入院予定のため	
3. 介護老人保健施設に入所している、または入所予定のため	
4. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス等)・グループホーム等に入居している、または入居予定のため	
5. 本人(入所予定者)が拒否しているため	
6. 家族(または親族)の意向が分かれているため	
7. その他()	

(7)施設での生活を選んだ主な理由のうち、本人の意向等に属する理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

1. 本人が一部の在宅での介護サービスを拒否するようになったから	
2. 本人の生活不安が大きくなったから	
3. 本人にとって、居住環境が不便だったから	
4. 本人が介護者の負担の軽減を望んだから	
5. 本人が費用負担を重く感じたから	
6. その他()	
7. 本人の意向等に属する理由は特にない	

(8)施設での生活を選んだ主な理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

1. 介護者の介護に係る不安や負担が大きくなったから	
2. 介護者が、在宅での介護サービスを望まなくなったから	
3. 家族等による介護の技術では対応が困難になったから	
4. 費用負担が重くなったから	
5. 家族等の就労継続が困難になりはじめたから	
6. 本人と家族等の関係性に課題があったから	
7. 介護者が高齢になったから	
8. 介護者が病気により介護が必要になったから	
9. 他者から勧められたから	
10. その他()	
11. 家族等介護者の意向・負担等に属する理由は特にない	

(9)特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意見で決めた」あるいは「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。(1つの番号に○)

1. ご本人(入所予定者)	⇒(10)△	3. 介護支援専門員(ケアマネジャー)	⇒①△
2. 家族・親族	⇒①△	4. その他()	⇒①△

◎下記①は、(9)で「2」～「4」(ご本人以外)と回答した方のみ、お答えください。

①ご本人(入所予定者)の特別養護老人ホームへの入所について、家族(または親族)で話し合っていますか。(1つの番号に○)

1. 日常的によく話し合っている	4. まったく話し合っていない
2. たまに話し合っている	5. その他()
3. あまり話し合っていない	

(10)特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどなたですか。(1つの番号に○)

1. ご本人(入所予定者)	4. その他の親族
2. 配偶者	⇒①△
3. 子または子の配偶者	⇒(11)△

◎下記①は、(10)で「1」～「5」(ご本人ご家族等)と回答した方のみ、お答えください。

①入所費用にあてる主な収入(資金)は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 公的年金	5. 子または子の配偶者からの援助
2. 預貯金	6. その他の親族からの援助
3. 給与・賃金	7. その他()
4. 株式等の配当や不動産収入	

(11)特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設をお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

1. 介護老人保健施設 ()	5. サービス付き高齢者向け住宅 ()	か所
2. グループホーム ()	6. ケアハウス ()	か所
3. 介護付き有料老人ホーム ()	7. その他 ()	か所
4. 住宅型有料老人ホーム ()	8. 申込みしていない	

(12)特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際に辞退したことがありますか。(どちらかの番号に○)

1. ある	⇒①△	2. ない	⇒(13)△
-------	-----	-------	--------

問3 特別養護老人ホーム入所の優先順位についてお答えください

(1) 松戸市は、必要性が高い方から特別養護老人ホームに入所できるよう、本人の状況や介護者の状況を客観的に判断するための基準を定め、基準に従って付けられた点数の大小により入所優先順位を決定しています。

- こうした基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていましたか。(1つの番号に○)
- 1. 知っていた
 - 2. 知らなかった
- (2) 今後、入所基準で優先すべき事項は何だとお考えですか。(1つの番号に○)
- 1. 要介護度
 - 2. 認知症の度合い
 - 3. 介護者の高齢化
 - 4. 介護者が子育て中であること(ダブルケア)
 - 5. 介護者が18歳未満であること(ヤングケア)
 - 6. その他()

問4 今後の生活や介護保険のサービスについてお答えください

(1) ご本人(入所予定者)は特別養護老人ホームに申込み込んだ時点と比較して現在では入所に関してどのように考えていますか。(1つの番号に○)

- 1. できるだけ早く施設に入所したい
- 2. 在宅で暮らし続けたいが、条件が整わなければ施設に入所したい
- 3. 可能な限り在宅で暮らし続けたい
- 4. 特別養護老人ホームにこだわらず、入所できる施設(有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等)があれば入所したい
- 5. その他()
- 6. わからない

(2) 特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性はありますか。(どちらかの番号に○)

- 1. ある
- 2. ない

◎下記①～②は、(12)で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。

①辞退した理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

- 1. 当面、自宅で生活を続けられるため
- 2. 部屋の種類(ユニット型個室・多床室など)が希望に合わなかったため
- 3. 費用が高くて負担できないため
- 4. 医療機関に入院中、または入所予定のため
- 5. 介護老人保健施設に入所した、または入所予定のため
- 6. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス等)・グループホーム等に入居した、または入居予定のため
- 7. 本人(入所予定者)が拒否したため
- 8. 家族(または親族)の意見が分かれたため
- 9. その他()

②入所を辞退した後、入所申込みを取り下げない理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

- 1. 申込みが多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから
- 2. 取り下げ後の再申込みが不利になると思うから
- 3. 第一希望の施設に入れるまで待つつもりだから
- 4. 取り下げたことを忘れていたため
- 5. その他()

(13) 特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。(どちらかの番号に○)

- 1. ある ⇒①へ
- 2. ない ⇒問3へ

◎下記①②は、(13)で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。

①入所を断られた時期はいつですか。(どちらかの番号に○)

- 1. 入所を申込みたとき
- 2. 本人(入所予定者)の身体状況が変わったことを施設に連絡したとき
- 3. 施設側から本人(入所予定者)の身体状況を確認する連絡がきたとき
- 4. その他()

②入所を断られた理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

- 1. 医療処置に対応できないため
- 2. 行動上の障害や精神症状により施設側で対応できないため
- 3. 入所申込み時点とは状況が異なっていたため(介護度が軽くなっている等)
- 4. その他()

(3) 松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える以下の在宅サービスの整備を進めています。これらの在宅サービスを知っていただき、また、ご本人（入所予定者）は利用してみたいと思えますか。①～③それぞれに回答してください。

	知っていましたか (どちらかに○)	利用してみたいと思えますか (どちらかに○)
① 小規模多機能型居宅介護 (※1)	知っていた 知らなかった	利用してみたい (すでに利用している) 利用してみたい 思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護 (※2)	知っていた 知らなかった	利用してみたい (すでに利用している) 利用してみたい 思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護 (※3)	知っていた 知らなかった	利用してみたい (すでに利用している) 利用してみたい 思わない

(※1) 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支度や機能訓練を行う介護保険サービスです。

(※2) 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

(※3) 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時連絡への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要に応じて提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

(4) 自宅で介護を受けながら生活していくためには何か必要だと思いますか。(あてはまるすべての番号に○)

1. 介護する家族が休養をとれるようなサービス
2. 家族等の介護者が介護しやすい居住環境
3. テイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4. テイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5. 24時間、定期的な巡回と随時の訪問で介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7. 介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8. 家族が介護するための技術を習得できる機会
9. 在宅医療の充実
10. その他 ()

質問は以上です。
高齢者保健福祉センターへお申し込みいただきありがとうございます。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和2年7月13日（月）までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力いただきありがとうございます。


いきいき安心プランⅦまつど
(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)
策定のためのアンケート調査報告書

(事業所等アンケート調査 単純集計編)



松戸市あんしん一声運動
オレンジ声かけ隊長
ゆーかりくん

令和3年3月

発行  松戸市
〒271-8588
千葉県松戸市根本387番地の5
TEL 047-366-1111 (代表)

編集 松戸市 福祉長寿部 高齢者支援課・介護保険課